Panasonic

# ハードディスク内蔵 BS Hi-Fiビデオ
# 取扱説明書

品番 NV-HVH1

上手に使って上手に節電

**保証書別添付**

このたびはパナソニックハードディスク内蔵 BS Hi-Fiビデオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT9734-1

# もくじ

## 使用前/準備

ページ



## 再生/録画

ページ



## 予約録画(VHS HDD 共通操作です)

ページ

# 予約録画（つづき）

ページ



# 録画番組の管理/検索

ページ



# BSデジタル（HDDのみの操作です）

ページ



# 編集（ダビング）

ページ



# 便利機能

ページ



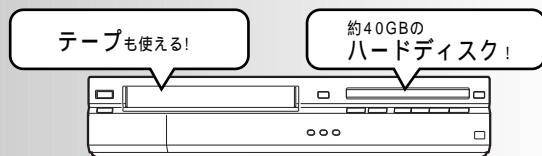
# その他

ページ

はじめに

# 特長

以下の機能について、詳しくは参照ページをお読みください。

## ■ビデオ(VHS)とハードディスク(HDD)の一体型

- 見たい番組が重なっても大丈夫
  ➔VHSとHDDで**2チャンネル同時録画(➔50)**
  - 異なるチューナーの番組に限ります。地上波(VHF/UHF)放送どうしやアナログBS放送どうしの2チャンネル同時録画は行えません。
- HDD⇔VHS間の録画が簡単ワンタッチ
  **➔ワンタッチダビング(➔80･81)**

## ■素早く簡単に録画･エアチェック

- ハードディスクだからすぐに録画･素早く頭出し
  **➔一発録画･再生(➔40･46)**
- 急な電話や来客時でも見逃さない
  **➔タイムキープ機能(➔48)**
- 録画中の番組を最初から再生
  **➔追っかけ再生(➔43)**

## ■ハードディスクなら好きな番組を録り逃さない

- 見たい番組の最新版を自動録画&テープ不要の重ね録り
  **➔オートリニューアル録画(➔58)**
- 見ている番組を簡単に毎週予約
  **➔お気に入り毎週予約(➔57)**

## ■家族みんなで使える

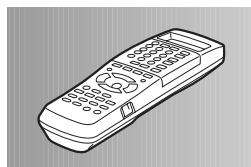
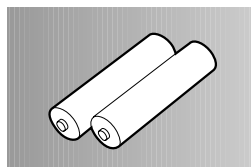
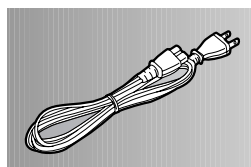
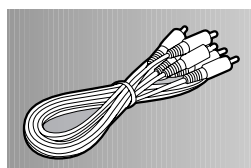
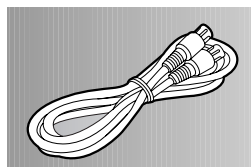
- ハードディスクの中身を整理できる
  **➔お気に入りフォルダー機能(➔69･70)**

## ■ビデオ(VHS)も機能満載

- カセットに録画されている内容を一度に消去
  **➔テープリフレッシュ(➔65)**
- 長時間録画 **➔5倍モード(➔44)**

# 付属品

**下記の部品が入っているか確かめてください。**

- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。
  (以下に品番を記載しているもののみ)
- この取扱説明書に記載の付属品、別売品の品番・メーカー希望小売価格は、2002年4月現在のものです。
- **メーカー希望小売価格には消費税や工事代などは含まれていません。**

**リモコン**
**(➔12)**
EUR7901KT0
メーカー希望小売価格：5,000円

**リモコン用乾電池(2本)**
**(➔15)**
単3形乾電池(R6P)

**電源コード**
**(➔16～18)**
VJA0536T
メーカー希望小売価格：400円

**映像・音声コード**
**(➔16～18)**
K2KA6BA00002
メーカー希望小売価格：300円

**75Ω同軸ケーブル**
**(➔16～18)**
VJA1091
メーカー希望小売価格：400円

- **(➔○○)**は、参照していただくページを示します。

**本書内の表現について:**

- BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)は**「チューナー(内蔵テレビ)」**と略して説明しています。
- ビデオ部分を**「VHS」**、ハードディスク部分を**「HDD」**として、主に説明しています。
- それぞれの機能説明で、VHS側とHDD側のどちらでできる機能かを、VHS・HDDで表示しています。
  VHS:VHS側の機能の場合
  HDD:HDD側の機能の場合

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

| | |
|---|---|
|  **警告** | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  **注意** | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)**

| | |
|---|---|
| ⚠ | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
| ⊘ | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| ❗ | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

「安全上のご注意」**(➜5〜7)**に記載の本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

## ⚠警告

**煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く**

**電源プラグを抜く**

火災・感電につながります。
●販売店にご相談ください。

**電源プラグは、根元までしっかりと差し込む**

接触不良で火災・感電につながります。
●いたんだプラグやゆるんだコンセントは使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

**内部に水や異物などが入ったときや、キャビネットが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く**

**電源プラグを抜く**

火災・感電につながります。
●販売店にご相談ください。

**内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない**

**禁止**

火災・感電・故障につながります。
●乳幼児にご注意ください。

**電源プラグのほこりなどは取る**

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。
●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

**指定(交流100ボルト)以外の電源電圧では使わない**

**また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない**

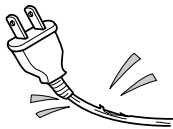
**禁止**

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

# ⚠警告

### 電源コードやプラグを破損させない

禁止

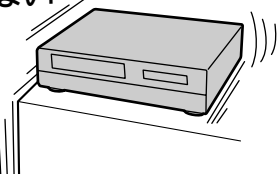
ステープルなどで
壁などに固定すると、コードが破損し、火災・感電につながります。
●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

### 水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

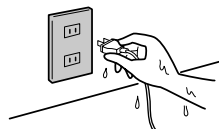
内部に水が入ると
火災・感電・故障につながります。
●水が入ったときは、販売店にご相談ください。

### ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁止

落下すると、
けがや製品の故障につながります。

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

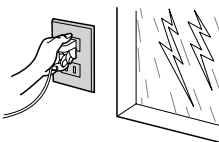
感電につながります。
●必ず、乾いた手で抜き差ししてください。

### 分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。
●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

### 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグにふれない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

# ⚠注意

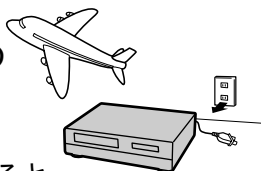
### お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

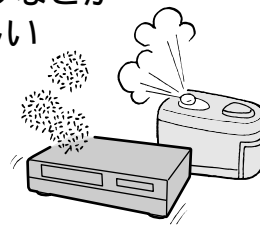
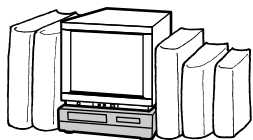
誤って内部にふれると、
感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災のおそれがあります。(テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください)

### 風通しの悪いところ、狭いところに置かない

禁止

高温になると発熱し、
火災・感電のおそれがあります。
●次のようなところに置かないでください。
・押し入れ、本箱など、風通しの悪いところ。
・じゅうたんやふとんの上。
●後面の内部冷却用ファンをふさがないでください。

### 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところに置かない

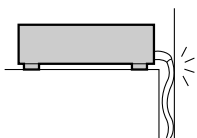
禁止

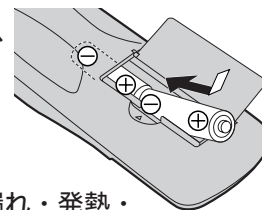
水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると、火災・感電のおそれがあります。
●1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。
(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です)
●費用についても、そのときお確かめください。

# ⚠注意

## 電源コードが無理に曲げられるような設置をしない

禁止

電源コードが破損し、火災・感電・故障のおそれがあります。

●後面は、壁から10cm以上離してください。

## 電池は、⊕ ⊖を確かめ、正しく入れる

間違えると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

## コード類を接続したまま移動させない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電・故障のおそれがあります。

●必ず、接続を外してから移動させてください。

## 電池の⊕ ⊖部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

禁止

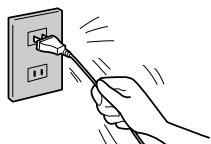
液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

## 電源コードを持って抜かない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

●必ず、電源プラグを持ってください。

## 新しい電池と古い電池をまぜて使わない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

## 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

倒れたり落下などをして、けがをするおそれがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

## 電池を分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

## アンテナ工事には技術と経験が必要です

アンテナが倒れると、けがや感電するおそれがあります。

●販売店にご相談ください。

## 充電式電池や種類が違う電池を使わない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

## カセット挿入口に指を挟まれないように注意する

指に注意

けがをするおそれがあります。

●乳幼児にご注意ください。

## 液漏れしたときは：

●万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

# 使用上のお願い

**本機やカセットは、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。**
**きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。**

## 本機の起動について

本機はハードディスクを内蔵しており、内部処理のため、電源を「入」にしてからお使いいただける状態になるまで少し時間がかかります。

HDDを起動中です。

## ハードディスクについて

本機には録画・再生用のハードディスクが内蔵されています。ハードディスクや、その中に録画されているデータが損なわれる場合がありますので、以下のことにお気を付けください。大切な映像は、テープなどにも録画して保存しておかれることをおすすめします。

- 振動や衝撃を与えない
- 本機後面の内部冷却用ファンの通風口をふさぐような狭いところに置かない
- 湿度の高いところに置かない
- 水平以外にして置かない
- 電源が「入」のときや動作中は、電源プラグをコンセントから抜かない
  →電源プラグをコンセントから抜くときは、電源が完全に「切」の状態(本体(VHS/HDD)表示窓が電源「切」の状態)になってから行ってください。
- 本機はハードディスクの容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

**■停電などが起こったときは**

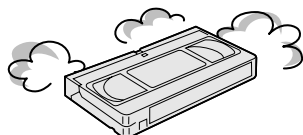
- 録画･再生中の内容や、すでにハードディスクに録画済みの番組内容などが損なわれる場合があります。

## 品質のよいカセットを使う

**■お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる**

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。

**■品質の悪いカセット(テープ)の例**

- ほこりやカビなどが付いている
- ジュースや水などの液体が付いている
- テープが波打ったりクシャクシャになっている
- テープをセロハンテープでつなぐなどの加工がしてある
- テープがたるんでいる

**■このようなカセット(テープ)を使うと**

- ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
- ビデオヘッドクリーナーの説明書もよくお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

## カセットの扱いかた

**■落としたり、激しい振動を与えたりしない**

**■お茶やジュースなど、液体をかけたりこぼしたりしない**

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

**■新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う**

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

**■使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく**

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

**■次のようなところに置いたり保管したりしない**

- 急激な温度の変化や、湿度の高いところでの保管・使用は、「露付き」の原因になります。**(➔右ページ)**
  - ・ほこりの多いところ
  - ・高温になるところ(推奨温度：15 ℃～25 ℃)
  - ・温度差が激しいところ
  - ・湿度の高いところ(推奨湿度：40 %～60 %)
  - ・湯気や油煙の出るところ
  - ・冷暖房機器に近いところ
  - ・自動車のダッシュボードの中

**■強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない**

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

## 大切な録画のとき

**■二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく**
**また、ハードディスクへ録画する場合は、試し録画のあとはハードディスクの空き容量が減っているため、試し録画した部分を消去しておく**

- 本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

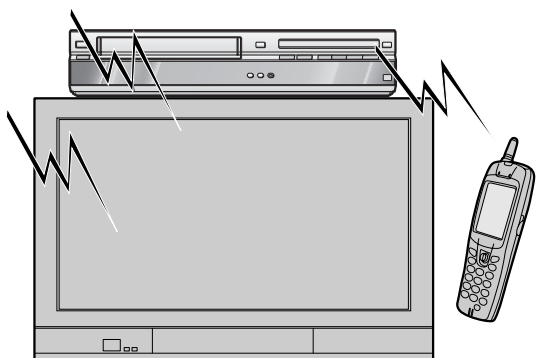
**万一、何らかの原因によりハードディスクなど本機が故障した場合、録画･録音されていた内容の補償については、ご容赦ください。**

## 前面パネルについて

本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。
このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体(VHS/HDD)表示窓の文字(時刻表示など)が見にくいことがあります。

## 使用中は

**■強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない**

- 映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりするおそれがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

## 「露付き」(つゆ)について

**■「露付き」とは**

- 冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
  このような現象を「露付き」といいます。

- 本機やカセットに「露付き」が起こったまま使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

**■「露付き」が起こりやすいとき**

- 以下のようなときは「露付き」が起こりやすい状態です。
  部屋の温度になじむまで(約2時間程度)、電源を入れたままにしておいてください。
  - ・梅雨の時期
  - ・設置した直後
  - ・本機やカセットを寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
  - ・寒い部屋を急に暖房で暖めたとき
  - ・エアコンの冷風がビデオやカセットに直接当たっているとき
  - ・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき

## 使わないとき

**■長期間(約1か月以上)使わないとき**

- テープを始端まで巻き戻してからカセットを取り出し、電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コンセントに接続されていると、電源を切っても約11ワット(時刻表示消灯時は約9.7ワット)の電力を消費しています。
- 機能を保つため、1か月に1度くらいは再生などをして、テープを走行させてください。

## お手入れについて

**■キャビネットが汚れているとき**

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

**■汚れがひどいとき**

- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
  このあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

## 著作権について

**■あなたがビデオで録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。**

- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。
  また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイ・パー・ビューでの使用に制限されます。
  この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- BSデジタル放送などでは、録画やダビングが禁止されている番組があります。
  このような番組は録画・ダビングできません。

**■商標について**

“i.LINK”は、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様、
“i”は、i.LINKに準拠した製品に付けられるロゴです。
“i.LINK”、“i”は商標です。

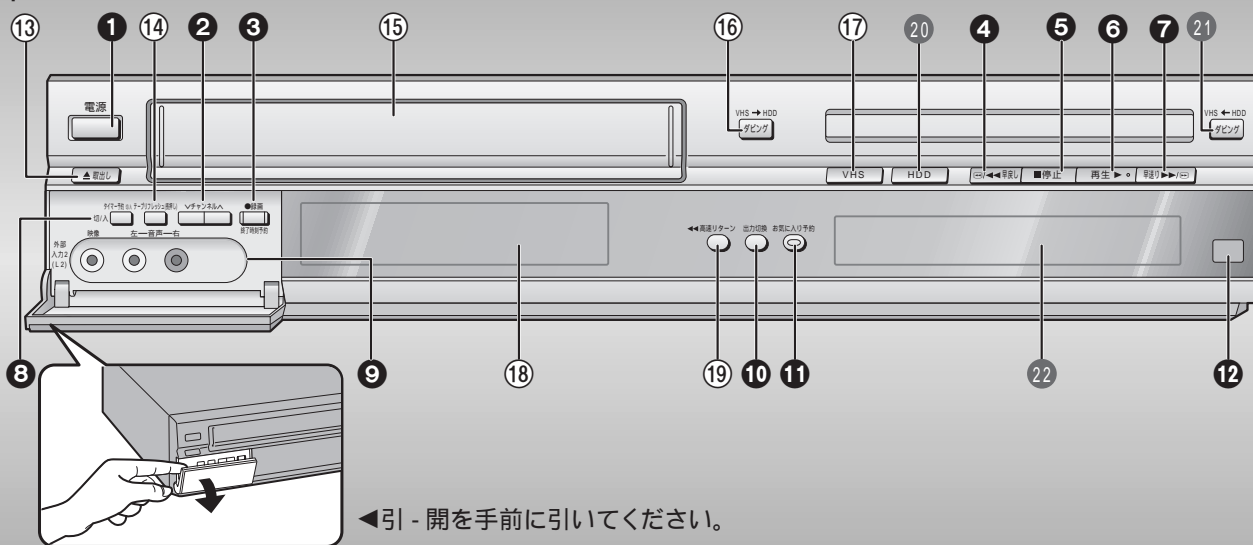
**■Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。**

- Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

# 各部の名前

詳しくは、関係するページをお読みください。

## 本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

### 前面

### ■VHS/HDD共通操作部

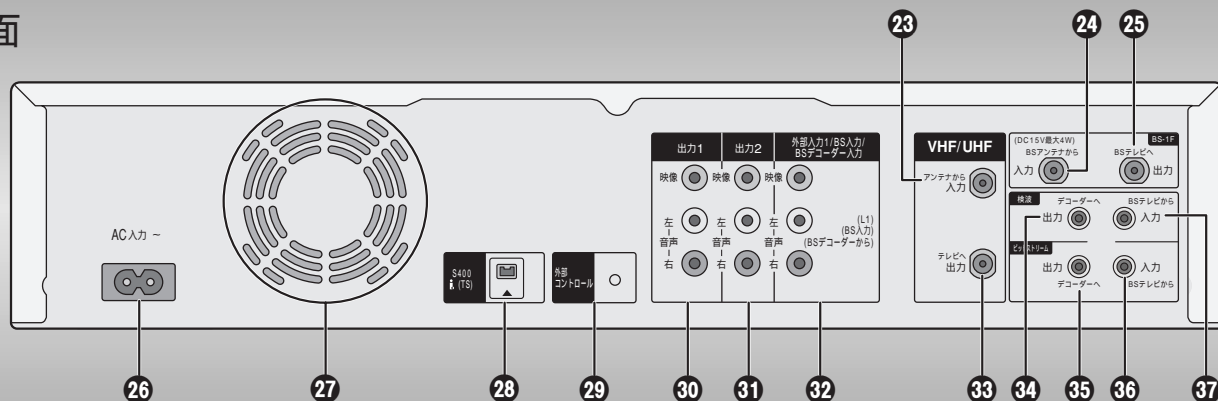
❶ 電源 ボタン ……(➜22)
❷ チャンネル ∨ ∧ ボタン(➜22·29·44·46·100)
❸ ●録画/終了時刻予約 ボタン ……(➜44〜47)
❹ ⏮/◀◀早戻し ボタン ……(➜37·40)
❺ ■停止 ボタン ……(➜37·40·44·46)
❻ 再生▶ ボタン ……(➜37·40)
❼ 早送り▶▶/⏭ ボタン ……(➜37·40)
❽ タイマー予約 切/入 ボタン ……(➜61)
❾ 外部入力2(L2)端子 ……(➜87)
(映像・音声左右)
❿ 出力切換 ボタン ……(➜22)
⓫ お気に入り予約 ボタン ……(➜57)
⓬ リモコン受信部 ……(➜15)

### ■VHS操作部

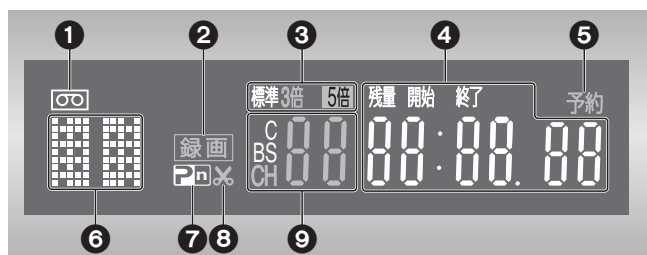
⑬ ▲取出し ボタン ……(➜37)
⑭ テープリフレッシュ(長押し) ボタン ……(➜65)
⑮ カセット挿入口 ……(➜37)
⑯ ダビング(VHS➜HDD) ボタン ……(➜81)
⑰ VHS ボタン ……(➜22)
VHSモード表示ランプ ……(➜22)
⑱ VHS表示窓 ……(➜右ページ)
⑲ ◀◀高速リターン ボタン ……(➜38)

### ■HDD操作部

⑳ HDD ボタン ……(➜22)
HDDモード表示ランプ ……(➜22)
㉑ ダビング(VHS←HDD) ボタン ……(➜80)
㉒ HDD表示窓 ……(➜右ページ)

### 後面

㉓ VHF/UHF入力(アンテナから)端子…(➜16〜18)
㉔ BS-IF入力(BSアンテナから)端子 ……(➜16〜18)
㉕ BS-IF出力(BSテレビへ)端子 ……(➜16〜18)
㉖ 電源入力ソケット ……(➜16〜18)
㉗ 内部冷却用ファン
電源「入」時はファンが回り続けています。
ふさがないでください。
㉘ i.(TS)S400(i.LINK)端子 ……(➜17·18)
㉙ 外部コントロール端子
今後、新たなサービス導入時に使用する端子です。
㉚ 出力1端子 ……(➜16〜18)
(映像・音声左右)
㉛ 出力2端子 ……(➜86)
(映像・音声左右)
㉜ 外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子
(L1/BS入力/BSデコーダーから)
(映像・音声左右) ……(➜17·18·88〜90)
㉝ VHF/UHF出力(テレビへ)端子 ……(➜16〜18)
㉞ 検波出力(デコーダーへ)端子 ……(➜89)
㉟ ビットストリーム出力(デコーダーへ)端子…(➜89)
㊱ ビットストリーム入力(BSテレビから)端子..(➜89)
㊲ 検波入力(BSテレビから)端子 ……(➜89)

# 本体(VHS/HDD)表示窓

## VHS表示窓

❶ ▭ ......(➜37)
- カセットが入っているとき。
- カセットが入っていないときに、録画、予約録画などの操作をすると点滅。

❷ **録画** ......(➜44)
- 録画中、予約録画中。

❸ **録画モード** ......(➜44)

**標準/3倍/5倍**：それぞれのモードで録画・再生中。
**標準3倍**：ぴったり録画(➜56)で予約した番組の転送直後。

❹ **メイン表示部**
- 現在時刻
- 終了時刻予約録画時
- [Gコード]表示
- テープカウンター
- テープ残量
- 予約設定時の開始時刻、終了時刻
- サービス番号(➜109)

…など

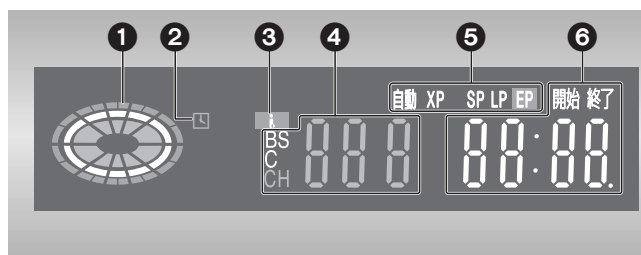
❺ **予約** ......(➜52·55)
- 予約録画の待機中、実行中。

❻ **各種動作状態**

❼ **プログラムナビ** ......(➜62)
- プログラムナビ機能「入」時。

❽ ✂ ......(➜45)
- CMカット録画時。

❾ **チャンネル番号**
- テレビ放送受信中、予約録画操作中。
- テープリフレッシュ時。

## HDD表示窓

❶ **動作リング**
- 各種動作状態を表示。
  外側(赤)リング：録画操作時に回転。
  中間(白)リング：再生操作時に回転。
  内側リング：ハードディスクの残量に合わせて点灯。

残量がハードディスクのほぼ全部　残量が約半分　残量が0に近い　残量が0のとき

❷ ◷(予約) ......(➜52·55)
- 予約モード(予約スタンバイモード)中、実行中。

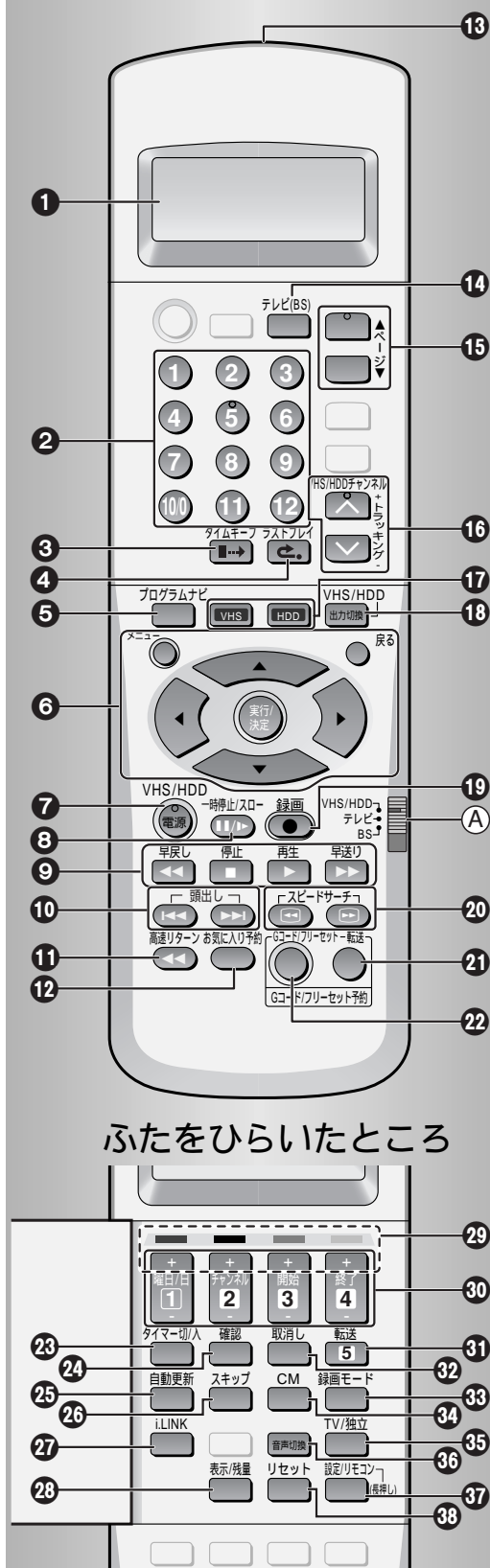
❸ i ......(➜73)
- i.LINK機器から映像・音声・データを入力中。
- 再生中。
- 本機のチューナーで受信している地上波(VHF/UHF)番組やアナログBS放送、外部入力からのアナログ映像・音声をデジタルに変換(エンコード)して、i(TS)(i.LINK入出力)端子から出力しているとき。

❹ **チャンネル番号**
- テレビ放送受信中、予約録画操作中。

❺ **録画モード** ......(➜46·73)

**自動**：通常、BSデジタル放送を録画するときに使用します。番組の放送信号をそのまま記録しますので、HD放送、データ放送、マルチビュー放送を録画することができます。
**XP**：XPモードで録画中。
**SP**：SPモードで録画中。
**LP**：LPモードで録画中。
**EP**：EPモードで録画中。

❻ **メイン表示部**
- 現在時刻
- 終了時刻予約録画時
- [Gコード]表示
- 予約設定時の開始時刻、終了時刻
- サービス番号(➜109)

…など

## リモコン(VHS/HDD操作部)

VHS は、VHS部専用の操作です。
HDD は、HDD部専用の操作です。

Ⓐ **VHS/HDD/テレビ/BS スイッチ**
**本機の操作をするときは、必ず[VHS/HDD]を選んでください。**[VHS/HDD]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **リモコン表示部**
❷ **❶～⓬ボタン**.........................(→23·29·44·46·52)
❸ HDD **タイムキープ ボタン**.........................(→48)
❹ HDD **ラストプレイ ボタン**.........................(→43)
❺ **プログラムナビ ボタン**.........................(→62·66)
❻ **メニュー ▲ ▼ ◀ ▶**
**実行/決定 戻る ボタン**.........................(→23·96)
❼ **VHS/HDD電源 ボタン**.........................(→22)
❽ **一時停止/スロー ボタン**.........................(→38·41·44·46)
❾ **早戻し◀◀ 停止■**
**再生▶ 早送り▶▶ ボタン**.........................(→37·40)
❿ **頭出し ボタン**.........................(→64·70)
⓫ VHS **高速リターン◀◀ ボタン**.........................(→38)
⓬ HDD **お気に入り予約 ボタン**.........................(→57)
⓭ **リモコン送信部**.........................(→15)
⓮ **テレビ(BS) ボタン**.........................(→23)
従来のアナログBSチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押したあと、約10秒以内に❺、❼、⓫を押してください。(例：BS 7chの場合、テレビ(BS)→❼)
⓯ **ページ ▲ ▼ ボタン**.........................(→66)
⓰ **VHS/HDDチャンネル ボタン**.........................(→29·44·46)
VHS **トラッキング ＋ − ボタン**.........................(→100)
⓱ **VHS HDD ボタン**.........................(→22)
⓲ **VHS/HDD出力切換 ボタン**.........................(→22)
⓳ **録画● ボタン**.........................(→44～46)
⓴ **スピードサーチ ボタン**.........................(→39)
㉑ **転送 ボタン**.........................(→29·52·55)
㉒ **Gコード/フリーセット ボタン**.........................(→52·54)
㉓ **タイマー 切/入 ボタン**.........................(→61)
㉔ **確認 ボタン**.........................(→59)
㉕ HDD **自動更新 ボタン**.........................(→58)
㉖ HDD **スキップ ボタン**.........................(→42)
㉗ HDD **i.LINK ボタン**.........................(→24·73·82)
㉘ **表示/残量 ボタン**.........................(→92·93)
㉙ HDD **カラー 青 赤 緑 黄 ボタン**.........................(→67)
㉚ **曜日/日 チャンネル 開始 終了 ボタン**.........................(→20·34·54·78)
㉛ **転送 ボタン**.........................(→55·79)
㉜ **取消し ボタン**.........................(→25·32·52·55·59)
㉝ **録画モード ボタン**.........................(→44·46·73)
㉞ VHS **CM ボタン**.........................(→45·57)
㉟ **TV/独立 ボタン**.........................(→94)
㊱ **音声切換 ボタン**.........................(→94)
㊲ **設定/リモコン(長押し) ボタン**.........................(→20·29·34·98)
㊳ VHS **リセット ボタン**.........................(→92)

本書では、本体のボタン名を 再生▶、リモコンのボタン名を 再生▶ や❶などで示し、「各部の名前」以外のページでは“ボタン”を省略しています。

## リモコン(テレビ操作部)

**実際の操作内容についてはテレビの説明書をお読みください。**

**BS** は、BSデジタルチューナー内蔵テレビ専用の操作です。

Ⓐ **VHS/HDD/テレビ/BS スイッチ**
**テレビの操作をするときは、必ず[テレビ]を選んでください。**[テレビ]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **入力 ボタン**……(➜22·45·47)

❷ **テレビ電源 ボタン**……(➜20)

❸ **❶～⓬ボタン**……(➜20·45·47·73)

❹ **メニュー ▲ ▼ ◀ ▶ 実行/決定 戻る ボタン**……(➜76)
メニュー操作をするとき。

❺ **テレビ(BS) ボタン**
従来のアナログBSチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押したあと、約10秒以内に❺、❼、❾、⓫を押してください。(例：BS 7chの場合、テレビ(BS)→❼)

**BS** **テレビ(BS) ボタン**……(➜73)
BSデジタル放送のチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押したあと、約10秒以内に❶～⑩/0 を押してください。(BSデジタルチューナー内蔵テレビにプリセットされているチャンネルを選べます)
(例：BS 101chの場合、テレビ(BS)→❶)

❻ **テレビチャンネル ∧ ∨ ボタン**……(➜45·47)

❼ **音量 ボタン**

❽ **BS** **チャンネル番号入力 ボタン**……(➜73)
BSデジタル放送のチャンネルを選ぶとき。
例：BSデジタル103チャンネルの場合、
チャンネル番号入力→❶→⑩/0→❸と押す。

❾ **BS** **番組ナビ ボタン**……(➜76)
番組ナビ画面を表示させるとき。

❿ **BS** **番組表 ボタン**
BSデジタル放送の番組表を表示させるとき。

⓫ **BS** **元の画面 ボタン**
番組ナビや番組表、機器ナビなどのメニュー画面の状態から選局している放送の画面に戻すとき。

⓬ **BS** **映像切換 ボタン**
複数の映像がある番組やマルチビューなどで、他の映像に切り換えるとき。

⓭ **BS** **放送切換 ボタン**
BSデジタル放送とその他の放送を切り換えるとき。

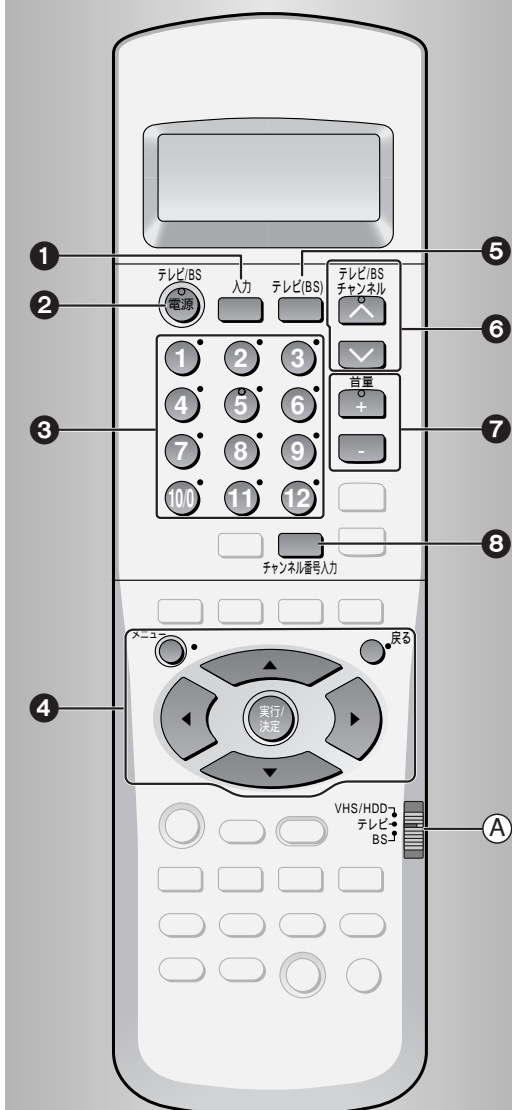
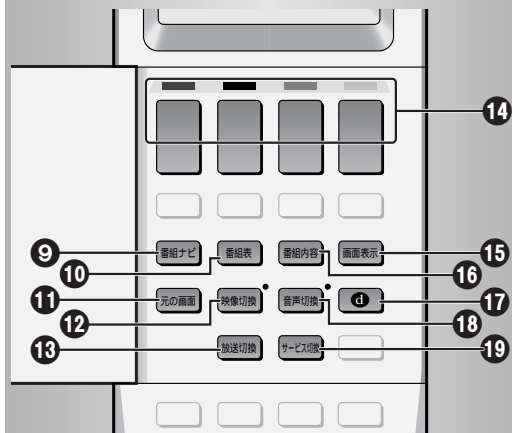
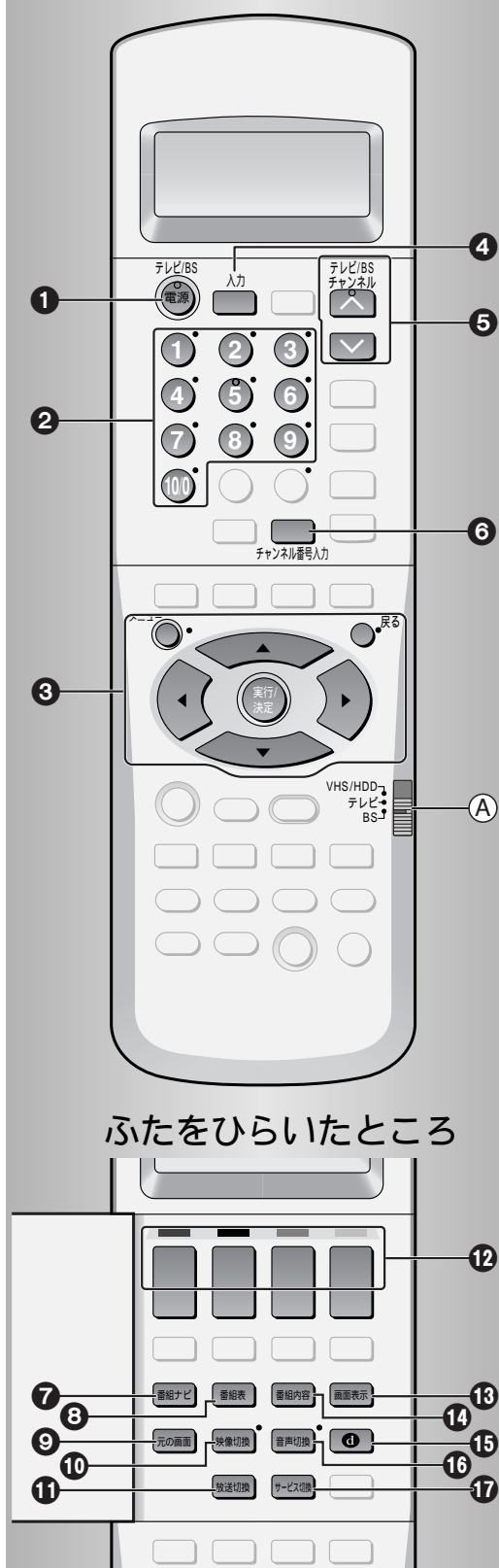
⓮ **BS** **青 赤 緑 黄 ボタン**
番組表で日付を切り換えるとき、画面に各色ボタンが使える表示があるときなど。(接続のしかたや録画方式によっては働かないことがあります)

⓯ **BS** **画面表示 ボタン**
現在選局中の番組の情報を表示させるとき。

⓰ **BS** **番組内容 ボタン**
番組の出演者一覧など、番組詳細内容を表示させるとき。(番組によっては、表示されないことがあります)

⓱ **BS** **d ボタン**
データがある番組やデータ放送でデータを表示させるとき。(接続のしかたや録画方式によっては働かないことがあります)

⓲ **BS** **音声切換 ボタン**
複数の音声がある番組などで、他の音声に切り換えるとき。

⓳ **BS** **サービス切換 ボタン**
選局中の放送事業者のサービス(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えるとき。(1つしかないときは切り換えできません)

## リモコン
### (BSデジタルチューナー操作部)

**実際の操作内容についてはチューナーの説明書をお読みください。**

Ⓐ **VHS/HDD/テレビ/BS スイッチ**
**BSデジタルチューナーの操作をするときは、必ず[BS]を選んでください。**
[BS]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **BS電源 ボタン**……(➜21)

❷ **❶～⑩/0 ボタン**……(➜73)

❸ **メニュー ▲ ▼ ◀ ▶**
**実行/決定 戻る ボタン**……(➜76)
メニュー操作をするとき。

❹ **入力 ボタン**
BSデジタル放送画面とi.LINK接続機器の映像を切り換えるとき。

❺ **BSチャンネル ∧ ∨ ボタン**

❻ **チャンネル番号入力 ボタン**……(➜73)
BSデジタル放送のチャンネルを選ぶとき。
例：BSデジタル103チャンネルを選ぶには、
チャンネル番号入力 →❶→ ⑩/0 →❸と押す。

❼ **番組ナビ ボタン**……(➜76)
番組ナビ画面を表示させるとき。

❽ **番組表 ボタン**
番組表を表示させるとき。

❾ **元の画面 ボタン**
番組ナビや番組表、機器ナビなどのメニュー画面の状態から選局している放送の画面に戻すとき。

❿ **映像切換 ボタン**
複数の映像がある番組やマルチビューなどで、他の映像に切り換えるとき。

⓫ **放送切換 ボタン**
BSデジタル放送とその他の放送を切り換えるとき。

⓬ **カラー 青 赤 緑 黄 ボタン**
番組表で日付を切り換えるとき、画面に各色ボタンが使える表示があるときなど。
(接続のしかたや録画方式によっては働かないことがあります)

⓭ **画面表示 ボタン**
現在選局中の番組の情報を表示させるとき。

⓮ **番組内容 ボタン**
番組の出演者一覧など、番組詳細内容を表示させるとき。
(番組によっては、表示されないことがあります)

⓯ **d ボタン**
データがある番組やデータ放送でデータを表示させるとき。
(接続のしかたや録画方式によっては働かないことがあります)

⓰ **音声切換 ボタン**
複数の音声がある番組などで、他の音声に切り換えるとき。

⓱ **サービス切換 ボタン**
選局中の放送事業者のサービス(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えるとき。(1つしかないときは切り換えできません)

## 設置の手順

**次の手順で設置してください。**

**1 リモコンの準備をする**
❶ リモコンに電池を入れる ..........................(➜右記)

**2 アンテナ、テレビ、チューナーと接続する**
❶ VHF/UHFアンテナ、BSアンテナ、テレビまたはBSデジタルチューナー(内蔵テレビ)と接続する........................................(➜16〜18)
- BSアンテナ、BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)は、BS放送をご覧になる方のみ必要です。
- 時刻表示を確認する ...............................(➜19)

❷ テレビ・チューナーを操作できるようにする.............................................................(➜20)
❸ テレビに本機の画面を出す ........................(➜22)
④ BSアンテナに電源を送る ..........................(➜23)
- アナログBS放送をご覧になる方のみ必要です。

❺ i.LINK機器が正しく登録できているか確かめる.....................................................(➜24)
❻ BSデジタル番組を長時間録画・アナログ録画できるようにする(BS入力) ...............(➜28)
- BSデジタル放送をご覧になる方のみ必要です。

**3 受信チャンネルを設定する**
❶ 市外局番入力チャンネル設定 ....................(➜29)
❷ マニュアルチャンネル設定 ........................(➜32)
- Gコード予約をするためのガイドチャンネルは必ず設定しておいてください。

❸ リモコンの予約チャンネル表示を設定する........................................................(➜34)

**■さらにCATV放送、WOWOW(アナログ)、CSデジタル放送もお楽しみになる方**
- 詳しくは88〜90ページをお読みください。
- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- WOWOW(アナログ)をご覧になるには、株式会社WOWOWとの受信契約とBSデコーダー(別売)が必要です。
- CSデジタル放送をご覧になるには、CSデジタルチューナー(別売)が必要です。また、それぞれの放送会社との受信契約が必要です。

## 各表示イラストについて

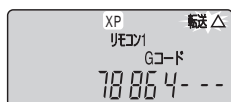
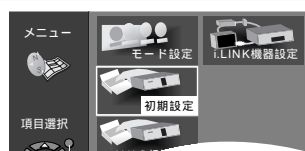
本書では、各操作手順に記載しているイラストを次のように表示しています。

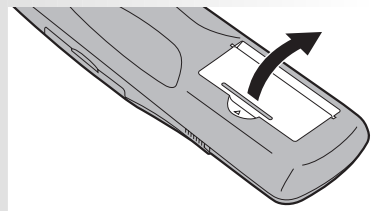
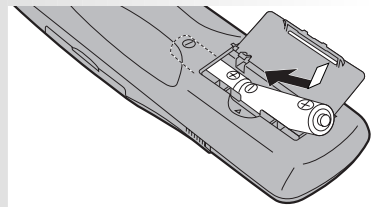
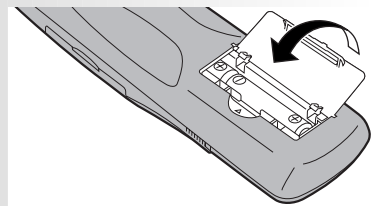
**●本体(VHS/HDD)表示窓**

**VHS表示窓**

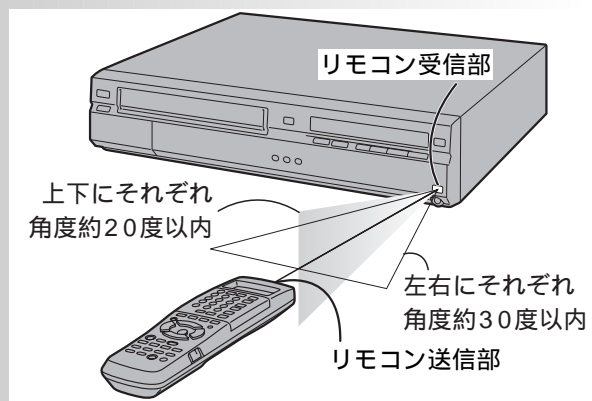
**HDD表示窓**

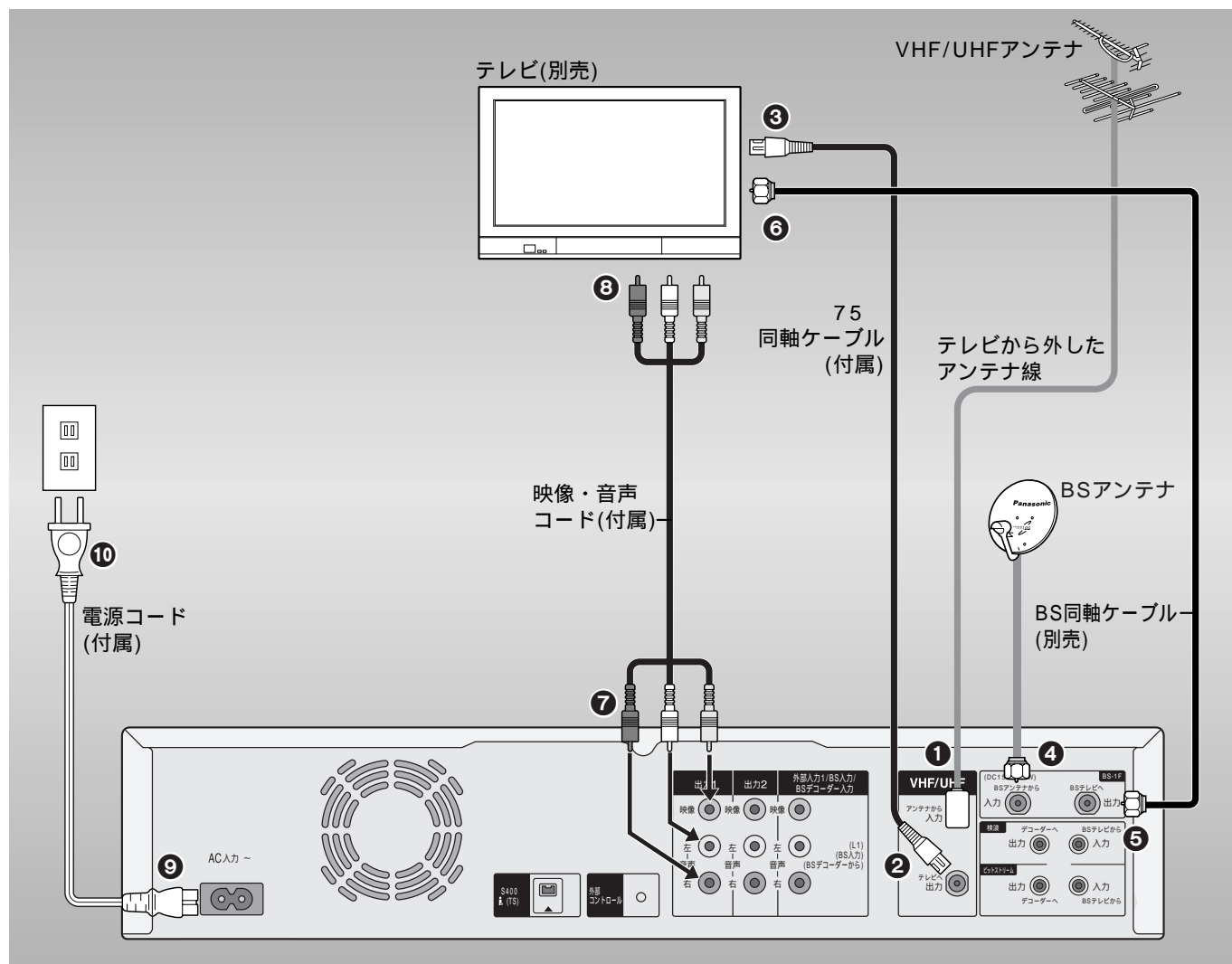
**●リモコン表示部**

XP 転送
リモコン1
Gコード
78864- - -

**●テレビ画面**

## リモコンに電池を入れる

**1 ふたを開ける**

**2 単3形乾電池(付属)を入れる**
- ⊕⊖を確認してください。

**3 ふたを元どおり閉じる**

- リモコン表示部が薄暗くなってきたら、電池を交換してください。(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
- 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(➜20)、BSデジタルチューナーメーカー番号(➜21)、リモコンモード(➜98)を合わせ直してください。
- 充電式電池(Ni-Cd(ニッケルカドミウム)など)は使わないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1か月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

### 操作のしかた

**リモコン受信部に向け、確実にボタンを押す**

- 操作できる範囲は正面で約7m以内、角度は左右に約60度、上下に約40度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

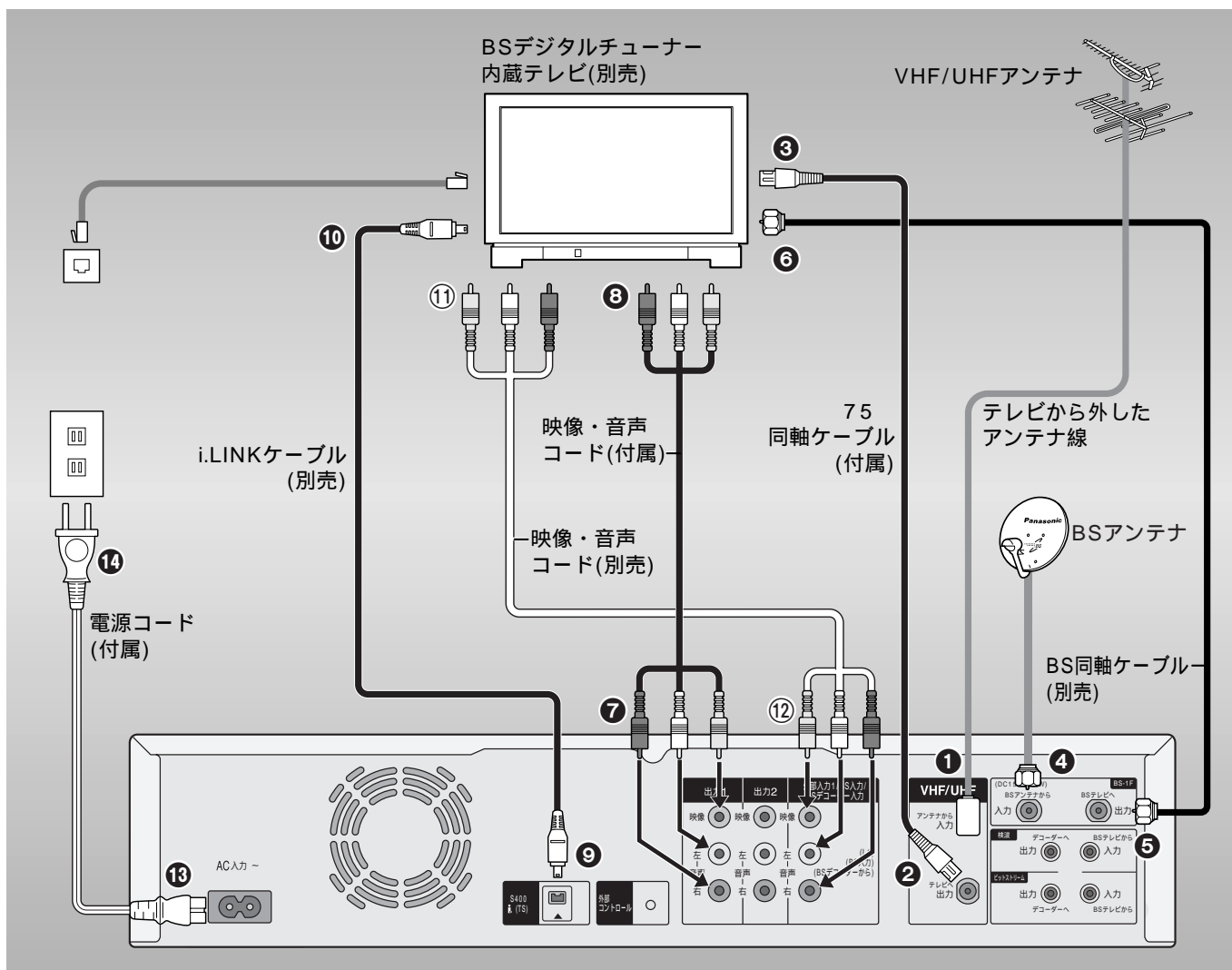
# VHF/UHFアンテナ、BSアンテナ、テレビと接続する

❶ **VHF/UHF入力端子へ**
❷ **VHF/UHF出力端子へ**
❸ **VHF/UHFアンテナ入力端子へ**
❹ **BS-IF入力端子へ**
❺ **BS-IF出力端子へ**
❻ **BS-IF入力端子へ**
❼ **出力1(映像・音声)端子へ**
❽ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**
❾ **電源入力ソケットへ**
❿ **ご家庭の電源コンセントへ**

**■お願い/ヒント**
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- テレビの説明書もお読みください。

**■BSアンテナとの接続(❹～❻)について**
- マンションなどにお住まいで、アンテナ信号が共聴受信の方は19ページをお読みください。
- お使いのテレビにアナログBSチューナーが内蔵されていない場合は、**❺～❻の接続は不要です。**
- 本機で受信できるのは、アナログBS放送だけです。

**■アンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき**
- 別売の部品や加工が必要です。
詳しくは、販売店にご相談ください。

**テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないときは、本機と接続することはできません。**

# BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する

❶ **VHF/UHF入力端子へ**
❷ **VHF/UHF出力端子へ**
❸ **VHF/UHFアンテナ入力端子へ**
❹ **BS-IF入力端子へ**
❺ **BS-IF出力端子へ**
❻ **BS-IF入力端子へ**
❼ **出力1(映像・音声)端子へ**
❽ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**
❾ **(TS)(i.LINK入出力)端子へ**
❿ **(i.LINK)端子へ**
⑪ **出力1(映像・音声)端子へ**
⑫ **外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力(映像・音声)端子へ**
（⑪⑫ BS入力時に必要(➜28)）
⓭ **電源入力ソケットへ**
⓮ **ご家庭の電源コンセントへ**

### ■お願い/ヒント

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- i.LINKケーブル(別売)は、4ピンタイプで、S400対応のものをお使いください。
- チューナー内蔵テレビの説明書もお読みください。
- 110度CSデジタル放送対応のチューナー内蔵テレビに接続する場合は、アンテナ、分配器、ブースター等が110度CSデジタル放送に対応している必要があります。また、接続方法も異なりますので、詳しくは販売店にご相談ください。

### ■BSアンテナとの接続(❹～❻)について

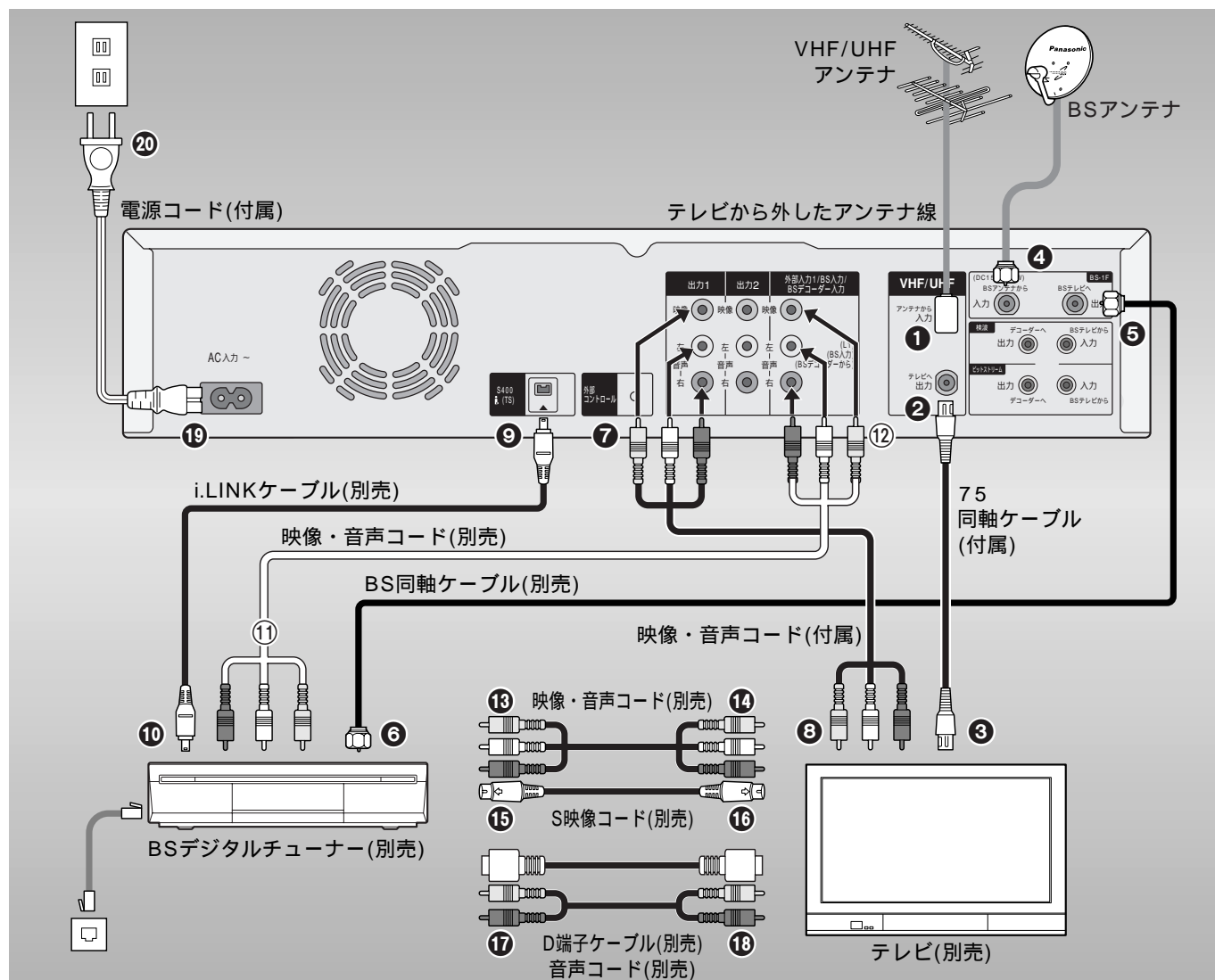
- マンションなどにお住まいで、アンテナ信号が共聴受信の方は19ページをお読みください。

### ■⑪～⑫の接続について

- ❶～❿と⓭～⓮だけでも通常の操作はできますが、⑪～⑫の接続をしないと、BSデジタル番組をアナログ入力(BS入力)することはできません。
  また、接続したあとBS入力の設定が必要です。**(➜28)**
- ⑪～⑫の接続をしたときは、
  **当社製チューナー内蔵テレビの場合**
  本機の出力をテレビの「ビデオ入力１」端子に接続(❼～❽)し、テレビ側のメニューに[モニター出力]設定があるときは、**[しない]**にしてください。
  また、テレビ側のメニューに[アナログ接続]設定機能があるときは、設定されることをおすすめします。
  **当社製以外のチューナー内蔵テレビの場合**
  発振によるノイズが生じることがあります。
  このときは、テレビの入力切換ボタンで、テレビ側の入力を切り換えてください。

### ■アンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき

- 別売の部品や加工が必要です。
  詳しくは、販売店にご相談ください。

# BSデジタルチューナー、テレビと接続する

❶ VHF/UHF入力端子へ
❷ VHF/UHF出力端子へ
❸ VHF/UHFアンテナ入力端子へ
❹ BS-IF入力端子へ
❺ BS-IF出力端子へ
❻ BS-IF入力端子へ
❼ 出力1(映像・音声)端子へ
❽ ビデオ入力(映像・音声)端子へ
❾ i(TS)(i.LINK入出力)端子へ
❿ i(i.LINK)端子へ
⑪ 出力1(映像・音声)端子へ
⑫ 外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力(映像・音声)端子へ
（⑪⑫：BS入力時に必要(➔28)）
⓭ 出力2(映像・音声)端子へ
⓮ ビデオ入力(映像・音声)端子へ
⓯ 出力2(S映像)端子へ
⓰ ビデオ入力(S映像)端子へ
⓱ コンポーネントビデオ出力(D映像・音声)端子へ
⓲ コンポーネントビデオ入力(D映像・音声)端子へ
⓳ 電源入力ソケットへ
⓴ ご家庭の電源コンセントへ

**テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないときは、本機と接続することはできません。**

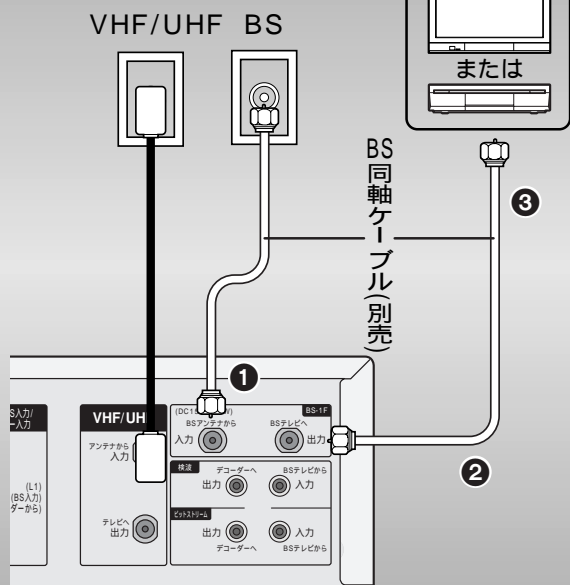
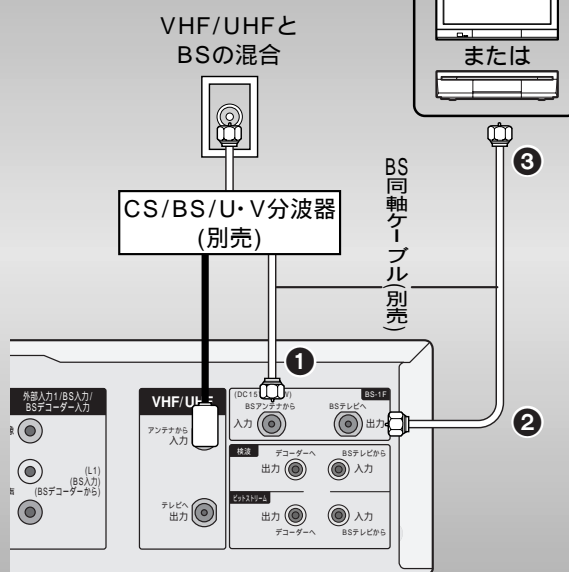
### ■お願い/ヒント
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- i.LINKケーブル(別売)は、4ピンタイプで、S400対応のものをお使いください。
- チューナー、テレビの説明書もお読みください。
- 110度CSデジタル放送対応のチューナーに接続する場合は、アンテナ、分配器、ブースター等が110度CSデジタル放送に対応している必要があります。また接続方法も異なりますので、詳しくは販売店にご相談ください。

### ■BSアンテナとの接続(❹～❻)について
- マンションなどにお住まいで、アンテナ信号が共聴受信の方は右ページをお読みください。

### ■⑪～⑫の接続について
- ❶～❿と⓭～⓴だけでも通常の操作はできますが、⑪～⑫の接続をしないと、BS入力でBSデジタル番組をアナログ入力(BS入力)することはできません。
また、接続したあとBS入力の設定が必要です。**(➔28)**

### ■チューナーとテレビにコンポーネントビデオ端子があるとき
- チューナーとテレビを⓱～⓲のように、D端子ケーブル(別売)と音声コード(別売)で接続してください。
この接続をしないと、ハイビジョン映像はお楽しみいただくことができません。

### ■アンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき
- 別売の部品や加工が必要です。
詳しくは、販売店にご相談ください。

## 共聴受信(マンションなど)でBSアンテナ、テレビと接続する

❶ BS-IF入力端子へ
❷ BS-IF出力端子へ
❸ BS-IF入力端子へ

**■お願い/ヒント**

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- ❷～❸はテレビ、またはチューナーでBS放送を受信するために必要です。
  ただし、❸の接続先として、BSデジタルチューナーやアナログBSチューナーが内蔵されていないテレビをお使いの場合は、❷～❸の接続は不要です。
- 本機で受信できるのは、アナログBS放送だけです。
- 本機は高感度BSチューナー(はっきりチューナー)を内蔵しており、多少の悪天候でもきれいな映像をお楽しみいただけます。
- 雷雨や豪雨のときや、アンテナに雪が付いたときなどは、一時的に映像や音声にノイズが出たり、ひどいときにはまったく受信できなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、BSアンテナや本機の故障ではありません。
- BS放送は、放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が中断されるときがあります。
- 本機のBS-IF入力端子･BS-IF出力端子は、110度CSデジタル放送には対応していません。110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、販売店にご相談ください。

**■BSアンテナを接続して電源を入れると、本体(VHS/HDD)表示窓に“U50”が表示されたとき**

- BSアンテナ線などのショートが考えられます。
  本機後面のBS-IF入力端子に接続しているBSアンテナ線がショートしていないことを確かめ、正しく接続し直してください。
- 接栓付きBSアンテナ線を接続してください。
- BSアンテナ線以外のものは接続しないでください。

**CATV放送やWOWOW(アナログ)放送、CSデジタル放送などをお楽しみいただくために必要な接続については、88～90ページをお読みください。**

## 時刻表示を確認する

- 電源を「入」にすると、本体(VHS/HDD)表示窓に現在の時刻が表示されます。表示された時刻が合っているか確認してください。電源を「切」にすると、VHS表示窓にのみ、現在時刻が表示されます。

11:19

- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
  自動バックアップ機能(**➜下記**)で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。
- ただし、以下のときは合わせ直してください。**(➜99)**
  ・誤差が2分以上あるとき
  ・“ 0：00 ”で点滅しているとき

**■自動バックアップ機能について**

- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。**(➜99)**

# テレビ・チューナーを操作できるようにする（メーカー設定）

## テレビのメーカーを合わせる

**本機のリモコンでテレビの操作ができます。**

**準備** ● テレビの電源を入れる。

**1** **VHS/HDD/テレビ/BS を［テレビ］にする**

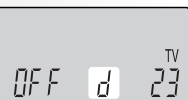
**2** **設定/リモコン(長押し) を“ ☎ ”が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに2回押す**

**3** **＋終了－ でメーカー番号を合わせる**

● テレビに向けて操作してください。
● 番号が合うと、テレビの電源が切れます。
● 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。

**操作できるテレビメーカー・一覧表**

| メーカー名 | 番号 | メーカー名 | 番号 |
| --- | --- | --- | --- |
| 松下 | ❶ ❿ ㉒ ㉓ | パイオニア | ⓭ |
| アイワ | ⑱ | ビクター | ⓮ |
| NEC | ❻ ⓯ | 日立 | ❺ ⓴ |
| 三洋 | ⑦ ⑯ | 富士通ゼネラル | ⑨ |
| シャープ | ② ⑪ ㉑ | フナイ | ⑲ |
| ソニー | ❸ ⓱ | 三菱 | ⑧ ⓬ |
| 東芝 | ❹ | | |

**BSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの方のみ、**
**開始 で“ d ”を表示させる**

● 一覧表の番号が、❶ ❸ ❹ ⑦ ⓬ ⓮ ⓴ ㉑ ㉒ ㉓ の方のみ設定できます。
● **A**：従来のテレビ
　**d**：BSデジタルチューナー内蔵テレビ
● 当社製BSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの方で、BSデジタルチャンネルの選局操作が、
・ チャンネル番号入力 →❶～ 10/0 (VHF/UHF兼用ボタン)
　の場合は、❶を選んでください。
　TH-36(または32、28)DH100、
　TH-36(または32、28)D100など
・ チャンネル番号入力 →❶～ 10/0 (BSデジタル専用ボタン)
　の場合は、㉓を選んでください。
　TH-36(または32、28)D10、
　TH-36(または32、28)D20など

**4** 「今すぐ再生」(➔右ページ)を働かせたいときのみ、
**チャンネル で“ On ”を表示させる**

● 手順3で、“ ②⑦⑧⑨⑪⑯⑱⑲㉑ ”の番号に設定したときは働きません。

**5** **ふたを閉じ、終了する**

**6** **正しく操作できることを確かめる**

● テレビ電源 でテレビの電源を入れ、チャンネル切換や音量調節などをしてみてください。

■ふたをひらいたところ

■お願い/ヒント
- 一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。

■今すぐ再生について
- リモコンの 再生▶ または プログラムナビ を押すと、テレビの入力が自動的に[ビデオ1]になります。(テレビの入力を[ビデオ1]にする信号も同時に出すようになります)
  このため、本機後面の出力1端子に接続した映像・音声コードは、必ずテレビのビデオ1端子に接続してください。
- すでにテレビのビデオ1端子を他の接続でお使いのときは、「今すぐ再生」機能を働かせないでください。
  (“ OFF ”を表示させる)
- チューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、「今すぐ再生」機能を働かせないでください。
  (“ OFF ”を表示させる)

## BSデジタルチューナーのメーカーを合わせる

**本機のリモコンでBSデジタルチューナーの操作ができます。**

準備 ● チューナーの電源を入れる。

**1** **VHS/HDD/テレビ/BS を[BS]にする**

**2** **設定/リモコン(長押し) を“ ☎ ”が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに2回押す**

**3** **＋終了－ でメーカー番号を合わせる**

- チューナーに向けて操作してください。
- 番号が合うと、チューナーの電源が切れます。
- 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。

**操作できるBSデジタルチューナーメーカー・一覧表**

| メーカー名 | 番号 | メーカー名 | 番号 |
|---|---|---|---|
| 松下 | ❶❷❸ | パイオニア | ⓯⓰⓱ |
| 三洋 | ㉒ | ビクター | ⓬ |
| シャープ | ⓭ | 日立 | ❹❺❻ |
| ソニー | ❿ | マスプロ電工 | ⓲⓳⓴㉑ |
| DXアンテナ | ⓮ | 三菱 | ❼❽❾ |
| 東芝 | ⓫ | | |

**4** **ふたを閉じ、終了する**

**5** **正しく操作できることを確かめる**
- BS電源 でチューナーの電源を入れ、チャンネル切換などをしてみてください。

■お願い/ヒント
- 一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できないときは、チューナーに付属のリモコンで操作してください。

# テレビに本機の画面を出す

**テレビに本機の画面を出し、正しく接続できたかどうか確かめてください。**
**テレビで本機の画面を見るときも、下記の操作を行ってください。**

**1** **VHS/HDD/テレビ/BS を[テレビ]にする**

**2** **入力 を押し、テレビの入力をビデオ入力に切り換える**

- 例えば、テレビのビデオ1端子に接続しているときは[**ビデオ1**]にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

**3** **VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする**

**4** **VHS/HDD電源 を押し、電源を入れる**

**5** **VHS/HDDチャンネル∧ ∨を押すなどして、本機の画面が映っていることを確かめる**

- 電源を入れた直後は、電源を切る前の操作モード(VHS／HDD)になっています。
- メニュー を押してメニュー画面を出すか、VHS を押してVHSモードにし、録画済みのカセットを再生しても、テレビに本機の画面が映っているかどうか確かめることができます。

# VHS/HDDモードを切り換える

**再生や録画など、本機を操作するときは、操作したいモード(VHS/HDD)に切り換えてから行ってください。**

**VHSモードにするには**

**VHS を押す**

- 本体前面部のVHSモード表示ボタン/ランプが橙色に点灯します。
- メニューの[オンスクリーン](**➜96**)が[自動]になっているときは、テレビ画面の右下に VHS マークが数秒間表示されます。

**HDDモードにするには**

**HDD を押す**

- 本体前面部のHDDモード表示ボタン/ランプが緑色に点灯します。
- メニューの[オンスクリーン](**➜96**)が[自動]になっているときは、テレビ画面の右下に HDD マークが数秒間表示されます。

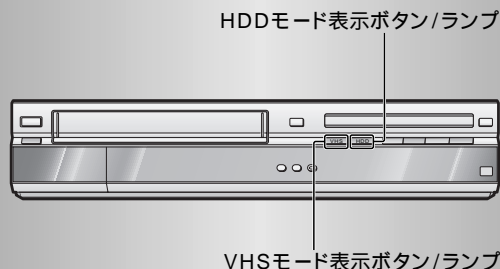
**■映像の出力モード(VHS ↔ HDD)を一時的に切り換える**

**VHS/HDD 出力切換** をポンと短く押す。

- 別の映像出力モードに約3秒間だけ切り換わり、そのあと、現在の出力モードに戻ります。
- 押し続けると、押している間だけ別の映像出力モードに切り換わり、指を離すと約3秒後に現在の出力モードに戻ります。
- 一時的に映像出力モードが切り換わっても、本体前面部のモード表示ボタン/ランプの点灯は切り換わりません。

**■お願い/ヒント**

- モードの切り換え時は、映像が乱れる場合があります。

# BSアンテナに電源を送る

**BSアンテナには電源が必要です。BSアンテナ線の接続状態に合わせてBS電源を設定します。**

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜左ページ)**
- **VHS/HDD/テレビ/BS** を**[VHS/HDD]**にする。

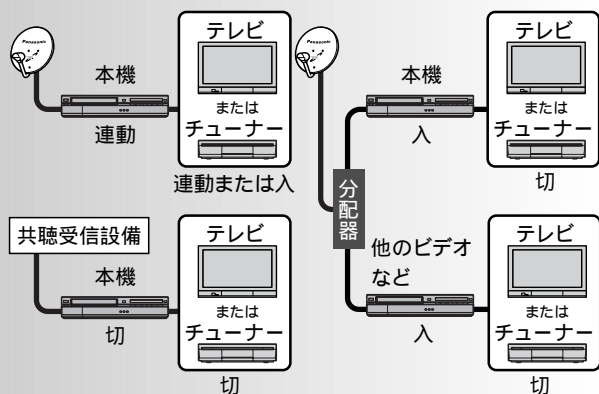
## 1 テレビ(BS)→⑦と押し、BS-7チャンネルを選ぶ

- 選べないときは、マニュアルチャンネル設定で「BSチャンネルの設定」**(➜33)**手順5のあと、以下の手順5からの操作を行ってください。

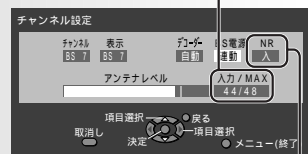
## 2 メニュー を押す

## 3 ▼ で[初期設定]を選び、実行/決定 を押す

## 4 [チャンネル設定]が選ばれている状態で、実行/決定 を押す

## 5 ◀ ▶ で[BS電源]を選び、▲ ▼ で設定する

- **BSアンテナを直接本機に接続したとき…[連動]**
  本機でBSチャンネルを選んだときや、テレビからBS電源が出力されているときのみ、本機からBSアンテナへ電源を供給します。
- **共聴受信設備(マンションなど)のとき…[切]**
  常に本機からBSアンテナへ電源を供給しません。
- **分配器で電波を分けているとき…[入]**
  常に本機からBSアンテナへ電源を供給します。

## 6 アンテナレベルを確認する

- BSアンテナの口径や設置状態、地域、気象条件などにもよりますが、[入力]値が**40以上**になっていることが目安です。
- **[入力]値が0のとき**
  BSアンテナの向きや、接続を確かめてください。
- **[入力]値が低い(映りが悪い)とき**
  BSアンテナの向きを微調整してください。(正しい方向から少しでもずれるときれいに受信できません)
- [MAX]とは、BSアンテナの向きを調整している間で、受信状態のいちばん良かったときの数値です。[入力]値がこの数値に近づくように調整してください。

**NR(ノイズ・リダクション)について**
◀ ▶ で[NR]を選び、▲ ▼ で[入]にしておくと、BS放送の受信状態に合わせて自動ノイズリダクション機能が働き、画面上の細かいノイズをおさえてくれます。(工場出荷時は[入])

## 7 メニュー を押す

**■お願い/ヒント**
- BSデジタルチューナーおよびアナログBSチューナー内蔵テレビ、またはBSデジタルチューナーをお使いのときは、本機の電源が切れているときにもテレビ、またはチューナー側でBS放送が受信できるかどうか確かめてください。(テレビ、またはチューナーの説明書もお読みください)

この設定はHDDモードのみ働きます。

## i.LINK（アイリンク）機器を登録する

**チューナー(内蔵テレビ)やCSデジタルチューナーなどのi.LINK機器をi.(i.LINK入出力)端子に接続すると、自動的にi.LINK機器番号が登録されます。**

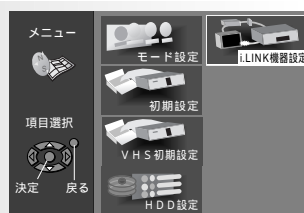
- 接続のしかた(➜17･18･90)
- i.LINK機器番号は、接続した順番に付きます。
- i.LINK接続について、詳しくは解説をお読みください。(➜113)

## i.LINK（アイリンク）機器の一覧を見る

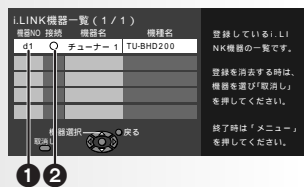
**正しく接続・登録できているか確かめることができます。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- HDD表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、 i.LINK を押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にする。

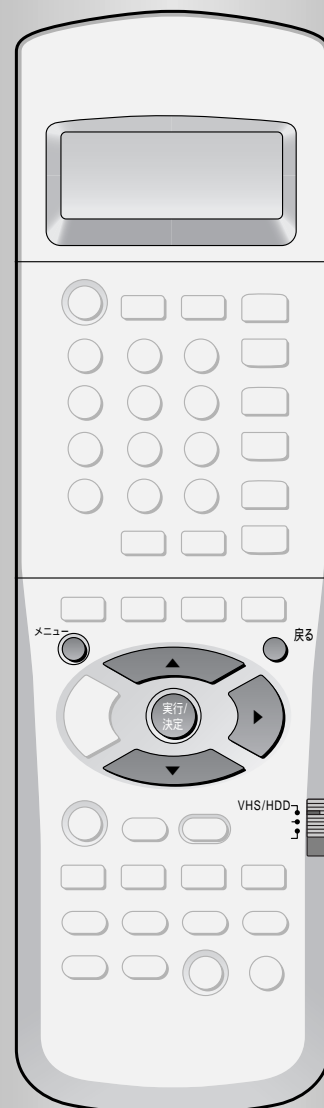
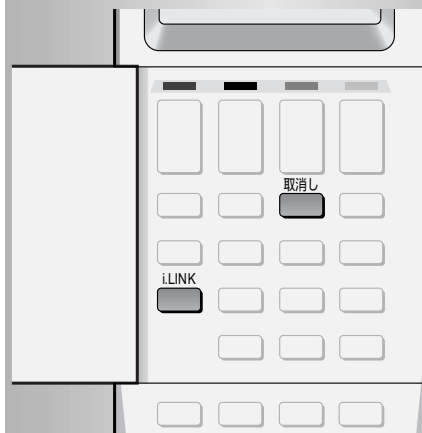
**1** メニュー を押す

**2** ▶ で[i.LINK機器設定]を選び、 実行/決定 を押す

**3** [i.LINK機器一覧]が選ばれた状態で、 実行/決定 を押す

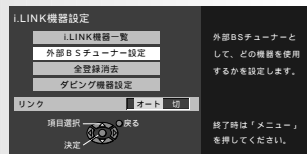
- i.LINK機器番号、接続状態、機器名、機種名が表示されます。
- 接続した順番に、d1～d15まで登録されます。

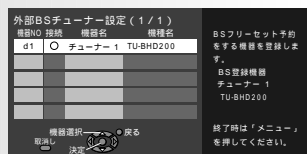
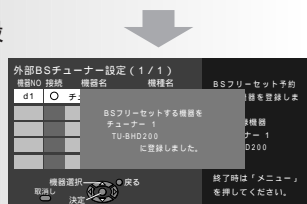
❶ HDD表示窓に表示されるi.LINK機器番号
❷ i.LINK機器の接続状態
　○：正しく接続されている
　－：接続されていない、または主電源が切れている
　　(このままでは、この機器は使えません)

**4** メニュー を押す

### ■お願い/ヒント

- 各手順で、 戻る を押すと1つ前のメニューに戻ります。
- 登録できる機器の数は最大15台までです。
- 機種名は16文字まで表示できます。
- 本機の電源を切っても、登録された機器は記憶しています。

### ■ふたをひらいたところ

## BSデジタル番組を録画・再生するためのチューナーを登録する

チューナーを搭載した複数の機器を接続したときは、どの機器を使ってBSデジタル番組を録画・再生するかを選び、登録しておく必要があります。

**3** **左ページ手順2のあと、▼で[外部BSチューナー設定]を選び、実行/決定を押す**

- i.LINK機器一覧画面に登録されている機器の中から、チューナーを内蔵している機器の一覧が表示されます。

**4** **▲▼で設定したい機器を選び、実行/決定を押す**

- 外部BSチューナー設定登録完了画面が表示され、選んだ機器が外部BSチューナー機器として登録されます。

**5** **メニューを押す**

### ■外部BSチューナー機器の登録を取り消す

手順4で、取消しを押す。

- 外部BSチューナー機器の登録が取り消されます。

### ■お願い/ヒント

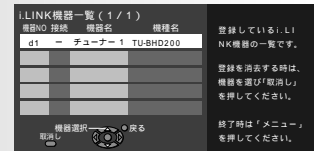
- 外部BSチューナー機器として登録できる機器は1台だけです。
- 登録された機器で、BSデジタルフリーセット予約(➜78)とBS入力(➜28)を使った録画ができるようになります。
- 当社製チューナー(内蔵テレビ)は、i.LINKケーブルで接続すると自動的に外部BSチューナー機器として登録されます。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)でも、チューナー(内蔵テレビ)と判別できたときには、その機器が外部BSチューナーとして自動的に登録されます。
- HDD表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、登録や取り消しはできません。
  このときはi.LINKを押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にしてください。
- BSデジタル番組の予約があるときは、外部BSチューナー機器の登録を取り消したり、別の機器を外部BSチューナー機器として登録し直したりすることはできません。まず予約を取り消してから、登録の取り消しを行ったり、別の機器を外部BSチューナー機器として登録し直したりしてください。

## i.LINK機器を消去する

不要な機器を1つずつ消去することができます。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BSを[VHS/HDD]にする。
- 消去したい機器のi.LINKケーブルを外す。
- HDD表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、i.LINKを押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にする。

**4** **左ページ手順3のあと、▲▼で消去したい機器を選び、取消しを押す**

- 登録が消去されます。

**5** **メニューを押す**

### ■お願い/ヒント

- 一度登録された機器は、i.LINKケーブルを外しても登録されたまま残っています。
  不要になった機器は必ず消去してください。
- HDD表示窓に" d1(例) "など、消去したい機器のi.LINK機器番号が表示されているときは、消去できません。
  このときはi.LINKを押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にしてください。
- BSデジタル番組の予約があるときは、外部BSチューナー機器として登録されている機器の消去はできません。まず予約を取り消してから、機器の消去を行ってください。

### ■登録されているすべての機器を消去したいとき

- i.LINK全登録消去(➜26)

# i.LINK機器の登録をすべて消去する(i.LINK全登録消去)

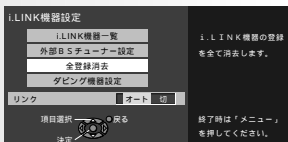
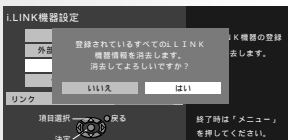
**登録されているすべてのi.LINK機器を消去することができます。**

- 最初から接続をやり直したいとき、i.LINK機器番号の順番を変更したいときなどにお使いください。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 本機と接続しているi.LINKケーブルを外す。
- HDD表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、i.LINK を押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にする。

**1** メニュー を押す

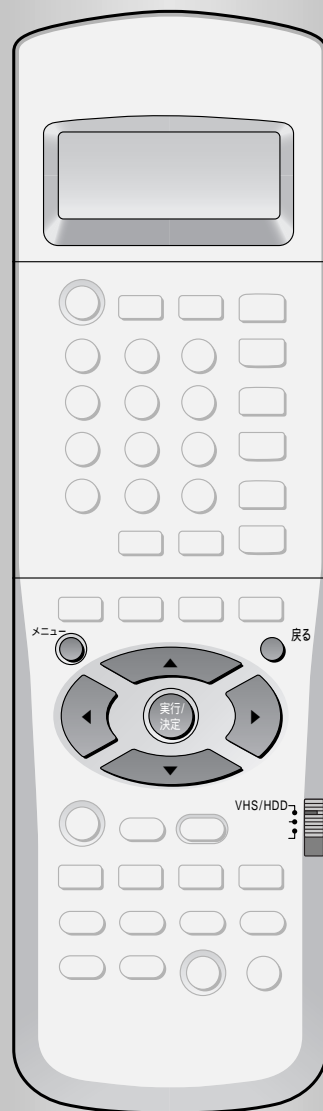
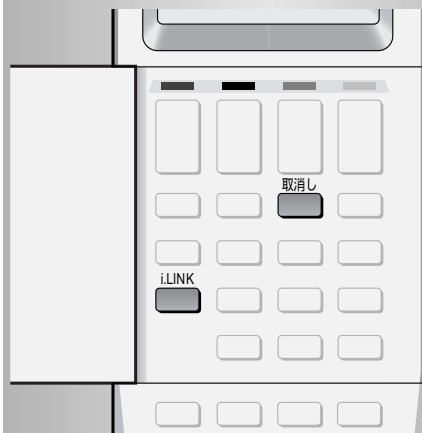
**2** ▶ で[i.LINK機器設定]を選び、実行/決定 を押す

**3** ▼ で[全登録消去]を選び、実行/決定 を押す

**4** ▶ で[はい]を選び、実行/決定 を押す

- i.LINK機器がすべて消去されます。

i.LINKの登録をすべて消去中です。
しばらくお待ちください。

**5** メニュー を押す

**■お願い/ヒント**

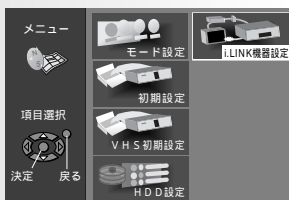
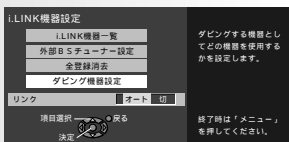
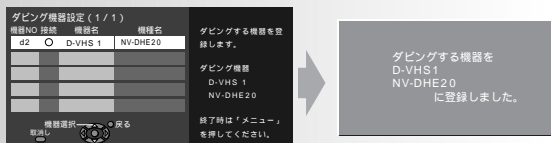
- 各手順で、戻る を押すと1つ前のメニューに戻ります。
- 必ずすべてのi.LINK機器の接続を外してから行ってください。
  接続したままi.LINK全登録消去しても、消去したあとにすぐ新たな接続と認識して登録してしまいます。
- HDD表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、i.LINK全登録消去できません。
  このときは i.LINK を押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にしてください。
- i.LINK全登録消去すると、BSデジタル番組の予約はすべて取り消されます。
- 同じ機種名・品番のi.LINK機器であっても、もう1台増設(または交換)したときは、ID番号(➜113)が違うため、別の種類の機器として新たに登録されます。
  特に、チューナー(内蔵テレビ)を増設(または交換)したときは、BS入力やBSデジタル番組のフリーセット予約の設定・実行が正しくできないことがあります。
  i.LINK全登録消去で、登録された機器をすべて消去してから、再度登録し直してください。

■ふたをひらいたところ

■i.LINK機器番号を変更したいとき
- i.LINK機器一覧画面からはi.LINK機器番号を変更することはできません。
- 変更したいときは、
  1. すべてのi.LINKケーブルを外す
  2. i.LINK全登録消去をする
  3. 登録したい順番にi.LINK機器を接続し直す

## 自動ダビング機器を設定する

**自動ダビング(➜84)をするときのダビング機器を設定します。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- HDD表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、 i.LINK を押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にする。

**1** メニュー を押す

**2** ▶ で[i.LINK機器設定]を選び、実行/決定 を押す

**3** ▼ で[ダビング機器設定]を選び、実行/決定 を押す

**4** ▲ ▼ で自動ダビング機器として使用する機器を選び、実行/決定 を押す
- ダビング機器設定登録完了画面が表示され、選んだ機器がダビング機器として登録されます。

**5** メニュー を押す

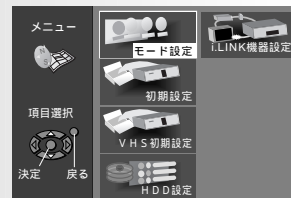
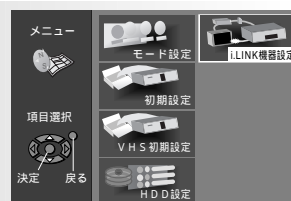
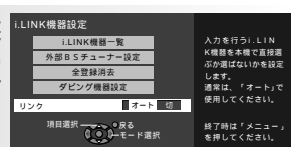
■ダビング機器の登録を取り消す
手順4で、取消し を押す。
- ダビング機器の登録が取り消されます。

■お願い/ヒント
- HDD表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、登録や取り消しはできません。
  このときは i.LINK を押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にしてください。
- 自動ダビング用の機器として登録できるのは、当社製D-VHSビデオカセットレコーダーと当社製ハードディスクビデオレコーダーです。
  [機器名]の欄にはそれぞれ、[D-VHS]、[HDR]と表示されます。

## リンクを設定する

**使いたいi.LINK機器を本機から選べるようにするか、しないかを設定します。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- HDD表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、 i.LINK を押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にする。

**1** メニュー を押す

**2** ▶ で[i.LINK機器設定]を選び、実行/決定 を押す

**3** ▼ で[リンク]を選び、◀ ▶ で設定する

オート(工場出荷時)
：使いたいi.LINK機器を本機で選ぶことができます。(通常はこの位置)
切：使いたいi.LINK機器を本機で選ぶことはできません。ただし、i.LINK機器側で本機を選んだときは使うことができます。

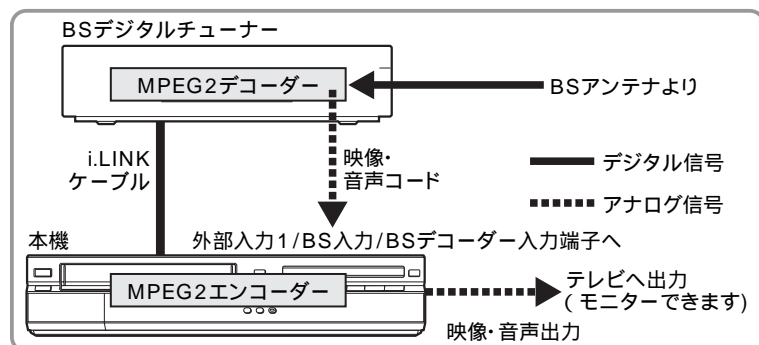
**4** メニュー を押す

■お願い/ヒント
- 各手順で、戻る を押すと1つ前のメニューに戻ります。
- HDD表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、[リンク]の設定はできません。
  このときは i.LINK を押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にしてください。
- [オート]にしたとき
  HDD表示窓に本機が選んでいるi.LINK機器番号が表示されます(d1～d16)。
- [切]にしたとき
  ・i.LINK機器から出力されている信号があれば、その信号を入力します。
  このときは、HDD表示窓にそのi.LINK機器の番号が表示されます(d1～d16)。
  ・出力されている信号がないときは入力しません。
  このときは、HDD表示窓に“ d－－ ”と表示されます。

# BSデジタル放送をアナログ入力する（BS入力）HDD

**この設定はHDDモードのみ働きます。**

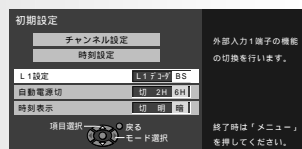
**BSデジタル放送を、アナログ入力で長時間録画することができます。**

- 入力信号はNTSC信号レベルで録画されます。
- データやマルチビュー、マルチ音声(多国語など)切換など、BSデジタル放送特有のいろいろな便利機能は楽しむことができません。
- 画質は選ばれた録画時間によって異なります。

**準備**
- BS入力をするために必要な接続をする。**(➜17・18)**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を**[VHS/HDD]**にする。
- 外部BSチューナー機器が登録されているか確かめる。**(➜25)**

## 1 メニュー を押す

## 2 ▼ で[初期設定]を選び、実行/決定 を押す

## 3 ▼ で[L1設定]を選び、▶ で[BS]を選ぶ

- 工場出荷時は[L1]になっています。

## 4 メニュー を押す

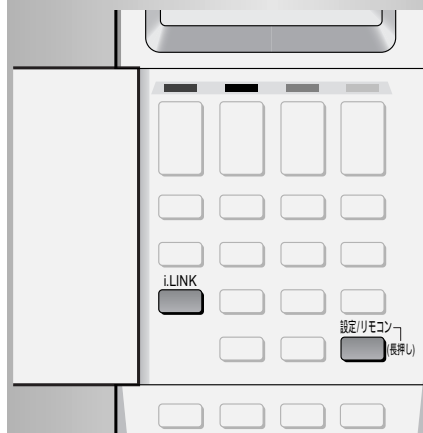
**■お願い/ヒント**
- 各手順で、戻る を押すと1つ前のメニューに戻ります。

**BS入力使用中は、BSデコーダーを使って視聴するWOWOW(アナログ)などの番組はお楽しみいただけません。**

後面の外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子は、BS入力端子、外部入力1端子として使用しているときは、BSデコーダー入力端子としては使用できなくなるためです。

BSデコーダーを接続する場合は、[デコーダ]を選んでください。
**ただし、この場合はBS入力は使えなくなります。**

**詳しくは、97ページもお読みください。**

**■ふたをひらいたところ**

# 市外局番入力チャンネルの設定

**お住まいの都市(地域)の市外局番を利用して、本機のチューナーの受信チャンネル(VHF/UHF/アナログBS)を設定します。**

- BSデジタル放送のチャンネルは設定できません。

**準備**
- VHF/UHFアンテナやBSアンテナが正しく接続されていることを確認する。
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を**[VHS/HDD]**にする。
- HDD表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、 i.LINK を押し、本機のチューナーで放送を受信している状態にする。

**1** **設定/リモコン(長押し)を"☎"が出るまで(約2秒以上)押し続ける**

**2** 市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜30)で、**お住まいの都市(地域)の市外局番を確かめる**

**3** リモコンのふたを閉じ、**❶〜⑩/0で市外局番を入力する**

- 市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。
- 間違えたときは、手順1からやり直してください。

**4** **転送 を押す**

- 市外局番が表示され、本機がオートサーチを始めます。

**5** オートサーチが終わったら、**リモコンのふたをひらき、すぐ閉じる**

- 市外局番入力チャンネル設定が終了します。

**6** **VHS/HDDチャンネル ∧ ∨ でチャンネルを切り換えながら、すべてきれいに受信できていることを確かめる**

**■市外局番を転送すると**

1. 一覧表のとおりに受信チャンネルを設定する
2. オートサーチを行って、それらの放送局が実際に受信できるかどうかを調べる
   **VHF/UHF放送**(1〜62チャンネル)→
   **従来のアナログBS放送**
   (BS1·3·5·7·9·11·13·15チャンネル)→
   **CATV放送**(C13〜C63チャンネル)の順に、
   約1分間のオートサーチを行います。

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13〜20(愛媛県は14〜20)に追加登録されます。

**■同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されたとき**

- 必ず映りの悪い方のチャンネルを削除しておいてください。**(➜33)**

**■受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき**

- マニュアルチャンネル設定**(➜32·33)**で、必要な設定を行ってください。

**■最初から設定し直したいとき**

- 左記手順3で、市外局番の代わりに ⑩/0 を6回押し、[000000]で転送すると、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。
- このときは、
  - ・**VHF/UHFチャンネル**
    VHFの1〜12チャンネルのみ受信できる状態
  - ・**従来のアナログBSチャンネル**
    すべてのチャンネルが受信できる状態
  - ・**CATVチャンネル**
    すべてのチャンネルが受信できない状態
  - ・**外部入力チャンネル**
    L1、L2チャンネルが使える状態
    (L1チャンネルは、メニューの[初期設定]→[L1設定]が[L1]になっているときに使えます。**(➜97)**)

- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。

## チャンネル設定に関する用語

**■チャンネルポジション「Po」**

- 放送局を登録する位置です。
  **VHS/HDDチャンネル ∧ ∨** を押すごとに、チャンネルポジションに登録された順番で選局できます。
- **マニュアルチャンネル設定時のチャンネルポジション表示の変わりかた(➜32〜33)**
  - ・VHF/UHFチャンネル設定時**(Po)**
  - ・従来のアナログBSチャンネル設定時**(チャンネル)**
  - ・CATVチャンネル設定時**(チャンネル)**
  - ・外部入力チャンネル(L1・L2)設定時**(入力)**
  - ・拡張チャンネル設定時**(Po)**

**■受信チャンネル　　「チャンネル」**

- 放送局からの電波を実際に受信するためのチャンネルです。
- 新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

**■表示チャンネル　　「表示」**

- 本体(VHS/HDD)表示窓やテレビ画面に表示させるためのチャンネルです。新聞·雑誌などに載っているチャンネルの数字に合わせておくと選局しやすくなります。
- 実際の受信チャンネルと違う数字になる地域もあります。

**■ガイドチャンネル　「ガイドCH」**

- Gコード予約をするために必要なチャンネルです。
- ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。
  例)NHK総合テレビ：80、NHK教育テレビ：90

**■拡張チャンネル**

- 将来のシステムに対応するもので、現在は使うことができません。
- 「市外局番入力チャンネル設定」を行うと、自動的に設定されますが、実際の操作には関係ありません。

# 市外局番入力チャンネル設定一覧表(VHF/UHF)

市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

| 都道府県 | 都市名 | 市外局番 | チャンネルポジション／放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ① | | | | ② | | | | ③ | | | | ④ | | | | ⑤ | | | |
| | | | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH |
| 北海道 | 札幌 | 011 | 北海道放送 | 1 | 1 | 1 | | | | | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | テレビ北海道 | 17 | 17 | 17 | 札幌テレビ | 5 | 5 | 5 |
| | 旭川 | 0166 | | | | | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | | | | | テレビ北海道 | 33 | 33 | 17 | | | | |
| | 北見 | 0157 | | | | | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | | | | | | | | | | | | |
| | 帯広 | 0155 | 北海道テレビ | 34 | 34 | 35 | | | | | | | | | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | | | | |
| | 釧路/室蘭 | 0154/0143 | | | | | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | | | | | テレビ北海道 | 29 | 29 | 17 | | | | |
| | 函館 | 0138 | テレビ北海道 | 21 | 21 | 17 | 北海道文化 | 27 | 27 | 27 | 北海道テレビ | 35 | 35 | 35 | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | | | | |
| 青森 | 青森 | 0177 | 青森放送 | 1 | 1 | 1 | | | | | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | | | | | NHK教育 | 5 | 5 | 9 |
| | 八戸 | 0178 | | | | | | | | | | | | | 青森朝日 | 31 | 31 | 34 | | | | |
| 秋田 | 秋田 | 018 | | | | | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | | | | | | | | | 秋田朝日 | 31 | 31 | 3 |
| | 大館 | 0186 | 青森放送 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | 秋田朝日 | 59 | 59 | 3 |
| 岩手 | 盛岡 | 019 | 東北放送 | 1 | 1 | 1 | めんこい | 33 | 33 | 33 | テレビ岩手 | 35 | 35 | 35 | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | 岩手朝日 | 31 | 31 | 2 |
| 宮城 | 仙台 | 022 | 東北放送 | 1 | 1 | 1 | | | | | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | | | | | NHK教育 | 5 | 5 | 9 |
| 山形 | 山形 | 023 | | | | | | | | | | | | | NHK教育 | 4 | 4 | 90 | 山形さくらんぼ | 30 | 30 | 3 |
| | 鶴岡 | 0235 | 山形放送 | 1 | 1 | 10 | | | | | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | | | | | 山形さくらんぼ | 24 | 24 | 3 |
| 福島 | 福島 | 024 | 東北放送 | 1 | 1 | 1 | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | | | | | テレビュー福島 | 31 | 31 | 31 | | | | |
| | 会津若松 | 0242 | NHK総合 | 1 | 1 | 80 | | | | | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | テレビュー福島 | 47 | 47 | 31 | | | | |
| | いわき | 0246 | | | | | テレビュー福島 | 32 | 32 | 31 | | | | | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | | | | |
| 茨城 | 水戸 | 029 | NHK総合 | 44 | 1 | 80 | 東京メトロポリタン | 14 | 14 | 14 | NHK教育 | 46 | 3 | 90 | 日本テレビ | 42 | 4 | 4 | 放送大学 | 16 | 16 | 1 |
| 栃木 | 宇都宮 | 028 | NHK総合 | 29 | 1 | 80 | 東京メトロポリタン | 14 | 14 | 14 | NHK教育 | 27 | 3 | 90 | 日本テレビ | 25 | 4 | 4 | とちぎテレビ | 31 | 31 | 2 |
| 群馬 | 前橋 | 027 | NHK総合 | 52 | 1 | 80 | 東京メトロポリタン | 14 | 14 | 14 | NHK教育 | 50 | 3 | 90 | 日本テレビ | 54 | 4 | 4 | 群馬テレビ | 48 | 48 | 4 |
| 埼玉 | さいたま | 048 | NHK総合 | 1 | 1 | 80 | 東京メトロポリタン | 14 | 14 | 14 | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | 日本テレビ | 4 | 4 | 4 | 放送大学 | 16 | 16 | 1 |
| 千葉 | 千葉 | 043 | NHK総合 | 1 | 1 | 80 | 東京メトロポリタン | 14 | 14 | 14 | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | 日本テレビ | 4 | 4 | 4 | 放送大学 | 16 | 16 | 1 |
| 東京 | 東京 | 03 | NHK総合 | 1 | 1 | 80 | 東京メトロポリタン | 14 | 14 | 14 | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | 日本テレビ | 4 | 4 | 4 | 放送大学 | 16 | 16 | 1 |
| 神奈川 | 横浜 | 045 | NHK総合 | 1 | 1 | 80 | 東京メトロポリタン | 14 | 14 | 14 | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | 日本テレビ | 4 | 4 | 4 | 放送大学 | 16 | 16 | 1 |
| 山梨 | 甲府 | 055 | NHK総合 | 1 | 1 | 80 | | | | | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | 日本テレビ | 4 | 4 | 4 | 山梨放送 | 5 | 5 | 5 |
| 新潟 | 新潟 | 025 | | | | | | | | | 新潟テレビ21 | 21 | 21 | 21 | テレビ新潟 | 29 | 29 | 29 | 新潟放送 | 5 | 5 | 5 |
| 長野 | 長野 | 026 | | | | | NHK総合 | 2 | 2 | 80 | | | | | 長野朝日 | 20 | 20 | 20 | | | | |
| | 飯田 | 0265 | 長野朝日 | 44 | 44 | 20 | | | | | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | | | | |
| 富山 | 富山 | 0764 | 北日本放送 | 1 | 1 | 1 | 北陸放送 | 6 | 6 | 6 | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | 石川テレビ | 37 | 37 | 37 | | | | |
| 石川 | 金沢 | 076 | 北日本放送 | 1 | 1 | 1 | | | | | 富山テレビ | 34 | 34 | 34 | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | | | | |
| 福井 | 福井 | 0776 | | | | | | | | | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | | | | | | | | |
| 静岡 | 静岡 | 054 | | | | | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | | | | | 静岡第一 | 31 | 31 | 31 | | | | |
| | 浜松 | 053 | 東海テレビ | 1 | 1 | 1 | 静岡第一 | 30 | 30 | 31 | | | | | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | 中部日本放送 | 5 | 5 | 5 |
| 岐阜 | 岐阜 | 058 | 東海テレビ | 1 | 1 | 1 | | | | | NHK総合 | 39 | 3 | 80 | | | | | 中部日本放送 | 5 | 5 | 5 |
| 愛知 | 名古屋 | 052 | 東海テレビ | 1 | 1 | 1 | | | | | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | | | | | 中部日本放送 | 5 | 5 | 5 |
| 三重 | 津 | 059 | 東海テレビ | 1 | 1 | 1 | テレビ愛知 | 25 | 25 | 25 | NHK総合 | 31 | 3 | 80 | 毎日テレビ | 4 | 4 | 4 | 中部日本放送 | 5 | 5 | 5 |
| 滋賀 | 大津 | 077 | | | | | NHK総合 | 28 | 28 | 80 | | | | | 毎日テレビ | 36 | 4 | 4 | | | | |
| 京都 | 京都 | 075 | | | | | NHK総合 | 32 | 2 | 80 | テレビ大阪 | 19 | 19 | 19 | 毎日テレビ | 4 | 4 | 4 | | | | |
| 大阪 | 大阪 | 06 | | | | | NHK総合 | 2 | 2 | 80 | テレビ大阪 | 19 | 19 | 19 | 毎日テレビ | 4 | 4 | 4 | | | | |
| 兵庫 | 神戸 | 078 | | | | | NHK総合 | 28 | 2 | 80 | サンテレビ | 36 | 36 | 36 | 毎日テレビ | 18 | 4 | 4 | テレビ大阪 | 19 | 19 | 1 |
| 奈良 | 奈良 | 0742 | | | | | NHK総合 | 2 | 2 | 80 | テレビ大阪 | 19 | 19 | 19 | 毎日テレビ | 4 | 4 | 4 | NHK奈良 | 51 | 51 | - |
| 和歌山 | 和歌山 | 073 | | | | | NHK総合 | 32 | 2 | 80 | | | | | 毎日テレビ | 42 | 4 | 4 | テレビ和歌山 | 30 | 30 | 3 |
| 鳥取 | 鳥取 | 0857 | 日本海テレビ | 1 | 1 | 1 | | | | | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | NHK教育 | 4 | 4 | 90 | | | | |
| 島根 | 松江 | 0852 | 日本海テレビ | 30 | 30 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 浜田 | 0855 | | | | | NHK総合 | 2 | 2 | 80 | 日本海テレビ | 54 | 54 | 1 | | | | | 山陰放送 | 5 | 5 | 1 |
| 岡山 | 岡山 | 086 | 岡山放送 | 35 | 35 | 35 | テレビせとうち | 23 | 23 | 23 | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | | | | | NHK総合 | 5 | 5 | 8 |
| 広島 | 広島 | 082 | テレビ新広島 | 31 | 31 | 31 | | | | | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | 中国放送 | 4 | 4 | 4 | | | | |
| | 福山 | 0849 | テレビ新広島 | 54 | 54 | 31 | | | | | NHK教育 | 3 | 3 | 90 | | | | | NHK総合 | 5 | 5 | 8 |
| 山口 | 山口 | 083 | NHK教育 | 1 | 1 | 90 | 九州朝日 | 2 | 2 | 1 | テレビQ | 23 | 23 | 19 | 山口朝日 | 28 | 28 | 28 | 大分放送 | 5 | 5 | 5 |
| 香川 | 高松 | 087 | テレビせとうち | 19 | 19 | 23 | | | | | NHK教育 | 39 | 39 | 90 | 毎日テレビ | 4 | 4 | 4 | NHK総合 | 37 | 37 | 8 |
| 徳島 | 徳島 | 088 | 四国放送 | 1 | 1 | 1 | テレビ大阪 | 19 | 19 | 19 | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | 毎日テレビ | 4 | 4 | 4 | テレビ和歌山 | 55 | 55 | 3 |
| 愛媛 | 松山 | 089 | テレビせとうち | 23 | 23 | 23 | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | 広島テレビ | 12 | 12 | 12 | 広島ホーム | 35 | 35 | 35 | テレビ新広島 | 31 | 31 | 3 |
| | 新居浜 | 0897 | テレビせとうち | 23 | 23 | 23 | NHK総合 | 2 | 2 | 80 | 広島テレビ | 12 | 12 | 12 | NHK教育 | 4 | 4 | 90 | テレビ新広島 | 31 | 31 | 3 |
| 高知 | 高知 | 0888 | | | | | | | | | | | | | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | | | | |
| 福岡 | 福岡 | 092 | 九州朝日 | 1 | 1 | 1 | サガテレビ | 36 | 36 | 36 | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | RKB毎日 | 4 | 4 | 4 | テレビQ | 19 | 19 | 1 |
| | 北九州 | 093 | | | | | 九州朝日 | 2 | 2 | 1 | 福岡放送 | 35 | 35 | 37 | サガテレビ | 36 | 36 | 36 | テレビQ | 23 | 23 | 1 |
| 佐賀 | 佐賀 | 0952 | 九州朝日 | 57 | 57 | 1 | NHK教育 | 40 | 40 | 90 | 福岡放送 | 52 | 52 | 37 | サガテレビ | 36 | 36 | 36 | テレビQ | 14 | 14 | 1 |
| 長崎 | 長崎 | 095 | NHK教育 | 1 | 1 | 90 | 九州朝日 | 57 | 57 | 1 | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | RKB毎日 | 4 | 4 | 4 | 長崎放送 | 5 | 5 | 5 |
| 熊本 | 熊本 | 096 | 九州朝日 | 1 | 1 | 1 | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | 熊本朝日 | 16 | 16 | 16 | 熊本県民 | 22 | 22 | 22 | 長崎放送 | 5 | 5 | 5 |
| 大分 | 大分 | 097 | 九州朝日 | 1 | 1 | 1 | | | | | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | RKB毎日 | 4 | 4 | 4 | 大分放送 | 5 | 5 | 5 |
| 宮崎 | 宮崎 | 0985 | 南日本放送 | 1 | 1 | 1 | | | | | テレビ宮崎 | 35 | 35 | 35 | | | | | | | | |
| | 延岡 | 0982 | | | | | NHK教育 | 2 | 2 | 90 | | | | | NHK総合 | 4 | 4 | 80 | | | | |
| 鹿児島 | 鹿児島 | 099 | 南日本放送 | 1 | 1 | 1 | テレビ熊本 | 34 | 34 | 34 | NHK総合 | 3 | 3 | 80 | テレビ宮崎 | 35 | 35 | 35 | NHK教育 | 5 | 5 | 9 |
| | 阿久根 | 0996 | 鹿児島読売 | 17 | 17 | 30 | テレビ熊本 | 34 | 34 | 34 | | | | | 鹿児島放送 | 23 | 23 | 32 | | | | |
| 沖縄 | 那覇 | 098 | 琉球朝日 | 28 | 28 | 28 | NHK総合 | 2 | 2 | 80 | | | | | | | | | | | | |

- 一覧表の ①〜⑫ の放送局は、リモコンの❶〜⓬で直接選ぶことができます。
- BSアンテナを接続した状態で市外局番入力チャンネル設定(➜29)を行うと、アナログBSチャンネルも自動的に設定されます。アナログBS放送の受信チャンネル、ガイドチャンネルについては、33ページをご覧ください。
- マニュアルチャンネル設定でガイドチャンネルを手動で合わせるときは、各放送局の“ ガイドCH ”の項目をご覧ください。

チャンネルポジション／放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル

| 6 | | | | 7 | | | | 8 | | | | 9 | | | | 10 | | | | 11 | | | | 12 | | | | 13 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH | 放送局名 | 受信CH | 表示CH | ガイドCH |
| | | | | | | | | 北海道文化 | 27 | 27 | 27 | | | | | 北海道テレビ | 35 | 35 | 35 | | | | | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| | | | | 札幌テレビ | 7 | 7 | 5 | 北海道文化 | 37 | 37 | 27 | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | 北海道テレビ | 39 | 39 | 35 | 北海道放送 | 11 | 11 | 1 | | | | | | | | |
| | | | | 札幌テレビ | 7 | 7 | 5 | 北海道文化 | 59 | 59 | 27 | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | 北海道テレビ | 61 | 61 | 35 | 北海道放送 | 53 | 53 | 1 | | | | | | | | |
| 海道放送 | 6 | 6 | 1 | | | | | 北海道文化 | 32 | 32 | 27 | | | | | 札幌テレビ | 10 | 10 | 5 | | | | | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| | | | | 札幌テレビ | 7 | 7 | 5 | 北海道文化 | 41 | 41 | 27 | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | 北海道テレビ | 39 | 39 | 35 | 北海道放送 | 11 | 11 | 1 | | | | | | | | |
| 海道放送 | 6 | 6 | 1 | | | | | | | | | | | | | NHK教育 | 10 | 10 | 90 | | | | | 札幌テレビ | 12 | 12 | 5 | | | | |
| | | | | | | | | 北海道文化 | 27 | 27 | 27 | | | | | 青森朝日 | 34 | 34 | 34 | 北海道テレビ | 35 | 35 | 35 | 青森テレビ | 38 | 38 | 38 | | | | |
| | | | | NHK教育 | 7 | 7 | 90 | | | | | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | | | | | 青森放送 | 11 | 11 | 1 | 青森テレビ | 33 | 33 | 38 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | | | | | 秋田放送 | 11 | 11 | 11 | 秋田テレビ | 37 | 37 | 37 | | | | |
| 田放送 | 6 | 6 | 11 | | | | | NHK教育 | 8 | 8 | 90 | | | | | | | | | | | | | 秋田テレビ | 57 | 57 | 37 | | | | |
| 手放送 | 6 | 6 | 6 | 宮城テレビ | 34 | 34 | 34 | NHK教育 | 8 | 8 | 90 | | | | | 東日本放送 | 32 | 32 | 32 | | | | | 仙台放送 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| | | | | 東日本放送 | 32 | 32 | 32 | | | | | 宮城テレビ | 34 | 34 | 34 | | | | | | | | | 仙台放送 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| レビュー山形 | 36 | 36 | 36 | | | | | NHK総合 | 8 | 8 | 80 | | | | | 山形放送 | 10 | 10 | 10 | | | | | 山形テレビ | 38 | 38 | 38 | | | | |
| HK教育 | 6 | 6 | 90 | | | | | テレビュー山形 | 22 | 22 | 36 | | | | | | | | | | | | | 山形テレビ | 39 | 39 | 38 | | | | |
| 島中央 | 33 | 33 | 33 | 東日本放送 | 32 | 32 | 32 | 宮城テレビ | 34 | 34 | 34 | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | 福島放送 | 35 | 35 | 35 | 福島テレビ | 11 | 11 | 11 | 仙台放送 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| 島テレビ | 6 | 6 | 11 | 東日本放送 | 32 | 32 | 32 | 福島中央 | 37 | 37 | 33 | 宮城テレビ | 34 | 34 | 34 | 福島放送 | 41 | 41 | 35 | | | | | 仙台放送 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| 島中央 | 34 | 34 | 33 | | | | | 福島テレビ | 8 | 8 | 11 | | | | | NHK教育 | 10 | 10 | 90 | | | | | 福島放送 | 36 | 36 | 35 | | | | |
| BSテレビ | 40 | 6 | 6 | | | | | フジテレビ | 38 | 8 | 8 | 千葉テレビ | 39 | 46 | 46 | テレビ朝日 | 36 | 10 | 10 | | | | | テレビ東京 | 32 | 12 | 12 | | | | |
| BSテレビ | 23 | 6 | 6 | | | | | フジテレビ | 21 | 8 | 8 | | | | | テレビ朝日 | 19 | 10 | 10 | | | | | テレビ東京 | 17 | 12 | 12 | | | | |
| BSテレビ | 56 | 6 | 6 | 放送大学 | 40 | 16 | 16 | フジテレビ | 58 | 8 | 8 | テレビ埼玉 | 38 | 38 | 38 | テレビ朝日 | 60 | 10 | 10 | | | | | テレビ東京 | 62 | 12 | 12 | | | | |
| BSテレビ | 6 | 6 | 6 | テレビ埼玉 | 38 | 38 | 38 | フジテレビ | 8 | 8 | 8 | 千葉テレビ | 46 | 46 | 46 | テレビ朝日 | 10 | 10 | 10 | 群馬テレビ | 48 | 48 | 48 | テレビ東京 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| BSテレビ | 6 | 6 | 6 | TVKテレビ | 42 | 42 | 42 | フジテレビ | 8 | 8 | 8 | 千葉テレビ | 46 | 46 | 46 | テレビ朝日 | 10 | 10 | 10 | テレビ埼玉 | 38 | 38 | 38 | テレビ東京 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| BSテレビ | 6 | 6 | 6 | TVKテレビ | 42 | 42 | 42 | フジテレビ | 8 | 8 | 8 | 千葉テレビ | 46 | 46 | 46 | テレビ朝日 | 10 | 10 | 10 | テレビ埼玉 | 38 | 38 | 38 | テレビ東京 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| BSテレビ | 6 | 6 | 6 | TVKテレビ | 42 | 42 | 42 | フジテレビ | 8 | 8 | 8 | | | | | テレビ朝日 | 10 | 10 | 10 | | | | | テレビ東京 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| レビ山梨 | 37 | 37 | 37 | TBSテレビ | 6 | 6 | 6 | フジテレビ | 8 | 8 | 8 | | | | | テレビ朝日 | 10 | 10 | 10 | | | | | テレビ東京 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| | | | | | | | | NHK総合 | 8 | 8 | 80 | | | | | 新潟総合 | 35 | 35 | 35 | | | | | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| レビ信州 | 30 | 30 | 30 | | | | | | | | | NHK教育 | 9 | 9 | 90 | 長野放送 | 38 | 38 | 38 | 信越放送 | 11 | 11 | 11 | | | | | | | | |
| 越放送 | 6 | 6 | 11 | | | | | テレビ信州 | 42 | 42 | 30 | | | | | 長野放送 | 40 | 40 | 38 | | | | | | | | | | | | |
| ューリップ | 32 | 32 | 32 | | | | | | | | | | | | | NHK教育 | 10 | 10 | 90 | | | | | 富山テレビ | 34 | 34 | 34 | | | | |
| 陸放送 | 6 | 6 | 6 | 北陸朝日 | 25 | 25 | 25 | NHK教育 | 8 | 8 | 90 | | | | | テレビ金沢 | 33 | 33 | 33 | | | | | 石川テレビ | 37 | 37 | 37 | | | | |
| 陸放送 | 6 | 6 | 6 | | | | | | | | | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | | | | | 福井放送 | 11 | 11 | 11 | 福井テレビ | 39 | 39 | 39 | | | | |
| 岡朝日 | 33 | 33 | 33 | | | | | | | | | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | | | | | 静岡放送 | 11 | 11 | 11 | テレビ静岡 | 35 | 35 | 35 | | | | |
| 岡放送 | 6 | 6 | 11 | テレビ愛知 | 25 | 25 | 25 | NHK教育 | 8 | 8 | 90 | | | | | 静岡朝日 | 28 | 28 | 33 | | | | | テレビ静岡 | 34 | 34 | 35 | | | | |
| レビ愛知 | 25 | 25 | 25 | 岐阜放送 | 37 | 37 | 37 | 三重テレビ | 33 | 33 | 33 | NHK教育 | 9 | 9 | 90 | | | | | 名古屋テレビ | 11 | 11 | 11 | 中京テレビ | 35 | 35 | 35 | | | | |
| 阜放送 | 37 | 37 | 37 | 中京テレビ | 35 | 35 | 35 | 三重テレビ | 33 | 33 | 33 | NHK教育 | 9 | 9 | 90 | | | | | 名古屋テレビ | 11 | 11 | 11 | テレビ愛知 | 25 | 25 | 25 | | | | |
| BCテレビ | 6 | 6 | 6 | 三重テレビ | 33 | 33 | 33 | 関西テレビ | 8 | 8 | 8 | NHK教育 | 9 | 9 | 90 | 読売テレビ | 10 | 10 | 10 | 名古屋テレビ | 11 | 11 | 11 | 中京テレビ | 35 | 35 | 35 | | | | |
| BCテレビ | 38 | 6 | 6 | 京都テレビ | 34 | 34 | 34 | 関西テレビ | 40 | 8 | 8 | びわ湖放送 | 30 | 30 | 30 | 読売テレビ | 42 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 46 | 46 | 90 | | | | |
| BCテレビ | 6 | 6 | 6 | 京都テレビ | 34 | 34 | 34 | 関西テレビ | 8 | 8 | 8 | サンテレビ | 36 | 36 | 36 | 読売テレビ | 10 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| BCテレビ | 6 | 6 | 6 | 京都テレビ | 34 | 34 | 34 | 関西テレビ | 8 | 8 | 8 | サンテレビ | 36 | 36 | 36 | 読売テレビ | 10 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| BCテレビ | 20 | 6 | 6 | | | | | 関西テレビ | 22 | 8 | 8 | | | | | 読売テレビ | 24 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 26 | 12 | 90 | | | | |
| BCテレビ | 6 | 6 | 6 | 京都テレビ | 34 | 34 | 34 | 関西テレビ | 8 | 8 | 8 | サンテレビ | 36 | 36 | 36 | 読売テレビ | 10 | 10 | 10 | 奈良テレビ | 55 | 55 | 55 | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| BCテレビ | 44 | 6 | 6 | | | | | 関西テレビ | 46 | 8 | 8 | | | | | 読売テレビ | 48 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 26 | 12 | 90 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 山陰放送 | 22 | 22 | 10 | | | | | 山陰中央 | 24 | 24 | 34 | | | | |
| HK総合 | 6 | 6 | 80 | | | | | 山陰中央 | 34 | 34 | 34 | | | | | 山陰放送 | 10 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| | | | | | | | | 山陰中央 | 58 | 58 | 34 | NHK教育 | 9 | 9 | 90 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 瀬戸内海放送 | 25 | 25 | 33 | | | | | 西日本放送 | 9 | 9 | 9 | | | | | 山陽放送 | 11 | 11 | 11 | | | | | | | | |
| | | | | NHK教育 | 7 | 7 | 90 | | | | | 広島ホーム | 35 | 35 | 35 | | | | | | | | | 広島テレビ | 12 | 12 | 12 | | | | |
| | | | | 中国放送 | 7 | 7 | 4 | | | | | 広島ホーム | 57 | 57 | 35 | | | | | 広島テレビ | 11 | 11 | 12 | | | | | | | | |
| | | | | テレビ山口 | 38 | 38 | 38 | RKB毎日 | 8 | 8 | 4 | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | テレビ西日本 | 10 | 10 | 9 | 山口放送 | 11 | 11 | 11 | 福岡放送 | 35 | 35 | 37 | | | | |
| BCテレビ | 6 | 6 | 6 | 瀬戸内海放送 | 33 | 33 | 33 | 関西テレビ | 8 | 8 | 8 | 西日本放送 | 9 | 9 | 9 | 読売テレビ | 10 | 10 | 10 | 山陽放送 | 29 | 29 | 11 | 岡山放送 | 31 | 31 | 35 | | | | |
| BCテレビ | 6 | 6 | 6 | サンテレビ | 36 | 36 | 36 | 関西テレビ | 8 | 8 | 8 | | | | | 読売テレビ | 10 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 38 | 12 | 90 | | | | |
| HK総合 | 6 | 6 | 80 | 瀬戸内海放送 | 33 | 33 | 33 | あいテレビ | 29 | 29 | 29 | 西日本放送 | 9 | 9 | 9 | 南海放送 | 10 | 10 | 10 | 山陽放送 | 11 | 11 | 11 | 愛媛放送 | 37 | 37 | 37 | 愛媛朝日 | 25 | 25 | 25 |
| 海放送 | 6 | 6 | 10 | 瀬戸内海放送 | 33 | 33 | 33 | あいテレビ | 27 | 27 | 29 | 西日本放送 | 9 | 9 | 9 | 広島ホーム | 35 | 35 | 35 | 山陽放送 | 11 | 11 | 11 | 愛媛放送 | 36 | 36 | 37 | 愛媛朝日 | 14 | 14 | 25 |
| HK教育 | 6 | 6 | 90 | | | | | 高知放送 | 8 | 8 | 8 | | | | | テレビ高知 | 38 | 38 | 38 | 高知さんさん | 40 | 40 | 40 | | | | | | | | |
| HK教育 | 6 | 6 | 90 | | | | | | | | | テレビ西日本 | 9 | 9 | 9 | | | | | 熊本放送 | 11 | 11 | 11 | 福岡放送 | 37 | 37 | 37 | | | | |
| HK総合 | 6 | 6 | 80 | | | | | RKB毎日 | 8 | 8 | 4 | | | | | テレビ西日本 | 10 | 10 | 9 | 熊本放送 | 11 | 11 | 11 | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| レビ熊本 | 34 | 34 | 34 | 長崎放送 | 5 | 5 | 5 | RKB毎日 | 48 | 48 | 4 | NHK総合 | 38 | 38 | 80 | テレビ西日本 | 60 | 60 | 9 | 熊本放送 | 11 | 11 | 11 | テレビ長崎 | 37 | 37 | 37 | | | | |
| レビ熊本 | 34 | 34 | 34 | 長崎国際 | 25 | 25 | 25 | テレビ西日本 | 9 | 9 | 9 | 長崎文化 | 27 | 27 | 27 | 熊本放送 | 11 | 11 | 11 | テレビ長崎 | 37 | 37 | 37 | 熊本県民 | 22 | 22 | 22 | | | | |
| レビ熊本 | 34 | 34 | 34 | テレビ長崎 | 37 | 37 | 37 | サガテレビ | 36 | 36 | 36 | NHK総合 | 9 | 9 | 80 | テレビQ | 19 | 19 | 19 | 熊本放送 | 11 | 11 | 11 | RKB毎日 | 4 | 4 | 4 | | | | |
| 海放送 | 10 | 10 | 10 | テレビ大分 | 36 | 36 | 36 | 福岡放送 | 37 | 37 | 37 | 大分朝日 | 24 | 24 | 24 | テレビQ | 19 | 19 | 19 | テレビ西日本 | 9 | 9 | 9 | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| | | | | 鹿児島放送 | 32 | 32 | 32 | NHK総合 | 8 | 8 | 80 | 鹿児島テレビ | 38 | 38 | 38 | 宮崎放送 | 10 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| 崎放送 | 6 | 6 | 10 | | | | | テレビ宮崎 | 39 | 39 | 35 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 崎放送 | 10 | 10 | 10 | 鹿児島放送 | 32 | 32 | 32 | 熊本県民 | 22 | 22 | 22 | 鹿児島テレビ | 38 | 38 | 38 | 熊本朝日 | 16 | 16 | 16 | 鹿児島読売 | 30 | 30 | 30 | | | | | | | | |
| 児島テレビ | 35 | 35 | 38 | 熊本県民 | 22 | 22 | 22 | NHK総合 | 8 | 8 | 80 | 熊本朝日 | 16 | 16 | 16 | 南日本放送 | 10 | 10 | 1 | 熊本放送 | 11 | 11 | 11 | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |
| | | | | | | | | 沖縄テレビ | 8 | 8 | 8 | | | | | 琉球放送 | 10 | 10 | 10 | | | | | NHK教育 | 12 | 12 | 90 | | | | |

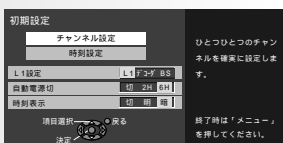
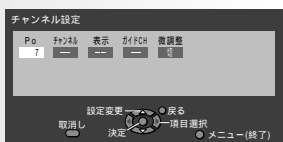
手動でチャンネルを合わせる（マニュアルチャンネル設定）

**市外局番入力チャンネル設定で正しく設定されなかったとき、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作します。**

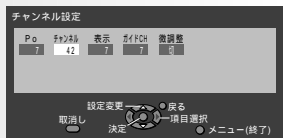
## VHF/UHFチャンネルの設定

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** **メニュー を押し、▼ で[初期設定]を選び、実行/決定 を押す**

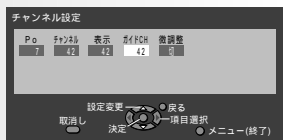
**2** **[チャンネル設定]が選ばれた状態で、実行/決定 を押す**

**3** **◀ で[Po]を選び、▲ ▼ で設定したいチャンネルポジションを選ぶ**

(Poは“Position（ポジション）”の略です)
- “1”〜“20”の中から選びます。
- ▲ を押すごとに、下記のように変わります。( ▼ を押すと逆方向)

→**VHF/UHFチャンネル** (1 → 2 …→ 20)
→**アナログBSチャンネル** (BS1 → BS3 …→BS15)
→**CATVチャンネル** (c13 → c14 …→ c63)
→**外部入力チャンネル** (L1 → L2)
→**拡張チャンネル** (o1 → o2 …→ o7)

**4** **▶ で[チャンネル]を選び、▲ ▼ で受信チャンネルを合わせる**

- 設定したい放送局が映るように合わせます。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。

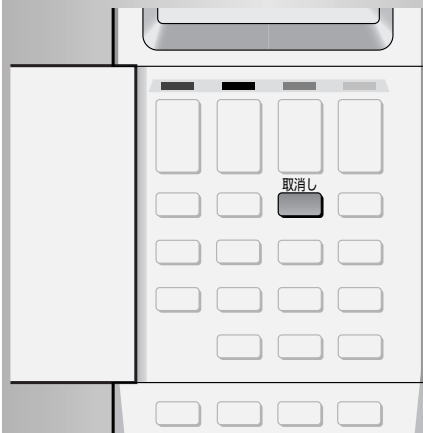
**5** **▶ で[表示]を選び、▲ ▼ で表示チャンネルを合わせる**

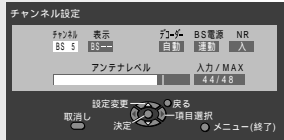
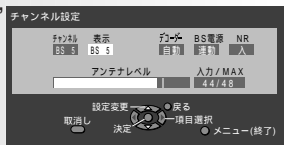
- 本体(VHS/HDD)表示窓やテレビ画面に表示させたい数字に合わせます。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。

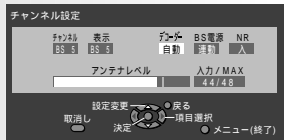
**6** **▶ で[ガイドCH]を選び、▲ ▼ でガイドチャンネルを合わせる**

- 各放送局のガイドチャンネルは、一覧表(➜30)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせます。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。
- ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

**7** **メニュー を押す**

■**ヒント**
- VHF/UHFチャンネルの放送のないチャンネル選ぶと、VHSモード時は青い画面になります。

■ふたをひらいたところ

## アナログBSチャンネルの設定

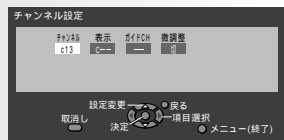
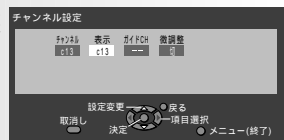
**3** 左ページ手順2のあと、
**◀で[Po]を選び、▲▼で設定したいBSのチャンネルポジションを選ぶ**

**4** [表示]の項目が“ BS－－ ”になっているときは、
**▶で[表示]を選び、▲▼で表示を出す**

**5** **▶で[デコーダー]を選び、▲▼でデコーダーの状態を選ぶ**

- [デコーダー]を設定するときは、メニューの[初期設定]→[L1設定]を[デコーダ]にしておいてください。(➜97)

**自動** ：スクランブル放送の受信時のみ、BSデコーダーからの入力に切り換えるとき
**入** ：St. GIGA(セント ギガ)とも受信契約しているとき(➜89)
**切** ：BSデコーダーを接続していないとき

**6** **メニューを押す**

■**2つ以上のチャンネルを設定するとき**
- 手順5のあと、実行/決定 を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

## CATVチャンネルの設定

**3** 左ページ手順2のあと、
**◀で[Po]を選び、▲▼で設定したいCATVのチャンネルポジションを選ぶ**

**4** **▶で[表示]を選び、▲▼で表示を出す**

- “ C－－ ”のチャンネルはとばされています。

**5** **▶で[ガイドCH]を選び、▲▼でガイドチャンネルを合わせる**

- 各放送局のガイドチャンネルは、一覧表(➜30)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせます。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。
- ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

**6** **メニューを押す**

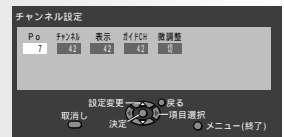
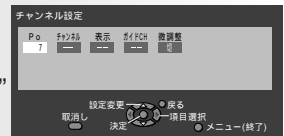
■**お願い/ヒント**
- CATV会社によっては、従来のアナログBS放送VHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。このときは、Gコード予約するための各放送局のガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

| 放送局名 | 受信チャンネル | ガイドチャンネル |
|---|---|---|
| | BS 1 | 71 |
| | BS 3 | 72 |
| WOWOW(アナログ) | BS 5 | 73 |
| NHK衛星第1 | BS 7 | 74 |
| ハイビジョン放送* | BS 9 | 75 |
| NHK衛星第2 | BS11 | 76 |
| | BS13 | 77 |
| | BS15 | 78 |

*本機では、従来のハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見ることはできません。

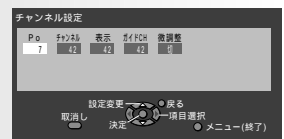
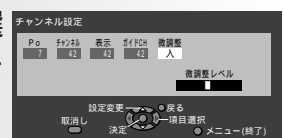
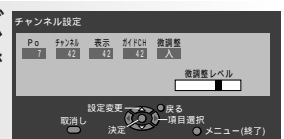
## 不要なチャンネルを削除する

ノイズ画面のチャンネルが設定されているときや、選局の順番を入れ替えたいときなどに操作します。

**3** 左ページ手順2のあと、
**◀で[Po]を選び、▲▼で削除したいチャンネルポジションを選ぶ**

**4** **取消しを押す**
- CH(受信)、表示・ガイドCHのすべてが“ －－ ”になります。

**5** **メニューを押す**

## 映りの悪いチャンネルを微調整する

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。

**3** 左ページ手順2のあと、
**◀で[Po]を選び、▲▼で微調整したいチャンネルポジションを選ぶ**

**4** **▶で[微調整]を選び、▲▼で[入]を表示させる**
- 微調整レベルバーが表示されます。

**5** **▶で微調整レベルバーを選び、▲▼で微調整する**

- 色が付いていないとき:▲(バーを中央より右側に)
  しま模様が出るとき:▼(バーを中央より左側に)
  (バーを中央に戻すと、元の状態に戻ります)
- 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。
- BSチャンネルは微調整できません。

**6** **メニューを押す**

# リモコンの予約チャンネル表示を設定する

**フリーセット予約(➜54)やBSデジタルフリーセット予約(➜78)で予約チャンネルを合わせるときに、使うチャンネルだけを表示させ、使わないチャンネルはとばしておくと、素早く合わせることができます。**

**■工場出荷時は以下のように設定されています**

- ＋チャンネル－ の[＋]側を押すごとに、以下のように変わります。([－]側を押すと逆方向)
  - →**地上波(VHF/UHF)チャンネル**
    (1～62チャンネルすべて選べる状態)
  - →**従来のアナログBSチャンネル**
    (BS1、BS3 … BS15チャンネルすべて選べる状態)
  - →**CATVチャンネル(➜右ページ)**
    (C13～C63チャンネルすべて選べない状態)
  - →**BSデジタル固定チャンネル(➜右ページ)**
    (BS101、BS102、BS103、BS141、BS151、BS161、BS171、BS181、BS191、BS192、BS193、BS200チャンネルが選べる状態)
  - →**オプションBSデジタルチャンネル(➜右ページ)**
    (ob1～ob5チャンネルすべて選べない状態)
  - →**BSデジタル全チャンネル(➜右ページ)**
    (全チャンネル選べない状態)
  - →**110度CSデジタルチャンネル**
    (選べない状態…このチャンネルは働きません)
  - →**外部入力チャンネル**
    (L1、L2チャンネルすべて選べる状態)
- 押し続けると、素早く移動できます。

**準備** ● VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** **設定/リモコン(長押し) を“ ☎ ”が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらにもう1回押す**

**2** **＋チャンネル－ を押し、表示させたい(とばしたい)予約チャンネルを選ぶ**

- 押し続けると、素早く移動できます。

**3** **開始 を押し、[OFF]か[On]を選ぶ**

**OFF**：とばす
**On**　：表示させる

**4** 続けて他のチャンネルを設定するときは、**手順2～3を繰り返す**

**5** **リモコンのふたを閉じる**

**■お願い/ヒント**

- 必ず表示チャンネル(本体で表示させているチャンネル)で設定してください。
- とばされたチャンネルは、フリーセット予約できません。

**■ふたをひらいたところ**

## CATVチャンネルの設定

工場出荷時は、C13〜C63チャンネルのすべてが[OFF]になっています。

- 必要なチャンネルの分だけ、[On]にしてください。
  (➜左ページ)

## BSデジタル固定チャンネルの設定

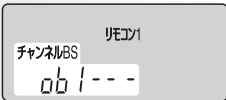
以下の12チャンネルが「固定チャンネル」として記憶されています。

- 工場出荷時はすべて[On]になっています。

| チャンネル | 放送局名 | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|---|
| BS101 | NHK(BS1) | BS171 | BSジャパン |
| BS102 | NHK(BS2) | BS181 | BSフジ |
| BS103 | NHK(ハイビジョン) | BS191 | WOWOW1 |
| BS141 | BS日テレ | BS192 | WOWOW2 |
| BS151 | BS朝日 | BS193 | WOWOW3 |
| BS161 | BS-i | BS200 | スターチャンネル |

- この中で使わないチャンネルは、[OFF]にしてください。
  (➜左ページ)

## オプションBSデジタルチャンネルの設定

BSデジタルチャンネルは、BS001〜BS999まで、999チャンネルあります。
この中から、BSデジタル固定チャンネル以外で使いたいチャンネルをお好みで5つまで記憶させることができます。

- 工場出荷時は記憶されていませんので、以下の方法で記憶させてください。

**1** **設定/リモコン(長押し)を"☎"が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらにもう1回押す**

リモコン1
チャンネル
1On

**2** **+チャンネルーを数回押し、右図のような表示を出す**

- "ob"は、オプションBSデジタルチャンネルの略です。

リモコン1
チャンネルBS
ob1---

**3** **開始を数回押し、記憶させたいBSデジタルチャンネルを選ぶ**

- BS142チャンネルを記憶させた例。
- 押し続けると、素早く移動できます。

リモコン1
チャンネルBS
ob1 142

**4** **続けて他のBSデジタルチャンネルを記憶させるときは、手順2〜3を繰り返す**

- "ob1"〜"ob5"まで、5つ記憶させることができます。

**5** **リモコンのふたを閉じる**

### ■記憶させたチャンネルを再びとばす

手順3で、開始を数回押し、"- - -"を表示させる。

## BSデジタル全チャンネルの設定

BSデジタルチャンネル(BS001〜BS999)をすべて表示させるかさせないかを選ぶことができます。

- 工場出荷時は[ALL OFF]になっています。

**1** **設定/リモコン(長押し)を"☎"が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらにもう1回押す**

リモコン1
チャンネル
1On

**2** **+チャンネルーを数回押し、右図のような表示を出す**

リモコン1
チャンネルBS
ALL OFF

**3** **開始を押し、[ALL OFF]か[ALL On]を選ぶ**

ALL OFF ：すべて表示させない
ALL On ：すべて表示させる

リモコン1
チャンネルBS
ALL On

**4** **リモコンのふたを閉じる**

### ■ヒント

- [ALL OFF]にしていても、BSデジタル固定チャンネルと、オプションBSデジタルチャンネルで記憶させたチャンネルは表示されます。
- [ALL On]にすると、BS001〜BS999チャンネルのすべてが表示され、すべてのBSデジタルチャンネルが予約可能になります。

**再生や録画など、本機を操作するときにお気を付けいただきたい点を説明しています。**

## チューナーについて

本機には、地上波(VHF/UHF)放送受信用のチューナーと従来のアナログBS放送受信用のチューナーが搭載されています。

- BSデジタルチューナーは搭載しておりませんので、本機だけでBSデジタル番組をお楽しみいただくことはできません。

## VHS/HDDモードについて

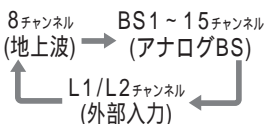
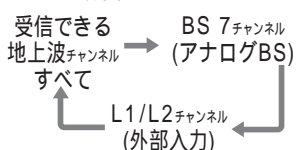
本機は、ビデオカセットレコーダー(VHS)とハードディスクビデオレコーダー(HDD)の一体型タイプの機器です。したがって、再生や録画などの操作時には、操作したい機器のモード(VHS/HDD)を切り換えてお使いいただく必要があります。詳しくは、22ページをお読みください。

## チャンネルの切り換えについて

VHS/HDD部どちらで操作しても、両方で連動して切り換わります。
ただし、VHS/HDD部どちらかが録画中、または録画の一時停止状態のときは、もう片方のチャンネルを切り換えることができます。
チャンネルを切り換えたい方の操作モード(VHS/HDD)にしてから**(➜22)**、チャンネルの切り換えを行ってください。

- 同じチューナーで受信するチャンネルは、VHS/HDD部で同一チャンネルしか選べません。異なるチューナーのチャンネルや外部入力チャンネルを選んだ場合は、個別にチャンネルを切り換えることができます。**(➜表1)**

例えば:
VHS側で地上波(VHF/UHF)放送の8チャンネルを録画中、またはその録画を一時停止している場合:
HDD側で選べるチャンネルの切り換えは右図のようになります。

8チャンネル(地上波) → BS1～15チャンネル(アナログBS) → L1/L2チャンネル(外部入力) → 8チャンネル(地上波)

HDD側でアナログBS放送のBS 7チャンネルを録画中、またはその録画を一時停止している場合:
VHS側で選べるチャンネルの切り換えは右図のようになります。

受信できる地上波チャンネルすべて → BS 7チャンネル(アナログBS) → L1/L2チャンネル(外部入力) → 受信できる地上波チャンネルすべて

VHS側で外部入力のL1チャンネルを録画中、またはその録画を一時停止している場合:
HDD側で選べるチャンネルの切り換えは右図のようになります。

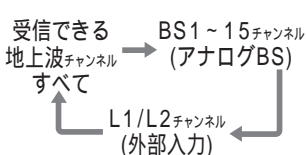
受信できる地上波チャンネルすべて → BS1～15チャンネル(アナログBS) → L1/L2チャンネル(外部入力) → 受信できる地上波チャンネルすべて

- 一度、録画を一時停止した場合は、録画を再開するときに、録画したいチャンネルになっていることをご確認ください。
- 録画終了後は、その時点で選ばれているモード(VHS/HDD)で選択されているチャンネルに、もう片方のモードのチャンネルも連動して切り換わります。
- 外部入力のL1チャンネルは、メニューの[初期設定]→[L1設定]が[L1]になっているときに使えます。**(➜97)**

**表1)**

| 選択チャンネル<br>VHS部(録画中*) ― HDD部<br>または<br>HDD部(録画中*) ― VHS部 | | VHS/HDD部それぞれでのチャンネルの切り換わりかた |
|---|---|---|
| 地上波(VHF/UHF) | 地上波(VHF/UHF) | 共通 |
| | アナログBS | 個別 |
| | 外部入力(L1/L2) | 個別 |
| アナログBS | 地上波(VHF/UHF) | 個別 |
| | アナログBS | 共通 |
| | 外部入力(L1/L2) | 個別 |
| 外部入力(L1/L2) | 地上波(VHF/UHF) | 個別 |
| | アナログBS | 個別 |
| | 外部入力(L1/L2) | 個別 |

*録画の一時停止状態も含みます。

**共通：**VHS/HDD部共通の同一番組を選択します。
**個別：**VHS/HDD部それぞれで個別に切り換わります。

### ■BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)と接続しているとき

- 地上波(VHF/UHF)放送やアナログBS放送などのチャンネル切り換えと同じです。**(➜左記)**

### ■お願い/ヒント

- HDD側でのチャンネルの切り換え時は、切り換えたチャンネルの画面が表示されるまでに、少し時間がかかります。

## VHS/HDD同時録画について

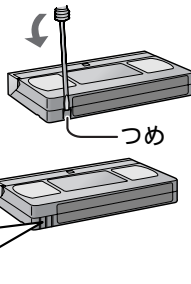
本機は、ビデオ(VHS)とハードディスク(HDD)それぞれで録画を行いますので、両方のモードで同時に番組を録画することができます。

- 同時に録画できるチャンネルは、本機でのチャンネルの切り換わりかたに準じます。
  - ・同じチューナーで受信するチャンネルの場合、VHS/HDD部では、同一チャンネルのみ同時に録画できます。
  - ・VHS/HDD部どちらかが録画中、または録画の一時停止状態のときは、もう片方のチャンネルを切り換えて、VHS/HDD部で個別に異なる番組を同時に録画することができます。その場合、録画チャンネルとして選局できるのは、録画(録画の一時停止)をしている側とは異なるチューナーのチャンネルや外部入力チャンネルです。
- 詳しくは、50ページをお読みください。

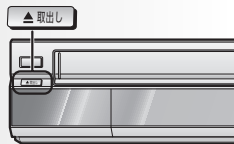
## カセットを入れる

**テープが見える面を上に、**
**テープラベルが手前になるようにして、**
**中央部をゆっくりと押し込む**
- 自動的に電源が入り、VHS表示窓に“ ”が表示されます。

- VHS、S-VHS、D-VHSマークの付いたカセットが使えます。
- 本機がVHSモードになっていて、メニューの[VHS初期設定]→[プログラムナビ]を[入]にしているときは、カセットを入れたときに、テレビ画面に“ プログラムナビデーター確認中 ”と表示されます。**(➜63)**

### ■残しておきたい番組を誤って消さないために
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取ってください。
- もう一度録画できるようにしたいときは、折り取った部分にセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)
- 誤消去防止つまみタイプのカセットのときは、つまみをスライドさせて“ OFF ”にしてください。“ ON ”に戻すと、録画が可能になります。カセットの説明書もよくお読みください。

## カセットを出す

**[▲取出し]を押す**
- カセットが途中まで出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。

**■リモコンでカセットを取り出す**
VHSモードにして**(➜22)**、[停止■]を3秒以上押す。

- 電源「切」になっていても、カセットは取り出せます。
- 次のようなときは、カセットは取り出せません。
  - ・VHS側の録画中
    (リモコンで取り出そうとすると、録画が停止します)
  - ・VHS側の予約録画中、または予約録画の待機中

## 再生する

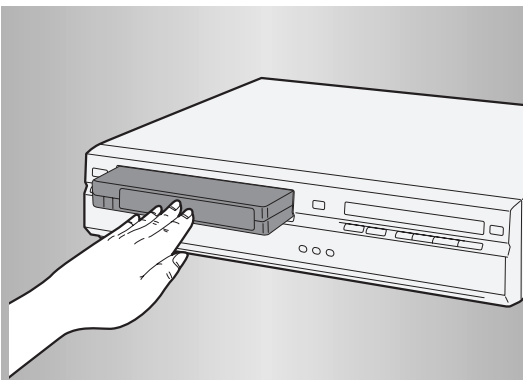
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- [VHS/HDD/テレビ/BS]を**[VHS/HDD]**にする。

**1** **[VHS]を押し、VHSモードにする(➜22)**

**2** **[再生▶]を押す**

### ■停止する
[停止■]を押す。

### ■早送り(巻き戻し)する
停止中に、[早送り▶▶]([早戻し◀◀])を押す。
- テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
- 高速で早送り(巻き戻し)するため、[停止■]を押しても、テープ保護のため、止まるまで時間がかかります。
- 早送り(巻き戻し)中は、動作音が大きくなります。

### ■ヒント
- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“ OFF ”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
- 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
  また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
  このときは、手動でトラッキングを調整してください。**(➜100)**

### ■SQPB(S-VHS簡易再生)機能について
(SQPB=S-VHS Quasi Playback)
(エスブイエッチエスクワジプレイバック)
- S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットも再生することができます。
  ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。

再生する VHS

# 再生する(つづき)

## 早送り(巻き戻し)再生

再生中に、
**早送り▶▶(早戻し◀◀)をポンと短く押す**

● 押し続けると、押している間だけ早送り(巻き戻し)再生を行い、指を離すと通常の再生に戻ります。

## 静止画再生

再生中に、
**一時停止/スロー ❚❚/▶を押す**

0:12.34

## スロー再生

再生中に、
**一時停止/スロー ❚❚/▶を約2秒以上押し続ける**

0:12.34

**■通常再生に戻す**
再生▶を押す。
● 静止画再生のときは、一時停止/スロー ❚❚/▶をもう一度押しても、通常再生に戻すことができます。

**■ヒント**
● 通常再生以外のときは音声は出ません。
● 早送り(巻き戻し)再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため、通常の再生に戻ります。
● 静止画再生を約5分以上、スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。
● 5倍モードで録画したときは、ふつうの再生時以外は画面が乱れます。

# 高速でテープを巻き戻す(高速リターン)

高速でテープを始端まで巻き戻すことができます。

準備 ● VHS/HDD/テレビ/BSを[VHS/HDD]にする。

**1** **VHSを押し、VHSモードにする(→22)**

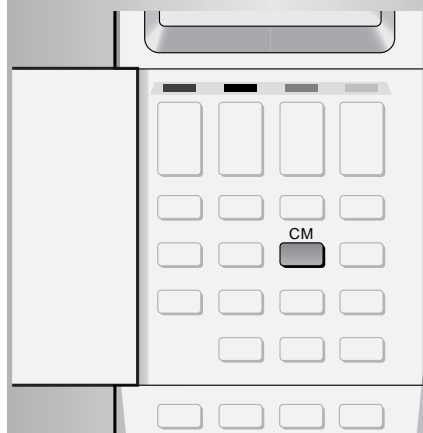
VHS

**2** **高速リターン◀◀を押す**

● テープカウンター表示は出ません。

**■停止する**
停止■を押す。
● 高速で巻き戻しするため、停止■を押しても、テープ保護のため、止まるまで時間がかかります。

**■お願い/ヒント**
● この機能はVHSモードでのみ働きます。
● 巻き戻し中は、動作音が大きくなります。
● カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。
● 始端まで巻き戻すと、テープカウンターは“0:00.00”になります。
● 途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

**■ふたをひらいたところ**

# 高速で早送り(巻き戻し)再生する(スピードサーチ)

**高速で見ることができます。(音声は出ません)**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

**1** **VHSを押し、VHSモードにする(➜22)**

VHS

**2** 停止中または再生中に、
**スピードサーチ ⏪ ⏩ を押す**
⏩：早送り方向
⏪：巻き戻し方向

再生▶▶

再生◀◀

**■通常再生に戻す**
再生▶ を押す。

**■お願い/ヒント**
- 速度は切り換えることができます。
  スピードサーチが始まったあと、同じ方向のボタンを押すごとに、下記のように速度が切り換わります。
  **標準**：約15倍速⟷約10倍速
  **3 倍**：約50倍速⟷約30倍速
  15倍速(50倍速)時に映像が乱れるときは、10倍速(30倍速)に切り換えてご覧ください。
- 5倍モードで録画された部分はブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
- テレビによっては、映像が乱れることがあります。
- 早送り(巻き戻し)再生中のテープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
- スピードサーチを約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため、通常の再生に戻ります。

# CMを早送りして見る(自動CM早送り再生)

**CMを自動的に早送りして再生することができます。**
- 録画されている番組によっては、正しく働かないことがあります。**(➜右記)**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

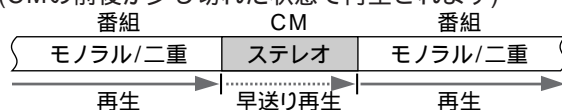
**1** **VHSを押し、VHSモードにする(➜22)**

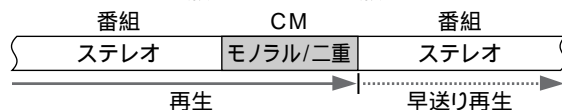
**2** 再生を始める前または再生中に、
**CMを押し、**
**“ 自動CM早送り 入 ”を表示させる**

- CM中に CM を押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

**■解除する**
CM を押し、“ 自動CM早送り 切 ”を表示させる。
- 電源を切っても解除されます。

**■お願い/ヒント**
- この機能はVHSモードでのみ働きます。

- 番組がモノラル放送または二重放送(2か国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
  (CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

- 次のようなときは正しく働きません。
  ・番組がステレオ放送のとき
  (CMも通常どおり再生されます)
  ・CMがモノラル放送または二重放送のとき

| 番組 | CM | 番組 |
|---|---|---|
| ステレオ | モノラル/二重 | ステレオ |
| 再生 | | 早送り再生 |

  ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  ・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生したとき
  ・外部入力録画(BSデジタル/CSデジタル放送を含む)したカセットを再生するとき

# 番組を繰り返し見る(自動巻戻し再生)

**同じ番組を繰り返して見ることができます。**
- 録画状態によっては、正しく働かないことがあります。**(➜下記)**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

**1** **VHSを押し、VHSモードにする(➜22)**

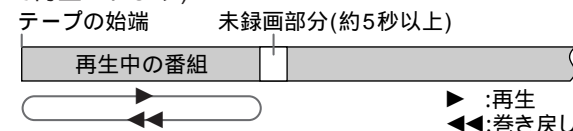
VHS

**2** 再生中に、
**再生▶ を約5秒以上押し続ける**

- この機能は解除するまで働き続けます。

**■解除する**
停止■ を押す。
- 早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。

**■ヒント**
- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。
  (未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されます)

**テープの始端**　**未録画部分(約5秒以上)**
再生中の番組
▶ :再生
◀◀:巻き戻し

- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。

- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

**はじめてHDD部の再生をする場合、ハードディスクには何も録画されていませんので、あらかじめ番組などを録画してから再生をお楽しみください。**

## 再生する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** **HDD を押し、HDDモードにする(➜22)**

**2** **再生▶ を押す**
- 一番新しい番組の先頭から再生が始まります。
- 再生を途中で止めたときは、止めた位置から再生が再開されます。

**■停止する**
停止■ を押す。

**■一番新しい録画の先頭(一番古い録画の先頭)に移動する**
停止中に、早送り▶▶ ( 早戻し◀◀ )を押す。

**■録画したBSデジタル番組を再生する**
**[自動]録画(➜72)した番組を再生するとき：**
・当社製BSデジタルチューナー内蔵テレビをご使用の場合:
自動的にチューナーの入力に切り換わりますので、操作は必要ありません。
・当社製以外のBSデジタルチューナー内蔵テレビをご使用の場合:
自動的にチューナーの入力に切り換わらない場合は、手動で入力を切り換えてください。
・BSデジタルチューナーをご使用の場合:
チューナーの電源を入れ、テレビの入力をチューナーと接続した入力に切り換えてください。
**BS入力(➜28)で録画した番組を再生するとき：**
テレビの入力を本機と接続した入力に切り換えてください。

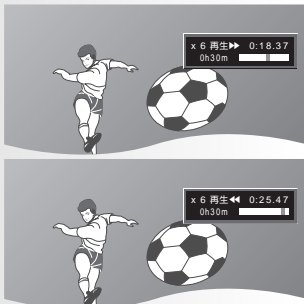
- i.LINK接続で再生した場合、チューナー(内蔵テレビ)の入力は自動的に本機の画面になります。ただし、当社製チューナー内蔵テレビをお使いの場合は、停止させても入力は元に戻りません。
このあと、テレビが受信しているチャンネルを見るときは、テレビ側で入力を切り換えてください。
- [自動]録画した番組を再生する場合は、74･75ページもお読みください。

**■今見ている再生番組を来週も予約録画したいとき**
今見ている再生番組を簡単に毎週予約できます。
**(➜57:お気に入り毎週予約)**

## 早送り(早戻し)再生

再生中に、

**早送り▶▶ (早戻し◀◀)をポンと短く押す**

- 押すごとに速度が“6倍”、“12倍”と切り換わります。
- 押し続けると、押している間だけ早送り(早戻し)再生を行い、指を離すと通常の再生に戻ります。

**■通常再生に戻す**

再生▶ を押す。

- 通常再生に戻るのに数秒かかる場合があります。

**■お願い/ヒント**

- 音声は出ません。
- 番組や録画内容によっては、早送り/早戻し再生時に出る速度表示と動作が合わないことがあります。
- チューナー(内蔵テレビ)でマルチビュー番組を見る場合、早送り/早戻し再生での録画内容の確認時は、1番組しか再生できません。

## 静止画再生

再生中に、

**一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押す**

**■通常再生に戻す**

再生▶ を押す。

- 通常再生に戻るのに数秒かかる場合があります。

**■お願い/ヒント**

- 音声は出ません。
- スロー再生はできません。
- 静止画再生は約5分経過すると、停止します。

## 高速で早送り(早戻し)再生する(スピードサーチ)

**高速で見ることができます。(音声は出ません)**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** **HDDを押し、HDDモードにする(➜22)**

**2** 停止中または再生中に、
**スピードサーチ◀◀ ▶▶を押す**

▶▶：早送り方向
◀◀：早戻し方向

- 押すごとにサーチ速度が2段階(100倍/300倍)で切り換わります。
- i.LINKケーブルからの出力映像を見ているときは、図のような表示は出ません。

メニューの[モード設定]→[オンスクリーン]が[自動](➜96)になっている場合、スピードサーチ中はずっと表示されています。
スピードサーチ以外の動作状態になると、その時点から約5秒後に消えます。

**■通常再生に戻す**

再生▶ を押す。

**■お願い/ヒント**

- スピードサーチを始めた直後は、正しい画面が出るまでに時間がかかることがあります。
- 録画のつなぎ目や番組と番組のつなぎ目をスピードサーチすると、正しい画面が出るまでに静止画になったり、ノイズ画面や黒い画面になります。また、正しい画面が出るまでに時間がかかることがあります。
- 番組や録画内容によっては、スピードサーチをした場合、ノイズ画面や黒い画面が出たり、正しい画面が出なくなったりすることがあります。
- チューナー(内蔵テレビ)でマルチビュー番組を見る場合、スピードサーチ時は、1番組しか再生できません。

# 番組を繰り返し見る (リピート再生)

**同じ番組を繰り返して見ることができます。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** HDDを押し、HDDモードにする(➜22)

**2** 再生中に、再生▶を約5秒以上押し続ける

- この機能は解除するまで働き続けます。
- i.LINKケーブルからの出力映像を見ているときは、上図のような表示は出ません。

**■解除する**

停止■を押す。
- 早送り、早戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。

**■お願い/ヒント**
- 繰り返して再生されるのは、リピート再生操作を行った時点で再生している番組の最初から最後までです。2番組にまたがったリピート再生はできません。

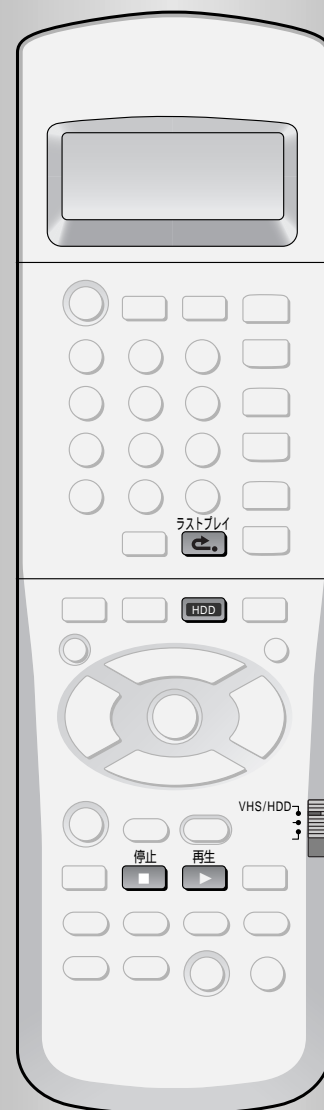
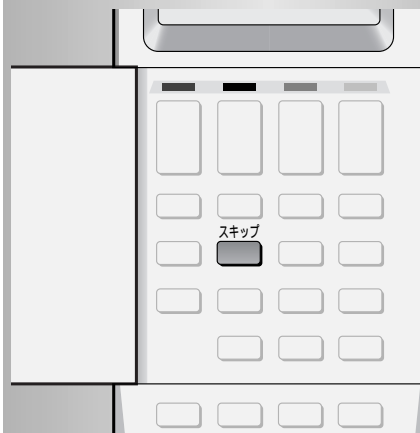
# 約30秒ずつ早送りする(スキップ)

**約30秒ずつ早送りすることができます。CMをとばして見るときなどに便利です。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** HDDを押し、HDDモードにする(➜22)

**2** 再生中にスキップを押す
- 現在位置から約30秒先へ早送りされ、通常再生が始まります。

**■お願い/ヒント**
- この機能はHDDモードのみ働きます。

**■ふたをひらいたところ**

## 録画中に録画済みの番組を再生する(同時録画再生)

**録画中に録画済みの番組を再生することができます。**

- 録画中の番組を見たい場合は、右記(追っかけ再生)をお読みください。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

**1** **HDD を押し、HDD モードにする(➜22)**

**2** **録画中に 再生▶ を押し、再生を始める**

- ビジュアルプログラムナビ**(➜66)**などを使って、見たい番組を探すことができます。

再生動作の情報
録画動作の情報

XP　CH　4　10:08

赤いリング(録画動作)と
白いリング(再生動作)が回転します。

**■再生をやめる**

停止■ を押す。
- 本機が停止し、録画中の番組の画面に戻ります。
- もう一度 停止■ を押すと、録画が停止します。ただし、予約録画中は停止できません。

**■お願い/ヒント**
- この機能はHDDモードのみ働きます。
- 再生中に 録画● を押しても、録画はできません。(予約録画は実行されます)
- BSデジタル放送の録画中は、BSデジタルチューナーを使っての再生はできません。
- 録画済みの番組がないときは、現在録画中の番組が再生されます。**(➜右記：追っかけ再生)**

## 録画中の番組を先頭から再生する(追っかけ再生)

**現在録画中の番組を先頭から再生することができます。**

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

**1** **HDD を押し、HDD モードにする(➜22)**

**2** **録画中に ラストプレイ を押す**

- 現在録画中の番組の先頭から再生が始まります。

再生動作の情報
録画動作の情報

XP　CH　4　10:08

赤いリング(録画動作)と
白いリング(再生動作)が回転します。

**■追っかけ再生をやめる**

停止■ を押す。
- 本機が停止し、録画中の番組の画面に戻ります。
- もう一度 停止■ を押すと、録画が停止します。ただし、予約録画中は停止できません。

**■お願い/ヒント**
- この機能はHDDモードのみ働きます。
- 現在録画中の番組の先頭を再生しますが、早戻しや頭出しの操作をすると、すでに録画済みの番組も再生することができます。
- リピート再生をすることはできません。
- BSデジタル放送の録画中は、BSデジタルチューナーを使っての再生はできません。
- 追っかけ再生中に早送り再生などで現在録画中の場所から約1分以内(EPの場合)の位置に近付くと、自動的に通常の再生に戻りますが、そのときに静止画になったり、ノイズ画面や黒い画面になる場合があります。
- 録画開始後、約1分間(EP)は追っかけ再生はできません。

**■録画中以外に[ラストプレイ]を押した場合**
- 最も新しく録画された番組の先頭から再生が始まります。このときは、テレビ画面に「 再生▶」は表示されません。

# テレビ番組を録画する

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➔22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 録画可能なカセットを入れる。

## 1 VHS を押し、VHSモードにする(➔22)

VHS

## 2 VHSチャンネル∧∨(または❶〜⓬)で、録画したいチャンネルを選ぶ

標準 CH 4 15:50

## 3 録画モード を数回押し、録画モードを選ぶ

3倍 CH 4 15:50

**標準**：カセットに表示されている時間の録画ができます。
**3 倍**：標準に対して3倍の録画ができます。
**5 倍**：標準に対して5倍の録画ができます。

## 4 録画● を押す

### ■録画をやめる
VHSモードになっていることを確認して、 停止■ を押す。

### ■不要な場面をとばす
不要な場面がきたら、
一時停止/スロー ❚❚/▷ を押す。

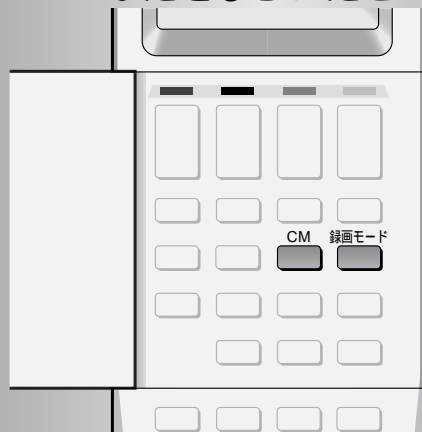
3倍 録画 CH 4 0:12.34

- 録画の一時停止になります。
- もう一度 一時停止/スロー ❚❚/▷ または 録画● を押すと録画が再開されます。録画の一時停止状態から録画を再開するときは、録画したいチャンネルになっていることを確認してください。

### ■5倍モードについて
- 録画を始めたあとの約8秒間、VHS表示窓の“ 5倍 ”が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオでの再生や保存を目的とするときは、標準モードで録画されることをおすすめします。

### ■カセットにBSデジタル番組を録画する
1.VHS を押し、VHSモードにする(➔22)
2.VHSチャンネル∧∨を押し、チューナー(内蔵テレビ)を接続した外部入力チャンネル(L1)を選ぶ
- メニューの[初期設定]→[L1設定](➔97)は[BS]か[L1]にしておいてください。

3.録画したい放送にチューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを切り換える
4.録画モード で録画モードを選び、 録画● を押す

### ■お願い/ヒント
- ❶〜⓬では、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➔30)に記載されているチャンネルポジション1〜12の放送局を選ぶことができます。(市外局番入力チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)
- 録画中にチャンネルや録画モードの切り換えはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため停止します。
- S-VHSカセットを使っても、S-VHS方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)
- D-VHSカセットを使っても、デジタル(D-VHS)方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)

## 録画中に別のチャンネルの番組を見る

**下記の方法でテレビ画面を出してください。**

**1** **[VHS/HDD/テレビ/BS]を[テレビ]にする**

**2** 録画中に、
**[入力]を数回押し、テレビが受信しているチャンネルに切り換える**

**3** **テレビチャンネル[∧][∨](または❶〜⓬)で、見たいチャンネルを選ぶ**

**■ヒント**
- 予約録画中も上記の手順でテレビ番組を見ることができます。

## CMをとばして録画する(CMカット録画)

**CMを自動的にとばして録画することができます。**
- 番組によっては、正しく働かないことがあります。**(➔下記)**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➔22)**
- [VHS/HDD/テレビ/BS]を[VHS/HDD]にする。

**1** **[VHS]を押し、VHSモードにする(➔22)**

VHS

**2** 録画中に、
**[CM]を押し、" ✂ "を表示させる**

- CM中に[CM]を押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

**■解除する**
[CM]を押す。
- " ✂ "が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

**■ヒント**
- この機能はVHSモードのみ働きます。
- 番組がモノラル放送または二重放送(2か国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

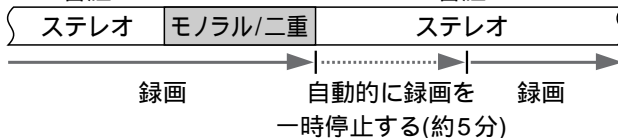
| 番組 | CM | 番組 |
|---|---|---|
| モノラル/二重 | ステレオ | モノラル/二重 |
| 録画 | 自動的に録画を一時停止する | 録画 |

- 次のようなときは、正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき

| 番組 | CM | 番組 |
|---|---|---|
| ステレオ | ステレオ | ステレオ |

録画

  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき

| 番組 | CM | 番組 |
|---|---|---|
| ステレオ | モノラル/二重 | ステレオ |
| 録画 | 自動的に録画を一時停止する(約5分) | 録画 |

  - ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・外部入力チャンネル(BSデジタル/CSデジタルを含む)を録画するとき

**■予約録画時に働かせたいとき**
- CMカット予約**(➔57)**

## 終了時刻だけを予約して録画する(終了時刻予約録画)

**指定した時刻になると、自動的に録画をやめ、電源を切ります。**
- 急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画としてお使いください。
- 録画の終了時、HDD部が再生などの動作中の場合、電源は「切」になりません。

**1** **[VHS]を押し、VHSモードにする(➔22)**

VHS

**2** 録画中に、
**本体の[●録画/終了時刻予約]を押す**

終了 --:--
終了 16:40

- VHS表示窓に" 終了 "と" ーー：ーー "が表示されます。
- 最大2時間先まで予約できます。
- 続けて押すごとに、以下のように録画終了時刻が変わります。

**録画終了時刻の変わりかた**
例：現在時刻が16時10分の場合

**16:40** (+30分) → **17:10** (+1時間) → **17:40** (+1時間30分) → **18:10** (+2時間) → --:-- (終了時刻予約を解除した状態) → 16:40

**■解除する**
録画中に、本体の[●録画/終了時刻予約]を数回押し、VHS表示窓に" ーー：ーー "を表示させる。
- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。
- 録画もやめるには、[■停止]を押します。

**■ヒント**
- リモコンの[録画●]では働きません。
- 予約録画(Gコード予約やフリーセット予約)中は働きません。

## HDDモードでの録画について

HDDモードでの録画はすべて内蔵ハードディスクに記録され、その録画方法には、[自動]録画とエンコード録画の2種類があります。

**[自動]録画**　：通常、BSデジタル番組を録画するときに使用します。(➜72)

**エンコード録画**　：地上波やアナログBS放送など、アナログで入力された信号をデジタルに変換(エンコード)して録画します。

### ■ハードディスクの残量表示について

ハードディスクに十分な空き容量がないと､正しく録画が行われません。ハードディスクの残量表示については、93ページをお読みください。

### ■エンコード録画時の録画モードと画質について

それぞれの録画モードでの録画時間は以下のようになります。

XP：約6時間　　SP：約13時間

LP：約20時間　　EP：約40時間

- 画質は録画モードによって異なります。
- 地上波放送、従来のアナログBS放送および外部入力信号は、MPEG2形式に変換してから出力していますので、録画モードを変えると、録画される映像の画質、および出力される映像の画質が変わります。

## テレビ番組を録画する

**地上波(UHF/VHF)やアナログBS放送などをエンコード録画します。**

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- HDD表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、 i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。

**1** HDD を押し、HDDモードにする(➜22)

**2** HDDチャンネル∧∨(または①～⑫)で、録画したいチャンネルを選ぶ

**3** 録画モード を数回押し、録画モードを選ぶ

- [XP]、[SP]、[LP]、[EP]から選んでください。

**4** 録画● を押す

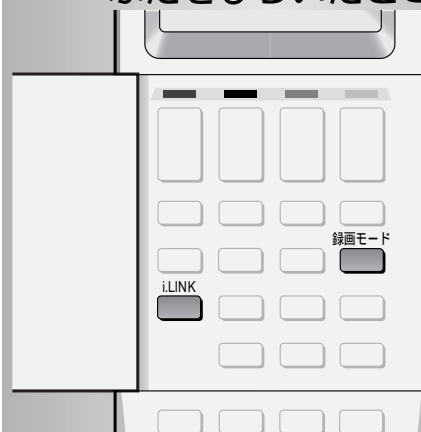
### ■録画をやめる

停止■ を押す。

### ■不要な場面をとばす

不要な場面がきたら、

一時停止/スロー ❚❚/▶ を押す。

- 録画の一時停止になります。
- もう一度 一時停止/スロー ❚❚/▶ または 録画● を押すと録画が再開されます。録画の一時停止状態から録画を再開するときは、録画したいチャンネルになっていることを確認してください。

■お願い/ヒント
- ❶〜⓬では、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜30)に記載されているチャンネルポジション1〜12の放送局を選ぶことができます。(市外局番入力チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)
- 録画中にチャンネルや録画モードの切り換え、i.LINKによる入力の切り換えはできません。
(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止中に、本機のチャンネルや録画モードを変えて録画を再開させると、別番組として録画されます。ただし、チューナー(内蔵テレビ)から録画しているときは、チューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを変えても、別番組としては録画されません。
- 録画の一時停止が約5分以上続くと、自動的に停止状態になります。
- BSラジオ放送など、映像信号のない音声のみの番組などを録画(録音)すると、音声が途切れたり、正しく録画(録音)·再生することができない場合があります。
- 外部入力で静止画を録画する場合、入力信号によっては正しく録画できない場合があります。その場合は、再生機側で調整してください。

## 録画中に別のチャンネルの番組を見る

**下記の方法でテレビ画面を出してください。**

**1** **VHS/HDD/テレビ/BSを[テレビ]にする**

**2** 録画中に、
**入力を数回押し、テレビが受信しているチャンネルに切り換える**

**3** **テレビチャンネル∧∨(または❶〜⓬)で、見たいチャンネルを選ぶ**

■ヒント
- 予約録画中も上記の手順でテレビ番組を見ることができます。
- BSデジタル放送などをテレビのチューナーを使って録画しているときに裏番組を見る場合は、テレビの説明書をお読みください。

## 終了時刻だけを予約して録画する(終了時刻予約録画)

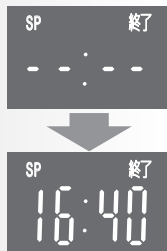
**指定した時刻になると、自動的に録画をやめ、電源を切ります。**
- 録画の終了時、VHS部が再生などの動作中の場合、電源は「切」になりません。
- 急なお出かけの際や、おやすみになる前など、簡単な予約録画としてお使いください。

**1** **HDDを押し、HDDモードにする(➜22)**

**2** 録画中に、本体の
**●録画/終了時刻予約を押す**

- HDD表示窓に“ 終了 ”と“ ――:―― ”が表示されます。
- 最大2時間先まで予約できます。
- 続けて押すごとに、以下のように録画終了時刻が変わります。

**録画終了時刻の変わりかた**
例:現在時刻が16時10分の場合

16:40 (+30分) → 17:10 (+1時間) → 17:40 (+1時間30分) → 18:10 (+2時間) → - - : - - (終了時刻予約を解除した状態) → 16:40

■解除する
録画中に、本体の●録画/終了時刻予約を数回押し、HDD表示窓に“ ――:―― ”を表示させる。
- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。
- 録画もやめるには、■停止を押します。

■ヒント
- リモコンの録画●では働きません。
- 予約録画(EPG、Gコード、フリーセット)中は働きません。

録画する HDD

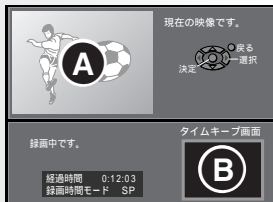
# 番組を見逃さないように、一時的に録画する(タイムキープ録画)

**番組の視聴中に急に席を外すときなど、タイムキープ録画をしておけば、その場面に戻って番組をお楽しみいただけます。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 予約モード時は、予約モードを解除しておく。(➜61)

## 1 HDDを押し、HDDモードにする(➜22)

## 2 本機が停止状態で番組の視聴中に、タイムキープ を押す

- タイムキープ録画が始まります。
- 右図のような画面が表示されます。
  Ⓐ:現在の放送番組画面
  Ⓑ:静止画再生画面(タイムキープ録画開始時の場面)

## 3 タイムキープ録画された番組の先頭から再生を開始するとき: タイムキープ、または 実行/決定 を押す

- タイムキープ録画を始めた位置(子画面Ⓑの場面)から再生が始まります。

**現在の放送番組画面から見たいとき:**

**1 ◀ ▶ で、子画面Ⓐを選ぶ**
- 選ばれた子画面は赤枠で表示されます。

**2 実行/決定 を押す**
- 現在の放送番組画面からの視聴になります。

### ■タイムキープ録画をやめる

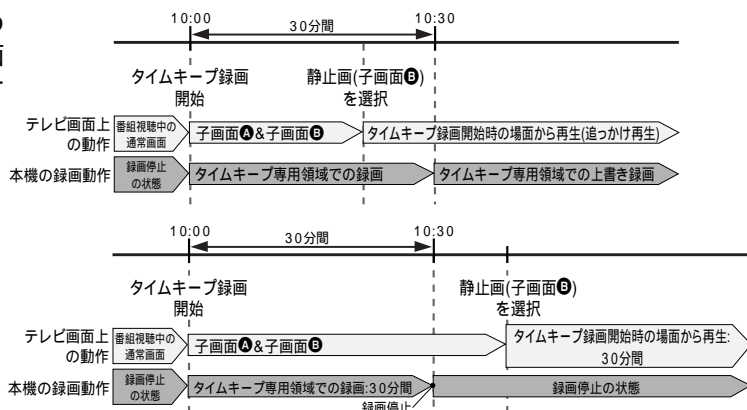
1. 停止■ を押す
- タイムキープ録画を終了するかどうかの確認メッセージが表示されます。

2. ◀ ▶ で[はい]を選び、実行/決定 を押す
- タイムキープ録画された映像がすべて削除されます。

### ■タイムキープ録画のしくみ

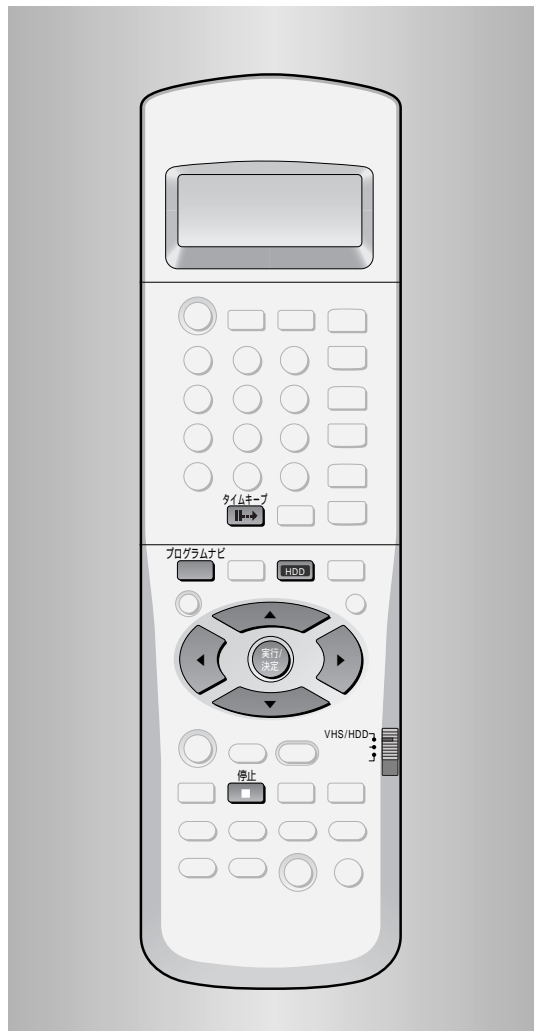
本機が停止状態で番組の受信中にのみ行われる、タイムキープ機能専用の一時録画です。この録画には、通常の録画とは別の専用領域が使用されます。
タイムキープではSPモードで約30分間分の録画ができ、それをこえると、録画が停止します。ただし、30分以内に手順3の操作をした場合は、タイムキープの録画領域で上書き録画を実行し、同時録画再生の動作になります。

例：10:00にタイムキープ録画を開始して、手順3の操作を10:30までに行った場合、本機は同時録画再生を開始し、番組を最後までお楽しみいただけます。

10:00 ← 30分間 → 10:30
タイムキープ録画開始 / 静止画(子画面Ⓑ)を選択
テレビ画面上の動作: 番組視聴中の通常画面 → 子画面Ⓐ&子画面Ⓑ → タイムキープ録画開始時の場面から再生(追っかけ再生)
本機の録画動作: 録画停止の状態 → タイムキープ専用領域での録画 → タイムキープ専用領域での上書き録画

もし、タイムキープ録画を開始してから30分をこえて、10:30以降に手順3の操作を行った場合は、10:00～10:30の30分間の録画をお楽しみいただけます。

10:00 ← 30分間 → 10:30
タイムキープ録画開始 / 静止画(子画面Ⓑ)を選択
テレビ画面上の動作: 番組視聴中の通常画面 → 子画面Ⓐ&子画面Ⓑ → タイムキープ録画開始時の場面から再生:30分間
本機の録画動作: 録画停止の状態 → タイムキープ専用領域での録画:30分間 → 録画停止 → 録画停止の状態

### ■お願い/ヒント

- この機能は、HDDモードのみ働きます。
- BSデジタル放送をi.LINK経由で視聴中は働きません。
- タイムキープ録画の再生中に早送り再生などで現在放送中の場所から約10秒以内の位置に近付くと、自動的に通常の再生に戻ります。
- 現在タイムキープ録画している時点から約30分前の時点にまで早戻しすると、自動的に再生に戻ります。
- タイムキープ録画の再生中は、スピードサーチは働きません。
- タイムキープ録画中は、メニュー画面を表示できません。
- タイムキープ録画の再生中に再生が現在放送中の場所に追いつくと、静止画になったり、ノイズ画面や黒い画面になる場合があります。
- タイムキープ録画の再生中は、日付表示は出ません。
- タイムキープ録画の開始後、約10秒間はその再生はできません。
- 本機が予約モード(➜51)中で、タイムキープ動作中に予約録画の開始時刻になった場合は、タイムキープ動作は解除され、予約録画が始まります。
- タイムキープ録画中は、予約操作をしないでください。

# 自動的に古い録画を消して新しく録画していく(上書き設定)

**ハードディスクの空き容量が少ないとき、または記録最大数(240番組)をこえるときに、録画を続けるために上書き録画で古い録画を削除することを許可するかどうかを設定します。**

## これから録画するすべての番組を、上書き録画を許可した状態で録画する

**メニューの[HDD設定]→[上書き設定]を[入]にする(➔97)**
- 工場出荷時は[切]になっています。

## 上書き録画してもよいかどうかを、録画した番組ごとに設定する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** **HDD を押し、HDDモードにする(➔22)**

**2** **プログラムナビ を押し、ビジュアルプログラムナビ画面を出す**

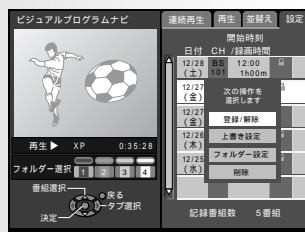
- 選ばれている番組が黄色で表示され、左側の子画面で再生が始まります。

**3** **▶ で[設定]を選び、▲ ▼ で上書き設定したい番組を選んで 実行/決定 を押す**
- 選ばれている番組が黄色で表示されます。
- 上書き録画が禁止される設定をしている番組の右端には、[ 🔒 ]が表示されています。

**上書き録画を許可したいとき:**
[ 🔒 ]が表示されている番組を選んでください。

**上書き録画を禁止したいとき:**
[ 🔒 ]が表示されていない番組を選んでください。

**4** **[登録/解除]が選ばれていることを確認し、実行/決定 を押す**

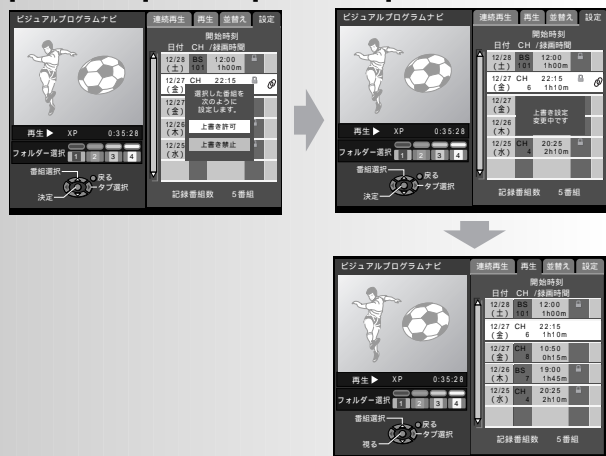
- 選択された番組の右端に[ 🔗 ]が表示されます。
- 複数の番組を選ぶ場合は、手順3、4を繰り返してください。
- 選択を解除するには、再度 実行/決定 押して[登録/解除]を選び、もう一度 実行/決定 を押してください。

**5** **もう一度、実行/決定 を押す**

**6** **▼ で[上書き設定]を選び、実行/決定 を押す**

**7** **▲ ▼ で[上書き許可]、または[上書き禁止]を選び、実行/決定 を押す**

**[上書き許可]:**
上書き録画が許可され、[ 🔒 ]が消えます。

**[上書き禁止]:**
上書き録画が禁止され、[ 🔒 ]が表示されます。

**[上書き禁止]の番組を[上書き許可]にする場合の例:**

**■お願い/ヒント**
- この機能は、HDDモードでのみ働きます。
- ショートカットでも、上書きの設定を行えます。(➔91)
- 以下の番組の場合は、上書き録画できません。
  - ・上書き録画開始時に再生中の番組(連続再生中の番組も含む)
  - ・上書き録画開始時に録画中の番組
- 上書き録画開始時に再生中の番組は、上書き録画を許可する設定にしていても上書き録画は禁止されますが、再生を終了すると、上書き録画を許可する設定に戻ります。
- オートリニューアル録画の番組は、メニューの[HDD設定]→[上書き設定]の設定に関係なく、上書き録画を禁止した状態で録画されます。ただし、録画後はビジュアルプログラムナビやショートカットで上書き録画を許可する設定に変更することができます。

**本機では、VHS部とHDD部で番組を同時に録画することができます。**

- 同じチューナーを使って録画する場合、異なる2つの番組を同時に録画することはできません。詳しくは下記をお読みください。

**VHS･HDDそれぞれのモードで、個別に録画操作を行う**

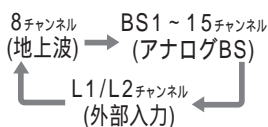
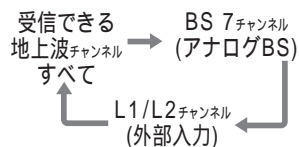
- VHS部の録画について(➜44)
- HDD部の録画について(➜46)

### ■同時に2つの番組を録画できる放送･信号について

2つ同時に録画できる放送･信号は、チャンネルの切り換わりかたに準じます。(➜36)

本機には、地上波(VHF/UHF)放送受信用のチューナーと従来のアナログBS放送受信用のチューナーが搭載されています。
同じチューナーで受信するチャンネルの選局は、VHS/HDD部共通の同一チャンネルになります。同じチューナー内で、異なったチャンネルを選んで録画することはできません。ただし、VHS/HDD部どちらかが録画中、または録画の一時停止状態のときは、もう片方のチャンネルを切り換えて、VHS/HDD部で個別に異なる番組を同時に録画することができます。その場合、録画チャンネルとして選局できるのは、録画(録画の一時停止)をしている側とは異なるチューナーのチャンネルや外部入力チャンネルです。**(➜表1)**

例えば:
VHS側で地上波(VHF/UHF)放送の8チャンネルを録画中、またはその録画を一時停止している場合:
HDD側で録画できるチャンネルの切り換えは右図のようになります。

8チャンネル(地上波) ➜ BS1～15チャンネル(アナログBS) ➜ L1/L2チャンネル(外部入力) ➜ 8チャンネル(地上波)

HDD側でアナログBS放送のBS 7チャンネルを録画中、またはその録画を一時停止している場合:
VHS側で録画できるチャンネルの切り換えは右図のようになります。

受信できる地上波チャンネルすべて ➜ BS 7チャンネル(アナログBS) ➜ L1/L2チャンネル(外部入力) ➜ 受信できる地上波チャンネルすべて

VHS側で外部入力のL1チャンネルを録画中、またはその録画を一時停止している場合:
HDD側で録画できるチャンネルの切り換えは右図のようになります。

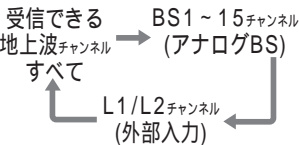
受信できる地上波チャンネルすべて ➜ BS1～15チャンネル(アナログBS) ➜ L1/L2チャンネル(外部入力) ➜ 受信できる地上波チャンネルすべて

- 一度、録画を一時停止した場合は、録画を再開するときに、録画したいチャンネルになっていることをご確認ください。

**表1)**

| 選択チャンネル VHS部(先に録画中*)──HDD部 または HDD部(先に録画中*)──VHS部 | | VHS/HDD部それぞれで録画できる番組 |
|---|---|---|
| 地上波(VHF/UHF) | 地上波(VHF/UHF) | 共通 |
| | アナログBS | 個別 |
| | 外部入力(L1/L2) | 個別 |
| アナログBS | 地上波(VHF/UHF) | 個別 |
| | アナログBS | 共通 |
| | 外部入力(L1/L2) | 個別 |
| 外部入力(L1/L2) | 地上波(VHF/UHF) | 個別 |
| | アナログBS | 個別 |
| | 外部入力(L1/L2) | 個別 |

*録画の一時停止状態も含みます。

**共通：**VHS/HDD部共通の同一番組を録画します。
**個別：**VHS/HDD部それぞれで個別に異なる番組を録画します。

### ■BSデジタル番組を同時に録画するとき

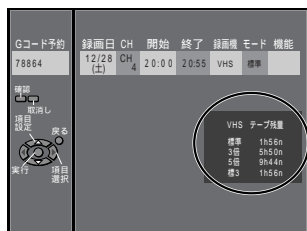
- 本機にはBSデジタルチューナーを搭載しておりませんので、BSデジタル番組をお楽しみいただく場合は、チューナー(内蔵テレビ)を接続する必要があります。
- 同時に録画できるチャンネルについては、BSデジタル番組を録画する場合も、本機に搭載されているチューナーを使った場合と同じです。
  - ・VHS/HDD部両方でBSデジタルチューナーを使用しているときは、同一チャンネルのみの録画になります。
  - ・VHS/HDD部どちらかが録画中、または録画の一時停止状態のときは、もう片方のチャンネルを切り換えて、VHS/HDD部で個別に異なる番組を同時に録画することができます。ただし録画チャンネルとして選局できるのは、録画(録画の一時停止)をしている側とは異なるチューナーのチャンネルや外部入力チャンネルです。
- BSデジタル番組の録画はHDD側で行います。VHS側で録画する場合は、外部入力録画になります。(➜87)
- [自動]録画(➜72)やBS入力(➜28)を使っての録画は、HDD側でのみ行えます。
  VHS側での録画は、外部入力録画になります。(➜87)
  このとき、HDD側にもBS入力で録画する場合は、メニューの[初期設定]→[L1設定]は[BS]にしておいてください。(➜97)

### ■お願い/ヒント

- 予約録画でも同じように、異なる2つの番組を同時に録画することができます。

# VHSモードでの予約録画について

## テープ残量

**■テープ残量表示**
**テープの残り時間の目安が予約録画の設定画面に表示されます。**

テープ残量の表示(目安)

- VHS初期設定の[テープの長さ]**(➜97)**を正しく合わせておいてください。合わせていないと、正しい表示になりません。
- カセットによっては、正しく表示されないことがあります。
- テープの残量表示については、92ページもお読みください。

## その他

- 再生などの操作中も予約操作は行えますが、予約操作終了後は、本機をVHSモードにして タイマー 切/入 を押し、忘れずに予約待機状態にしておいてください。**(➜61)**
- 予約録画実行中も、予約内容の取り消しや修正を行えます。ただし、現在録画中の予約内容に対して行える修正は、録画終了時刻の延長だけです。

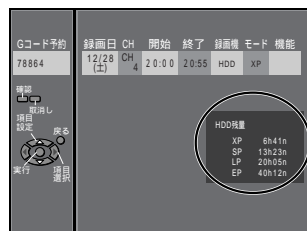
# HDDモードでの予約録画について

## 予約録画の実行について

本機は、予約録画の設定をしている状態で開始時刻の数分前から、本機の電源が「切」のときは自動的に電源が「入」になり、テレビ画面に「予約実行待機中」のメッセージが予約録画の開始まで表示されます。すでに電源が「入」の場合は「予約実行待機中」と表示されます。ただし、[モード設定]の[オンスクリーン]**(➜96)**で[切]が選ばれている場合、「予約実行待機中」のメッセージは約5秒間表示されます。

- EPG予約**(➜76)**の場合は、録画開始時刻の約7分前から表示されます。(当社製チューナー(内蔵テレビ)を使って予約した場合)
- EPG予約以外は録画開始時刻の約2分前から表示されます。

## ハードディスク残量表示について

**■ハードディスク残量表示**
ハードディスク残量の目安が予約録画の設定画面に表示されます。(ただし、EPG予約時は表示されません)

**残量の表示(目安)**
i.LINK入力時：
HD/SD
アナログ入力時：
XP/SP/LP/EP

- 表示される残量目安の数値は、その時点のハードディスク残量に基づいて表示されたおおよその録画可能時間です。
- ハードディスクの残量表示については、93ページもお読みください。

## その他

- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)を使った予約録画の場合は、番組の先頭の数十秒が録画されない場合があります。
- 予約モード(予約スタンバイモード)中、予約録画実行の数分前([予約実行待機中]のメッセージ表示中など)、予約録画実行中も、予約操作や予約の取り消し、予約内容の修正を行えます。ただし、予約録画実行中に修正できる現在録画中の番組の予約内容の修正は、録画終了時刻の延長だけです。また、予約録画実行の数分前([予約実行待機中]のメッセージ表示中など)に行える現在予約実行待機状態にある番組の予約内容の修正も、録画終了時刻の延長だけです。
- タイムキープ録画**(➜48)**中やビジュアルプログラムナビ画面**(➜66)**表示中、メニュー画面の表示中は、予約内容の確認を含む予約操作をすることはできません。

**HDDモードでの予約録画の用語について**
本書では、HDDモードでの予約録画についての用語を以下のように使用しています。

**予約モード：**
予約録画が設定されている状態です。再生操作などを行うことができます。

**予約スタンバイモード：**
予約録画モードで、本機の電源が[切]の状態です。

# VHS/HDDモードでの予約録画について

## 本機で対応している予約録画の種類

本機で対応している予約録画の種類です。

| 予約録画の種類 | 予約できるチャンネル |
|---|---|
| Gコード予約 | 地上波(VHF/UHF)放送<br>アナログBS放送<br>CATV放送**(➜88)** |
| フリーセット予約 | 地上波(VHF/UHF)放送<br>アナログBS放送<br>CATV放送<br>外部入力(L1/L2) |
| EPG予約* | BSデジタル放送 |
| BSデジタルフリーセット予約* | BSデジタル放送 |

- CATV放送に関しては、88ページもお読みください。
- 上記の表の中で“ ＊ ”の付いた予約は、HDD側でのみ行える予約録画です。

## その他

- 予約待機中、または予約モード中は、i.LINK機器から本機の電源を入れるなどの操作をしないようにしてください。
- 予約開始時刻や終了時刻が重複しないように予約してください。重複したときは、正しく予約実行できないことがあります。**(➜114)**
- ワンタッチダビング**(➜80〜81)**や自動ダビング中**(➜84)**は、予約操作をすることはできません。

# Gコードで予約する（Gコード予約）VHS HDD

**予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、本機に転送するだけで簡単に予約できます。**
- VHS部･HDD部含めて、最大40番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)
- BSデジタル番組はGコードで予約録画できません。

**■Gコードとは**
- 新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8けた)

| 00 | 日本代表直前情報（第1回）▽検証・日本代表の戦術▽競技場紹介 山本鉄郎 田村淳 78864 | 00 | いた「焼 市原 幸子 |
| --- | --- | --- | --- |
| 55 | N 天 20668 | 55 | N |

**■Gコード予約を正しく行うには**
- ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。(➜32･33)

※Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。

**カセットに録画する場合：**
- 録画可能なカセットを入れる。

**ハードディスクに録画する場合：**
- ハードディスクに録画可能な空き容量があるか確かめる。(➜93)

## 1 リモコンのふたを閉じたままで Gコード/フリーセット を押し、“Gコード”を表示させる

## 2 ①～⑩/0 でGコードを入力する

- 間違えたときは、Gコード/フリーセット を2回押し、正しいGコードを入力し直してください。

## 3 録画モード で録画モードを選ぶ



**■VHSモードで録画するとき**
- [標準]、[3倍]、[5倍]、[標準3倍]から選んでください。
- [標準3倍]について(➜56)

**■HDDモードで録画するとき**
- [XP]、[SP]、[LP]、[EP]から選んでください。

**VHS/HDD部どちらに録画するかは、選んだ録画モードによって決まります。録画したい方の録画モードが選ばれているか、ご確認ください。**
- 録画モードを選ばなかった場合は、自動的にHDD側での録画設定になり、そのとき本体で設定されているHDD側の録画モードが選ばれます。

## 4 転送 を押す

- 数秒後に予約内容が表示されます。さらにその約14秒後に、VHSモードでは予約録画の待機状態に、HDDモードでは予約モードになります。(VHS/HDD表示窓に、それぞれ“予約”または“⏲”が表示されます)

- この表示が出ている間に 取消し を押すと、取り消すことができます。
- 転送された予約内容(予約開始時間･終了時間)は、HDDモードでの予約時はHDD表示窓にも、VHSモードでの予約時はVHS表示窓にも、それぞれ表示されます。

**■予約録画の待機状態(VHS)/予約モード(HDD)になると**
本機は、予約録画待機中や予約モード状態であっても、再生などをお楽しみいただくことができるようにするため、自動的に電源が切れないようになっています。ただし、VHS側が予約待機状態のときは、カセットの再生操作などはできません。

**■ふたをひらいたところ**

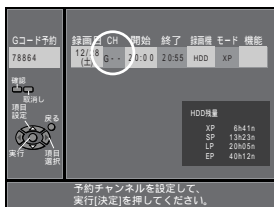
**5** 設定終了後に再生などの操作をしないときは、
**VHS/HDD電源を押し、本機の電源を切る**
- 電源を入れたままにして予約録画が実行されると、終了後は、再生などの操作中でなければ自動的に電源が切れます。

**■2つ以上の予約をするとき**
- 手順1～4を繰り返してください。(予約録画の待機状態、または予約モード(予約スタンバイモード)中でも予約できます)

**■手順4後(予約設定終了後)の本機の状態について**
VHS予約とHDD予約、また予約設定時に本機の電源が「入」か「切」かの条件の違いで、本機の状態は異なります。
- VHS予約の場合は、設定時の電源の「入」「切」状態に関係なく、手順4の操作後約14秒後にVHS側は予約録画の待機状態になります。VHS表示窓に“ 予約 ”が表示されます。
- HDD予約の場合は、手順4の操作後約14秒後に：
  設定時に電源が「入」の場合→予約モードになります。電源は切れません。
  設定時に電源が「切」の場合→予約スタンバイモードになり、電源は「切」のままです。
  いずれも、HDD表示窓に“ ⏲ ”が表示されます。

**■お願い/ヒント**
- VHSモードで予約録画する場合、手順3で録画モードを[5倍]にしたときは、転送直後にVHS表示窓の“ 5倍 ”が点滅します。
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されているときは正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。(➜33)

**■野球中継延長などで放送開始が遅れたり、番組が予定より延長されたとき**
- Gコード予約は、放送開始・終了の予定時刻に合わせて予約しますので、このようなときは、その番組の最初から最後までを録画することはできません。
  前もって終了時刻を延長しておきたい場合は、予約内容の修正を行ってください。(➜60)

**■[CH]の項目が“ G−− ”になっているとき**
- 予約したチャンネルのガイドチャンネルが正しく設定されていません。
- このときは、下記の操作で予約を完了すると、そのチャンネルのガイドチャンネルが設定されていないときは自動的に設定されます。
  1. ◀ ▶ で[CH]を選び、▲ ▼ で予約チャンネルを合わせる
  2. 実行/決定 を押す
     - 予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。

**■WOWOW(アナログ)の番組を予約するとき**
- (➜89)

**■操作中にメッセージがテレビ画面に表示されたとき**
- (➜110)

## 転送直後に予約内容を修正する

テレビ画面に予約内容が表示されている間は、内容を修正することができます。

**テレビ画面に予約内容が出ている間に、**
**◀ ▶ で修正したい項目を選び、▲ ▼ で修正する**

**録画日**：日付、毎日･毎週予約など(➜54)
**CH**　：予約チャンネル(➜54)
**開始**　：開始時刻(➜54)
**終了**　：終了時刻(➜54)
**録画機**：録画するモード(VHS/HDD)の選択(➜下記)
**モード**：録画モードの変更、またはぴったり録画(VHSモード時のみ)するとき
**機能(➜下記)**：更新(HDDモードで毎日/毎週予約時のみ)(➜58)
フォルダー(HDDモード時のみ)(➜69)
CM(VHSモード時のみ)(➜57)
BS音声(アナログBS時のみ)(➜94)

- 下記のボタンでも修正することができます。
  その場合、修正したい項目を選ぶ必要はありません。
  VHS HDD:[録画機]項目を修正
  録画モード:[モード]項目を修正
  自動更新:　[機能]→[更新]項目を修正
  カラー 青(1)･赤(2)･緑(3)･黄(4):
  　[機能]→[フォルダー]項目を修正
  CM:　[機能]→[CM]項目を修正
  TV/独立:　[機能]→[BS音声]項目を修正

**■VHS/HDD両方で同じ番組を同時に予約録画するとき**
1. ◀ ▶ で[録画機]項目を選び、▲ ▼ で HDD VHS 表示を選ぶ

2. ◀ ▶ を使って[モード]項目を選ぶ
   - [モード]項目の下に、VHS/HDDそれぞれの録画モード設定欄が表示されます。
3. ▲ ▼ ◀ ▶ でVHS/HDDそれぞれの録画モードを選ぶ
4. 実行/決定 を押す

**■予約した番組に対していろいろな設定を行うとき**
以下の設定を行うことができます。
オートリニューアル録画の設定
(HDDモードで毎日/毎週予約時のみ)(➜58)　**：更新**
フォルダー設定(HDDモードのみ)(➜69)　**：フォルダー**
CMカット予約の設定(VHSモードのみ)(➜57)　**：CM**
BS放送の音声切換設定(アナログBS時のみ)(➜94)**：BS音声**
- 下記の操作で設定することができます。
  1. ◀ ▶ で[機能]項目を選ぶ
     - [機能]項目の下に、それぞれの設定欄が表示されます。

  2. ▲ ▼ ◀ ▶ でそれぞれの設定をする
     ・更新　：[○]→オートリニューアル録画が設定されている状態
     　[−]→オートリニューアル録画が設定されていない状態
     ・フォルダー：[1(青)][2(赤)][3(緑)][4(黄)]
     　→予約する番組を1～4のどれかのフォルダーに分類する。
     　[−]→フォルダーに分類しない状態
     ・CM　：[✂]→CMカット予約が設定されている状態
     　[−]→CMカット予約が設定されていない状態
     ・BS音声：[♪]→独立音声を選んでいる状態
     　[−]→テレビ音声を選んでいる状態
  3. 実行/決定 を押す

**■転送後、録画の待機状態、または予約モードになったあとに、予約内容を修正したいとき(➜60)**

# Gコードを使わずに予約する（フリーセット予約） VHS HDD

**予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。**
- ＶＨＳ部･ＨＤＤ部含めて、最大４０番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)
- ＢＳデジタル放送の番組をフリーセット予約するときは、７８ページをお読みください。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。

**カセットに録画する場合：**
- 録画可能なカセットを入れる。

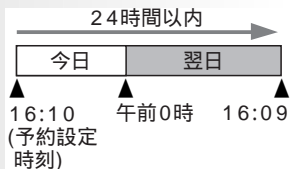
**ハードディスクに録画する場合：**
- ハードディスクに録画可能な空き容量があるか確かめる。(➜93)

## 1 リモコンのふたを開いて Gコード/フリーセット を押し、フリーセット予約モードにする

## 2 ＋曜日/日－ を押し、予約日を合わせる

- [＋]側を押すごとに、下記のように変わります。([－]側を押すと逆方向)

→**今日の予約**
(今の時刻から、２４時間以内に始まる番組を予約)
現在時刻が１６時１０分なら、翌日の１６時０９分までが｢今日｣になります。

２４時間以内
今日 翌日
16:10 (予約設定時刻) 午前0時 16:09

→**1週間以内の予約**(日→月→火→水→木→金→土)
→**1か月以内の予約**(1→2→3→…→29→30→31)
→**毎日予約**(毎週日～土→毎週月～土→毎週月～金)
→**毎週予約**(毎週日→毎週月→毎週火→…→毎週土)
- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

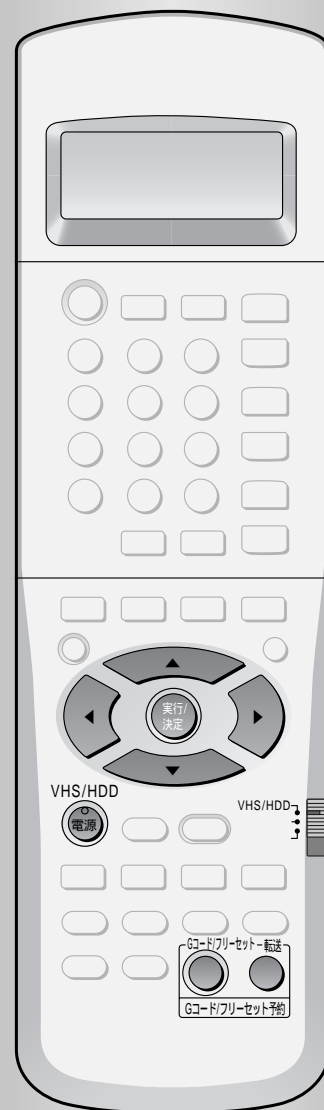
## 3 ＋チャンネル－ を押し、予約チャンネルを合わせる

- 表示チャンネルで合わせてください。
- [＋]側を押すごとに、以下のように変わります。([－]側を押すと逆方向)
  →**VHF/UHF放送チャンネル**
  →**従来のアナログBS放送チャンネル**
  →**CATV放送チャンネル**＊
  →BSデジタル固定チャンネル
  →オプションBSデジタルチャンネル＊
  →BSデジタル全チャンネル＊
  →110度CSデジタルチャンネル＊(このチャンネルは働きません)
  →**外部入力チャンネル**
  ＊工場出荷時はとばされています。
- 押し続けると、素早く移動できます。

## 4 ＋開始－ を押し、開始時刻を合わせる

- 押し続けると、３０分単位で変わります。

## 5 ＋終了－ を押し、終了時刻を合わせる

- 押し続けると、３０分単位で変わります。

■ふたをひらいたところ

## 6 録画モード で録画モードを選ぶ

XP リモコン1
日チャンネル 開始 終了
23 4 20:00 21:00

■VHSモードで録画するとき
- [標準]、[3倍]、[5倍]、[標準3倍]から選んでください。
- [標準3倍]について(➜56)

■HDDモードで録画するとき
- [XP]、[SP]、[LP]、[EP]から選んでください。

**VHS/HDD部どちらに録画するかは、選んだ録画モードによって決まります。録画したい方の録画モードが選ばれているか、ご確認ください。**
- 録画モードを選ばなかった場合は、自動的にHDD側での録画設定になり、そのとき本体で設定されているHDD側の録画モードが選ばれます。

## 7 転送 を押す

- 数秒後に予約内容が表示されます。さらにその約14秒後に、VHSモードでは予約録画の待機状態に、HDDモードでは予約モードになります。(VHS/HDD表示窓に、それぞれ“予約”または“ ”が表示されます)
- この表示が出ている間に 取消し を押すと、取り消すことができます。
- 転送された予約内容(予約開始時間・終了時間)は、HDDモードでの予約時はHDD表示窓にも、VHSモードでの予約時はVHS表示窓にも、それぞれ表示されます。

**■予約録画の待機状態(VHS)/予約モード(HDD)になると**
本機は、予約録画待機中や予約モード状態であっても、再生などをお楽しみいただくことができるようにするため、自動的に電源が切れないようになっています。ただし、VHS側が予約待機状態のときは、カセットの再生操作などはできません。

## 8 設定終了後に再生などの操作をしないときは、VHS/HDD電源 を押し、本機の電源を切る

- 電源を入れたままにして予約録画が実行されると、終了後は、再生などの操作中でなければ自動的に電源が切れます。

**■2つ以上の予約をするとき**
- 手順1〜7を繰り返してください。(予約録画の待機状態、または予約モード(予約スタンバイモード)中でも予約できます)

**■手順7後(予約設定終了後)の本機の状態について**
VHS予約とHDD予約、また予約設定時に本機の電源が「入」か「切」かの条件の違いで、本機の状態は異なります。
- VHS予約の場合は、設定時の電源の「入」「切」状態に関係なく、手順7の操作後約14秒後にVHS側は予約録画の待機状態になります。VHS表示窓に“予約”が表示されます。
- HDD予約の場合は、手順7の操作後約14秒後に：
  設定時に電源が「入」の場合→予約モードになります。電源は切れません。
  設定時に電源が「切」の場合→予約スタンバイモードになり、電源は「切」のままです。
  いずれも、HDD表示窓に“ ”が表示されます。

**■お願い/ヒント**
- 時刻は24時間表示です。

**■すぐに予約録画を始めたいとき**
- 手順1のあと、予約チャンネル(手順3)と終了時刻(手順5)、録画モード(手順6)のみを合わせて転送してください。(終了時刻までの予約録画を始めます)

**■予約チャンネルについて**
- 必ず表示チャンネルで合わせてください。
- 本体で表示されていないチャンネルは予約できません。

**■素早く予約チャンネルを合わせたいとき**
- 使わない予約チャンネルは、とばしておくと素早く合わせることができます。(➜34)

**■CATVの予約チャンネルに合わせたいとき**
- 工場出荷時はすべてとばされています。必ず予約チャンネルを表示させておいてください。(➜34·35)

**■WOWOW(アナログ)の番組を予約するとき(➜89)**

**■操作中にメッセージがテレビ画面に表示されたとき**
- (➜110)

**■VHS/HDD両方で同じ番組を同時に予約録画するとき**

1. 手順7のあと、◀ ▶ で[録画機]項目を選び、▲ ▼ で HDD VHS 表示を選ぶ
2. ◀ ▶ を使って[モード]項目を選ぶ
   - [モード]項目の下に、VHS/HDDそれぞれの録画モード設定欄が表示されます。
3. ▲ ▼ ◀ ▶ でVHS/HDDそれぞれの録画モードを選ぶ
4. 実行/決定 を押す

**■予約した番組に対していろいろな設定を行うとき**
手順7のあと、以下の設定を行うことができます。
オートリニューアル録画の設定
(HDDモードで毎日/毎週予約時のみ)(➜58) ：更新
フォルダー設定(HDDモードのみ)(➜69) ：フォルダー
CMカット予約の設定(VHSモードのみ)(➜57) ：CM
BS放送の音声切換設定(アナログBS時のみ)(➜94)：BS音声
- 下記の操作で設定することができます。

1. ◀ ▶ で[機能]項目を選ぶ
   - [機能]項目の下に、それぞれの設定欄が表示されます。
2. ▲ ▼ ◀ ▶ でそれぞれの設定をする
   - 更新 ：[○]→オートリニューアル録画が設定されている状態
     [ー]→オートリニューアル録画が設定されていない状態
   - フォルダー：[1(青)][2(赤)][3(緑)][4(黄)]
     →予約する番組を1〜4のどれかのフォルダーに分類する。
     [ー]→フォルダーに分類しない状態
   - CM ：[✂]→CMカット予約が設定されている状態
     [ー]→CMカット予約が設定されていない状態
   - BS音声 ：[♪]→独立音声を選んでいる状態
     [ー]→テレビ音声を選んでいる状態
3. 実行/決定 を押す

**■上記の[録画機]·[モード]·[機能]の設定について**
下記のボタンでも修正することができます。この場合、◀ ▶ で設定したい項目を選ぶ必要はありません。
VHS HDD:[録画機]項目を修正
録画モード:[モード]項目を修正
自動更新: [機能]→[更新]項目を修正
カラー 青(1)·赤(2)·緑(3)·黄(4):
[機能]→[フォルダー]項目を修正
CM: [機能]→[CM]項目を修正
TV/独立: [機能]→[BS音声]項目を修正

**■転送後、録画の待機状態、または予約モードになったあとに、予約内容を修正したいとき(➜60)**

## カセットに収まるように予約録画する(ぴったり録画)

**[標準]モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に[3倍]モードに切り換えて番組の最後まで録画します。**

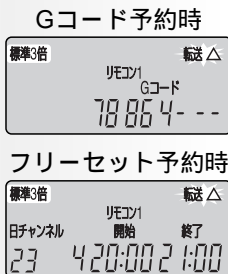
**この機能はVHSモードのみ働きます。**

■Gコード予約 手順3(➜52)で、
■フリーセット予約 手順6(➜55)で、
**録画モード を数回押し、[標準3倍]を選ぶ**

**Gコード予約時**

標準3倍　転送△
リモコン1
Gコード
78864- - -

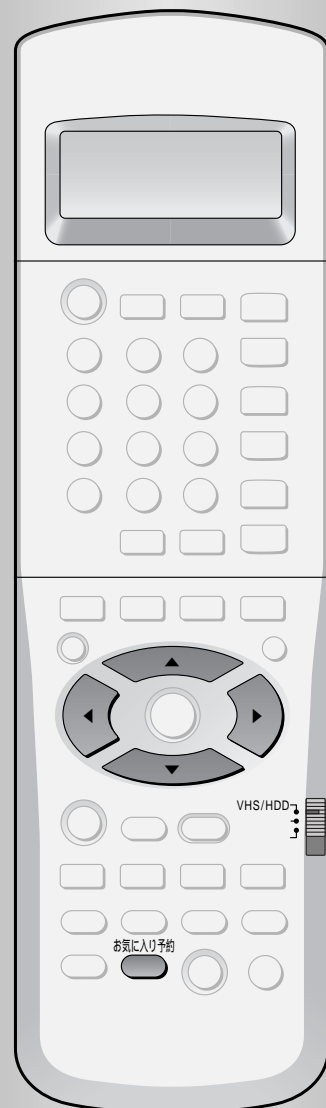
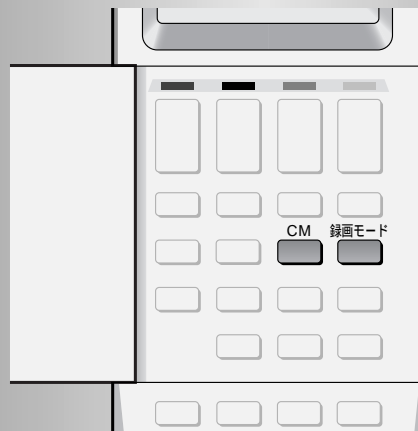
**フリーセット予約時**

標準3倍　転送△
リモコン1
日チャンネル　開始　終了
23　4 20:00 21:00

### ■お願い/ヒント

- VHS初期設定(**➜97**)の[テープの長さ]を正しく合わせておかないと正しく働きません。
- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。下図の例では、2番目の番組の途中から　3倍モードで録画し、3番目の番組は録画できません。

**予約内容**

| 1番目(30分) | 2番目(60分) | | 3番目 |
|---|---|---|---|
| **実際の録画状態** | | | |
| [標準]で30分録画 | [標準]で15分録画 | [3倍]で45分録画 | (60分カセットを使ったとき) |

- カセットによっては、正しく働かないことがあります。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後までを録画することはできません。
- CMカット予約(**➜右ページ**)も働かせたときは、CMをとばした分だけ録画される時間が短くなるため、テープが余ることがあります。
- ぴったり録画中に終了時刻を変更したときは、その時点で番組の残り時間とテープ残量を計算し直します。(ただし、一度終了時刻の修正を行って3倍モードに切り換わる番組は、後から終了時刻を早めても標準モードには戻りません)
- 5倍モードでは働きません。

**■ふたをひらいたところ**

## CMを自動的にとばして予約録画する(CMカット予約)

**CMを自動的にとばして予約録画することができます。**

**この機能はVHSモードのみ働きます。**

**■Gコード予約 手順3(➜52)のあと、**
**■フリーセット予約 手順6(➜55)のあと、**

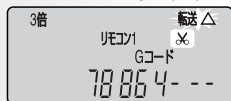
**CM を押し、" ✂ "を表示させる**

● もう一度押すと消えます。

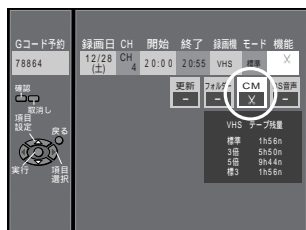
**Gコード予約時**

3倍 転送△ リモコン1 ✂ Gコード 78864- - -

**フリーセット予約時**

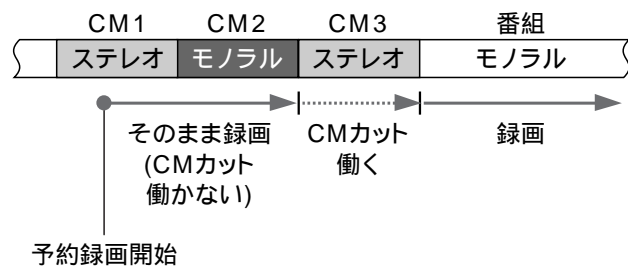
3倍 転送△ リモコン1 ✂ 日チャンネル 開始 終了 23 4 20:00 21:00

**■リモコン表示部以外でCMカット予約を設定する**

予約設定画面でもCMカット予約を設定できます。

1. Gコード/フリーセット予約の予約設定転送直後(➜53・55)、または予約内容の修正画面(➜60)で、◀ ▶ で[機能]→[CM]を選ぶ
2. ▲ ▼ で、[CM]の項目に" ✂ "を表示させる

**Gコード予約時の例**

● 操作については53・55・60ページもお読みください。

**■お願い/ヒント**

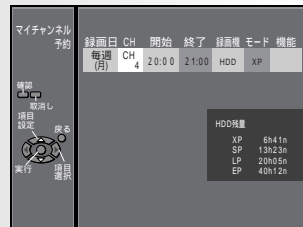
● 予約録画される番組によっては、正しく働かないことがあります。(➜45)
● 予約録画開始直後がCM中のときは、そのCM中は働きません。ただしCM中でもモノラル音声のCMからステレオ音声のCMに切り換わったときは働きます。

## 見ている番組を簡単に毎週予約する(お気に入り毎週予約)

**今見ている再生番組を簡単に毎週予約できます。**

**この機能はHDDモードのみ働きます。**

**準備**
● テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
● VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** **録画した番組の再生中に、お気に入り予約 を押す**

● 予約画面が表示されます。録画日や録画チャンネルなどは、現在再生中の番組の内容が自動的に表示されます。

**2** **通常の予約操作を行い、予約を実行する**

**■お願い/ヒント**

● 以下の番組の場合は、お気に入り予約録画はできません。
・追っかけ再生(➜43)中の録画番組
・外部入力録画(➜87)された番組
・i.LINK入力で[自動]録画(➜72)された番組
・BS入力でエンコード録画(➜72)されたBSデジタル番組
● 予約内容の修正方法については、テレビ画面に予約内容が表示されている間は53ページを、テレビ画面から予約内容の表示が消えたあとは60ページをそれぞれお読みください。
● お気に入り毎週予約は、放送開始・終了の予定時刻に合わせて予約しますので、野球中継延長などで放送開始が遅れたり、番組が予定より延長されたときなどは、その番組の最初から最後までを録画することはできません。前もって終了時刻を延長しておきたい場合は、予約内容の修正を行ってください。
● タイトル設定(➜91)された番組をお気に入り毎週予約した場合、予約録画された番組にはタイトル情報も一緒に入ります。ただし、予約内容を変更すると、その番組は別番組と認識されるため、タイトル情報は消去されます。また、停電時や、電源プラグをコンセントから抜いたときなどにも、タイトル情報は消去されます。
● 予約内容の登録後は、予約一覧画面(➜59)で予約が重複していないかなどを確認してください。

# いつも見る番組の最新版を自動的に録画する(オートリニューアル録画)

この機能はHDDモードのみ働きます。

**連続ドラマなど、いつもご覧になる番組の最新版を自動的に録画します。**

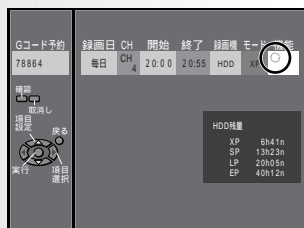
録画が始まると、前回オートリニューアル録画された同番組が自動的に削除され、その上から上書き録画されます。

**オートリニューアル録画ができるのは、HDDモードで毎日/毎週予約(➜54·78)を設定した番組のみです。**

- オートリニューアル録画の設定は番組単位で行います。

**1** ■Gコード予約 手順4(➜52)のあと、
■フリーセット予約 手順7(➜55)のあと、
■BSデジタルフリーセット予約 手順7(➜79)のあと、

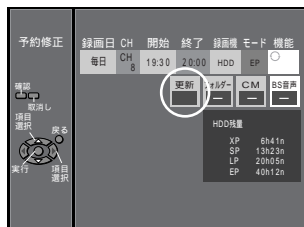
**自動更新 を押し、[機能]欄に“ ○ ”を表示させる**

- もう一度押すと消えます。

Gコード予約時の例

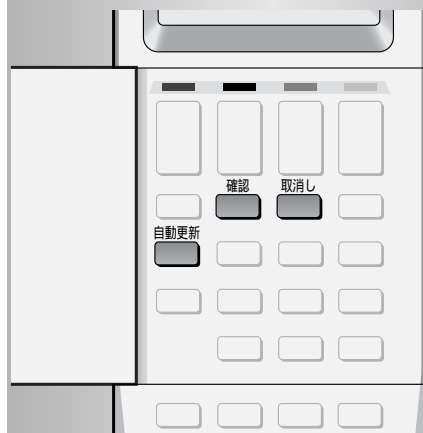
**2** **実行/決定 を押す**

### ■予約内容の修正画面で設定する

予約内容の修正画面でもオートリニューアル録画を設定できます。(➜60)

1.予約内容の修正画面で、
◀ ▶ で[機能]→[更新]を選ぶ
2.▲ ▼ で、[更新]欄に“ ○ ”を表示させる

### ■お願い/ヒント

- オートリニューアル録画を設定すると、その録画は次回の録画のときに自動的に消去されてしまいます。大切な録画は、オートリニューアル録画をしない設定[－]にしておいてください。
- ハードディスクの空き容量が少ないときは、同じ予約であっても、最後まで録画されないことがあります。
- 予約開始の約70秒前には、前回録画された番組が消去されます。
- オートリニューアル録画をしている番組を再生中に、録画開始時刻の約2分前になった場合は、別番組として録画されます。
- 予約修正を行ってもオートリニューアル録画はできますが、前回録画された番組は消去されます。
- [上書き設定](➜49·97)を設定している場合でも、オートリニューアル録画を設定している番組は上書き録画されません。

■ふたをひらいたところ

## 予約内容を確認する

**予約済みの内容をテレビ画面で確認することができます。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

### 1 確認 を押す

- 予約内容の一覧が表示され、押すごとに1つ下の予約内容が選ばれます。

**■予約一覧画面を消す**

戻る を押す。

- 手順1のあと、約1分そのままにしたときは、戻る を押さなくても消えます。

**■予約一覧画面のマークについて**

i ：**EPG予約(HDDモードの録画のみ)(➜76)**
- チューナー(内蔵テレビ)など、i.LINK機器側でEPG(電子番組ガイド)を使って予約した番組です。
- この予約は、本機からはフォルダー設定以外の修正・取り消しができません。フォルダー設定以外の修正・取り消しするときは、予約した機器側で行ってください。

重：**録画時間帯が重複している予約(➜114)**
- この予約はこのままでは正しく実行されません。重複している不要な方の予約を取り消し、または修正してください。

✂ ：**CMカット予約(VHSモードの録画のみ)(➜57)**
- CMを自動的にとばして予約録画します。
- HDDモードでの予約録画時や、外部入力から予約録画するときは働きません。

確：**BSデジタル番組をフリーセット予約(➜78)で毎日/毎週予約したが、チューナー(内蔵テレビ)側に登録更新されていない予約(HDDモードの録画のみ)**
- このままでは正しく実行されません。チューナー(内蔵テレビ)の接続を確認したあと、電源を入れるか、機能待機状態にしてください。

**■お願い/ヒント**

- 当社製のチューナー(内蔵テレビ)からEPG予約した場合は、予約一覧画面に、録画日、チャンネル番号、番組開始時刻、終了時刻、録画モードなどの予約内容が表示されます。
- モードの欄に表示されている録画モードで、予約録画が実行されます。
- HDDモードでの予約録画中に、停電などで一時的に電源が切れると、再開されても番組は2つに分かれて録画されます。
- タイムキープ録画**(➜48)**中やビジュアルプログラムナビ画面**(➜66)**表示中、メニュー画面の表示中、ワンタッチダビング**(➜80〜81)**や自動ダビング中**(➜84)**は、予約内容を確認することはできません。
- 予約内容は、HDDモードでの予約はHDD表示窓にも、VHSモードでの予約はVHS表示窓にも、それぞれ表示されます。

## 予約内容を取り消す

**予約済みの内容をテレビ画面で取り消すことができます。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

### 1 確認 を押す

- 予約内容の一覧が表示され、押すごとに1つ下の予約内容が選ばれます。

### 2 確認 を数回押し、取り消したい予約内容を選んだあと、取消し を押す

**■予約一覧画面を消す**

戻る を押す。

- 手順2のあと、約1分そのままにしたときは、戻る を押さなくても消えます。

**■お願い/ヒント**

- i マークの付いている番組(EPG予約)は、本機では取り消しできません。取り消すときは、予約した機器側で行ってください。
- タイムキープ録画**(➜48)**中やビジュアルプログラムナビ画面**(➜66)**表示中、メニュー画面の表示中、ワンタッチダビング**(➜80〜81)**や自動ダビング中**(➜84)**は、予約内容を取り消すことはできません。
- 予約内容は、HDDモードでの予約はHDD表示窓にも、VHSモードでの予約はVHS表示窓にも、それぞれ表示されます。

予約内容を修正する VHS HDD

# 予約内容を修正する

**予約済みの内容を、テレビ画面を見ながら修正することができます。**

予約内容の修正は、予約録画実行中も行えます。ただし、現在録画中の予約内容の修正は、録画終了時刻の延長のみ可能です。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(**➜22**)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

## 1 確認 を数回押し、修正したい予約内容を選ぶ

- 予約内容の一覧が表示され、押すごとに1つ下の予約内容が選ばれます。

## 2 実行/決定 を押す

## 3 テレビ画面に予約内容が出ている間に、◀ ▶ で修正したい項目を選び、▲ ▼ で修正する

**録画日**：日付、毎日·毎週予約など(**➜54**)
**CH**：予約チャンネル(**➜54**)
**開始**：開始時刻(**➜54**)
**終了**：終了時刻(**➜54**)
**録画機(➜右記)**：録画するモード(VHS/HDD)の選択
**モード**：録画モードの変更、またはぴったり録画(VHSモード時のみ)するとき
**機能(➜右記)**：更新(HDDモードで毎日/毎週予約時のみ)(**➜58**)
フォルダー(HDDモード時のみ)(**➜69**)
CM(VHSモード時のみ)(**➜57**)
BS音声(アナログBS時のみ)(**➜94**)

- 下記のボタンでも修正することができます。
  この場合、修正したい項目を選ぶ必要はありません。
  VHS HDD: [録画機]項目を修正
  録画モード: [モード]項目を修正
  自動更新: [機能]→[更新]項目を修正
  カラー 青(1)·赤(2)·緑(3)·黄(4): [機能]→[フォルダー]項目を修正
  CM: [機能]→[CM]項目を修正
  TV/独立: [機能]→[BS音声]項目を修正

## 4 実行/決定 を押す

**■ふたをひらいたところ**

### ■お願い/ヒント

- 終了時刻を延長修正したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
- i マークの付いている番組(EPG予約(**➜76**))はフォルダー設定のみ、BSデジタルフリーセット予約(**➜78**)はオートリニューアル録画の設定やフォルダー設定のみ修正できます。
  その他の設定を修正したい場合は、修正したい予約を取り消し、もう一度予約し直してください。
- HDD側の場合、予約録画実行の数分前([予約実行待機中]のメッセージ表示中など)に行える現在予約実行待機状態にある番組の予約内容の修正は、録画終了時刻の延長のみ可能です。
- タイムキープ録画(**➜48**)中やビジュアルプログラムナビ画面(**➜66**)表示中、メニュー画面の表示中、ワンタッチダビング(**➜80～81**)や自動ダビング中(**➜84**)は、予約内容を修正することはできません。
- 予約内容は、HDDモードでの予約はHDD表示窓にも、VHSモードでの予約はVHS表示窓にも、それぞれ表示されます。

■VHS/HDD両方で同じ番組を同時に予約録画するとき

1. ◀ ▶ で[録画機]の項目を選び、
   ▲ ▼ で HDD/VHS 表示を選ぶ

2. ◀ ▶ を使って[モード]の項目を選ぶ
   - [モード]項目の下に、VHS/HDDそれぞれの録画モード設定欄が表示されます。
3. ▲ ▼ ◀ ▶ でVHS/HDDそれぞれの録画モードを選ぶ
4. 実行/決定 を押す

■予約した番組に対していろいろな設定を行うとき

以下の設定を行うことができます。

オートリニューアル録画の設定
(HDDモードで毎日/毎週予約時のみ)**(➜58)**　：**更新**
フォルダー設定(HDDモードのみ)**(➜69)**　：**フォルダー**
CMカット予約の設定(VHSモードのみ)**(➜57)**　：**CM**
BS放送の音声切換設定(アナログBS時のみ)**(➜94)**：**BS音声**

- 下記の操作で設定することができます。

1. ◀ ▶ で[機能]の項目を選ぶ
   - [機能]項目の下に、それぞれの設定欄が表示されます。
2. ▲ ▼ ◀ ▶ でそれぞれの設定をする

・更新　：[○]→オートリニューアル録画が設定されている状態
　　　　[ー]→オートリニューアル録画が設定されていない状態
・フォルダー：[1(青)][2(赤)][3(緑)][4(黄)]
　　　　→予約する番組を1〜4のどれかのフォルダーに分類する。
　　　　[ー]→フォルダーに分類しない状態
・CM　：[✂]→CMカット予約が設定されている状態
　　　　[ー]→CMカット予約が設定されていない状態
・BS音声：[♪]→独立音声を選んでいる状態
　　　　[ー]→テレビ音声を選んでいる状態

3. 実行/決定 を押す

# 予約録画を解除する

**予約録画の解除操作をすると、以下のことができます。**

VHSモードの場合：
- カセットの入れ替えや再生操作など
- 始まった予約録画の中止

HDDモードの場合：
- 始まった予約録画の中止

準備 ● VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

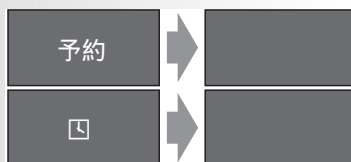
## 1 予約録画を解除したい操作モードを選ぶ(➜22)

**VHS部の予約録画を解除する場合:**
VHS を押し、VHSモードにする

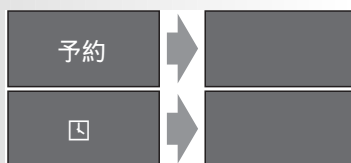
**HDD部の予約録画を解除する場合:**
HDD を押し、HDDモードにする

## 予約録画の待機状態、または予約(スタンバイ)モードを一時解除する

## 2 タイマー 切/入 を押す

- 本体(VHS/HDD)表示窓の"予約"または"⏱"が消え、VHS側の予約録画の待機状態を解除した場合は、電源が入ったときの状態になります。
- もう一度押すと元の状態に戻ります。

## 予約録画を途中でやめる

## 2 タイマー 切/入 を押す

- 録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

■お願い/ヒント

- 手順1で本機の電源が「切」だった場合、テレビ画面にモード表示は表示されないため、本機前面部のVHS/HDDモード表示ボタン/ランプ**(➜22)**で操作モードを確認してください。それぞれのモード表示ボタン/ランプが数秒間点灯します。
- **予約録画の待機状態、または予約モード(予約スタンバイモード)にしておかないと、予約録画は実行されません。**
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度 タイマー 切/入 を押すと予約録画が再開されます。ただしHDDモードでの予約録画の場合、それらは2つの番組(プログラム)に分かれて録画されます。
- HDDモードでの予約録画実行中に、電源プラグがコンセントから抜けたり停電などが起こると、番組は2つの番組(プログラム)として記録されます。
- EPG予約を途中でやめた場合は、もう一度 タイマー 切/入 を押しても、録画は再開されません。
- HDD側の場合は予約モード中でも再生などをお楽しみいただけます。ただし、通常の録画中に予約開始時刻になったときは、自動的に録画停止となり、予約録画が始まります。
- BSデジタルフリーセット予約**(➜78)**を途中で中断する場合、チューナー(内蔵テレビ)の電源を押すなどしてチューナー(内蔵テレビ)側の予約も終了させてください。詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。
- EPG予約を解除するには、チューナー(内蔵テレビ)からの予約解除の操作を行ってください。
- 本体の タイマー予約 切/入 でも、同じ操作ができます。

# リストを使って予約録画した番組を探す

**本機VHSモードで予約録画すると、自動的にプログラムナビリストにその予約内容が登録されます。**
このリストを利用して番組を探し出すことができます。
- この機能はVHSモードでのみ働きます。

## プログラムナビ機能を切/入する

**メニューの[VHS初期設定]→[プログラムナビ]を[入]にする(➔97)**

VHS表示窓に Pn **点灯**:
　　プログラムナビ機能[入]
VHS表示窓から Pn **消灯**:
　　プログラムナビ機能[切](工場出荷時)
- Pn が消えていると、予約録画してもプログラムナビリストに登録されません。

## リストから頭出しする

**準備**
- プログラムナビ機能を[入]にしておく。**(➔上記)**
- テレビに本機の画面を出す。**(➔22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を**[VHS/HDD]**にする。

**1** **VHS を押し、VHSモードにする(➔22)**

**2** **プログラムナビ を押す**
- 再生中に押したときは、再生をやめ、プログラムナビ画面を表示します。

**3** **プログラムナビ を数回押し、頭出ししたい番組を選ぶ**
- 押すごとに、1つずつ上の番組が選ばれます。
- 選んだあと、約3秒以上そのままにしておくと、自動的にその番組の頭出しを行い、そこから再生します。
- 頭出しを始めたあとでも、プログラムナビ を押すと別の番組を選ぶことができます。

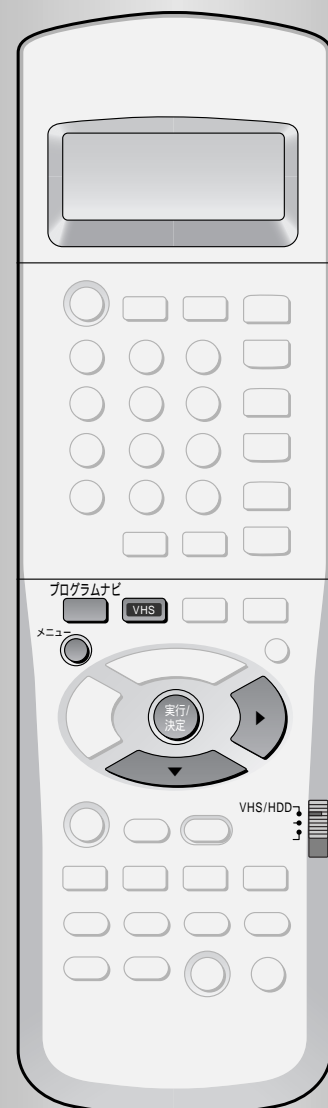
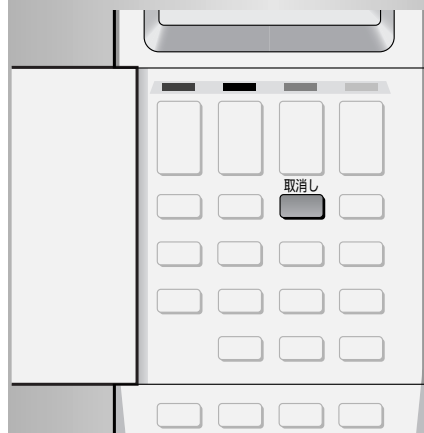
### ■途中で頭出しをやめる

メニュー を押す。
- プログラムナビ画面が消え、停止します。

### ■お願い/ヒント

- 本機以外のビデオ(当社製の同機能付きビデオも含む)で予約録画したカセットでは、正しく働きません。
- テープの始端から、番組と番組の間をあけないように録画してください。
- 未録画など、信号がない部分で信号を確認しようとすると、正しく確認できません。

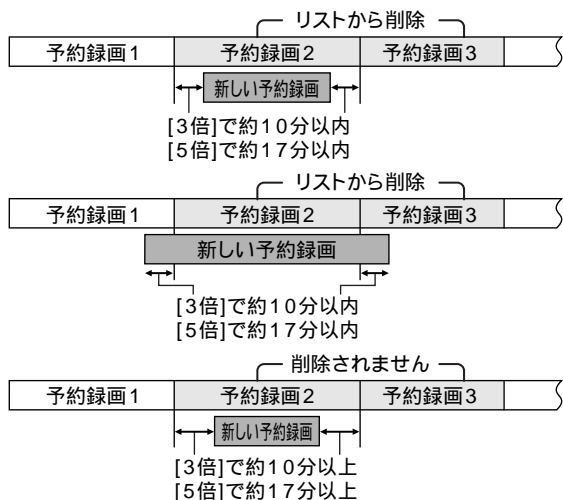
テープ始端
予約録画番組1　予約録画番組2
**未録画などで信号がない部分**

このときは、本機で予約録画した番組の部分で、プログラムナビ を押してください。より確実に信号を確認できます。それでも確認できなかったときは、テレビ画面に“ プログラムナビデーターが確認されません ”と表示され、頭出しできません。

### ■ふたをひらいたところ

- 予約操作時に、登録可能な残りプログラム数が表示されます。
- すでにカセット20本分を記憶しているときに新しい予約をすると、予約操作の完了後に、“プログラムナビ、残り 0カセット、データーを消してください”と表示されます。そのまま予約録画を実行した番組は、リストに登録されません。
- すでに予約内容50番組分を記憶しているときに新しい予約をすると、予約操作の完了後に、“プログラムナビ、残り 0プログラム、データーを消してください”と表示されます。そのまま予約録画を実行した番組は、リストに登録されません。
- プログラムナビ を押すごとに、“ビデオ1”などの表示が出たり、画面が一瞬黒くなったりすることがあります。「今すぐ再生」機能(➔21)を働かせているときは、プログラムナビ を押したときにも、テレビの入力を[ビデオ1]にする信号を出しているためです。この現象が気になるときは、「今すぐ再生」機能を解除してください。

■**プログラムナビのしくみ**

- プログラムナビリストは、カセットごとに記憶されます。そのカセットで最近予約録画した番組が、最大で14番組分、登録・表示されます。(1ページ7番組のリストが2ページ分)
- 15番組以上の予約録画をしたときは、一番古い番組がリストから削除されます。
- カセットで20本分、予約で50番組分まで登録できます。
- 本機にカセットを入れると、カセットを識別するための信号(プログラムナビデーター)を自動的に確認します。次に、現在のテープ位置から前後約10秒間の信号を確認します。(確認中は、テレビ画面に“プログラムナビデーター確認中”と表示)
  信号が確認できなかったときは、プログラムナビ を押したときに、もう一度信号を確認します。
- 通常録画や終了時刻予約録画(➔45)をしたときは登録されません。
- 予約録画でも、映像のない(音声のみの)番組を予約録画したときは登録されません。
- テープ残量で番組を記憶しますので、VHS初期設定の[テープの長さ](➔97)を正しく合わせておかないと、正しく働かないことがあります。
- 正しく頭出しをするために、予約録画は約15分以上(5倍モード時は約25分以上)行ってください。それより短いと登録されません。

■**リストのある予約録画内容のところに新しく予約録画したとき**

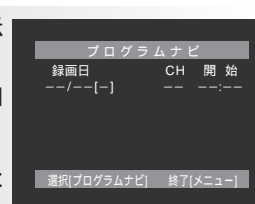
- 予約録画した時間によっては、前の予約内容がリストから削除されます。(下図参照)
- 通常の録画をしたときは、同様に前の予約内容がリストから削除されますが、新たに録画された内容は登録されません。

## リストを消去する

**消去したリストは、元に戻すことができません。**
**消去してよいかよく確かめてから行ってください。**

- テレビに本機の画面を出す。(➔22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

### カセットのリストを一括して消去する

**1** **VHS を押し、VHSモードにする(➔22)**

**2** **プログラムナビ画面の表示中に、**
**取消し を約5秒以上押し続ける**
- 表示がすべて“ーー”になります。

■**お願い/ヒント**

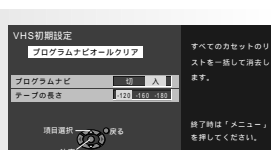
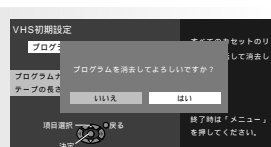
- カセット単位で消去されます。1番組ずつリストを消去することはできません。

### すべてのカセットのリストを一括して消去する

**1** **VHS を押し、VHSモードにする(➔22)**

**2** **メニュー を押す**

**3** **▼ で[VHS初期設定]を選び、**
**実行/決定 を押す**

**4** **[プログラムナビオールクリア]が選ばれていることを確認して、**
**実行/決定 を押す**

**5** **▶ で[はい]を選び、実行/決定 を押す**
- すべてのカセットのリストが消去されます。

**6** **メニュー を押す**

■**お願い/ヒント**

- この操作を行っても本体内部のリストが消えるだけで、カセットにはプログラムナビデーターが残ったままになります。
  このため、本体内部のリストを消去したカセットを入れて プログラムナビ を押しても、正しく表示されません。
  カセットに記録されているプログラムナビデーターも消去したいときは、テープリフレッシュされることをおすすめします。(➔65)
  ただし、テープリフレッシュを行うと、録画した番組などもすべて消去されます。

# カセットに録画した番組を探す（頭出し） VHS

**本機で録画を行うと、録画の開始点で頭出し信号が自動的に記録されます。**
**この頭出し信号を利用して番組の最初の部分を探し出し、指定した開始点から自動的に再生を始めます。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

## 1 VHS を押し、VHSモードにする(➜22)

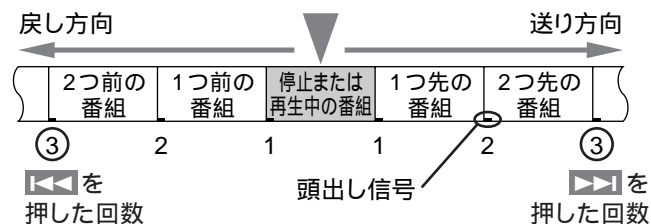
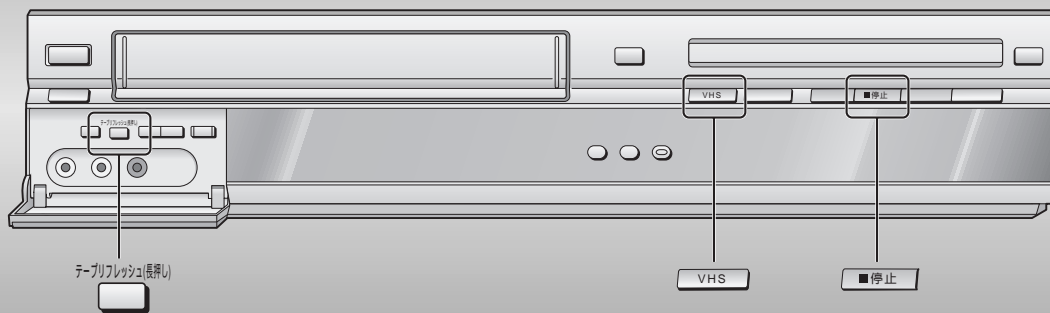
## 2 停止または再生中に、見たい番組がある方向の頭出し ⏮ ⏭ を押す

- 早送り(巻き戻し)を始め、番組を探します。
- 続けてボタンを押すと、探す番組を変更できます。**(➜下記)**
- 番組を見つけると、そこから自動的に再生を始めます。

### ■途中でやめる

停止■ を押す。

### ■お願い/ヒント

- この機能はVHSモードのみ働きます。
- 最大20番組先(前)まで番組が指定できます。
- 頭出しする番組の指定のしかた

- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 頭出し信号どうしの間隔が短いときは正しく探せないことがあります。録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ・録画● または ●録画/終了時刻予約 を押して録画を始めたとき。(録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - ・予約録画が始まったとき。
  - ・録画中に、リモコンの 録画● を押したとき。

**カセットに録画されている内容を一度にすべて消去することができます。**

**※この操作をすると録画内容(映像、音声、データ、プログラムナビデータなど)はすべて消去され、元に戻すことができません。**
**消去してよいかよく確かめてから行ってください。**

**※テープが新しくなるわけではありません。**

## 1 メニューの[VHS初期設定]→[プログラムナビ]を[入]または[切]にする(➜97)

■**本機でプログラムナビ機能[入]にして予約録画したカセット**のときは、VHS表示窓に Pn を点灯させてください。

■**本機以外の当社製プログラムナビ機能付ビデオで予約録画したカセット**のときは、VHS表示窓の Pn を消してください。

## 2 VHS を押し、VHSモードにする(➜22)

## 3 テープリフレッシュしたいカセットを入れる

## 4 本体の、テープリフレッシュ(長押し) を5秒以上押し続ける

## 5 上記手順3の表示が出ている間にもう一度、テープリフレッシュ(長押し) を2秒以上押し続ける

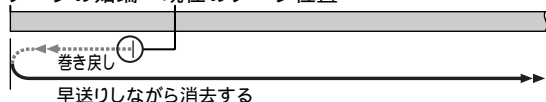
- テープリフレッシュ動作が始まります。

### ■途中でやめる

■停止 を押す。

- 止めたところまでは消去されています。

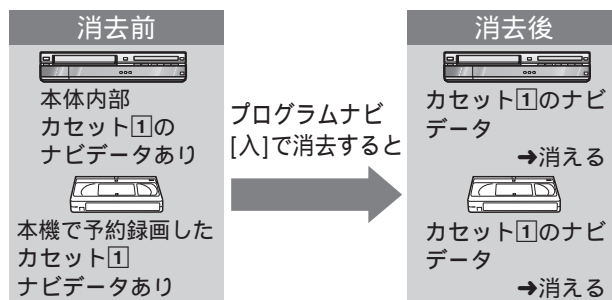
### ■テープリフレッシュの動作

1. テープを始端まで巻き戻す
2. 始端から早送りしながら、録画された内容を消去していく
3. 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する

- T-120カセットで約17分かかります。(目安です)
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが“ OFF ”になっているカセットはテープリフレッシュできません。

### ■お願い/ヒント

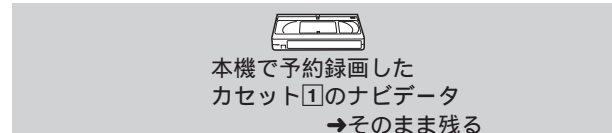
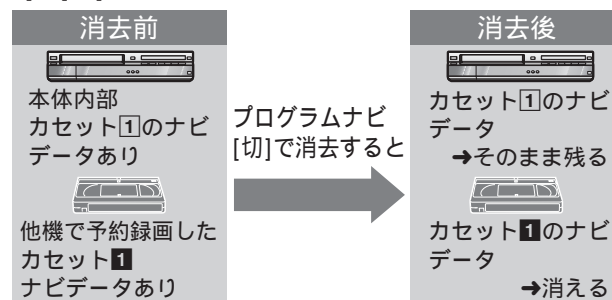
- この機能はVHSモードのみ働きます。
- VHS初期設定の[テープの長さ]**(➜97)**を正しく合わせておかないと、テープの残り時間が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。

### ■プログラムナビ[入]にして、本機で予約録画したカセットを消去するとき

- 必ず手順1でメニューの[VHS初期設定]→[プログラムナビ]を**[入]**にしてください。

- [プログラムナビ]を[切]にして消去すると、本体内部は消去したカセットのナビデータが残ったままになってしまいます。

### ■他機(本機以外の当社製「プログラムナビ機能」付ビデオ)で予約録画したカセットを消去するとき

- 必ず手順1でメニューの[VHS初期設定]→[プログラムナビ]を**[切]**にしてください。

**本機で予約録画したカセット1のナビデータ**
**➜そのまま残る**

- [プログラムナビ]を[入]にして消去すると、本体内部は本機で予約録画したカセット番号(例では1)のナビデータも消えてしまいます。

# 見たい番組を探す

**本機で録画・予約録画すると、自動的にビジュアルプログラムナビリストにその録画内容が登録されます。このリストを利用して番組を探し出すことができます。**

- この機能はHDDモードのみ働きます。
- 約10秒以上の録画がビジュアルプログラムナビリストに登録されます。ただし、約40秒以上録画しないと、正しい情報を表示できない場合があります。
- 登録可能な番組数は最大で240番組です。

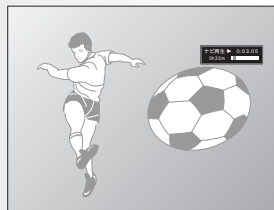
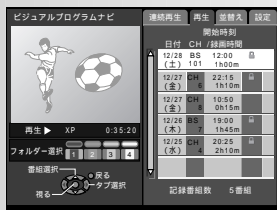
**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

## 1 HDDを押し、HDDモードにする(➜22)

## 2 プログラムナビを押し、ビジュアルプログラムナビ画面を出す

- 選ばれている番組が黄色で表示され、左側の子画面で再生が始まります。
- 子画面での再生は、番組の最後になると静止画になります。
- 登録番組数が多いときは、ページ▲▼で画面ページを切り換えて移動できます。

## 3 [再生]が選ばれた状態で、▲▼で見たい番組を選んで、実行/決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。番組の最後にくると静止画になり、約5分後に自動的に停止します。

### ■途中で停止する

停止■ を押す。

- プログラムナビ再生が解除され、現在受信中の番組の画面に戻ります。

### ■お願い/ヒント

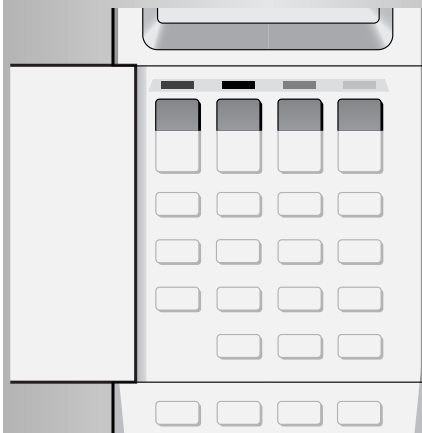
- リピート再生(➜42)することはできません。
- [自動]録画(➜72)したBSデジタル放送を選んだときは、子画面に再生映像は映らず、“ BSデジタル信号です ”というメッセージとタイトル情報(➜右ページ)などが表示されます。その番組を再生した場合も“ BSデジタル信号です　テレビ･チューナーの設定を変えてください ”というメッセージが表示されます。(➜110)
- 正しく再生するために、録画は約40秒以上行ってください。
- 録画中の番組情報は表示されません。
- EPG予約(➜76)を行った場合、EPG側の録画開始時刻とビジュアルプログラムナビ画面に表示される時刻は、ずれる場合があります。
- EPG予約を行った場合、同一チャンネルでかつ連続番組を予約実行したときは、次の番組の先頭が数秒間切れて録画される場合があります。
- ビジュアルプログラムナビ画面を表示した状態で、メニュー画面を表示することはできません。

**ビジュアルプログラムナビ画面のアイコンについて**

XCOPY：ダビングできない番組(プログラム)に表示されます。

∞：連続再生やフォルダー設定、削除などで登録した番組に表示されます。

🔒：上書き録画が禁止されている番組に表示されます。(➜49)

■ふたをひらいたところ

## 番組のタイトルについて

**■タイトルの表示について**

本機では、ビジュアルプログラムナビ画面左の子画面に、番組のタイトル情報を表示することができます。表示されるタイトル情報には、自分で入力したもの(➜91)と、自動的に取得されたものがあります。
タイトル情報がない場合、子画面には何も表示されません。

**■タイトル情報の取得について**

当社製のBSデジタルチューナー(内蔵テレビ)と接続し、本機に番組をi.LINK入力、またはBS入力で録画した場合は、タイトル情報をチューナーから取得してハードディスクに記録します。
また、記録後にそのタイトルをビジュアルプログラムナビ画面で表示させることができます。
- 表示できる文字は全角で15文字までです。
- ビジュアルプログラムナビ画面を表示しているときのみ表示されます。
- 自動的にタイトル情報が取得されるのは、i.LINK入力、またはBS入力で録画したBSデジタル番組のみです。

**次の場合にタイトルを取得することができます。**

(1) 本機とチューナー(内蔵テレビ)をi.LINK接続して本機の操作で録画するとき
- 通常録画開始時
- BSデジタルフリーセット予約で予約録画を開始したとき(タイトル情報に変化があった場合は、取得されません)

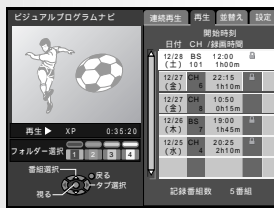
(2) 本機とチューナー(内蔵テレビ)をi.LINK接続してチューナー(内蔵テレビ)側からEPG予約録画をするとき
- EPG予約で予約録画を開始したとき
- EPG予約録画中にタイトル情報に変化があったとき

# 番組を並べ替える

**録画した番組を「録画日」、「曜日」、「チャンネル」、「開始時刻」の順に並べ替えることができます。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** HDDを押し、HDDモードにする(➜22)

**2** プログラムナビを押し、ビジュアルプログラムナビ画面を出す
- 選ばれている番組が黄色で表示されます。

**3** ▶で[並替え]を選び、実行/決定を押す
- 並べ替えの順序を選ぶための画面が出ます。詳しくは、右記をお読みください。

**4** ▲ ▼で並べ替えの順序を選び、実行/決定を押す
- 選択した順序で、番組一覧表示内容が並べ替えられます。
- 並べ替えの順序項目については下記を参照してください。

**【並べ替えの順序】**
- それぞれの並べ替え順序を逆に並べ替えることもできます。逆に並べ替えるときは、同じ操作をもう一度行ってください。

**1: 録画日**
新しい録画日順に並べ替えます。同じ録画日の場合は開始時刻の新しい方が上になります。

**2: 曜日**
日曜→月曜→・・・土曜の曜日順に並べ替えます。同じ曜日の場合は、録画日の新しい方が上になります。

**3: チャンネル**
BSデジタル→従来のアナログBS→VHF→UHF→CATV→i.LINK→ライン入力→VHSのチャンネル順に並べ替えます。同じチャンネルの場合は録画日の新しい方が上になります。

**4: 開始時刻**
録画の開始時刻順に並べ替えます。同じ開始時刻の場合は録画日の新しい方が上になります。

**【並べ替え実行中】**
- 「番組一覧」表示の上に、「番組を並替え中です」のメッセージが表示されます。

**【並べ替え終了後】**
- ハードディスク上の情報などの更新はされず、ナビ画面上の番組一覧表示の順序だけが変わります。

## フォルダーを使って並べ替える

フォルダーを使って番組を分類(➜69)している場合、フォルダーごとの並べ替えもできます。

**並べ替えたいフォルダーをカラー青(1)・赤(2)・緑(3)・黄(4)で選ぶ**
- 選ばれたフォルダー内の番組がビジュアルプログラムナビ画面に表示されます。

**例:1(青)フォルダーが選ばれている状態**
- 選ばれているフォルダーの番号アイコンは、背景色が黄色になります。
- 登録番組のあるフォルダーの番号アイコンは、背景色が青色になります。
- 登録番組が1つもフォルダー設定されていないときは、フォルダーの番号アイコンの背景色はグレーになります。フォルダーを選ぶと、「フォルダー＊に登録されている番組はありません」と表示されます。

**■お願い/ヒント**
- フォルダーの選択は、一度ビジュアルプログラムナビ画面を閉じると解除され、次に画面を表示させると、フォルダーが選ばれていない状態で表示されます。
- フォルダーを選んだあと、フォルダーを選んでいない状態に戻るには、現在選んでいるフォルダーと同じカラーボタンを押してください。

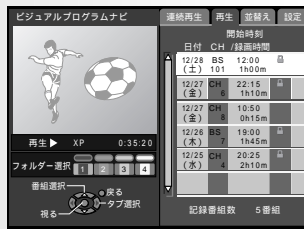
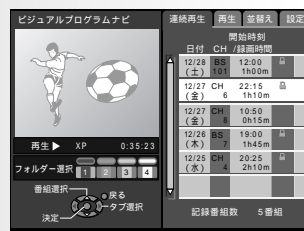
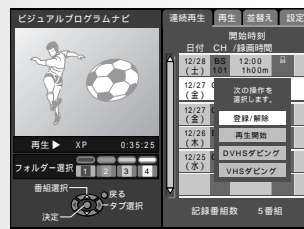
# 複数の番組を連続して再生する

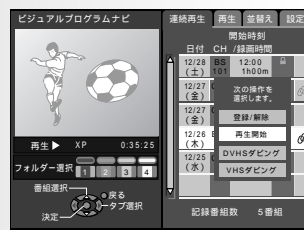
## (連続再生)

**複数の番組を連続して再生することができます。**

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** **HDD を押し、HDDモードにする(➜22)**

**2** **プログラムナビ を押し、ビジュアルプログラムナビ画面を出す**

**3** **◀ で[連続再生]を選び、▲ ▼ で再生したい番組を選んで 実行/決定 を押す**
- 選ばれている番組が黄色で表示されます。

**4** **[登録/解除]が選ばれた状態で、実行/決定 を押す**
- 登録されると、番組の右端に[ ]が表示されます。
- 複数の番組を選ぶ場合は、手順3、4を繰り返してください。
- 選択を解除するには、再度 実行/決定 押して[登録/解除]を選び、もう一度 実行/決定 を押してください。

**5** **もう一度、実行/決定 を押す**

**6** **▼ で[再生開始]を選び、実行/決定 を押す**
- ビジュアルプログラムナビ画面が消え、番組が選んだ順番で再生されます。

### ■途中で停止する

停止■ を押す。
- 連続再生が解除され、現在受信中の番組の画面に戻ります。

### ■連続再生時の項目について

[登録/解除]：　番組を登録/解除します。
[再生開始]：　選んだ番組を選んだ順序で再生します。
[自動ダビング]：　８４ページをお読みください。

### ■お願い/ヒント

- 手順4で登録したあとでも、ビジュアルプログラムナビ画面を終了すると、登録はすべて解除されます。
- 部分的に解除をする場合は、解除したい番組をもう一度選択し、手順4を行ってください。([ ]が消えます)
- [連続再生]が開始されると、登録は解除されます。
- 登録後に番組の削除(➜右ページ)を行った場合は、もう一度登録し直してください。

# いろいろな管理・設定

**上書き設定やフォルダー設定、番組の削除などを行います。**

- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

## 上書き録画してもよいかどうかを、録画した番組ごとに設定する(上書き設定)

ハードディスクの空き容量が少ないときに、録画を続けるために上書き録画で古い録画を削除することを許可するかどうかを設定します。詳しくは49ページをお読みください。

## フォルダーを使って分類する(フォルダー設定)

フォルダーを使って、番組を分類しておくことができます。検索が簡単に行えます。(➜67･70)

**1** HDDを押し、HDDモードにする(➜22)

**2** プログラムナビを押し、ビジュアルプログラムナビ画面を出す

**3** ▶で[設定]を選び、▲▼でフォルダーに分類したい番組を選んで実行/決定を押す

- 選ばれている番組が黄色で表示されます。

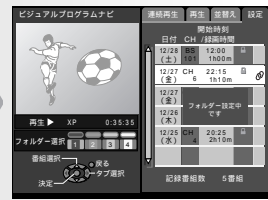
**4** [登録/解除]が選ばれた状態で、実行/決定を押す

- 選択された番組の右端に[ ]が表示されます。
- 複数の番組を選ぶ場合は、手順3、4を繰り返してください。
- 選択を解除するには、再度実行/決定押して[登録/解除]を選び、もう一度実行/決定を押してください。

**5** もう一度、実行/決定を押す

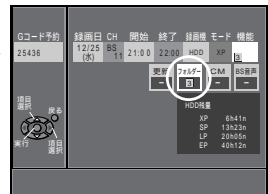
**6** ▼で[フォルダー設定]を選び、実行/決定を押す

**7** ▲▼で収納したいフォルダーを選び、実行/決定を押す

- フォルダーが設定されます。

**■ビジュアルプログラムナビ画面以外でフォルダーを設定する**

予約設定画面でもフォルダーを設定できます。

Gコード予約時の例

1. Gコード/フリーセット予約などの予約設定転送直後(➜52･55)、または予約内容の修正画面(➜60)で、▶で[機能]→[フォルダー]を選ぶ
2. ▲▼で、収納したいフォルダー(1～4)を表示させる

- 操作については53･55･60ページもお読みください。

## 番組を削除する

**録画した番組を削除します。**

**6** 左記手順5のあと、▼で[削除]を選び、実行/決定を押す

**7** ▼で[はい]を選び、実行/決定を押す

- 選択された番組の削除が実行されます。
- [いいえ]を選択すると、手順6の状態に戻ります。

**■お願い/ヒント**

- 番組一覧表示の上に、「番組を削除中です」のメッセージが表示されます。
- 削除すると番組は消え、元に戻すことはできません。削除する前に必ず確認してください。
- 番組削除中はボタン操作ができません。
- 削除で[はい]を選び、実行/決定を押したあとは途中で中止することができません。
- 録画中の番組は削除できません。
- ショートカット画面でも番組の削除を行えます。(➜91)

**■全番組を削除する**

1. メニューを押す
2. ▼で[HDD設定]を選び、実行/決定を押す
3. [全番組削除]が選ばれた状態で、実行/決定を押す
4. ▶で[はい]を選び、実行/決定を押す

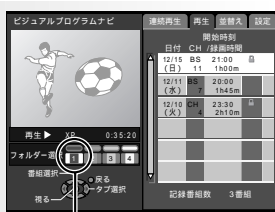
## 分類したフォルダーから探す (お気に入りフォルダー)

**番組が分類･収納されたフォルダーから、見たい番組を探すことができます。**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 番組をフォルダーに分類しておく。(➜69)

**1** HDDを押し、HDDモードにする(➜22)

**2** プログラムナビを押し、ビジュアルプログラムナビ画面を出す

**3** カラー青(1)･赤(2)･緑(3)･黄(4)で、確認したいフォルダーを選ぶ
- 選んだフォルダーに分類･収納された番組が表示されます。
- 67ページもお読みください。

1(青)フォルダーが選ばれている例

■お願い/ヒント
- この機能はHDDモードのみ働きます。

## 録画の先頭位置から探す

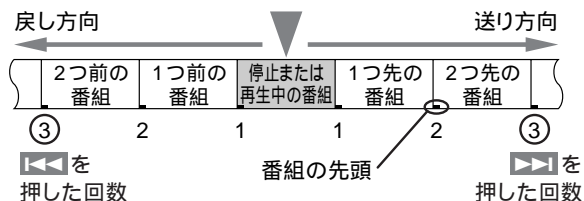
**録画した番組の先頭位置を頭出しして、見たい番組を探すことができます。**

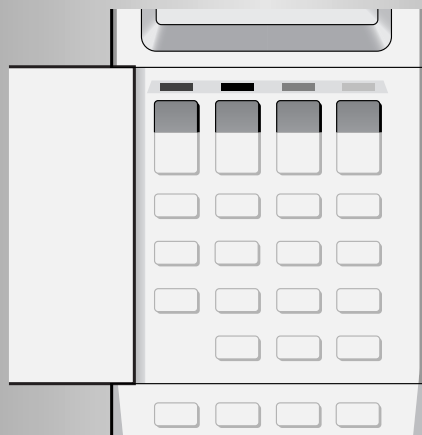
指定した番組の先頭から自動的に再生を始めます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** HDDを押し、HDDモードにする(➜22)

**2** 停止または再生中に、
見たい番組がある方向の頭出し ⏮ ⏭ を押す
- 続けてボタンを押すと、探す番組を変更できます。(➜下記)
- 番組を見つけると、そこから自動的に再生を始めます。

■お願い/ヒント
- 頭出しする番組の指定のしかた

- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 録画時間が短いときは正しく探せないことがあります。録画は約5分以上行ってください。
- しおりが設定されている場合は、しおり位置も検出します。(➜右ページ)

■ふたをひらいたところ

# 指定した位置から再生する
## （しおり設定）

**再生開始点(しおり)を指定して、その部分から再生を開始することができます。**
繰り返して見たい部分や、次に見たい部分を簡単に頭出しすることができます。
● この機能はHDDモードのみ働きます。

準備
● テレビに本機の画面を出す。(➜22)
● VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

## しおりを指定/解除する

再生を開始したい位置を指定、または設定されたしおりを解除します。

**1** **HDDを押し、HDDモードにする(➜22)**

**2** **再生中、しおり設定したい位置で、**
**▲ ▼ ◀ ▶ のいずれかを押し、ショートカット画面を出す**

**3** **▼で[しおり設定]を選び、実行/決定を押す**

● 再生中の映像は、静止画再生の状態になります。
● しおりを解除する場合は、解除したいしおりが設定されている番組内なら、どこでもかまいません。
● ショートカット画面は約5秒間表示されます。表示中に操作を行ってください。

**4** **◀ ▶ で｢設定｣または[解除]を選び、実行/決定を押す**
**設定**: しおりを設定する
**解除**: 設定されているしおりを解除する

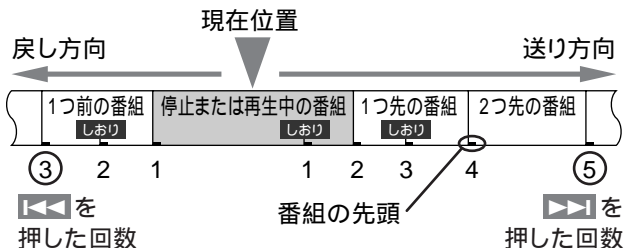
**5** **再生▶を押す**
● 通常の再生に戻ります。

■**お願い/ヒント**
● しおりがすでに設定されている番組で新たにしおりの設定を行った場合、新しく指定された位置にしおりが移動します。
● しおり位置の指定は、1番組につき1か所です。
● 番組の先頭や終端から約10秒間は、しおり位置の設定や検出が正しくできない場合があります。
● しおりが指定された番組に対し、以下の操作が実行された場合、しおりは削除されます。
・オートリニューアル録画
・ハードディスクからの番組削除
・上書き録画

## しおり位置から再生する

停止または再生中に、
**しおり位置が指定されている方向の頭出し |◀◀ ▶▶| を押す**
● しおり位置を見つけると、その少し前から自動的に再生を始めます。

■**お願い/ヒント**
● |◀◀ ▶▶| を数回押すと、番組の先頭位置も含めて頭出しできます。(➜左ページ)
● 再生したい番組の指定のしかた

ハードディスクに録画した番組を探す HDD

# BSデジタル番組を録画する

**HDD側で行えるBSデジタル番組の録画方法には、[自動]録画とエンコード録画の2種類があります。**

**[自動]録画**　：通常、BSデジタル番組を録画するときに使用します。番組の放送信号をそのまま記録しますので、HD放送やデータ放送、マルチビュー放送を録画することができます。
- [自動]モードで行う録画です。

**エンコード録画**　：BS入力(➜28)のアナログ入力信号をデジタルに変換(エンコード)して録画します。
- [自動]モード以外で行う録画です。

## 録画モードについて

自動的に**[自動]**が選ばれますので、**通常はこのまま**にしておいてください。

**■[自動]にしておくと**

番組の放送信号をそのまま記録しますので、HD放送やデータ放送、マルチビュー放送を録画することができます。

**デジタルハイビジョン番組(HD放送)**：
ハイビジョンの高画質番組です。(1125i/750p)

**プログレッシブ番組(SD放送)**：
高画質番組です。(525p)
従来の映像信号(NTSC)である525i
(i：インターレス＝飛び越し走査)に対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p：プログレッシブ＝順次走査)といいます。

**通常の番組(SD放送)**：
従来のアナログBS放送と同等の画質の番組です。(525i)

**マルチビュー**：
いろいろな映像に切り換えることができます。

**データ**：
天気予報など、データ情報を見ることができます。

**マルチ音声**：
いろいろな音声(多国語など)に切り換えることができます。

**字幕**：
いろいろな字幕に切り換えることができます。

**■録画モードと画質について**

それぞれの録画モードでの録画時間は以下のようになります。

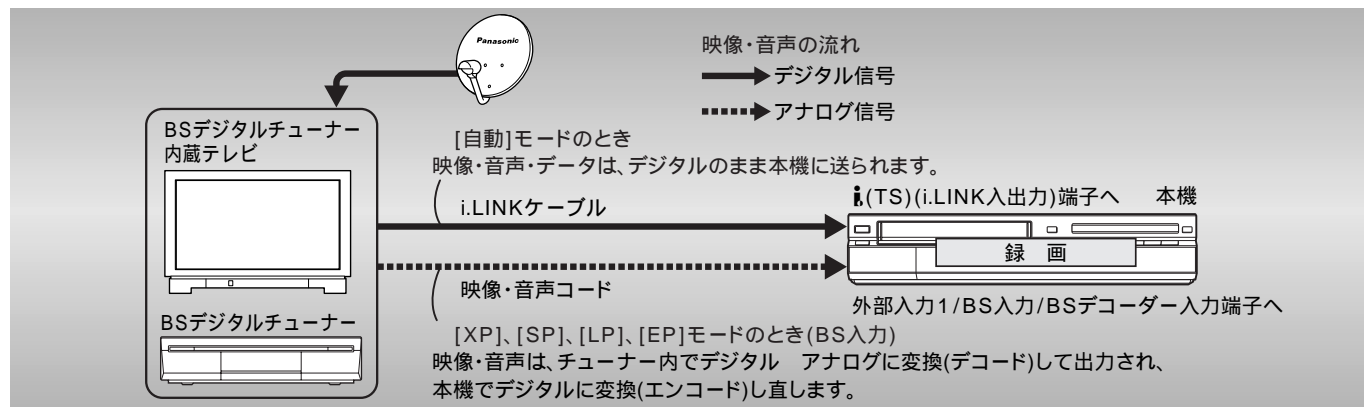
自動：HD放送の場合→約3時間
　　　SD放送の場合→約6時間
XP：約6時間
SP：約13時間
LP：約20時間
EP：約40時間

**■[XP]、[SP]、[LP]、[EP]にすると(BS入力)**

- これらの録画モードで録画するには、接続の⑪〜⑫(➜17・18)と、BS入力(➜28)の設定が必要です。
- チューナー(内蔵テレビ)からの映像・音声は、i(TS)(i.LINK入出力)端子からではなく、外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子からアナログで入力されます。これを本機でデジタルに変換(エンコード)して録画します。BSデジタル放送なども、長時間録画することができます。ただし、このときは、
  - ・NTSC信号レベルで録画されます。
  - ・データやマルチビュー、マルチ音声(多国語など)切換など、BSデジタル放送特有のいろいろな便利機能は楽しむことができません。
- 画質は選ばれた録画モードによって異なります。
- 地上波放送、従来のアナログBS放送および外部入力信号は、MPEG2形式に変換してから出力していますので、録画モードを変えると、録画される映像の画質、および出力される映像の画質が変わります。

## 録画する前に

本機はBSデジタルチューナーを内蔵していませんので、BSデジタル番組を録画するには、チューナー(内蔵テレビ)が必要です。

**準備**
- 接続する。**(➜17・18)**
- メニューの[i.LINK接続設定]→[外部BSチューナー設定]で、外部BSチューナー機器が登録されているか確かめる。**(➜25)**
- [自動]モード以外で録画するときは、BS入力を設定する。**(➜28)**

**■お願い/ヒント**

- 本機は、BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)のチューナーを使ってBSデジタル番組を録画しますので、**録画中は、絶対にチューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを変えたり、電源を切らないでください。**
  チャンネルを変えたり、メニューや番組表を出すと、そのまま録画されてしまいます。また、途中で電源を切ると、そのあとは録画できません。
- チューナー内蔵テレビによっては、録画中にチューナー内蔵テレビ側で地上波(UHF/VHF)、または従来のアナログBSチャンネルに切り換えると、本機にBSデジタル番組の信号が入力されなくなる機種があります。
  本機でBSデジタル番組を録画しながらテレビで別の番組を見たいときは、予約録画の操作をしてください。**(➜76〜79)**

- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れる。

**1** **HDDを押し、HDDモードにする(➜22)**

**2** **i.LINK でチューナー(内蔵テレビ)を選ぶ**

- 外部BSチューナー機器登録されているi.LINK機器番号を選んでください。(上図例では"d1")

**3** ■チューナーを使うときは、
**VHS/HDD/テレビ/BS を[BS]にする**
■チューナー内蔵テレビを使うときは、
**VHS/HDD/テレビ/BS を[テレビ]にする**

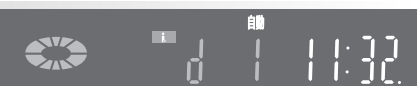
**4** **録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ**

■プリセットチャンネルで選ぶとき
例：プリセット番号3に記憶されている局を選ぶ
**チューナーをお使いの場合：**
③を押す
**チューナー内蔵テレビをお使いの場合：**
テレビ(BS)→③と押す

- プリセットされている放送局については、お使いのチューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

■直接チャンネルを選ぶとき
チャンネル番号入力→①〜⑩/0 と押す
例：BSデジタル103チャンネルを選ぶ
チャンネル番号入力→①→⑩/0→③

**5** **VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする**

**6** **録画モードが[自動]になっていることを確かめる**

- 自動的に[自動]が選ばれますので、**通常はこのまま**にしておいてください。
- HDD表示窓の"i"が点灯していることを確かめてください。

■[自動]以外で録画(エンコード録画)するときは、
**録画モード を数回押し、[自動]以外のモードを選ぶ**

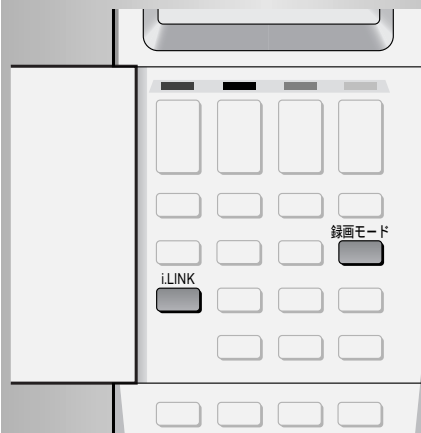
- [XP]、[SP]、[LP]、[EP]から選んでください。

**7** **録画● を押す**

■録画をやめる
停止■ を押す。

■不要な場面をとばす
不要な場面がきたら、
一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押す。

- 録画の一時停止になります。
- もう一度
一時停止/スロー ❚❚/❚▶ または 録画● を押すと録画が再開されます。

■ふたをひらいたところ

# BSデジタル番組を録画する(つづき)

■お願い/ヒント
- 手順1で“d－－”と表示されるのは、メニューの[i.LINK機器設定]→[リンク]が[切](➔27)になっているとき、または、チューナー(内蔵テレビ)の電源が入っていないとき、正しく接続されていないときなどです。設定や接続を確かめて、チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れてください。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をご使用の場合は、前ページの手順と操作が異なる場合があります。ご使用のチューナー(内蔵テレビ)の説明書もお読みください。
- テレビ画面に表示される「d1」などは、チューナーとしてご使用になるi.LINK機器No.を表しています。メニュー画面の「i.LINK機器一覧」画面をご参照ください。(➔24)
- 録画中は、本機のチャンネルや録画モードの切り換え、i.LINKによる入力切換はできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画一時停止中に、本機のチャンネルや録画モードを切り換えて録画を再開させると、別番組として録画されます。ただし、録画中にチューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを切り換えても、別番組としては録画されません。
- [自動]録画中に入力信号がなくなると、録画一時停止状態になります。再度信号が入力されると、録画が再開されます。
- 録画の一時停止が約5分以上続くと自動的に停止状態になります。
- **録画中は、絶対にチューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを変えたり、電源を切らないでください。**
  チャンネルを変えたり、メニューや番組表を出すと、そのまま録画されてしまいます。

■コピーガードがかかっている番組について
- BSデジタル放送では、録画できないようにコピーガードがかかっている番組があります。

**フリー録画番組**：デジタル録画できます。
**1回のみデジタルコピーが可能な番組**
：デジタル録画が1回だけできます。ただし、この番組をダビング・編集することはできません。
**デジタル録画禁止番組**
：デジタル録画できません。

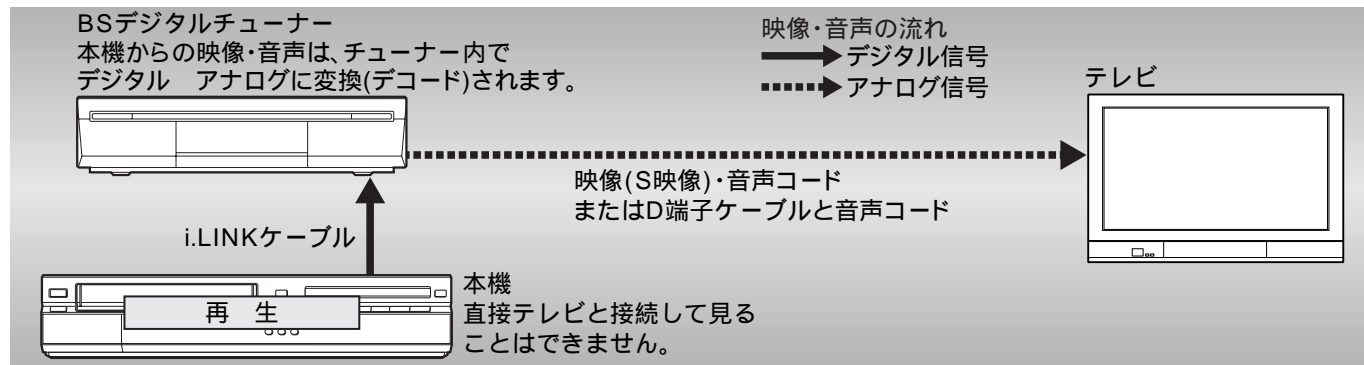
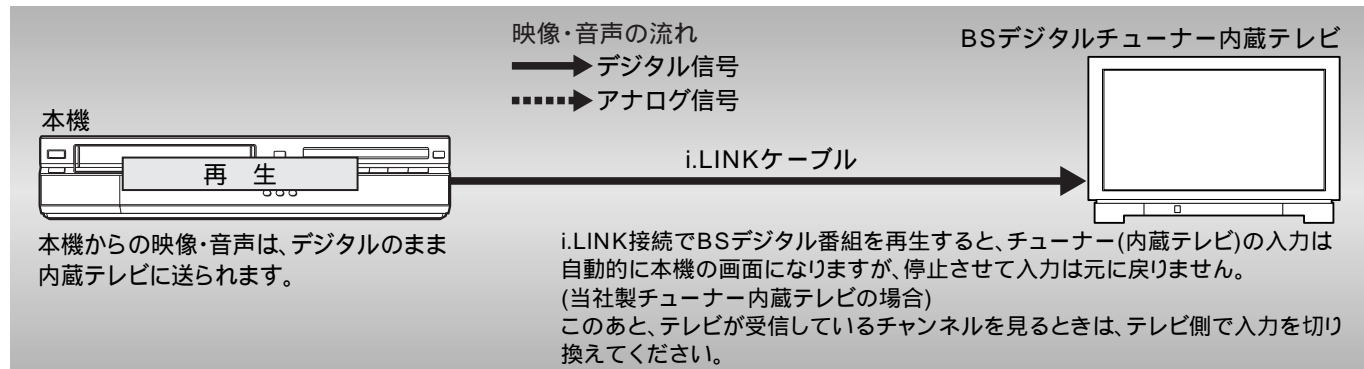
# 録画したBSデジタル番組を再生する

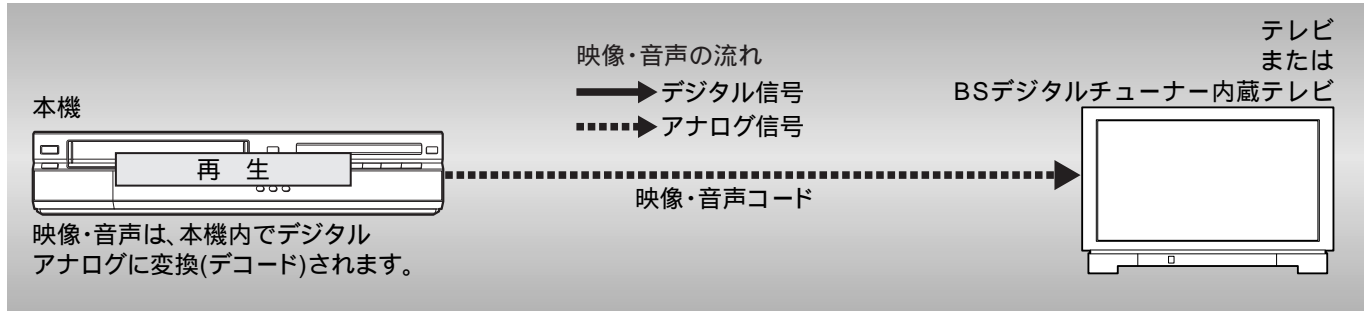
**再生する番組によって、接続や準備が異なります。**

## 再生する前に

### ■[自動]録画した番組を再生する

準備
- 接続する。(➔17·18)
- チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れる。
- テレビの入力をチューナーと接続した入力に切り換える。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、チューナー(内蔵テレビ)で本機をLINC(リンク)(➔117)してください。(詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください)

**BSデジタルチューナー、テレビと接続したとき**

**BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続したとき**

■BS入力でエンコード録画した番組を再生する

準備
- 接続する。(➜17·18)
- テレビやBSデジタルチューナー内蔵テレビの電源を入れ、本機と接続した入力に切り換える。

## BSデジタル番組の再生操作

HDDモードの通常の再生操作と同じです。
40ページをお読みください。

## BSデジタル番組の再生について

**■[自動]録画した番組について**

番組の放送信号をそのまま記録していますので、再生時でもマルチビューやデータ放送番組の画面や音声を切り換えて楽しむことができます。

**デジタルハイビジョン番組(HD放送)**：
　ハイビジョンの高画質番組です。(1125i/750p)

**プログレッシブ番組(SD放送)**：
　高画質番組です。(525p)
　従来の映像信号(NTSC)である525i(i：インターレス＝飛び越し走査)に対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p：プログレッシブ＝順次走査)といいます。

**通常の番組(SD放送)**：
　従来のアナログBS放送と同等の画質の番組です。(525i)

**マルチビュー**：
　いろいろな映像に切り換えることができます。

**データ**：
　天気予報など、データ情報を見ることができます。

**マルチ音声**：
　いろいろな音声(多国語など)に切り換えることができます。

**字幕**：
　いろいろな字幕に切り換えることができます。

**■[XP]、[SP]、[LP]、[EP]モード(BS入力)でエンコード録画した番組について**

- マルチビューは、録画時に選んでいたチャンネルしか再生することができません。
- データは、操作することはできません。
- マルチ音声(多国語など)は、録画時に選んでいた音声しか再生することができません。
- 字幕は、操作することはできません。

**■テレビ画面に“ BSデジタル信号です。テレビ・チューナーの設定を変えてください ”と表示されたとき**

- テレビ側の入力をチューナーと接続した入力に切り換えてください。

# EPGでBSデジタル番組を予約する（EPG予約）

**本機にはBSデジタルチューナーは内蔵されていませんが、当社製チューナー(内蔵テレビ)を使って、EPG※(電子番組ガイド)から番組を選んで予約することができます。**
**従来の時間指定での予約ではなく、番組を指定して予約するため、野球中継の延長などにより、その番組の開始時間がずれたときでも、予約した番組を録画することができます。**

- 最大40番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

※EPG(Electronic Program Guide)(エレクトロニック プログラム ガイド)：電子番組ガイドのことです。

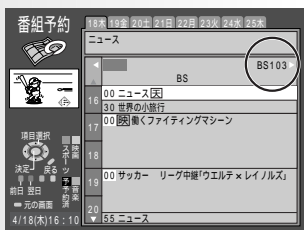
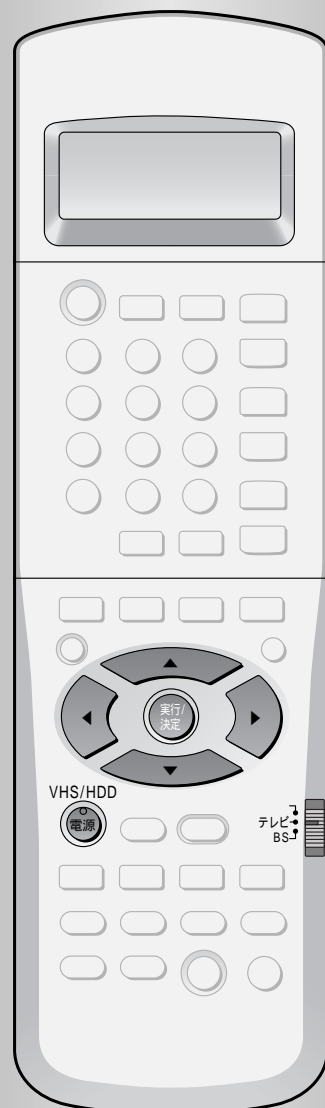
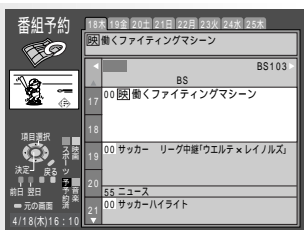
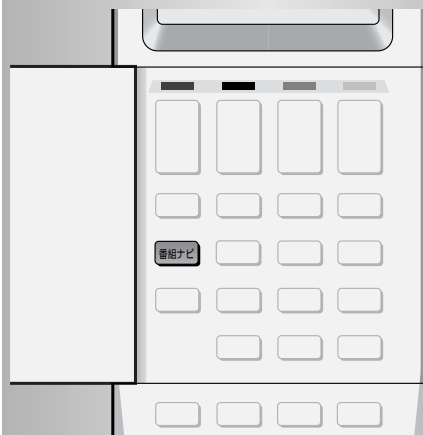
**下記は、当社製チューナー(内蔵テレビ)の場合の操作です。リモコンをチューナー(内蔵テレビ)に向けて操作してください。**
- **画面表示など、詳しくはチューナー(内蔵テレビ)の取扱説明書をお読みください。**

**準備**
- i.LINKケーブルでチューナー(内蔵テレビ)と正しく接続されているか確認する。
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- 外部BSチューナー設定を行っておく。**(➜25)**
- [自動]モード以外の録画モードで録画するときは、BS入力を設定しておく。**(➜28)**
- 本機とチューナー(内蔵テレビ)の時刻が正しく設定されていることを確認する。
- BSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの方は、VHS/HDD/テレビ/BS を**[テレビ]**にする。
- BSデジタルチューナーをお使いの方は、VHS/HDD/テレビ/BS を**[BS]**にする。
- チューナー(内蔵テレビ)側の[機器接続設定]→[i.LINK接続設定]画面で、本機に相当する機器名を確認しておく。

## 1 番組ナビ を押す

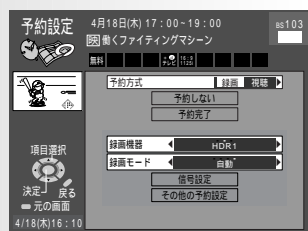
## 2 ◀ ▶ で[番組予約]を選び、実行/決定 を押す

## 3 ◀ ▶ で予約録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ

- BSデジタル103チャンネルを選んだ例。

## 4 ▲ ▼ で予約録画したい番組を選び、実行/決定 を押す

■ふたをひらいたところ

## 5 ▲ ▼ と ◀ ▶ で、以下のように選び、実行/決定 を押す

" 予約方式 " ：[録画]
" 録画機器 " ：
[HDR1]または[D-VHS1]など
- [機器接続設定]→[i.LINK接続設定]画面で本機に相当する機器名を選んでください。

" 録画モード "：
[自動]、[標準]、[3倍]、[5倍]から選んでください。
- チューナー(内蔵テレビ)と本機の表示とは異なります。本機では下記のように割り当てています。(「XP」は選択できません)

| チューナー(内蔵テレビ) | 本機 |
|---|---|
| 自動 | 自動 |
| 標準 | SP |
| 3倍 | LP |
| 5倍 | EP |

## 6 ▲ ▼ で" 予約完了 "を選び、実行/決定 を押す

- 予約モードになり、HDD表示窓に " ⏲ "が表示されます。

## 7 設定終了後に再生などの操作をしないときは、VHS/HDD電源 を押し、本機の電源を切る

- 電源を入れたままにして予約録画が実行されると、終了後は、再生などの操作中でなければ自動的に電源が切れます。

### ■2つ以上の予約をするとき

- 手順3～6を繰り返してください。
(予約モード(予約スタンバイモード)中でも予約できます)

### ■手順6後(予約設定終了後)の本機の状態について

予約設定時に本機の電源が「入」か「切」かの条件の違いで、本機の状態は異なります。
設定時に電源が「入」の場合:→予約モードになります。電源は切れません。
設定時に電源が「切」の場合→予約スタンバイモードになり、電源は「切」のままです。
いずれも、HDD表示窓に " ⏲ "が表示されます。

### ■お願い/ヒント

- この予約録画は、HDDモードでのみ働きます。
- 番組によっては、録画可能時間が当初の残量表示の時間よりも短く、または長くなる場合があります。
特に、ハードディスクの残量が少ないときは、お気をつけください。
- 予約録画に関しては51ページもお読みください。
- EPG予約するときは停止状態で予約してください。予約登録が終了すると、予約モード(予約スタンバイモード)になります。
- 当社製チューナー(内蔵テレビ)でEPG予約をした番組は、予約一覧画面に i アイコンを表示します。この予約は、本機から修正/取消しはできません。チューナー(内蔵テレビ)で修正/取消ししてください。
- 録画禁止の番組も予約できますが、正しく録画することはできません。
- 当社製チューナー(内蔵テレビ)以外をお使いの場合は、正しく動作しない場合があります。
- 重複して予約した場合は、優先順位に従って予約録画が実行されます。優先順位については114ページをお読みください。
- 本機が予約モード(予約スタンバイモード)になっていることを確認してください。
- 本機とチューナー(内蔵テレビ)の時刻が合っていないと、正しく予約実行することができません。
- EPG予約の録画開始時刻とビジュアルプログラムナビ画面に表示される時刻は、多少ずれる場合があります。
- EPG予約を行った場合、異なるチャンネルでかつ連続番組を予約実行したときは、番組のつなぎ目がずれる場合があります。
- 予約録画の開始時に本機を操作していると録画が実行されない場合があります。
- 予約モード(予約スタンバイモード)中は、i.LINK機器から本機の電源を入れる操作などをしないようにしてください。
- EPG予約後は、本機の[タイマー切/入]を押して予約モードを解除しないでください。正しく録画できない場合があります。
- 当社製のチューナー(内蔵テレビ)の場合、電源をオフ(スタンバイ/機能待機)にしていても、予約番組の開始時刻の約7分前になると自動的に本機の電源が「入」の状態になります。

# EPGを使わずにBSデジタル番組を予約する（BSデジタルフリーセット予約）

**本機にはBSデジタルチューナーは内蔵されていませんが、当社製チューナー(内蔵テレビ)とi.LINKケーブルで接続すると、本機で予約録画することができます。**
**予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。**

- 最大40番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確認する。
- 外部BSチューナー設定を行っておく。**(➜25)**
- チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にする。
- [自動]以外の録画モードで録画するときは、BS入力を設定する。**(➜28)**
- ハードディスクに録画可能な空き容量があるか確かめる。

## 1 リモコンのふたを開けて Gコード/フリーセット を押し、フリーセット予約モードにする

## 2 ＋曜日/日－ を押し、予約日を合わせる

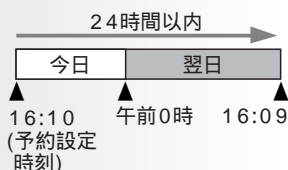
- [＋]側を押すごとに、下記のように変わります。([－]側を押すと逆方向)

→**今日の予約**
(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)
現在時刻が16時10分なら、翌日の16時09分までが「今日」になります。

24時間以内
| 今日 | 翌日 |
|---|---|

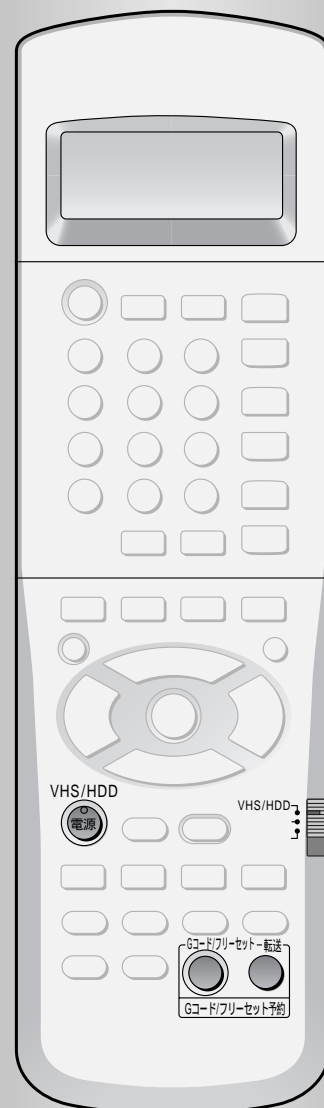
16:10 (予約設定時刻)　午前0時　16:09

→**1週間以内の予約**(日→月→火→水→木→金→土)
→**1か月以内の予約**(1→2→3→…→29→30→31)
→**毎日予約**(毎週日～土→毎週月～土→毎週月～金)
→**毎週予約**(毎週日→毎週月→毎週火→…→毎週土)

- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

## 3 ＋チャンネル－ を数回押し、BSデジタル放送の予約チャンネルに合わせる

- [＋]側を押すごとに、以下のように変わります。([－]側を押すと逆方向)
→VHF/UHF放送チャンネル
→従来のアナログBS放送チャンネル
→CATV放送チャンネル＊
→**BSデジタル固定チャンネル(➜35)**
→**オプションBSデジタルチャンネル**＊**(➜35)**
→**BSデジタル全チャンネル**＊**(➜35)**
→110度CSデジタルチャンネル＊(このチャンネルは働きません)
→外部入力チャンネル
＊工場出荷時はとばされています。
- 押し続けると、素早く移動できます。

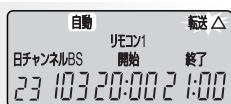
## 4 ＋開始－ を押し、開始時刻を合わせる

- 押し続けると、30分単位で変わります。

**■ふたをひらいたところ**

## 5 ＋終了－を押し、終了時刻を合わせる

自動　転送
リモコン1
日チャンネルBS　開始　終了
23 103 20:00 21:00

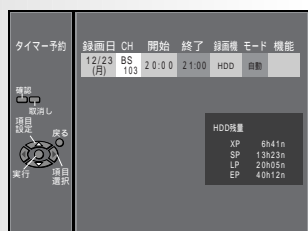
- 押し続けると、30分単位で変わります。

## 6 録画モードを数回押し、録画モードを選ぶ

- 自動的に[自動]が選ばれますので、**通常はこのままにしておいてください。**
- BSデジタル放送は、番組によって放送信号が異なります。[自動]にしておくと、番組の放送信号に合った録画モードを自動的に選んで録画します。デジタルハイビジョン番組を高画質のまま録画したり、マルチビューやデータを同時に録画することができるので、再生時でも画面や音声を切り換えて楽しむことができます。

**■[自動]以外で録画(エンコード録画)するとき(詳しくは➜72)**

- [XP]、[SP]、[LP]、[EP]から選んでください。

## 7 転送を押す

- 数秒後に予約内容が表示され、約14秒後に予約モードになります。(HDD表示窓に“ ⏲ ”が表示されます)
- この表示が出ている間に取消しを押すと、取り消すことができます。
- 転送された予約内容(予約開始時間・終了時間)は、HDD表示窓にも表示されます。

**■予約モード(HDD)になると**

本機は、予約モード状態であっても再生などをお楽しみいただくことができるようにするため、自動的に電源が切れないようになっています。

## 8 設定終了後に再生などの操作をしないときは、VHS/HDD電源を押し、本機の電源を切る

- 電源を入れたままにして予約録画が実行されると、終了後は、再生などの操作中でなければ自動的に電源が切れます。

### ■2つ以上の予約をするとき

- 手順1～7を繰り返してください。(予約モード、予約スタンバイモードでも予約できます)

### ■手順7後(予約設定終了後)の本機の状態について

予約設定時に本機の電源が「入」か「切」かの条件の違いで、本機の状態は異なります。

手順7の操作後約14秒後に：
設定時に電源が「入」の場合→予約モードになります。
電源は切れません。
設定時に電源が「切」の場合→予約スタンバイモードになり、
電源は「切」のままです。
いずれも、HDD表示窓に“ ⏲ ”が表示されます。

### ■お願い/ヒント

- この予約録画は、HDDモードでのみ働きます。
- 予約録画に関しては51ページもお読みください。
- **予約の操作をしているときと予約録画開始前は、必ずチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にしておいてください。主電源が切れていたり、スタンバイになっていると、予約の登録と実行はできません。**
- 時刻は24時間表示です。
- 本機の時刻が合っていないと、正しく予約実行することができません。必ず合わせておいてください。**(➜99)**
- 予約モード(予約スタンバイモード)中は、チューナー(内蔵テレビ)から本機の電源を入れるなどの操作はしないでください。
- **内蔵テレビをお使いの方は、予約録画の実行中にチャンネルを変えるなどの操作をしないでください。**
  地上波(VHF/UHF)チャンネルやアナログBSチャンネルに変えると、そのあと録画できなくなる機種があります。
- 番組開始時刻が遅れたり、番組が延長されたときでも、予約した開始・終了時刻に合わせて実行しますので、EPG予約**(➜76)**のように番組の時間変更に追従することはできません。
- 有料番組(ペイ・パー・ビュー)、視聴制限のかかった番組、コピーガードがかかっている番組も予約できますが、そのままでは正しく録画することはできません。詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、予約できなかったり、表示されない項目があったり、操作方法が異なることがあります。それぞれの機器の説明書もお読みください。
- i.LINK機器の全登録消去**(➜26)**を行うと、予約が消えてしまいます。
- BSデジタル放送受信可能なチューナー(内蔵テレビ)をお使いの場合、BSデジタル放送のフリーセット予約は行えますが、110度CSデジタル放送などのフリーセット予約は行えません。

### ■BSデジタル番組のフリーセット予約録画のしくみ

- 当社製のチューナー(内蔵テレビ)を使って予約した場合、予約の情報は、本機がi.LINKケーブルを通して自動的にチューナー(内蔵テレビ)にも登録します。
  予約内容は、チューナー(内蔵テレビ)側の予約一覧画面でも確かめることができます。
- BSデジタル番組のフリーセット予約は、チューナー(内蔵テレビ)側からは取り消しできません。取り消ししたいときは、本機で行ってください。
- 予約開始時刻になると、本機がi.LINKケーブルを通して自動的にチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れ、BSデジタルチャンネルの選局を行い、録画を開始します。
- 予約終了時刻になると、本機がi.LINKケーブルを通してチューナー(内蔵テレビ)の電源を切り、録画を終了します。

### ■すぐに予約録画を始めたいとき

- 手順1のあと、予約チャンネル(手順3)と終了時刻(手順5)のみを合わせて転送してください。(終了時刻までの予約録画を始めます)

### ■素早く予約チャンネルを合わせたいとき

- 使わない予約チャンネルは、とばしておくと素早く合わせることができます。**(➜34)**

### ■BSデジタル固定チャンネル以外のチャンネルに合わせたいとき(➜35)

- オプションBSデジタルチャンネルを記憶させるか、BSデジタル全チャンネルを[ALL On]にしてください。

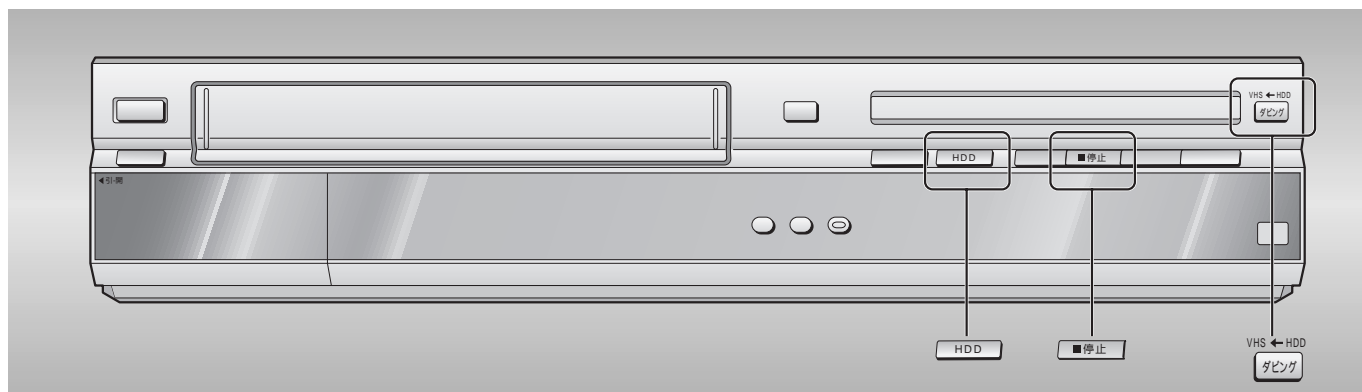
### ■操作中にメッセージがテレビ画面に表示されたとき

- **(➜110)**

### ■予約した番組に対して[更新]・[フォルダー]設定を行うとき(➜55)

- [CM]・[BS音声]設定はできません。

# 内蔵HDD→内蔵VHSで(ワンタッチダビング)

**ハードディスクに録画された番組を、内蔵VHS側のビデオカセットにダビングすることができます。**
ダビング方法には、ワンタッチダビングと自動ダビングの2種類があります。

## カセットへワンタッチ操作でダビングする(ワンタッチダビング)

再生、または静止画再生中のハードディスク内の番組を、ワンタッチ操作で内蔵VHS側のビデオカセットにダビングすることができます。

**準備**
- 録画可能なカセットを入れる。
  消してもよい映像かどうか、カセットの内容を事前に確認しておく。
- VHS側で録画モード(標準･3倍･5倍)を選び、VHS表示窓に選んだ録画モードを表示させておく。

**1** VHS側:
**停止、または静止画再生の状態にしておく**

HDD側:
ダビングを開始したい位置で、
**再生、または静止画再生の状態にしておく**

**2** **HDD を押し、HDDモードにする(➔22)**

**3** **本体の ダビング(VHS←HDD) を押す**
- 現在再生/静止画再生中の番組位置からダビングが開始され、VHS側では、その時点のテープ位置から録画が始まります。
- ダビング中の番組再生が終了すると、VHS側は録画を停止します。

**■ダビングをやめる**
■停止 を押す。

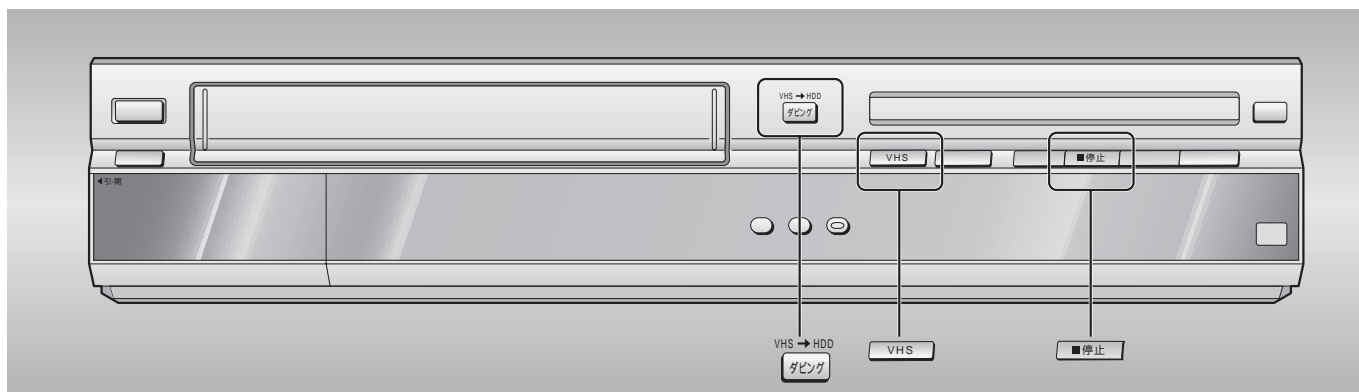
**■以下の場合、ワンタッチダビングは正しく働きません**
- VHS/HDDモードのどちらかが予約録画の待機中、または予約モード(予約スタンバイモード)の場合
- テレビ画面に、本機のメニュー画面やプログラムナビ画面、予約操作画面、ショートカット画面などが表示されているとき
- タイムキープ録画中
- コピーガードがかかっている番組を録画する場合

**■お願い/ヒント**
- ダビングした映像の画質は、ダビング元の映像の画質に依存します。
- 録画モードを選ばなかった場合は、そのときVHS側で設定されている録画モードでダビングされます。
- 手順3のあと、ダビングが実際に実行されるまでには少し時間がかかります。
- VHS側の録画が終了すると、HDD側も停止します。
- [自動]録画**(➔72)**されたBSデジタル番組は、ワンタッチダビングできません。実行した場合は、数秒間ダビングしたあと、自動的にダビングを中止します。
  HDD側に[自動]録画されたBSデジタル番組をカセットにダビングする場合は、チューナー(内蔵テレビ)を経由してアナログ出力されたものを外部機器で録画してください。**(➔86)**
  D-VHS カセットへデジタルダビングする場合は、D-VHSビデオカセットレコーダー(別売)をお使いください。**(➔83･84)**
- カセットへのワンタッチダビングは、現在HDDモードで再生/静止画再生中の番組のみ録画できます。
- VHS部のプログラムナビリストには登録されません。
- テープの終わりまで録画すると、自動的にダビングを停止します。
- HDD側で再生(静止画再生)操作をするために手順1でHDDモードにしますが、ダビング実行中はVHSモードになります。

## 選んだ番組を自動的に録画する(自動ダビング)

ハードディスクに録画された番組を、選んだ順にダビングすることができます。詳しくは、84ページをお読みください。

# 内蔵VHS→内蔵HDDで(ワンタッチダビング)

**録りだめしたVHSカセットの内容をハードディスクにワンタッチ操作でダビングし、しおり設定などの機能を使って見たい番組をより簡単に検索してお楽しみいただけます。**

**準備**
- ハードディスクにダビングしたい内容が録画されたカセットを入れる
- HDD側で録画モード(XP・SP・LP・EP)を選び、HDD表示窓に選んだ録画モードを表示させておく。

**1** VHS側:
ダビングを開始したい位置で、
**静止画再生の状態にしておく**
- 再生中や停止状態でもワンタッチダビングすることはできますが、録画開始点を正しく指定するために、その位置で静止画再生の状態にしておかれることをおすすめします。

HDD側:
**停止状態にしておく**

**2** **VHS を押し、VHSモードにする(→22)**

VHS

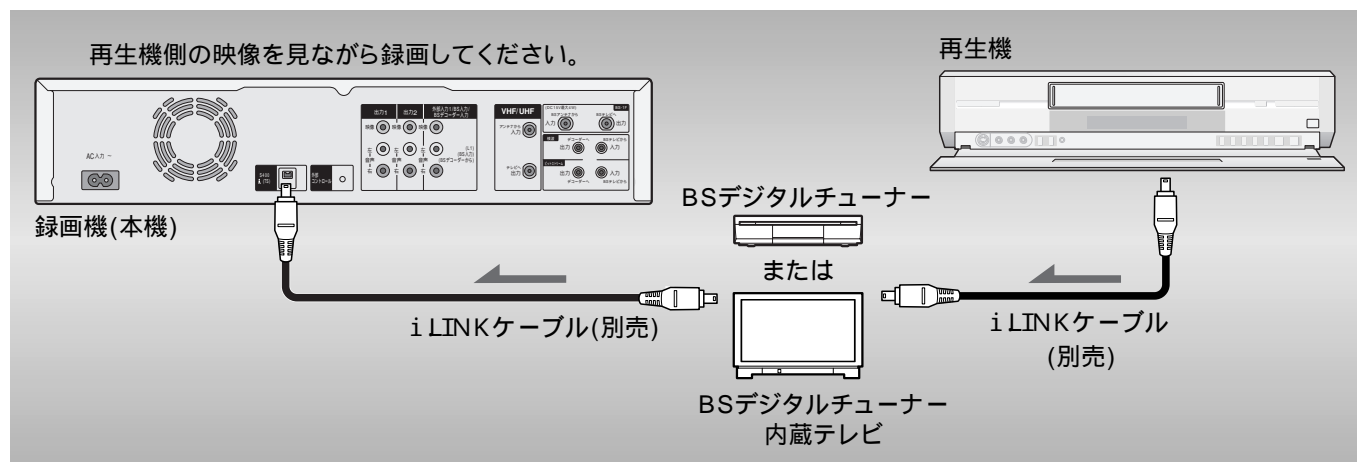
**3** **本体のダビング(VHS→HDD)を押す**
- 現在のテープ位置から再生が始まり、HDD側で同時に録画が開始されます。

**■ダビングをやめる**
■停止 を押す。

**■以下の場合、ワンタッチダビングは正しく働きません**
- VHS/HDDモードのどちらかが予約録画の待機中、または予約モード(予約スタンバイモード)の場合
- ハードディスク残量がないか、記録最大数(240番組)をこえる場合
- テレビ画面に、本機のメニュー画面やプログラムナビ画面、予約操作画面、ショートカット画面などが表示されているとき
- タイムキープ録画中
- コピーガードがかかっている番組を録画する場合

**■お願い/ヒント**
- ダビングした映像の画質は、ダビング元の映像の画質に依存します。
- 録画モードを選ばなかった場合は、そのときHDD側で設定されている録画モードでダビングされます。
- テープの終わりまで再生したときや、ハードディスクの容量がいっぱいになると、自動的にダビングを停止します。
- 内蔵VHS側のカセットからワンタッチダビングされた番組は、ビジュアルプログラムナビ画面に登録されます。ダビングされて登録された番組の[CH]欄には、[VHS]と表示されます。
- VHS側で静止画再生操作をするために手順1でVHSモードにしますが、ダビング実行中はHDDモードになります。
- 録画状態の悪いテープや他の機器で録画したテープなどからのダビング時は、正しく録画できない場合があります。

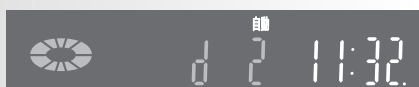
# デジタル→デジタルで(デジタル機器→本機HDD)

**i.LINKケーブル(別売)を使ってダビングします。再生機側の録画モードを気にせずにダビングできます。**

準備 ● VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1 HDD を押し、HDDモードにする(➔22)**

**2 i.LINK で再生機を選ぶ**

- 使いたい再生機器が登録されているi.LINK機器番号を選んでください。(上図例では“ d2 ”)

**3 録画モードが[自動]になっていることを確かめる**

**4 再生機で再生を始める**

- 録画機(本機)が、自動的に再生機の録画モードを判別するために数秒間必要です。録画を開始したい場面の少し前から再生を始めてください。

**5 録画を始めたい場面の少し手前で、録画● を押し、録画を始める**

**■録画をやめる**

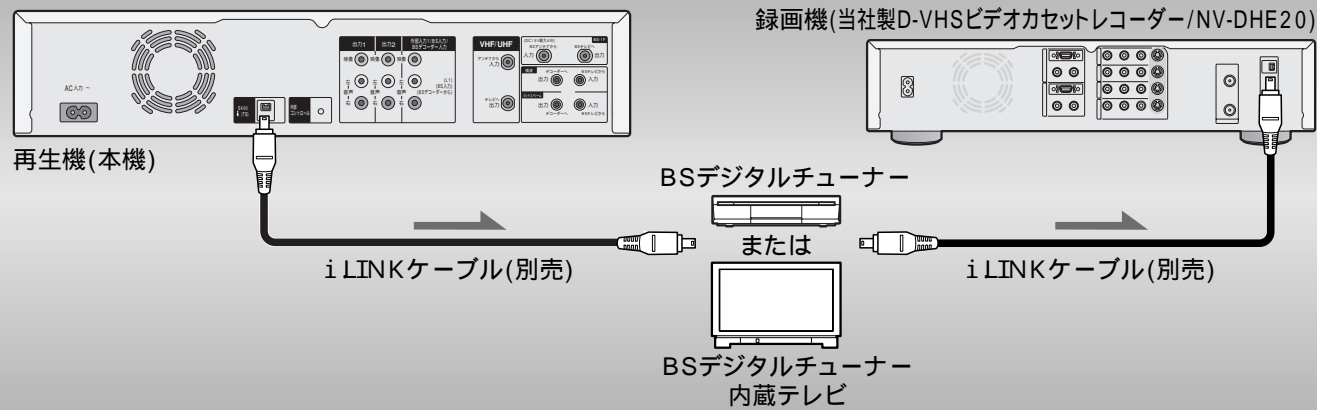
停止■ を押す。

- 再生機も停止させてください。

**■お願い/ヒント**

- 録画のつなぎ目や番組と番組のつなぎ目を再生すると､正しい画面が出るまでに静止画になったり、ノイズ画面や黒い画面になります。
- D-VHSビデオカセットレコーダーの再生・早送り・巻き戻しなどの操作によっては、画面が静止画になったり、ノイズ画面や黒い画面になることがあります。
- DV機器はフォーマットが異なるため、i.LINK接続してもデジタルでダビングはできません。映像･音声コードで接続してダビングしてください。
- コピーガードがかかっている番組をダビングすることはできません。
- 再生機にi.LINK端子があってもダビングできない場合があります。

# デジタル→デジタルで(本機HDD→デジタル機器)

**i.LINKケーブル(別売)を使ってダビングします。**
下記の説明は、録画機に当社製D-VHSビデオカセットレコーダー/NV-DHE20(別売)を使用した場合です。

**準備**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 録画可能なD-VHSカセットを録画機に入れる。

**1** 録画機で
**[i.LINK]ボタンで使用するi.LINK機器(本機)を選ぶ**

**2** 録画機で
**録画モードが[自動]になっていることを確認する**

**3** 録画機で
**[再生]ボタンを押し、再生しながら録画の開始点をさがす**

**4** 録画機で
**録画の開始点で[一時停止/スロー]ボタンに続いて[録画]ボタンをポンと押し、録画の一時停止にする**

**5** **HDDを押し、HDDモードにする(→22)**

**6** **再生▶を押し、再生を始める**

**7** 録画機で
**録画を始めたい場面で[一時停止/スロー]ボタンを押し、録画を始める**

■**お願い/ヒント**
- 録画のつなぎ目や番組と番組のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまでに静止画になったり、ノイズ画面や黒い画面になります。
- DV機器はフォーマットが異なるため、i.LINK接続してもデジタルでダビングはできません。映像・音声コードで接続してダビングしてください。
- 録画機にi.LINK端子があってもダビングできない場合があります。
- 録画機の説明書もよくお読みください。

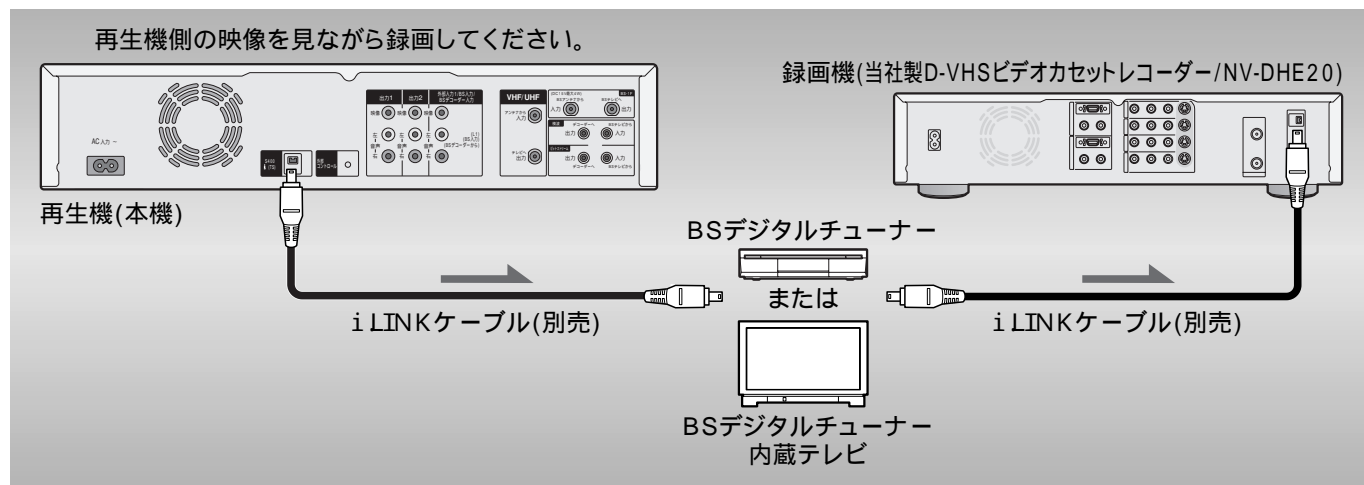
## 選んだ番組を自動的に録画する(自動ダビング)

ハードディスクに録画されている番組を、選んだ順にダビングすることができます。詳しくは、84ページをお読みください。

# デジタル→アナログ/デジタルで

## (自動ダビング:内蔵HDD→内蔵VHS・当社製D-VHSビデオカセットレコーダー)

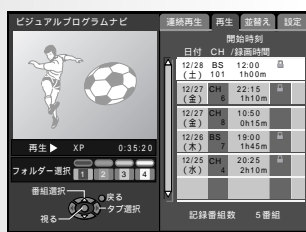
**ハードディスクに録画されている番組を、選んだ順に内蔵VHS部のカセットやi.LINK接続した当社製D-VHSビデオカセットレコーダーにダビングすることができます。**

下図は、当社製D-VHSビデオカセットレコーダー/NV-DHE20(別売)を使って自動ダビングする場合のものです。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**内蔵VHS部のカセットにダビングする場合：**
- 録画可能なカセットをVHS側に入れておく。
- ダビング時に使用したい録画モードを選んでおく。
- テープ内の録画開始点を探しておく。

**当社製D-VHSビデオカセットレコーダーにダビングする場合：**
- 接続しているD-VHSビデオカセットレコーダーを自動ダビング機器として本機側で設定しておく。(➜27)
- D-VHSビデオカセットレコーダー側で、以下の準備をしておく。
  1 録画可能なD-VHSカセットを録画機に入れる
  2 [i.LINK]ボタンで使用するi.LINK機器(本機)を選ぶ
    - D-VHSビデオカセットレコーダー側のi.LINK機器一覧などで、本機が正しく接続されていることをご確認ください。
  3 録画モードが[自動]になっていることを確認する
  4 テープ内の録画開始点を探しておく
  5 停止状態にしておく

## 1 HDD を押し、HDDモードにする(➜22)

## 2 プログラムナビ を押し、ビジュアルプログラムナビ画面を出す

## 3 ◀ で[連続再生]を選び、▲ ▼ でダビングさせたい番組を選んで 実行/決定 を押す

- 選ばれている番組が黄色で表示されます。

## 4 [登録/解除]が選ばれた状態で、実行/決定 を押す

- 登録されると、番組の右端に[ ]が表示されます。
- 複数の番組を選ぶ場合は、手順3、4を繰り返してください。
- 選択を解除するには、再度 実行/決定 押して[登録/解除]を選び、もう一度 実行/決定 を押してください。

## 5 もう一度、実行/決定 を押す

## 6 ▼ で[DVHSダビング]または[VHSダビング]を選び、実行/決定 を押す

- 自動ダビングが始まります。

**DVHSダビング** ：当社製D-VHSビデオカセットレコーダーに自動ダビングする場合
**VHSダビング** ：内蔵VHSカセットに自動ダビングする場合

**■自動ダビングをやめる**

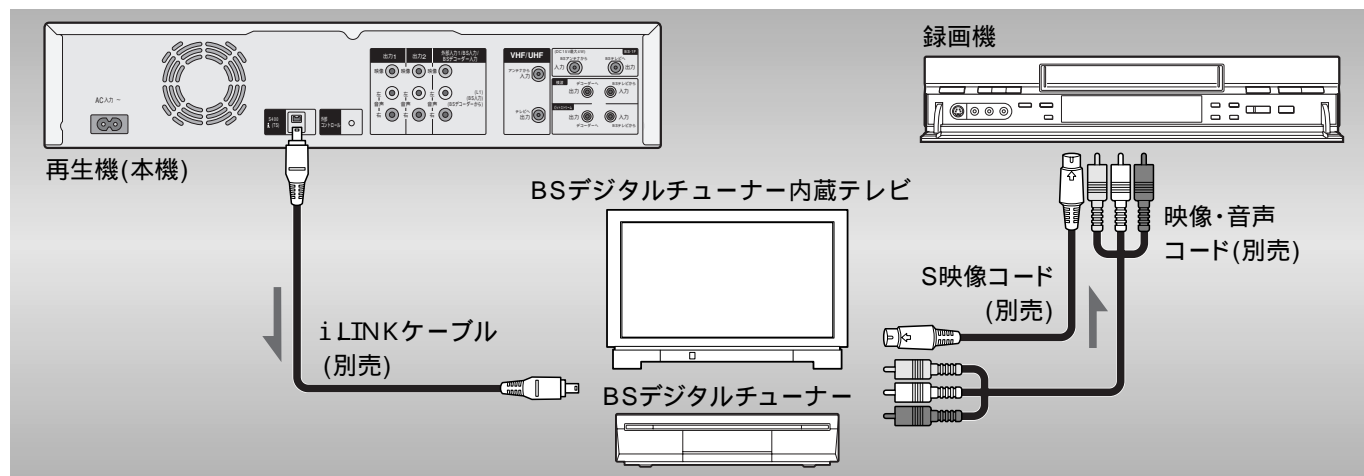
本機の 停止■ を押す。

- D-VHSビデオカセットレコーダーを停止しても、自動ダビングをやめることができます。

**■お願い/ヒント**

- この機能はHDDモードでのみ働きます。
- 自動ダビング中は本機を操作しないでください。
- 以下の場合、自動ダビングは実行されません。
  内蔵VHS部のカセットにダビングする場合：
  ・VHS/HDDモードのどちらかが録画中、予約録画待機中、または予約モード(予約スタンバイモード)中のとき。
  ・[自動]録画された番組を選んでいるとき
  当社製D-VHSビデオカセットレコーダーにダビングする場合：
  ・本機とD-VHSビデオカセットレコーダーのどちらかが録画中、予約モード(予約スタンバイモード)中、または予約録画待機中のとき。
- ダビングが終了すると、D-VHSビデオカセットレコーダーおよび本機は停止の状態になります。
- 手順6でダビング機器が選ばれているときは、選んだ番組を選んだ順序で再生し、録画機側は録画を始めます。
- 手順6でダビング機器が選ばれていないときは、[ダビング機器が選択されていません]の警告表示が出ます。ビジュアルプログラムナビ画面は解除され、通常画面に戻ります。
- 当社製以外のD-VHSビデオカセットレコーダーをご使用の場合は正常に働かない場合があります。
- 自動ダビングで作成したカセットをD-VHSビデオカセットレコーダーで再生すると、番組の先頭や番組のつなぎ目などで静止画になったり、ノイズ画面や黒い画面になる場合があります。
- 複数の番組を登録して自動ダビングした場合、D-VHSビデオカセットレコーダーには1つの番組として登録されることがあります。
- 録画禁止の XCOPY アイコンが表示されている番組は、自動ダビングできません。
- 番組編成や録画方法によっては、コピーガードのない番組でも録画禁止の XCOPY アイコンが表示される場合があります。この場合は、コピーガードのない部分からマニュアルでダビングすることができます。
- 複数の番組を登録して自動ダビングした場合、番組と番組の間に記録されない部分が発生する場合があります。

# デジタル→アナログで(本機HDD→アナログ機器)

**ハードディスクに[自動]録画されたBSデジタル番組を、アナログ出力でカセットにダビングすることができます。**
- 映像・音声はチューナー(内蔵テレビ)でデジタルからアナログに変換されたあと、録画機へ送られます。
- 本機を再生機にし、下図のように接続してください。

準備
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 録画可能なカセットを録画機に入れる。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、チューナー(内蔵テレビ)側で本機をLINC(リンク)してください。

**1** 録画機で
**外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ**

**2** 録画機で
**録画モードを選ぶ**

**3** 録画機で
**再生しながら録画の開始点を探す**

**4** 録画機で
**録画の開始点で録画の一時停止にする**

**5** **HDD を押し、HDDモードにする(→22)**

**6** **再生▶ を押し、ダビングを始めたいところの少し手前から再生を始める**

**7** 録画機で
**録画を始めたい場面で録画を始める**

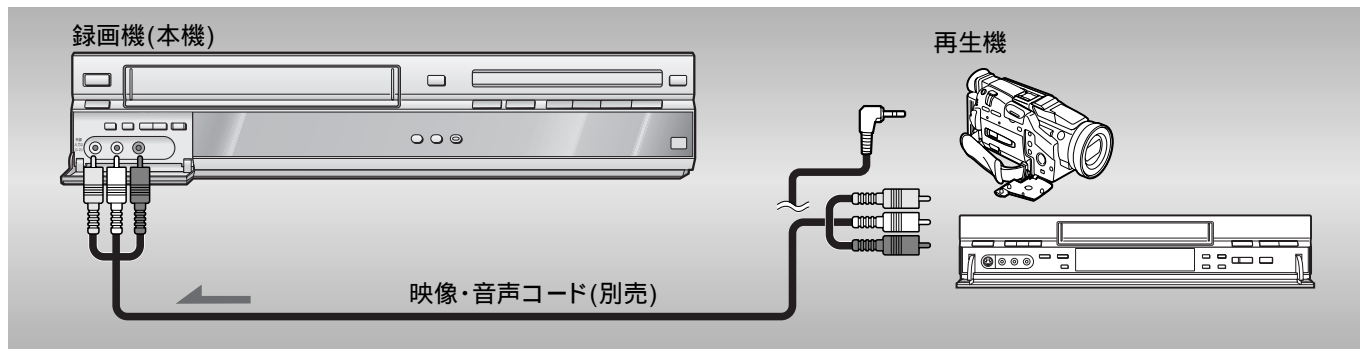
■**録画をやめる**
停止■ を押す。
- 録画機も停止させてください。

■**お願い/ヒント**
- 録画機の詳しい操作は、録画機の説明書をお読みください。
- チューナー内蔵テレビをお使いのときは、ダビング中にチャンネルを変えたり、電源を切らないでください。
- マルチビューは、チューナー(内蔵テレビ)側で選んでいた映像のみダビングされます。
- コピーガードのかかった番組をダビングするときは、正しく録画できません。

## 本機からのアナログ出力信号を外部機器でダビングするとき

ダビング操作は上記と同じ手順です。
- 手順5では、再生する側の操作モード(VHS/HDD)を選んでください。
- 本機を再生機にし、下図のように接続してください。

# アナログ→アナログで(外部入力録画:アナログ機器・アナログ信号→本機VHS)

**外部に接続した機器の映像・音声をダビングすることができます。**

**準備**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。
- 録画可能なカセットを録画機(本機)に入れる。

**1** VHS を押し、VHSモードにする(➜22)

**2** VHSチャンネル∧∨を押し、外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

L1：外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子(後面)に接続したとき

L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき

- 外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子を使うには、メニューの[モード設定]→[L1設定]を[L1]にしてください。(➜97)

**3** 録画モード を数回押し、[標準]、[3倍]、[5倍]のいずれかを選ぶ

**4** 再生▶ を押し、再生しながら録画の開始点を探す

**5** 録画の開始点で、一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押す

このあと、録画● を押し、録画の一時停止にする

**6** 再生機で再生を始める

**7** 録画を始めたい場面で、一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押し、録画を始める

■ふたをひらいたところ

### ■録画をやめる

停止■ を押す。
- 再生機も停止させてください。

### ■映像が乱れたり、色合いが悪くなったりするとき

- 市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。コピーガードのかかった信号を本機に入力しても、正しく録画できません。

### ■テレビの近くで操作するとき

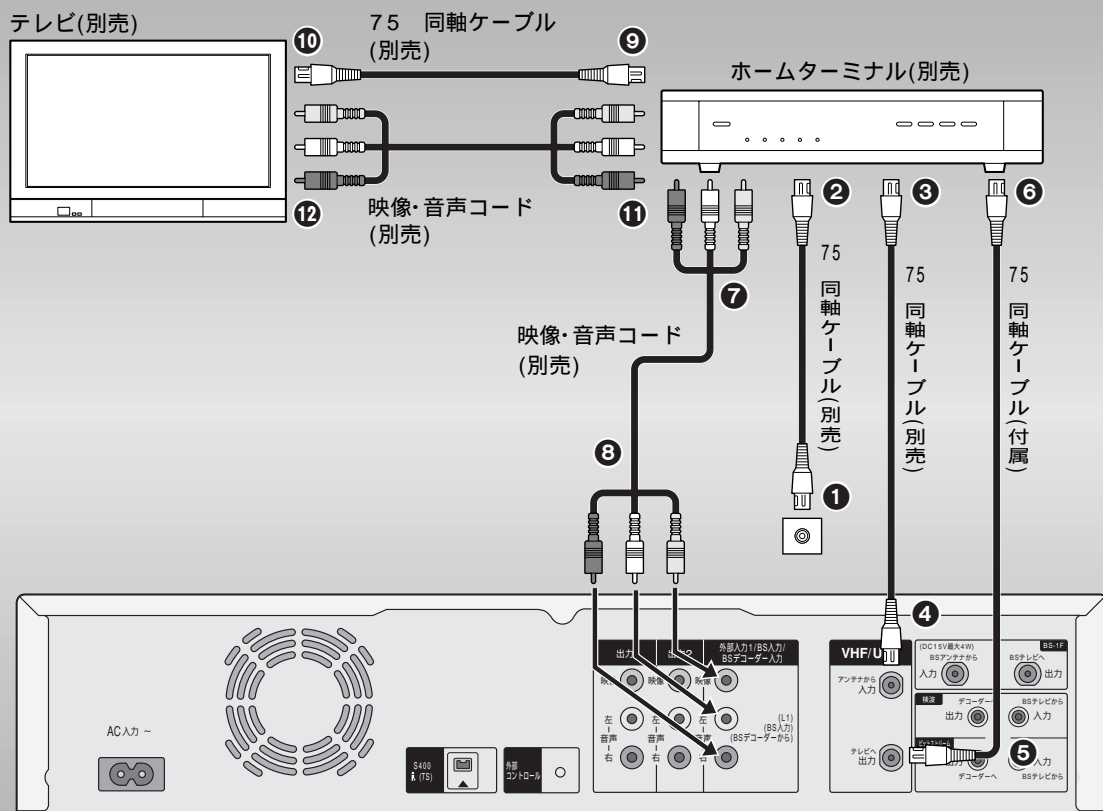
- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

### ■本機を再生機として使うとき

- モード設定の[オンスクリーン](➜96)を[切]にすると、画面に不要な文字や表示を出さなくなります。

### ■お願い/ヒント

- 外部機器の音声出力端子がモノラルのときは、ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

# CATVホームターミナル、テレビと接続する

❶ **ご家庭のケーブルテレビ端子へ**
❷ **ケーブル入力端子へ**
❸ **ケーブル出力(VTRへ)端子へ**
❹ **VHF/UHF入力端子へ**
❺ **VHF/UHF出力端子へ**
❻ **ビデオRF入力端子へ**
❼ **映像・音声出力端子へ**
❽ **外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力(映像・音声)端子へ**
❾ **RF出力端子へ**
❿ **VHF/UHFアンテナ入力端子へ**
⓫ **映像・音声出力端子へ**
⓬ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**

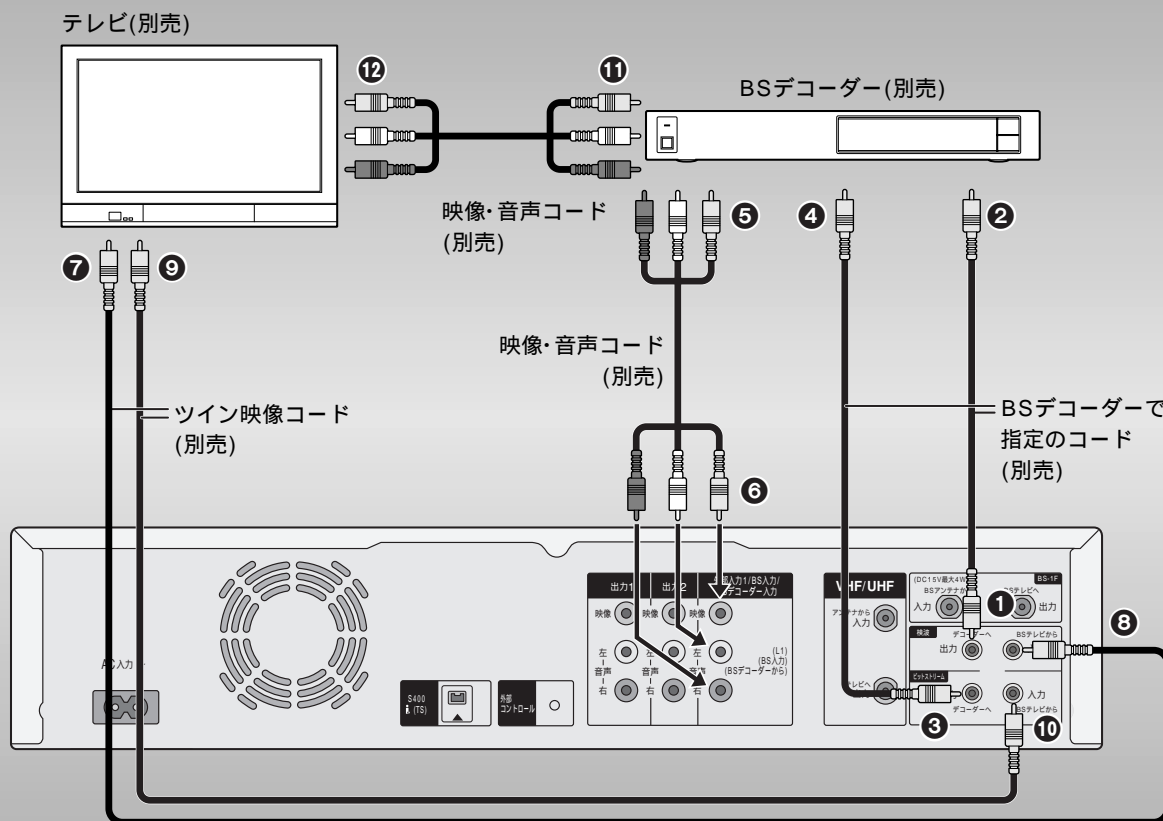
本機とテレビの接続については、16～18ページをお読みください。

**■お願い/ヒント**
- CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
引っ越しや配置換えなどによりご自分で接続されるときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。
詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- CATV会社によっては、BSデジタルチャンネルを放送しているところがあります。
その放送形態がデジタルかアナログかは、会社によって異なりますので、詳しくはCATV会社にご相談ください。

(上図はアナログ時の接続例です)
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
- 有料番組を本機で受信してもコピーガードやスクランブルの影響できれいに映りません。
有料番組を見たり録画したりするには、本機の入力をホームターミナルを接続した外部入力チャンネル(上図接続例の場合：**[L1]**)に切り換えてください。
- マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。**(➜33)**
特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、Gコード予約ができません。
- リモコンの予約チャンネル表示設定を行ってください。
CATVの予約チャンネル表示は、工場出荷時はすべて選べなくなっています。このままでは、フリーセット予約ができません。
使うチャンネルは表示させてください。**(➜34·35)**

**CATVのホームターミナルを本体後面の外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子に接続するときは、メニューの[初期設定]→[L1設定]を[L1]にしてください。(➜97)**
この場合、BS入力**(➜28)**は使用できなくなり、BSデコーダーを使って視聴するWOWOW(アナログ)などの番組もお楽しみいただけなくなります。
- 外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子は、メニューの[L1設定]を[L1]にして外部入力1端子として使用しているときは、BS入力端子やBSデコーダー入力端子としては使用できなくなるためです。

**詳しくは、97ページもお読みください。**

# BSデコーダー、テレビと接続する

❶ **検波出力端子へ**
❷ **検波入力端子へ**
❸ **ビットストリーム出力端子へ**
❹ **ビットストリーム入力端子へ**
❺ **映像・音声出力端子へ**
❻ **外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力(映像・音声)端子へ**
❼ **検波出力端子へ** ※
❽ **検波入力端子へ** ※
❾ **ビットストリーム出力端子へ** ※
❿ **ビットストリーム入力端子へ** ※
⓫ **映像・音声出力端子へ** ※
⓬ **BS拡張入力(映像・音声)端子へ** ※

※の手順はBSチューナー内蔵テレビのときのみ必要です。

本機とテレビの接続については、16～18ページをお読みください。

- マニュアルチャンネル設定(**➜33**)でBS5チャンネルの[デコーダー]を[**入**]に設定してください。
- **テレビのチューナーを使ってSt. GIGAを楽しむとき**
  1. テレビの電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ。
  2. BSデコーダーの電源を入れ、独立音声を選ぶ。
     ・テレビの画面はWOWOW(アナログ)を映していますが、音声がSt. GIGAになります。
- **本機のチューナーを使ってSt. GIGAを楽しむとき**
  1. テレビの電源を入れ、入力切換を本機を接続している入力([ビデオ1]など)にする。
  2. 本機の電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ。
  3. BSデコーダーの電源を入れ、独立音声を選ぶ。
     ・テレビの画面はWOWOW(アナログ)を映していますが、音声がSt. GIGAになります。

### ■お願い/ヒント

- VHF/UHF、BSアンテナ接続(**➜16～19**)のあと、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- WOWOW(ワウワウ)(アナログ)をご覧になるには、株式会社WOWOWとの受信契約とスクランブルを解除するためのBSデコーダー(別売)が必要です。
- テレビ、BSデコーダーの説明書もお読みください。

### ■St. GIGA(セントギガ)について

St. GIGAとは、BS5チャンネル(WOWOW(アナログ))の独立音声で行われている音声のみの有料放送です。

- お楽しみいただくには、St. GIGAとの受信契約とBSデコーダー(別売)が必要です。BSデコーダーは、WOWOW(アナログ)を見るときに必要なものと同じです。(BSデコーダーの説明書もお読みください)

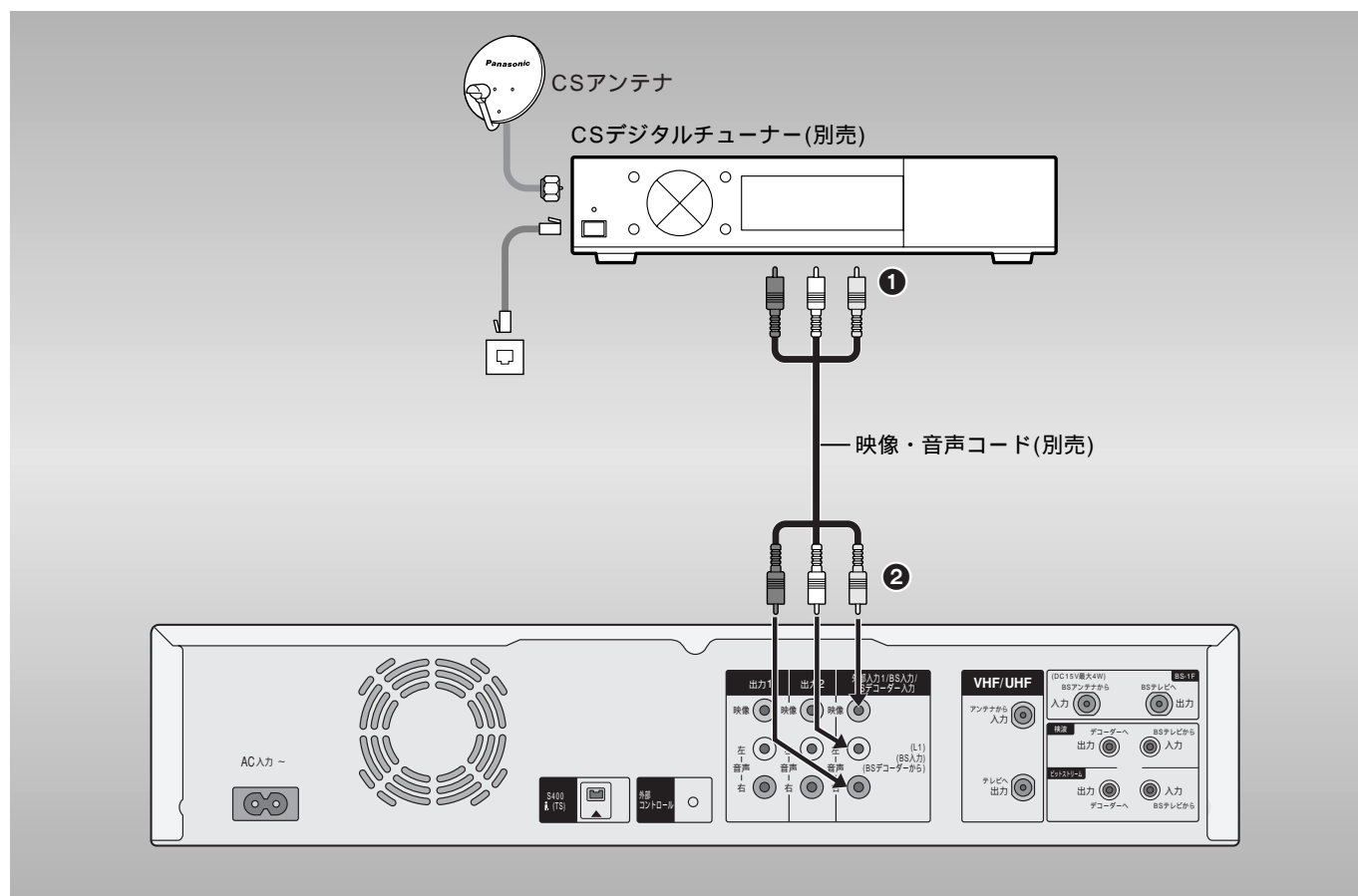
**BSデコーダーを本体後面の外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子に接続するときは、メニューの[初期設定]→[L1設定]を[デコーダ]にしてください。(➜97)**

この場合、外部入力映像をお楽しみいただくことはできなくなり、BS入力(**➜28**)も使用できなくなります。

- 外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子は、メニューの[L1設定]を[デコーダ]にしてBSデコーダー入力端子として使用しているときは、外部入力1端子やBS入力端子としては使用できなくなるためです。

**詳しくは、97ページもお読みください。**

# CSデジタルチューナー*、テレビと接続する

(*110度CSデジタル放送対応チューナーは除く)

**❶ 映像・音声出力端子へ**
**❷ 外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力(映像・音声)端子へ**

本機とテレビの接続については、16～18ページをお読みください。

**■お願い/ヒント**

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- CSアンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。
- CSデジタル放送の視聴・録画には、専用のCSデジタルチューナー(別売)が必要です。
  さらに、使用する機器ごとにCSデジタル放送会社との受信契約が必要となります。
  詳しくは、CSデジタル放送会社にご相談ください。

**CSデジタルチューナーを本体後面の外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子に接続するときは、メニューの[初期設定]→[L1設定]を[L1]にしてください。(➜97)**

この場合、BS入力(**➜28**)は使用できなくなり、BSデコーダーを使って視聴するWOWOW(アナログ)などの番組もお楽しみいただけなくなります。

- 外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子は、メニューの[L1設定]を[L1]にして外部入力1端子として使用しているときは、BS入力端子やBSデコーダー入力端子としては使用できなくなるためです。

**詳しくは、97ページもお読みください。**

# ショートカット操作について HDD

**現在再生している番組の削除や設定などを、ビジュアルプログラムナビ画面を開かずに、簡単に行うことができます。**

- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

**1** **HDDを押し、HDDモードにする(➜22)**

**2** 再生中に
**▲ ▼ ◀ ▶ のいずれかを押し、ショートカット画面を出す**

**3** **▼ で操作したい項目を選び、実行/決定 を押す**
- それぞれの項目の設定画面が表示されます。
- 再生中の映像は、静止画再生の状態になります。

**4** **◀ ▶ で操作を選び、実行/決定 を押す**
- [タイトル設定]のみ操作が異なります。**(➜下記)**
- この操作のあと、通常の再生に戻る場合は 再生▶ を押してください。

**■お願い/ヒント**
- この機能はHDDモードでのみ働きます。

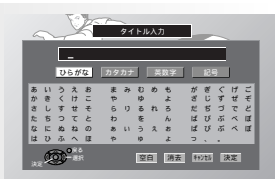
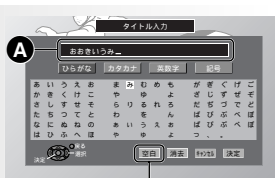
## ショートカットの項目

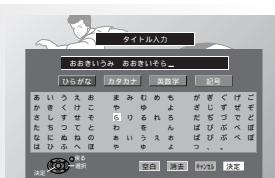
| 項　目 | 内　　容 | ページ |
|---|---|---|
| **削除** | 再生中の番組を削除するとき。 | 69 |
| **上書き設定** | 再生中の番組を上書き許可/禁止の設定をするとき。 | 49 |
| **タイトル設定** | 再生中の番組にタイトル情報を設定するとき。 | 下記 |
| **しおり設定** | 再生中の番組のしおり指定や解除をするとき。 | 71 |

## タイトル設定

ハードディスクに録画した番組にタイトル情報を設定します。設定したタイトル情報は、ビジュアルプログラムナビ画面で確認できます。

**3** 上記の手順3で、
**▲ ▼ で「タイトル設定]を選び、実行/決定 を押す**
- タイトル入力画面が表示されます。
- 再生中の映像は、静止画再生の状態になります。

**4** **▲ ▼ ◀ ▶ で[ひらがな][カタカナ][英数字][記号]から１つ選び、実行/決定 を押す**

**5** **▲ ▼ ◀ ▶ で入力したい文字を選び、実行/決定 を押す**
- 入力したい文字の数だけ手順4、5を繰り返してください。

**1文字分のスペースを入力するとき:**
- ▲ ▼ ◀ ▶ で[空白]を選び、実行/決定 を押してください。

**6** **▲ ▼ ◀ ▶ で[決定]を選び、実行/決定 を押す**
- この操作のあと、通常の再生に戻る場合は 再生▶ を押してください。

**■入力した文字を修正するとき**

1. ▲ ▼ ◀ ▶ で、図Ⓐ(入力された文字の領域)内の修正したい文字の１つ後ろを選ぶ
2. ▲ ▼ ◀ ▶ で[消去]を選び、実行/決定 を押す
   - 一度押すごとに1文字ずつ消去されます。
3. 手順4、5で正しい文字を入力する

**■お願い/ヒント**
- タイトル入力画面で入力できるのは全角で20文字までですが、ビジュアルプログラムナビ画面で表示されるのは、全角で15文字までです。
- 自動的に情報が取得されるBSデジタル番組のタイトルも、同じ手順で編集することができます。ただし、本機では漢字を入力することはできません。自動的に取得されたタイトルの漢字をあやまって消してしまった場合は、手順6で 実行/決定 を押す前に、**[キャンセル]**を押してタイトル設定操作をやり直してください。
- タイトル設定された番組をお気に入り毎週予約**(➜57)**した場合、予約録画された番組にはタイトル情報も一緒に入ります。ただし、予約時に予約内容を変更すると、その番組は別番組と認識されるため、タイトル情報は消去されます。また、停電時や、電源プラグをコンセントから抜いたときなどにも、タイトル情報は消去されます。

## 画面表示について(VHSモード)

**VHSモードで本機を操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。**

**❶ 音声状態**
- ステレオ(二重)放送受信時、“ステレオ”“二重”(➜94)
- 音声切換 を押すごとに、“左 右”“左”“右”(➜94)

**自動CM早送り**
- CM を押すごとに、“自動CM早送り 入(切)”(➜39)

**❷ BS音声/デコーダー**
- TV/独立 でアナログBS放送の独立音声選択時、“独立”(➜94)
- スクランブル放送受信時、“デコーダー”

**❸ 動作表示**
- 再生、早送り、自動巻戻し再生など、本機の動作状態。

**受信チャンネル**

**テープカウンター/テープ残量表示**
- 表示/残量 を1回押すごとに切り換わって表示。(➜下記)

**録画モード**
- 録画開始時、残量表示に切換時(➜下記)などに、“標準”“3倍”“5倍”

**❹ 日付/現在時刻表示**
- 表示/残量 を1回押すと、日付/現在時刻。(➜下記)

**■VHSモード時の画面表示例■**

**■お願い/ヒント**
- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  ・静止画・スロー再生中。
  ・メニューの[モード設定]→[オンスクリーン]を[切]にしているとき。(➜96)
  ・チューナー(内蔵テレビ)など、接続したi.LINK機器側から映像を見るとき。
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。
  また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

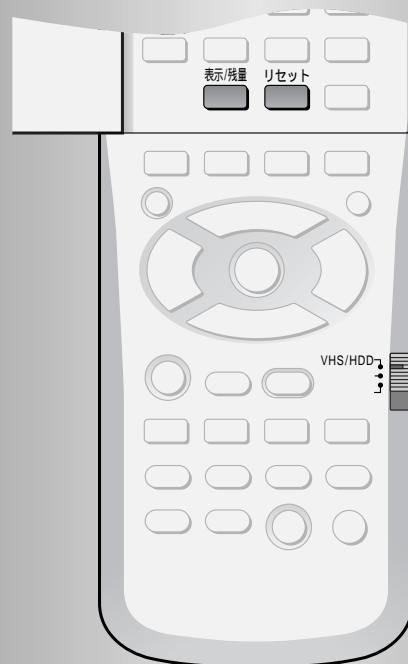
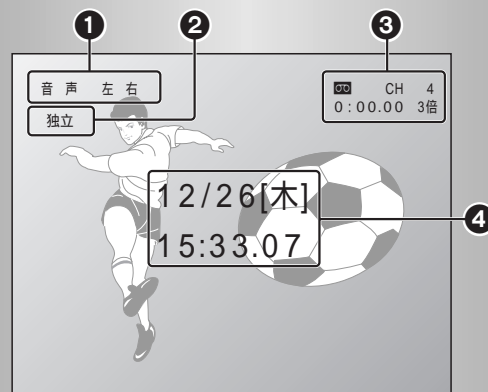
## 日付・現在時刻、テープカウンター、残量表示に切り換える

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

### 表示/残量 を数回押す
- 押すごとに、**日付・現在時刻**→**テープカウンター**→**テープ残量**→…と変わります。
- ボタンを押して5秒以上経過すると自動的に消えます。

**■日付・現在時刻について**
- 自動時刻合わせ機能(➜99)が働いているときは、秒まで表示されます。

**■テープカウンターについて**
- テープカウンター表示になっているときに リセット を押すと、値が“0:00.00”になります。

**■テープ残量について**
- テープの残り時間が表示されます。(目安です)
- 残量の計算のため、表示されるまでに多少時間がかかることがあります。
- VHS初期設定の[テープの長さ](➜97)を正しく合わせておいてください。合わせていないと、正しい表示になりません。
- 残量の計算がされていないとき(カセットを入れた直後など)は、テープ残量は表示されません。(テープ残量表示にするとすぐに計算を始めます)
- カセットによっては、正しく表示されないことがあります。
- 予約設定画面にも表示されます。(➜51)

**■日付・現在時刻表示の例**

5/23[木]
11:48.30

**■テープカウンター表示の例**

**■テープ残量表示の例**

# 画面表示について(HDDモード)

**HDDモードで本機を操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。**

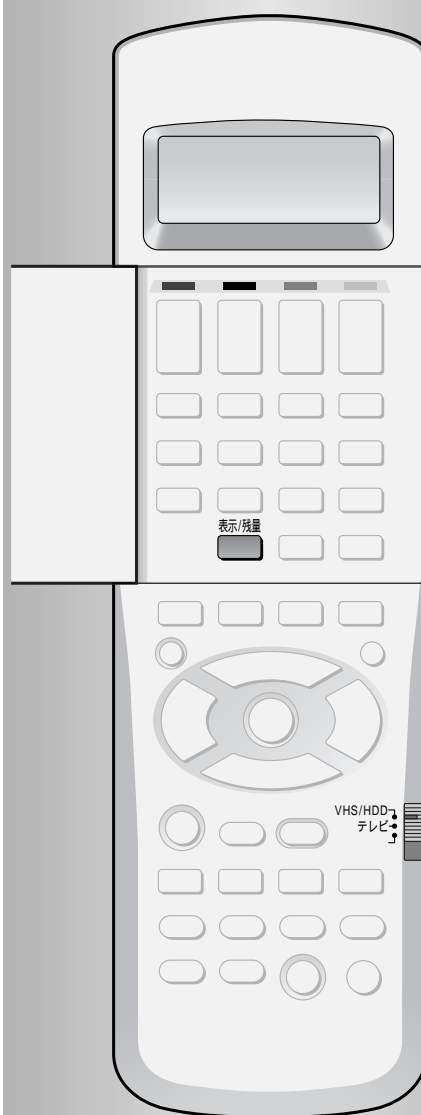
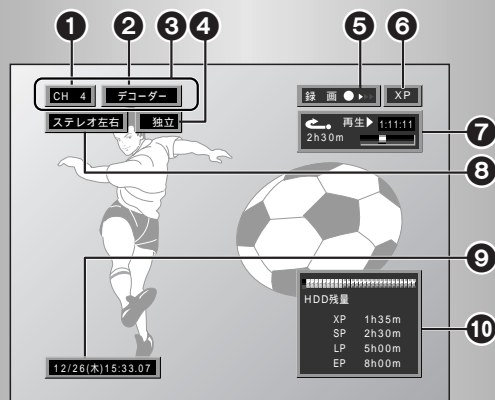
● 表示/残量 を押しても表示されます。
この場合、VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]、または[テレビ]にしておいてください。

❶ **受信チャンネル**
**i.LINK機器情報**
❷ **デコーダー**
● スクランブル放送受信時、"デコーダー。"
❸ **i.LINK機器番号･機器名と連番･機種名**
● i.LINK でi.LINK機器を選択時(➜113)
❹ **BS音声**
● TV/独立 でアナログBS放送の独立音声選択時、"独立。"(➜94)
❺ **録画系動作表示(赤色)**
● 録画、録画の一時停止などの録画動作表示。
❻ **録画モード**
● 選ばれている録画モードを表示。
"自動。""XP。""SP。""LP。""EP。"
❼ **再生系動作表示(紺色)**
● 再生や早送り(早戻し)再生などの再生動作表示と再生経過時間などの情報。
❽ **音声状態**
● ステレオ(二重)放送受信時、"ステレオ。""二重。"(➜94)
● 音声切換 を押すごとに、"左 右。""左"。"右。"(➜94)
❾ **現在時刻/日時表示・チャンネル**
● 再生時は録画チャンネルや録画開始時の日時を表示します。
❿ **ハードディスク残量表示(目安)(➜下記)**
● ハードディスクの残量と録画可能時間を表示。
i.LINK入力選択時：　「HD」、「SD」
アナログ入力選択時：　「XP」、「SP」、「LP」、「EP」
● 残量(目安)はバー表示でも表示されます。
緑色:ハードディスクの未記録領域
黄色:上書き録画が許可されている記録済み領域

**■オンスクリーンの表示について**
以下のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
● メニューの[モード設定]→[オンスクリーン](➜96)を[切]にしているとき。
● チューナー(内蔵テレビ)など、接続したi.LINK機器側から映像を見るとき。

**■ハードディスクの残量表示について**
● ハードディスクの残り時間が表示されます。(目安です)
● 残量の計算のため､表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。
● i.LINK入力の選択時や、可変ビットレート(➜117)を使用している[SP]、[LP]、[EP]は、入力信号によってハードディスクの使用量にばらつきが生じるため、残量時間は記録可能なおおよその時間を表しています。
・番組によっては、録画可能時間が当初の残量表示の時間よりも短く、または長くなる場合があります。特に、ハードディスクの残量が少ないときは、お気をつけください。
・録画済みの番組を削除した場合、削除した番組の時間分だけ残量が増えないことがあります。新たに録画するときは、一度残量を確認してから録画してください。
● 本機はハードディスクの容量の一部を、システム管理領域として使用しています。
● 予約設定画面にも表示されます。(➜51)

**■お願い/ヒント**
● テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。
また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

**■HDDモード時の画面表示例■**

# 音声を切り換える

**本機で受信、または再生中の音声を切り換えることができます。**

- ステレオ音声の受信・再生中は「ステレオ」音声が、二重音声の受信・再生中は「主音声」が自動的に選ばれます。
  別の音声で聞くときは、下記の操作で選んでください。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

### 音声切換 を数回押し、聞きたい音声を選ぶ

- 押すごとに、下表のように切り換わります。
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

**■お願い/ヒント**

- 選んだ音声だけを録音することはできません。
  また、録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- i.LINKケーブルで出力しているときは、音声切換 を押しても音声は切り換わりません。
  チューナー(内蔵テレビ)側で切り換えてください。

## 受信時の音声の切り換わりかた

**本機のチューナーで受信中、または外部入力(BS入力)中**

| | テレビ画面表示 | 選ばれた音声 |
|---|---|---|
| **ステレオ放送** | ステレオ　左右 | ステレオ音声 |
| | ステレオ　左 | 左音声 |
| | ステレオ　　右 | 右音声 |
| **二重放送 (2か国語放送など)** | 二　重　左右 | 主音声＋副音声 |
| | 二　重　左 | 主音声 |
| | 二　重　　右 | 副音声 |
| **モノラル放送 (外部入力チャンネルも含む)** | 音　声　左右 | 左音声＋右音声 |
| | 音　声　左 | 左音声 |
| | 音　声　　右 | 右音声 |

- 表中の　　　の欄が、2か国語オート再生機能(**➜右ページ**)で自動的に選ばれる音声です。

## アナログBS放送の音声を切り換える

通常、アナログBS放送の音声(Aモード音声**➜下記**)には、テレビ音声と独立音声の2つがあります。

- **テレビ音声**: 映像と合った音声です。
- **独立音声**　: 映像と関係のない音声です。

**準備**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[**VHS/HDD**]にする。

**アナログBS放送の受信中に、**

### TV/独立 を押し、聞きたい音声を選ぶ

- 独立音声を選ぶと、“ 独立 ”が表示されます。

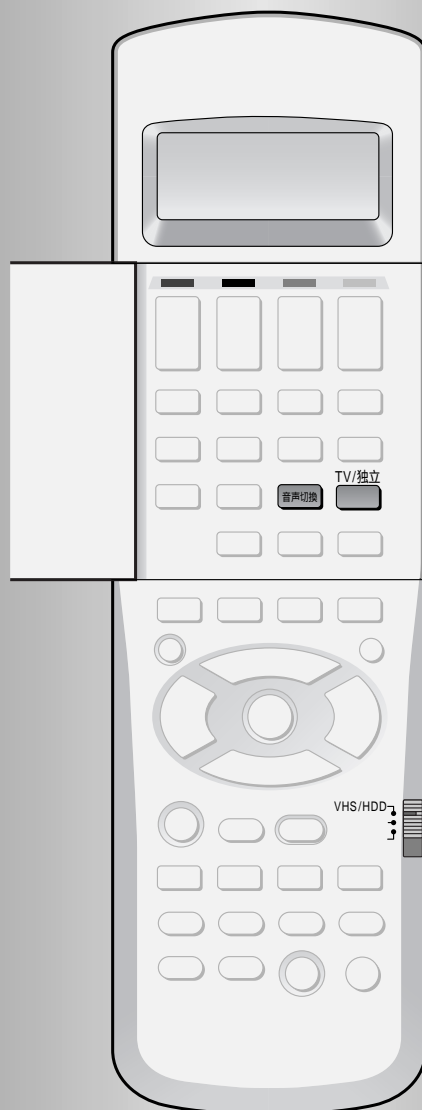
**VHSモード時**

**HDDモード時**

**■お願い/ヒント**

- WOWOW(アナログ)を見ているときは、BSデコーダー側でテレビ音声または独立音声を選んでください。

**■Aモード音声とBモード音声について**

- **Aモード音声:**
  通常の番組の音声で、テレビ音声と独立音声の両方を送ってきます。
- **Bモード音声:**
  音楽など、番組によっては通常のテレビ音声より高音質で送ってくることがあります。このような番組を受信すると、テレビ画面に“ B ”と表示されます。独立音声はありません。

## 再生時の音声の切り換わりかた

HDD

| | テレビ画面表示 | 選ばれた音声 |
|---|---|---|
| ステレオ放送 | 音　声　左右 | ステレオ音声 |
| | 音　声　左 | 左音声 |
| | 音　声　　右 | 右音声 |
| 二重放送(2か国語放送など) | 音　声　左右 | 主音声＋副音声 |
| | 音　声　左 | 主音声 |
| | 音　声　　右 | 副音声 |
| モノラル放送(外部入力チャンネルも含む) | 音　声　左右 | 左音声＋右音声 |
| | 音　声　左 | 左音声 |
| | 音　声　　右 | 右音声 |

- [自動]録画されたBSデジタル番組を再生して音声を切り換えるときは、チューナー(内蔵テレビ)側で切り換えてください。

VHS

| | テレビ画面表示 | 選ばれた音声 |
|---|---|---|
| ステレオ放送 | 音　声　左右 | ステレオ音声 |
| | 音　声　左 | 左音声 |
| | 音　声　　右 | 右音声 |
| | 音　声 | ノーマル音声 |
| 二重放送(2か国語放送など) | 音　声　左右 | 主音声＋副音声 |
| | 音　声　左 | 主音声 |
| | 音　声　　右 | 副音声 |
| | 音　声 | ノーマル音声(主音声のみ) |
| モノラル放送 | 音　声　左右 | 左音声＋右音声 |
| | 音　声　左 | 左音声 |
| | 音　声　　右 | 右音声 |
| | 音　声 | ノーマル音声 |

- 表中の　　　の欄が、2か国語オート再生機能(➜下記)で自動的に選ばれる音声です。
- ノーマル音声しか記録されていないときは、音声を選ぶことはできません。

**■2か国語オート再生機能について**

- 二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。
- 次のようなときは働きません。
  - ・本機または当社の同機能付きビデオ以外で録画した番組を再生するとき。
  - ・外部入力(BSデジタル、CSデジタルを含む)録画をした番組を再生するとき。
  - ・音声切換 を押して、音声を選んだあと。選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります。
  - ・番組の途中から再生を始めたとき。この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。音声切換 で音声を選んでください。

**いろいろな項目の設定を変更することができます。**

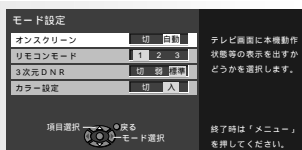
**準備**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜22)**
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

## 1 メニュー を押す

## 2 ▲ ▼ で設定したい項目([モード設定][初期設定][VHS初期設定][HDD設定])を選び、実行/決定 を押す

- 各項目の設定について、詳しくは下記や右ページをお読みください。

## 3 ▲ ▼ で設定したい項目を選ぶ

- 右図は[モード設定]を選んだ場合の例です。

## 4 ◀ ▶ で設定する

## 5 メニュー を押す

**■1つ前のメニューに戻る**
- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

**■お願い/ヒント**
- 右ページ表の中で“ ＊ ”の付いた設定については、それぞれの参照ページ先で設定方法を説明しています。

## モード設定の項目(●は工場出荷時の設定です)

| 項　目 | 選　択 | 内　　容 | ページ |
|---|---|---|---|
| **オンスクリーン** | **切** | テレビ画面に表示を出さないようにするとき。 | 92･93 |
| | **●自動** | 操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。 | |
| **リモコンモード** | **●1** | 通常はこの位置。 | 98 |
| | **2** | 複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。 | |
| | **3** | 複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。 | |
| **3次元DNR**<br>(HDD側のエンコード録画時のみ働きます) | **切** | 3次元DNRを働かせないとき。 | ― |
| | **弱** | 映像の輪郭がぼやけるとき。 | |
| | **●標準** | より高画質で録画したいとき。(通常はこの位置) | |
| **カラー設定**<br>(HDD側のエンコード録画時のみ働きます) | **切** | 白黒で録画するとき。<br>(外部機器からの録画時、または内蔵VHSからのダビング時に働きます) | ― |
| | **●入** | 通常はこの位置。 | |

**■[3次元DNR](ノイズ・リダクション)について**
- HDDモードでの録画中は設定できません。

## 初期設定の項目(●は工場出荷時の設定です)

| 項　目 | 選　択 | 内　　容 | ページ |
|---|---|---|---|
| チャンネル設定* | ――― | チャンネルを設定するとき。<br>BS電源を設定するとき。 | 32・33<br>23 |
| 時刻設定* | ――― | 時刻を設定し直すとき。 | 99 |
| L1設定 | ●L1 | 後面の外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子をライン入力として使うとき。 | 88・90 |
| | デコーダ | 後面の外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子にBSデコーダーを接続するとき。 | 89 |
| | BS | 後面の外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子にチューナー(内蔵テレビ)を接続してエンコード録画するとき。(HDD側のみ働きます)<br>ただしこの設定時にも、外部入力チャンネル(L1)は選局できます。 | 28 |
| 自動電源切 | 切 | [自動電源切]機能を働かせないとき。 | – |
| | 2H | 約2時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。 | |
| | ●6H | 約6時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。 | |
| 時刻表示 | 切 | 電源「切」時や予約録画の待機中、または予約スタンバイモード時に、VHS表示窓の表示をすべて消すとき。<br>● 電源「切」時や予約録画の待機中、または予約スタンバイモード時の消費電力を約9.7ワットにすることができます。(表示させているときに比べて節電になります)<br>● [切]にしていても、自動時刻合わせ機能(➜99)が働いているときは、本機の時計で7、12、19時になると時刻表示が表示されます。(前述の時刻付近で設定を[切]に切り換えても、時刻表示は表示されたままになります)　時刻表示はしばらくすると消えます。<br>● 何も表示されていないときでも、表示/残量で時刻表示を確かめたり、予約録画の待機中、または予約スタンバイモード時は確認で予約内容を確かめたりすることはできます。 | – |
| | 明 | 電源「切」時や予約録画の待機中、または予約スタンバイモード時に、VHS表示窓の現在時刻表示を明るくするとき。 | |
| | ●暗 | 電源「切」時や予約録画の待機中、または予約スタンバイモード時に、VHS表示窓の現在時刻表示を暗くするとき。 | |

### ■[L1設定]について

- 本体後面の外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子は、外部入力1端子として使用しているときは、BS入力端子やBSデコーダー入力端子として使用することはできません。
  BS入力端子として使用しているときは、BSデコーダー入力端子として使用することはできません。
  BSデコーダー入力端子として使用しているときは、外部入力1端子やBS入力端子として使用することはできません。

| 操作モード / L1設定 | VHS | HDD |
|---|---|---|
| L1 | ○ | ○ |
| デコーダ | ○ | ○ |
| BS*1 | —*2 | ○*2 |

*1 BS入力設定はHDD側のみ有効です。
*2 外部入力チャンネル(L1)も選局できます。

### ■[自動電源切]について

- VHS/HDD部のどちらかが予約録画の待機状態、または予約モード(予約スタンバイモード)の場合は働きません。

## VHS初期設定の項目(●は工場出荷時の設定です)

| 項　目 | 選　択 | 内　　容 | ページ |
|---|---|---|---|
| プログラムナビオールクリア* | ――― | プログラムナビリストをすべて消去するとき。 | 63 |
| プログラムナビ | ●切 | プログラムナビを働かせないとき。 | 62 |
| | 入 | プログラムナビデータを使って予約録画した番組を探すとき。 | |
| テープの長さ | ●-120 | T-120、TC-20(VHS-C)カセットや、それより短いものを使うとき。 | 92 |
| | -160 | T-140、T-160、TC-30(VHS-C)カセットを使うとき。 | |
| | 180 | T-180カセットを使うときや、それより長いものを使うとき。 | |

### ■[テープの長さ]について

- D-VHSカセットのときは、どの位置に設定しても残量などが正しく表示されません。

## HDD設定の項目(●は工場出荷時の設定です)

| 項　目 | 選　択 | 内　　容 | ページ |
|---|---|---|---|
| 全番組削除* | ――― | ハードディスク内の映像をすべて削除するとき。 | 69 |
| 上書き設定 | ●切 | 新しく録画する番組の上書き録画を禁止するとき。 | 49 |
| | 入 | 新しく録画する番組の上書き録画を許可するとき。 | |

# 複数の当社製機器を使う（リモコンモード）

**複数の当社製機器を同じ場所でお使いの方は、機器別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。**

- 当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作すると、本機以外の別の機器にも影響してしまいます。このときは、下記の操作でリモコンモードを変更してください。
- 通常は工場出荷時のまま[リモコンモード1]でお使いください。(当社製機器が本機しかないときなど)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

## 本体のモードを変更する

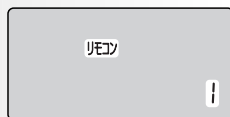
**1** メニュー を押す

**2** [モード設定]が選ばれた状態で、実行/決定 を押す

**3** ▼ で[リモコンモード]を選び、◀ ▶ で[1]、[2]、[3]のいずれかを選ぶ

**4** メニュー を押す

## リモコンのモードを変更する

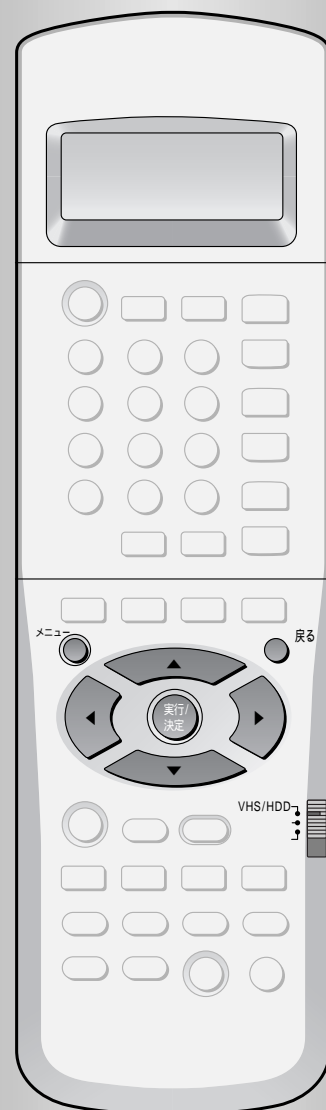
**1** 設定/リモコン(長押し) を"☎"が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに3回押す

**2** ＋終了－ でリモコンモードを選ぶ
- 押すごとに、"1"→"2"→"3"と変わります。

**3** ふたを閉じる

**■操作できずに、本体(VHS/HDD)表示窓に図のような表示が出るとき**

- 本体側とリモコン側のリモコンモードが合っていないので、操作できません。リモコン側のモードを本体に合わせてください。
- 選択している操作モード(VHS/HDD)の本体(VHS/HDD)表示窓に表示されます。
- 複数の当社製機器を同じ場所でお使いのとき、本機を操作すると別の機器に同様の表示が出ることがあります。
このとき別の機器が録画中や予約録画の待機状態などになっていても影響はありません。この表示は約3秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。

サービス番号(➜109)

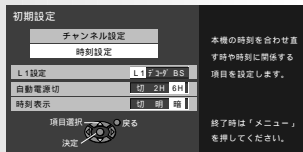
本体側のリモコンモード番号
例：本体側が[2]になっているのに、リモコン側が[1]か[3]になっている

■ふたをひらいたところ

時刻が合っていないときは、下記の方法で合わせ直してください。

- テレビに本機の画面を出す。(➜22)
- VHS/HDD/テレビ/BS を[VHS/HDD]にする。

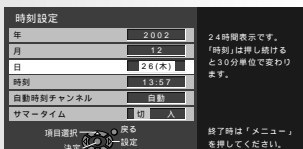
**1** メニュー を押す

**2** ▼ で[初期設定]を選び、 実行/決定 を押す

**3** ▼ で[時刻設定]を選び、 実行/決定 を押す

**4** ▲ で[年]を選び、 ◀ ▶ で合わせる

- 西暦1988〜2087年までです。

**5** ▼ で[月]を選び、 ◀ ▶ で合わせる

**6** ▼ で[日]を選び、 ◀ ▶ で合わせる

**7** ▼ で[時刻]を選び、 ◀ ▶ で合わせる

- 24時間表示です。
- 押し続けると30分単位で変わります。

**8** ▼ で[自動時刻チャンネル]を選び、 ◀ ▶ でNHK教育テレビに合わせる

- 表示チャンネルで合わせてください。

**9** ▼ で[サマータイム](➜ 下記)を選び、 ◀ ▶ で設定する

**10** メニュー を押す

### ■1つ前のメニューに戻る

- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

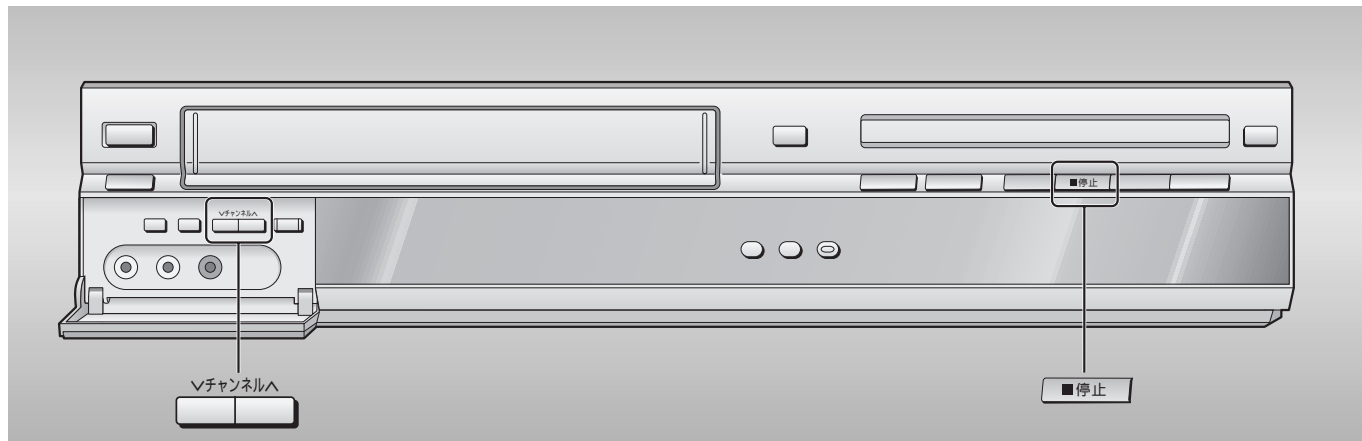
### ■自動時刻合わせ機能について

- [自動時刻チャンネル]をNHK教育テレビに合わせておくと、本機が毎日7、12、19時に時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正します。
- 2分以内の誤差が修正されます。
- 次のようなときは働きません。
  - ・[自動時刻チャンネル]を[ーー]にしているとき。(自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
  - ・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
  - ・時報のバックに音楽が流れているとき。
  - ・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- [自動時刻チャンネル]を**[自動]**にすると、本機が自動的にNHK教育テレビを探し出します。(地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします)
- 電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

### ■お願い

- 自動時刻合わせ機能は、NHK教育テレビの時報を利用しています。
  正規の時報以外に、番組の中で時報が放送されると、“ 時報 ”と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が2分以上あるときは、時刻設定で正しい時刻に合わせ直してください。
- メニューの[時刻表示]を[切]にしていても、自動時刻合わせ機能が働いているときは、本機の時計で7、12、19時になるとVHS表示窓に時刻表示が表示されます。時刻表示はしばらくすると消えます。

### ■サマータイム機能について

- **[入]**にすると時刻を1時間すすめます。**[切]**にすると元に戻ります。
- 将来、サマータイムが実施されたときにお使いいただけます。現在は**[切]**にしておいてください。(2002年4月現在)

## 再生画面にノイズが出るとき

**次の3つの要素が考えられます。**

① **トラッキングがずれている**
(白い帯状のノイズが出るときなど)
トラッキングを調整してください。**(➜下記)**

② **ビデオヘッドが汚れている**
(画面全体にノイズが出るときなど)
ビデオヘッドクリーナー(別売)で、ビデオヘッドをクリーニングしてください。**(➜右記)**

③ **テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となるおそれがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

**白い帯状のノイズ**

**画面全体に出るノイズ**

### ①トラッキングを調整する

通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別のビデオで録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

**VHS側で再生中に、**
**チャンネル∨ ∧のどちらかを押し続ける**
- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- **チャンネル**∨ ∧を2つ同時に押すと、自動調整に戻ります。

**■お願い/ヒント**
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- リモコンの**VHSチャンネル**∧ ∨**(トラッキング**＋ −**)**でも同様の調整をすることができます。
- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に切り換わることがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。

### ②ビデオヘッドをクリーニングする

**乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)を入れ、VHS側で約10秒間録画する**
- 約10秒後に**■停止**を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れ、再び再生してみてください。

**■お願い/ヒント**
- まだノイズが出るときは、もう一度上記の操作を行ってください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

## 静止画面が上下にゆれるとき

**静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。**

**VHS側で静止画再生中に、**
**チャンネル∨ ∧のどちらかを押し続ける**
- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- **チャンネル**∨ ∧を2つ同時に押すと、元の状態に戻ります。

**■お願い/ヒント**
- お使いになるテレビによっては、調整しきれないことがあります。
- リモコンの**VHSチャンネル**∧ ∨でも同様の調整をすることができます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。
(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

**修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。**
これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜123)にお問い合わせください。

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| **一般** | | |
| **■電　源** | | |
| 電源プラグをコンセントに差し込んでいるのに操作できない | ● 各種安全装置が働いていることがあります。<br>→電源を切り、電源プラグをコンセントから外し、約5分後、再びコンセントに差し込んでから電源を入れる。(直ることがあります)<br>● VHS側が予約録画の待機中になっている。<br>(VHS表示窓に“ 予約 ”が表示されている)<br>→VHS側を操作したいときは、タイマー 切/入を押し“ 予約 ”表示を消す。 | 61<br>— |
| 自動的に電源が切れた | ● メニューの[初期設定]→[自動電源切]が[2H]または[6H]になっている。<br>→VHS/HDD電源を押し、電源を入れる。<br>→[自動電源切]を働かせないようにするには、**[切]**にする。<br>● 各種安全装置が働いていることがあります。<br>→VHS/HDD電源を押し、電源を入れる。 | 97<br>— |
| 何も操作できない | ● 本機の状態が不安定になっている。<br>→リモコンモードを確認する。(➜98)<br>それでも直らないときは、<br>→リセット操作をする。<br>・リセットするには、本体の電源と■停止を同時に約5秒間押し続けてください。<br>→電源を切り、電源プラグをコンセントから外し、約5分後、再びコンセントに差し込んでから電源を入れる。 | — |
| **■接続・設置** | | |
| 本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった | ● 本機とテレビに電波を分配したためです。<br>→ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。<br>(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください) | — |
| テレビに本機の画面が出ない | ● テレビの入力を切り換えていない。<br>→[ビデオ1]など、本機を接続した入力に切り換える。 | 22 |
| **■BS(衛星放送)** | | |
| 市外局番入力チャンネル設定を行ったが、BSチャンネルが受信できない | ● BSアンテナを接続していない。<br>→正しく接続する。<br>● [BSアンテナ電源]を設定していない。<br>→正しく設定する。(BSアンテナを直接接続している方と共聴受信設備を利用している方とでは、設定が異なります) | 16~19<br>23 |
| WOWOW(ワウワウ)(アナログ)がきれいに映らない(スクランブルがかかっている) | ● 株式会社WOWOWと受信契約していない。また、BSデコーダー(別売)を接続していない。<br>● [BSアンテナ電源]を設定していない。<br>→本機、テレビ両方の[BSアンテナ電源]を正しく設定する。<br>● BS5チャンネルの[デコーダ]が**[切]**になっている。<br>→**[自動]**にする。 | 89<br>23<br>33 |
| 従来のハイビジョン放送(BS9チャンネル)が映らない | 本機は従来のハイビジョン放送に対応していないため、見ることはできません。 | — |
| BSデジタル放送が受信できない | ● 本機では受信することはできません。BSデジタル放送をご覧になるには、BSデジタルチューナー(別売)またはBSデジタルチューナー内蔵テレビ(別売)が必要です。 | — |

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|

## 一般(つづき)

### ■BS(衛星放送)

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 映像の映りが悪い、または音声にノイズ(変な音)が出る | ● BSアンテナが正しい方向を向いていない。<br>→正しい方向から少しでもずれると、BS放送は受信できません。<br>● 豪雪、豪雨、雷雲などで電波が減衰したり、強風でBSアンテナがゆれている。<br>→気象条件による一時的なものは、故障ではありません。<br>● BSアンテナ線が劣化している。<br>→詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。 | ー<br>ー<br>ー |
| 映像も音声も出ない | ● 正しく接続していない。<br>● BSデコーダーの電源が入っていない。(WOWOW(アナログ)またはSt.GIGA受信中)<br>● 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している。<br>→放送が再開されるまでお待ちください。 | 16~18<br>89<br>ー |
| テレビ音声ではなく、別の音声が聞こえる(WOWOW(アナログ)受信時など) | ● 独立音声を選んでいる。通常、BS放送の音声(Aモード音声)には、テレビ音声と独立音声の2つがあります。<br>→ **TV/独立** を押し、テレビ音声を選ぶ。 | 94 |

### ■表　示

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 本体(VHS/HDD)表示窓の時刻表示が“ 0:00 ”で点滅している | ● 時刻が合っていない。<br>→時刻を合わせ直す。 | 99 |

### ■音　声

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 聞きたい音声が聞こえない | ● 音声を選んでいない。<br>→ **音声切換** を数回押し、聞きたい音声を選ぶ。 | 94 |
| 音声がステレオではない | ● ステレオ音声を選んでいない。<br>→ **音声切換** を数回押し、テレビ画面に“ 左右 ”を表示させる。 | 94 |

### ■リモコン

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 本機が操作できない | ● **VHS/HDD/テレビ/BS** が[VHS/HDD]になっていない。<br>● VHS側が予約録画の待機中になっている。<br>(VHS表示窓に“ 予約 ”が表示されている)<br>→VHS側を操作したいときは、 **タイマー 切/入** を押し“ 予約 ”表示を消す。<br>● 本体とリモコンモードが合っていない。<br>→リモコンモードを合わせ直す。<br>● 電池が消耗している。<br>→新しい電池と交換する。<br>(リモコン表示部は点灯していても、操作できないときがあります)<br>● 本体のリモコン受信部に向けて操作していない。<br>● リモコンと本体の間に障害物などがある。 | 12<br>61<br><br><br>98<br><br>15<br><br><br>15<br>15 |
| テレビが操作できない | ● **VHS/HDD/テレビ/BS** が[テレビ]になっていない。<br>● メーカー番号が合っていない。<br>→正しい番号に合わせる。<br>(メーカーや機種により、操作できないことがあります) | 13<br>20 |
| BSデジタルチューナー内蔵テレビが操作できない | ● **VHS/HDD/テレビ/BS** が[テレビ]になっていない。<br>● リモコンのテレビメーカー番号設定時に[d]を選んでいない。<br>→[d]表示を出す。 | 13<br>20 |
| BSデジタルチューナーが操作できない | ● **VHS/HDD/テレビ/BS** が[BS]になっていない。<br>● メーカー番号が合っていない。<br>→正しい番号に合わせる。<br>(メーカーや機種により、操作できないことがあります) | 14<br>21 |

| 症　状 | | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|---|

## VHS

### ■操作

| 症状 | | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|---|
| VHS部の操作(再生･録画など)ができない | ▶ | ● VHSモードになっていない。<br>→ VHS を押してVHSモードにする。<br>(VHSモード表示ボタン/ランプを点灯させる) | 22 |

### ■カセット

| 症状 | | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|---|
| カセットが入らない | ▶ | ● 電源プラグがコンセントから外れている。<br>● テープの見える面を上にして入れていない。 | ―<br>37 |
| カセットが取り出せない | ▶ | ● 予約録画の待機中、または実行中になっている。(VHS表示窓に“予約”が表示されている)<br>→どうしても取り出したいときは、 タイマー 切/入 を押し、“予約”表示を消す。<br>● 録画中になっている。<br>→どうしても取り出したいときは、 停止■ を押し、録画をやめる。<br>● 各種安全装置が働いていることがあります。<br>→1. VHS/HDD電源 を押し、電源を切る。<br>2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。<br>3. VHS/HDD電源 を押し、電源を入れる。<br>4. ▲取出し を押す。<br>上記の操作を2〜3回繰り返してみてください。<br>それでも取り出せないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 | 61<br><br><br><br>44<br><br>― |

### ■再生

| 症状 | | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|---|
| 再生できない | ▶ | ● D-VHSカセットでも、VHS方式で録画されたものは再生できますが、デジタル(D-VHS)方式で録画されていると再生できません。<br>● 他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは、再生できません。 | 37<br><br>― |
| 静止画、スロー再生すると画面が乱れる | ▶ | ● 5倍モードで録画したカセットを静止画、スロー再生すると乱れますが、故障ではありません。 | 38 |
| 早送り(巻き戻し)、静止画、スロー再生が自動的に解除された | ▶ | ● 早送り(巻き戻し)、スロー再生は、約10分で解除されます。静止画再生は、約5分で解除されます。(テープとビデオヘッドの保護のためです) | 38 |
| 再生画面がチラチラする<br>再生画面にノイズが出る | ▶ | ● トラッキングがずれている。<br>→調整する。<br>● テープが古い、またはいたんでいる。<br>● ビデオヘッドが汚れている。<br>→ビデオヘッドクリーナー(別売)でクリーニングする。<br>● ビデオヘッドが磨耗している。<br>→ビデオヘッドの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。 | 100<br><br>100<br>100<br><br>― |
| 再生画面がブルーバックになる | ▶ | ● テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。<br>● 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。<br>→このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 | ―<br>― |
| 再生画面が上下にゆれる | ▶ | ● テレビの垂直同期を調整してみる。<br>(調整方法については、テレビの説明書をお読みください。またはお買い上げの販売店にご相談ください) | ― |

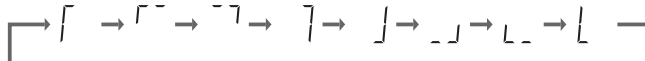
| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|

## VHS(つづき)

■録画

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 録画できない | ● カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている、つまみが“ OFF ”側になっている。<br>→「つめ」の折れていないカセットを使う、“ ON ”側にスライドさせる。 | 37 |
| S-VHSカセットを使っても、S-VHS方式で録画できない<br>D-VHSカセットを使っても、デジタル(D-VHS)方式で録画できない | ● 本機では録画できません。 | ― |

■表示

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| テープカウンター表示の値が動かない | ● テープの未録画部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。<br>汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。<br>このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 | ― |

■音声

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| ステレオ音声がブツブツと聞こえる | ● トラッキングがずれている。<br>→トラッキング調整をする。<br>● 再生中のテープがいたんでいる。 | 100<br>―|

## HDD

■操作

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| HDD部の操作(再生･録画など)ができない | ● HDDモードになっていない。<br>→HDDを押して、HDDモードにする。<br>(HDDモード表示ボタン/ランプを点灯させる) | 22 |

■再生

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| BSデジタル放送の番組が再生できない | ● BSデジタルチューナーをお使いの方は、本機とテレビの接続だけでは[自動]録画された番組を見ることはできません。<br>→チューナーの電源を入れ、テレビの入力をチューナーと接続した入力に切り換える。<br>● テレビの入力を切り換えていない。<br>→BS入力を使って録画した番組を見るときは、テレビの入力を本機と接続した入力に切り換える。 | 74･75<br>74･75 |
| 再生の一時停止状態で、チューナー(内蔵テレビ)側の入力を切り換えると映像が出なくなった | ● 本機とチューナー(内蔵テレビ)をi.LINKケーブルで接続して再生映像を見ているときに、本機を一時停止状態にしてチューナー(内蔵テレビ)側の入力を切り換え、再度本機からのi.LINK入力を選んだ場合は、黒い画面になります。<br>→本機を再生状態にする。 | ― |
| スピードサーチしていると、とつぜん静止画になったり、ノイズが出る | ● 録画のつなぎ目部分や番組と番組のつなぎ目部分などをスピードサーチすると、正しい画面が表示されるまで静止画になったり、ノイズ画面や黒い画面が表示される場合があります。また、正しい画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。 | 41 |
| スロー再生できない | ● ハードディスクに録画された番組はスロー再生できません。 | ― |

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| BSデジタル放送を録画したが、マルチビューが再生できない<br>データが操作できない<br>いろいろな音声言語(マルチ音声)に切り換えできない<br>いろいろな字幕に切り換えできない | ● [XP]、[SP]、[LP]、[EP]モードで録画(BS入力)したときは、<br>・マルチビューは、録画時に選んでいたチャンネルしか再生できません。<br>・データは、再生時に操作できません。<br>・マルチ音声は、録画時に選んでいた音声しか再生できません。<br>・字幕は、再生時に操作できません。 | 75 |
| | ● 当社製チューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、[マルチビュー録画オン・オフ]設定が「オフ」になっている場合があります。<br>詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。 | — |

■録画

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 番組を録画できない | ● 録画禁止の番組を選んでいる。<br>→このような番組は録画できません。 | — |
| | ● 録画時間が短い。<br>→約10秒以上の録画が必要です。 | — |
| | ● すでに240番組が録画されている。<br>→不要な番組を削除してから録画してください。 | 66・69 |
| | ● 録画可能なハードディスクの空き容量が残っていない。<br>→不要な番組を削除してから録画してください。 | 69 |
| BS入力(エンコード録画)できない | ● BS入力をするための接続・設定をしていない。<br>→正しく接続・設定する。 | 17・18・28 |
| | ● 録画モードで[自動]を選んでいる。<br>[自動]以外の録画モードを選ぶ。 | 73 |
| [自動]録画できない | ● [自動]録画をするための接続・設定をしていない。<br>→正しく接続・設定する。 | 17・18 |
| | ● 録画モードで[自動]以外を選んでいる。<br>→[自動]を選ぶ。 | 73 |
| | ● 録画禁止の番組を選んでいる。<br>→このような番組は録画できません。 | — |

■録画

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| BSデジタル放送の番組が録画できない | ● 外部BSチューナー機器が登録されていない。<br>→メニューの[i.LINK接続設定]→[i.LINK機器一覧]で、外部BSチューナー機器として使う機器を登録する。 | 25 |
| | ● チューナー(内蔵テレビ)と正しく接続していない、電源が入っていない。<br>→正しく接続し、電源を入れる。 | 17・18 |
| | ● チューナー(内蔵テレビ)を選んでいない。<br>→ i.LINK で選ぶ。このあと、録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ。 | 73 |

■予約録画

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| EPG予約を正しくしたのに、予約が実行されない | ● 時刻が合っていない。<br>→時刻を秒まで正確に合わせるには、「自動時刻合わせ」機能を働かせる。<br>(「自動時刻CH」をNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします) | 99 |
| | ● BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)とCSデジタルチューナーの両方をi.LINK接続して使っているときは、予約録画が正しく実行されないことがあります。(この場合、CSデジタルチューナーは本機以外のi.LINK機器に接続されていることになります)<br>CSデジタルチューナーを使って録画などの操作をしたあとは、CSデジタルチューナー側でi.LINKボタンを押すなどして、本機とのLINC(リンク)を切ってください。<br>詳しくは、CSデジタルチューナーの説明書をお読みください。 | 90 |
| BSデジタル番組がフリーセット予約できない | ● 外部BSチューナー機器が登録されていない。<br>→メニューの[i.LINK接続設定]→[i.LINK機器一覧]で、外部BSチューナー機器として使う機器を登録する。<br>当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、登録したあと正しく動作するか確かめてください。 | 25 |

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|

**HDD(つづき)**

■予約録画(つづき)

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| BSデジタル番組の予約録画が正しくできない | ● 予約の登録をしているとき、または予約録画実行中にチューナー(内蔵テレビ)の主電源が切れている、または「スタンバイ」になっている。<br>→必ずチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にしておく。主電源が切れていたり、「スタンバイ」になっていると、予約の登録や実行はできません。<br>→当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いになると、操作方法が異なり正しく予約録画できないことがあります。<br>お使いの機器の説明書をお読みください。 | 76･78 |

■i.LINK

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| i.LINK機器からの映像が出ない | ● 正しく接続していない。<br>● 正しく登録できていない。<br>→すべてのi.LINKケーブルを外し、メニューの[i.LINK機器設定]→[全登録消去]を行ったあと、登録したい順番にi.LINKケーブルを接続し直す。<br>● DV機器を接続している。<br>→DV機器は、接続しても映像は出ません。 | 17･18<br>24<br><br>113 |
| i.LINK機器が選べない | ● 接続している機器側から本機がLINC(リンク)されている。<br>→本機で他のi.LINK機器を選びたいときは、現在本機を選んでいる機器側でLINC(リンク)を切る。<br>● メニューの[i.LINK機器設定]→[リンク]が[切]になっている。<br>→[オート]にする。 | 117<br><br>27 |
| i.LINK機器登録したはずの機器が表示されない | ● 正しく登録できていない。<br>→すべてのi.LINKケーブルを外し、メニューの[i.LINK機器設定]→[全登録消去]を行ったあと、登録したい順番にi.LINKケーブルを接続し直す。 | 24~26 |
| i.LINK機器一覧画面の接続状態が“ － ”になっている | ● 正しく接続していない、または機器の主電源が切れている。<br>→正しく接続する、または主電源を入れる。<br>(“ － ”が“ ○ ”になれば、その機器が使えるようになります) | 17･18 |
| チューナー内蔵テレビを使ってBSデジタル番組を録画中、テレビ側で地上波(VHF/UHF)チャンネルに切り換えると、そのあと録画されていなかった | ● チューナー内蔵テレビによっては、録画中に地上波(VHF/UHF)、または従来のアナログBSチャンネルに切り換えると、本機にBSデジタル番組の信号が入力されなくなる機種があります。<br>→本機でBSデジタル番組を録画しながら、テレビで別の番組を見たいときは、予約録画の操作をしてください。 | 72 |

■表示

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| メニュー画面やオンスクリーン表示が出ない | ● i.LINK出力でテレビ画面を見ているときは、本機のオンスクリーン表示は出ません。<br>→テレビの入力切換を本機と接続している入力に切り換えてください。 | － |

■音声

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 聞きたい音声が選べない | ● BSデジタル放送をBS入力で録画した。<br>→複数音声の番組をBS入力で録画しても、録画時に選んでいた音声しか再生できません。 | 72 |

■その他

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 再生、または録画中に「カリカリ」と音がする | ● 再生、または録画の動作音です。故障ではありません。 | － |
| 電源を「切」にしたとき、「ピーン」と音がする | ● 電源を「切」にしたときの動作音です。故障ではありません。 | － |

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 再生の動作がおかしい、または番組の削除ができない | ● 不具合が生じています。<br>→新たに録画してみて、もう一度動作を確認する。<br>それでも直らないときは、<br>→リセット操作をする。<br>・リセットするには、本体の電源と■停止を同時に約5秒間押し続けてください。<br>それでも直らないときは、<br>→電源を切り、電源プラグをコンセントから外し、約5分後、もう一度コンセントに差し込んでから電源を入れる。<br>それでも直らないときは、<br>→「フォーマット」を行う。<br>**フォーマットについて**<br>フォーマットを実行するとハードディスク内に録画されたすべての番組は消去されてしまいます。大切な映像は、カセットなどにもダビングして保存しておいてください。<br>準備 ● 停止状態にしておく。<br>● 初期設定の[自動電源切]を[切]にしておく。(➜97)<br>● 予約モード時は、予約モードを解除しておく。(➜61)<br>**本体の■停止とチャンネル∧を同時に約3秒以上押す**<br>● フォーマット画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。<br>● フォーマットが完了するのに約90分かかります。（それ以上かかる場合もあります）<br>● リモコンのボタンでは操作できません。<br>**■お願い/ヒント**<br>● フォーマット実行中はリセット操作をしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。<br>● フォーマットを行っても、直らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜123)にお問い合わせください。 | − |

## VHS/HDD共通

### ■録画

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 番組が録画できない | ● 録画したい番組が放送されているチャンネルを選んでいない。<br>→**VHS/HDDチャンネル**∧∨などで選ぶ。 | 44･46 |
| VHS/HDDで2番組を同時に録画できない | ● 同じチューナーを使って視聴する番組を選んでいる。<br>→異なるチューナーを使用する番組をそれぞれ選んでください。 | 36･50 |

### ■予約録画

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 予約録画が正しくできない | ● 予約内容(予約チャンネルや開始、終了時刻など)が間違っている。<br>→予約内容を確認し、間違っているときは修正する。<br>(ただし、BSデジタル番組をEPG予約・フリーセット予約したときは修正できませんので、間違っている予約を取り消したあと、予約し直してください) | 60･61 |
| | ● 予約録画の待機状態、または予約モード(予約スタンバイモード)になっていない。<br>(本体(VHS/HDD)表示窓に“予約”または“⏲”が表示されていない)<br>→タイマー 切/入を押し、“予約”または“⏲”を表示させる。 | 61 |
| | ● 予約録画の時間帯が重なっている。<br>→予約一覧画面の中に、重(重複)マークの付いているものは、正しく実行されません。重ならないように予約してください。 | 114 |
| | ● コピーガードのかかった番組、デジタル録画禁止の番組を予約している。<br>→予約はできますが、録画はできません。 | − |
| | ● 時刻が合っていない。 | 99 |

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|

## VHS/HDD共通(つづき)

### ■予約録画

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 停止■ を押しても、予約録画が終わらない | ● タイマー 切/入 を押し、本体(VHS/HDD)表示窓の“予約”または“⏲”を消す。(録画をやめ、電源が入ったときの状態になります) | 61 |
| Gコード予約ができない | ● BSデジタル番組はGコード予約できません。<br>● ガイドチャンネルが正しく設定されていない。<br>→ガイドチャンネルを正しく設定する。<br>● 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。<br>→ガイドチャンネルを正しく設定する。また、不要なチャンネルは削除する。<br>● 時刻が合っていない。 | －<br>32･33<br><br>32･33<br><br>99 |
| 予約録画中に電源が切れた | ● VHSの場合：テープの終端になると、途中でも録画を終了します。<br>→予約した番組よりも余裕のあるカセットを入れておく。<br>● HDDの場合：ハードディスクの残量がなくなると、途中でも録画を終了します。<br>→ハードディスクの残量が予約する番組よりも多いことを確認しておく。 | － |
| 予約録画が終わっても、予約内容が消えない | ● 毎日・毎週予約のときは消えません。 | － |
| 予約の修正・取り消しができない | ● 予約一覧画面に i マークが付いている予約(EPG予約)や、BSデジタル番組のフリーセット予約は修正できません。<br>修正したい予約は取り消し、もういちど予約し直してください。<br>● EPG予約した番組は、本機では取り消しできません。<br>取り消すときは、予約した機器側で行ってください。 | 60･61<br><br>77 |

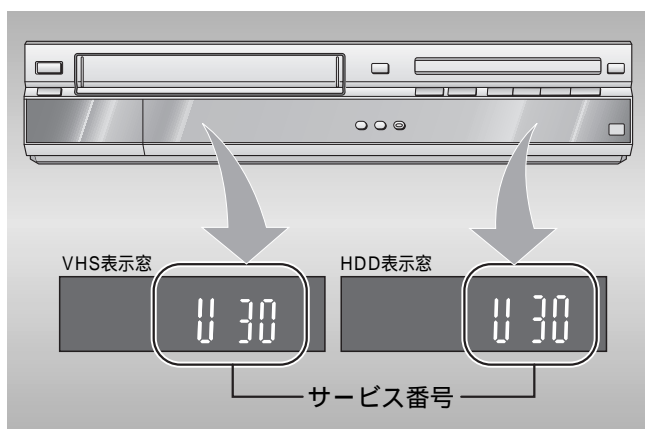
### ■編集(ダビング)

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| ダビングできない | ● 正しく接続していない。<br>● 録画機側で、再生機として接続したi.LINK機器または外部入力チャンネルを選んでいない。<br>→再生機として接続したi.LINK機器または外部入力チャンネルを選ぶ。<br>● DV機器からダビングしようとしている。<br>→DV機器は、i.LINK接続してもダビングできません。<br>● コピーガードのかかっているものは、ダビングすることはできません。 | 82~87<br>82･83<br>86･87<br><br>113<br><br>－ |
| ダビング後の映像が、乱れたり色合いが悪くなったりする | ● コピーガードがかかっている。<br>→市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。<br>コピーガードのかかった映像は正しく録画できません。 | － |
| 黒い帯状のノイズが録画された | ● 再生側ビデオがテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。<br>→再生側のビデオをテレビから離す。 | － |
| ワンタッチダビングができない | ● VHS/HDDモードのどちらかが録画中、予約録画の待機中、または予約モード(予約スタンバイモード)になっている場合は、ワンタッチダビングすることはできません。 | 80~81 |

| 症　状 | 調べるところ・原因・対策 | ページ |
|---|---|---|
| 自動ダビングができない | ● ダビング機器設定を行っていない。<br>→ダビング機器を設定する。 | 27 |
| | ● コピーガードのかかっているものは、ダビングすることはできません。 | ― |
| | ● VHS/HDDモードのどちらかが録画中、予約録画の待機中、または予約モード(予約スタンバイモード)になっている場合は、自動ダビングを実行することはできません。 | 85 |
| | ● 録画禁止の番組( XCOPY アイコンが表示されている番組)を選んでいる。<br>→このような番組は録画できません。 | 85 |

**故障かな?の表の処置をしても直らないときは、本体の[電源]と[■停止]を同時に約5秒間押し続けてリセット操作を行ってみてください。**

● それでも直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜**123**)にお問い合わせください。

# 自己診断表示機能

**本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。**

● 本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体(VHS/HDD)表示窓に下表のサービス番号を表示します。
● サービス番号は、例えば“ U11 ”のように、英文字と2けたの数字で表示されます。

| サービス番号 | 本機の状態 | 対応のしかた | ページ |
|---|---|---|---|
| **■VHS表示窓の状態** | | | |
| U11 | ビデオヘッドが汚れている | ● ビデオヘッドをクリーニングする。 | 100 |
| **■VHS/HDD表示窓共通の状態** | | | |
| U30 | リモコンモードが合っていない | ● リモコンモードを合わせる。 | 98 |
| U50 | BSアンテナ線がショートしている | ● 本機が自動的に[BSアンテナ電源]を**[切]**にしますので、BSアンテナ線などがショートしていないことを確かめ、正しく接続し直したあと、[BSアンテナ電源]を再設定する。 | 16~18<br>23 |
| H□□<br>F□□ | **異常と思われます**<br>(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります) | ● 「故障かな?」の項目に従って点検してください。<br>それでもサービス番号が消えないときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。<br>なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などサービス番号と、VHS/HDDどちらの表示窓に表示されているかをお知らせください。 | 101~<br>108 |

テレビ画面にメッセージが表示されたときは、下表を参考にしてください。

| テレビ画面メッセージ | 原因・対応のしかた | ページ |
|---|---|---|
| **準　備** | | |
| i.LINK機器の接続/設定を確認してください | ● i.LINK機器を正しく接続、または設定できていない。<br>→i.LINK機器との接続、設定を確かめる。 | 17・18<br>24 |
| | ● i.LINKの接続状態に異常があるか、選んでいる機器に異常がある。<br>→接続がループになっていないか、選んでいる機器が本機に対応しているか確認する。 | ― |
| | ● i.LINKを使用している機器が多すぎる(i.LINKのデータ容量オーバー)。<br>→使用しない機器の電源を切る。 | ― |
| **再　生** | | |
| 記録されていません | ● ハードディスクに何も録画されていない。 | ― |
| 音声のみの番組です | ● ラジオ放送など、音声のみの番組を再生している。 | ― |
| 録画/再生できない信号です | ● 記録方式が異なっている。<br>→このような番組は録画/再生できません。 | ― |
| BSデジタル信号です<br>テレビ・チューナーの設定を変えてください | ● 正しく接続していない。BSデジタルチューナーをお使いの方は、本機とテレビを映像・音声コードで接続しても、[自動]録画された番組の再生映像を見ることはできません。<br>→正しく接続し、テレビの入力をチューナーと接続した入力に切り換える。 | 17・18<br>74・75 |
| これ以上番組がありません | ● 再生や早送り再生中に、記録部分の終端に来た。 | ― |
| **録画・予約録画** | | |
| コピーガードのため録画できない番組がありました | ● 録画禁止の番組によって、予約録画が正しく行われなかった。<br>・本機の電源を「入」にしたときに表示されます。 | ― |
| ハードディスクの残量がありません | ● ハードディスクに空き容量がない。<br>→不要な番組を削除する。 | 69 |
| ハードディスクの容量が足りません | ● ハードディスクの空き容量が不足している。<br>→不要な番組を削除する。 | 69 |
| 記録済み番組の数が最大です | ● すでに240番組が録画されている。<br>→不要な番組を削除する。 | 69 |
| カセットが入っていません | ● カセットが入っていない。<br>→録画可能なカセットを入れる | 37 |
| 記録できないカセットです | ● カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている、つまみが“OFF”側になっている。<br>→「つめ」の折れていないカセットを使う、“ON”側にスライドさせる。 | 37 |
| VHS使用中です | ● VHS側が録画や再生などの動作状態になっている。<br>→予約操作終了後は、忘れずに予約待機状態にしておく。 | 61 |
| 入力信号にコピーガードがかかっています | ● 録画中にコピーガードを検出した。<br>→このような番組は正しく録画できません。 | ― |
| 予約内容に間違いがあります<br>Gコードを確認してください | ● 転送したGコードの予約内容が正しくない。<br>→もう一度、最初から予約し直す。 | 52 |
| 予約内容に間違いがあります | ● 予約しようとした内容に間違いや未設定の項目がある。<br>現在よりも過去の日時の予約をしようとした。<br>→正しい予約を設定し直す。 | 54・78 |
| | ● 予約しようとしたチャンネルが表示チャンネルとして設定されていない。<br>→チャンネルを設定する。 | 32・33 |

| テレビ画面メッセージ | 原因・対応のしかた | ページ |
|---|---|---|
| 予約がいっぱいです | ● すでに40番組が予約されている。<br>→不要な予約は取り消す。 | 59 |
| 予約が重複しています | ● 予約一覧画面で重(重複)の付いた予約は、正しく実行できません。<br>→重複している不要な方の予約を取り消し、または修正する。 | 59・60<br>114 |
| 予約の取消しはできませんでした | ● EPG予約を本機から取り消そうとしている。<br>→EPG予約の場合は、予約した機器側で取り消しを行ってください。<br>● チューナー(内蔵テレビ)とのi.LINKケーブルが外れているなどして、BSフリーセット予約を消すことができなかった。<br>→接続や設定を確認してください。 | – |
| L1をBS入力に変更してください | ● メニューの[初期設定]→[L1設定]で[BS]以外に設定しているときに、BSデジタルフリーセット予約の録画モードを[自動]以外で設定した。<br>→BS入力を設定する。 | 28 |
| 予約できません　i.LINK機器の接続/設定を確認してください | ● チューナー(内蔵テレビ)の電源が入っていないか、正しく接続されていない。<br>→電源が入っているか、正しく接続されているか確認する。 | 17・18<br>24 |
| 番組情報　読み込み中 | ● 本機が電源「切」の状態ですぐに予約録画を始めたときなど、番組情報の読み込みが完了していない。 | – |
| 予約録画実行のため録画を停止しました | ● 通常の録画中に、設定していた予約録画の開始時刻になった。 | – |
| 予約録画実行のためタイムキープモードを解除しました | ● タイムキープ録画中に、設定していた予約録画の開始時刻になった。 | – |
| BSチューナーが登録されていません | ● 外部BSチューナー機器が登録されていない。<br>→外部BSチューナー機器を登録する。 | 25 |
| 予約開始10分前 | ● 予約録画開始の10分前になった。<br>・予約録画を設定している状態で、電源「入」のときに表示されます。 | – |
| 予約実行待機中 | ● 予約録画を設定している状態で、予約録画開始数分前から予約録画が実行されるまで表示されます。<br>・EPG予約の場合は、録画開始時刻の約7分前から表示されます。<br>・EPG予約以外の場合は、録画開始時刻の約2分前から表示されます。<br>・メニューの[モード設定]→[オンスクリーン]が[切]のときは、約5秒間表示されます。 | – |

## i.LINK

| テレビ画面メッセージ | 原因・対応のしかた | ページ |
|---|---|---|
| i.LINK使用中 | ● 接続されている機器から本機がLINC(リンク)されている。<br>→他の機器を選びたい場合は、選んでいる機器でLINC(リンク)を解除する。 | – |
| i.LINK機器確認中 | ● 接続されている機器の情報を取得中です。<br>しばらくお待ちください。 | – |
| 他の機器からリンクされています<br>リンクを解除してください | ● BSデジタルフリーセット予約を行ったとき、他のi.LINK機器から本機がLINC(リンク)されている。<br>→LINC(リンク)を解除する。 | – |
| 登録/消去はできません　BS予約が存在します | ● 現在外部BSチューナーとして登録されている機器に、BSデジタル番組の予約がある。この場合、機器登録の変更や削除はできません。 | – |

## その他

| テレビ画面メッセージ | 原因・対応のしかた | ページ |
|---|---|---|
| ダビング動作を中止しました | ● 自動ダビングを中断した。 | 85 |
| ダビング実行中 | ● 自動ダビングを開始した。 | 84 |
| コピーガードのかかった番組を選んでいます | ● 本機HDDから当社製D-VHSビデオカセットレコーダーへの自動ダビング時に、コピーガードのかかった番組を選んでいる。 | 85 |
| 時計が設定されていません | ● 時刻が設定されていない。<br>→時刻を設定してください。 | 99 |

本機の操作で疑問に思われることがあれば、この表を参考にしてください。

| Q | A | ページ |
|---|---|---|
| **接　続** | | |
| モノラルテレビと接続したいが? | ● ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。 | 118 |
| 映像・音声コードのプラグや接続端子が色分けされているのは? | ● プラグと端子の色を合わせて接続するようになっています。(**黄**=映像、**白**=左音声、**赤**=右音声、**黒**または**白**=モノラル音声) | — |
| 本機だけでBSデジタル放送は受信できるか? | ● できません。チューナー(内蔵テレビ)との接続が必要です。 | 17･18 |
| データ転送速度がS200対応の機器でも本機に接続できるか? | ● できます。ただし、転送速度は200 Mbpsとなります。**i.LINKケーブル(別売)は、4ピンタイプで、S400対応のものを使用されることをおすすめします。** | 113 |
| **再　生** | | |
| 海外で録画したカセットを再生できるか? | ● NTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。 | — |
| 他のVHSビデオで録画したカセット(レンタルソフトも含む)は見られるか? | ● 従来のビデオと同様に見ることができます。 | — |
| 再生しながら録画はできるか? | ● HDDモードなら、録画と再生操作を同時に行えます。<br>● VHS/HDDモードで別々に録画や再生操作をすることができます。 | 43<br>— |
| **録　画** | | |
| BSデジタルのハイビジョン番組をデジタルで長時間録画したい | ● 録画モードを[XP]、[SP]、[LP]、[EP]にすると、デジタルで長時間録画できるようになります。<br>→BS入力の接続と設定をしてください。 | 28 |
| 音声多重放送を録画中に音声を切り換えて聞くことはできるか? | ● 本機のチューナーで録画中、または外部入力(BS入力)を録画中はできます。<br>→ **音声切換** で聞きたい音声を選んでください。 | 94 |
| VHSカセットにデジタル録画できるか? | ● できません。 | — |
| VHS/HDDで同時に録画できるか? | ● できます。ただし、同じチューナーで異なる2チャンネルの番組は同時録画できません。 | 36･50 |
| **予約録画** | | |
| VHS側が予約待機状態のときに、予約録画が始まるまでの間、他のカセットを見ることができるか?<br>予約録画の待機中に、カセットを入れ替えることができるか? | ● VHS側の予約録画の待機状態を解除しないとできません。<br>→ **タイマー 切/入** 押し、VHS表示窓の" 予約 "表示を消してから操作してください。<br>HDD側のみ予約モード状態の場合は、予約モードを解除しなくても、VHS側で再生やカセットの入れ替えなどを行えます。 | 61 |
| チューナー(内蔵テレビ)の電源は入れなくてもいいのか? | ● BSデジタル番組の予約操作時と予約録画実行前・実行中は、「入」または「機能待機」状態にしておいてください。 | 76･78 |
| BSデジタル放送をGコード予約したいが? | ● できません。BSデジタル番組にはGコードはありません。<br>EPG予約またはフリーセット予約をしてください。 | 76･78 |
| **編　集** | | |
| デジタルビデオカメラとi.LINK接続してダビングできるか? | ● できません。デジタルビデオカメラ(DVフォーマット)と本機はフォーマットが異なるため、再生映像を映すことができません。<br>映像･音声コード(別売)を使ってダビングしてください。 | 87 |

## i.LINK接続について

本機は、i.LINK対応機器を15台まで登録できます。
接続した順番にi.LINK機器番号を付けていきますので、登録したい順番に接続してください。
i.LINK機器は、デイジー・チェーン(下図Ⓐ)、またはノード分岐(下図Ⓑ)で接続してください。

- ループ(下図Ⓒ)にならないようにしてください。

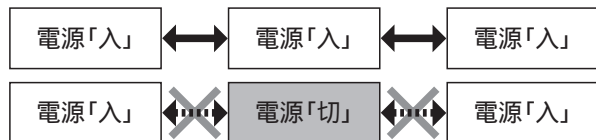
**■よい例…デイジーチェーン(図Ⓐ)**

**■よい例…ノード分岐(図Ⓑ)**



**■悪い例…ループ(図Ⓒ)**



- チューナーなど一部の機器では、電源が切れているとデータを中継しないことがあります。(下図)
  接続する機器の説明書もお読みください。

- 本機後面のi(TS)(i.LINK入出力)端子の最大データ転送速度は400 Mbpsです。
  ただし、転送速度の異なる機器を接続したときは、転送速度が遅くなることがあります。
- **i.LINKケーブル(別売)は、4ピンタイプで、S400対応のものをお使いください。**
- DV機器に付属のDVケーブル、当社製DVケーブルVW-CD1、市販のDV用ケーブルは、S100対応のため使えません。
- DV機器は、i.LINK接続してもフォーマットが異なるため、ダビングやデータのやりとりはできません。
- i.LINK機器を使っての録画・予約録画中や再生中に、他の使っていないi.LINK機器の電源を切ったり、i.LINKケーブルを抜き差しすると、映像・音声がとぎれることがあります。
  録画・予約録画中や再生中は、使っていない機器でも電源を切ったり、i.LINKケーブルを抜き差ししないでください。
- チューナー(内蔵テレビ)など、接続したi.LINK機器側から本機の映像をご覧になるときは、本機のオンスクリーン表示は出ません。
- i.LINK機器は、同一機種であっても1台1台に個別のID番号が設定されています。
  たとえばもう1台同じ機種を増設(または交換)を行っても別の機器として追加登録されます。
- 機器が正しく登録されないときは、接続を確認して、もう一度登録をし直してください。
- 当社製以外のi.LINK機器は、正しく動作しない場合があります。
- **BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)以外にも、CSデジタルチューナーなど、複数のi.LINK機器を接続しているとき**
  CSデジタルチューナーを使ったあとは、必ずCSデジタルチューナー側で本機とのLINC(リンク)を切っておいてください。

## i.LINK機器の表示について

i.LINK でi.LINK機器を選ぶと、テレビ画面とHDD表示窓に以下のような表示が出ます。

例) **d1** …………………i.LINK機器番号
**チューナー1** ………機器名と連番
**TU-BHD200** ……機種名
(HDD表示窓には、i.LINK機器番号のみ表示されます)

**■i.LINK機器番号**

- 接続した順番に機器番号を付けて登録します。
  最大15台まで登録できます。
- HDD表示窓には、“ d○○ ”と表示されます。
  **d1～d15**：本機に登録している機器を選んでいます。
  **d16**　：本機に登録していない機器からLINC(リンク)されています。
  **d−−**　：選んでいる機器はありません。
- BS入力(➜28)を使って録画すると、HDD表示窓はi.LINK機器番号のままですが、実際は外部入力1/BS入力/BSデコーダー入力端子から映像・音声を入力しています。

**■機器名と連番**

- 選んでいる機器の種類を表示します。
  **HDR**　：当社製ハードディスクビデオレコーダー
  **D-VHS**　：D-VHSビデオなど
  **チューナー**：BSデジタルチューナー、CSデジタルチューナーなど
  **テレビ**　：BSデジタルチューナー内蔵テレビなど
  **その他**　：その他の機器(DV機器など)
- 同じ種類の機器との接続が増えていくごとにD-VHS1、D-VHS2…のように連番が変わります。

**■機種名**

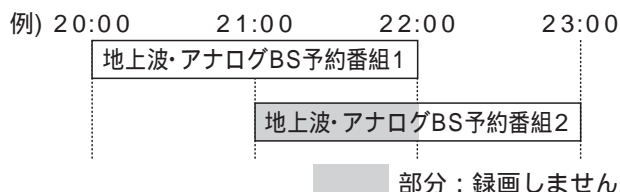
- 選んでいる機器の品番を表示します。
  機器によっては表示されないことがあります。

## 予約録画の重複について

予約録画の時間帯が重複すると、本機の予約一覧画面に重マークが表示されます。(➜59)
このマークの付いている予約は正しく実行されません。

- 本機のチューナーで受信している番組(地上波(VHF/UHF)･アナログBS)の予約どうし、BSデジタル番組の予約どうし、それぞれの予約が重複した場合など、条件によって実行のしかたが異なります。

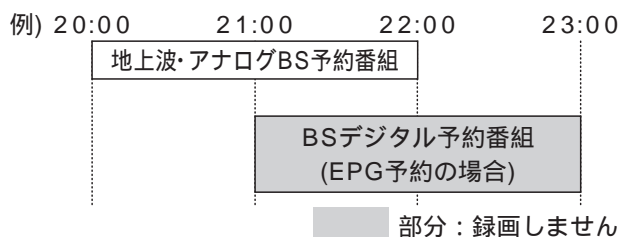
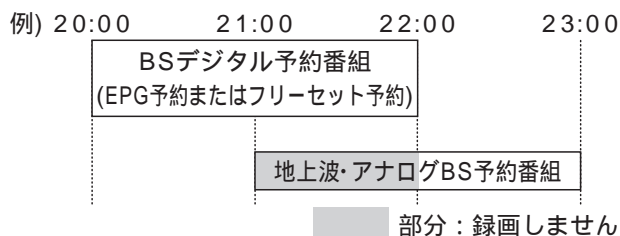
### ■地上波(VHF/UHF)･アナログBS番組どうしの予約が重なったとき

- 先に始まる予約が優先され、録画終了後、次の予約を録画します。

### ■地上波(VHF/UHF)･アナログBS番組の予約と、BSデジタル番組の予約が重なったとき

- 本機で優先順位を付け、どの予約を優先して実行するかを決めます。優先順位の低い予約は正しく実行されません。優先順位は以下の通りです。

**❶ 開始時刻が早い予約**

- 地上波(VHF/UHF)･アナログBS番組の方が早い場合

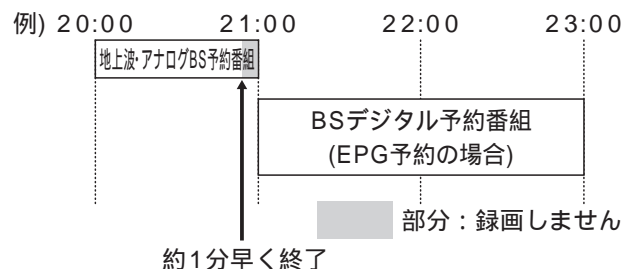
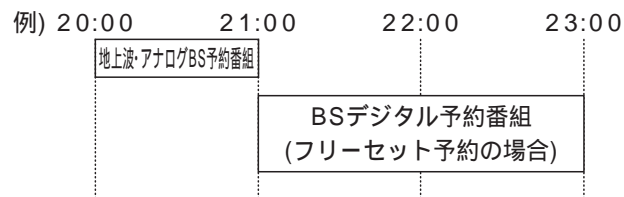
例) 20:00　21:00　22:00　23:00
地上波･アナログBS予約番組
BSデジタル予約番組
(フリーセット予約の場合)
部分：録画しません

- **BSデジタル番組の方が早い場合**

**❷ 同一開始時刻のとき**

放送種類別の優先順位は以下の通りです。

1. BSデジタル番組など、i.LINK機器の予約
2. 地上波(VHF/UHF)･アナログBS番組の予約
3. CATV番組の予約
4. 外部入力チャンネルからの予約

(同一放送種別のときはチャンネル番号が小さいほうを優先)

### ■地上波(VHF/UHF)･アナログBS番組の終了時刻と、BSデジタル番組の開始時刻が同じとき

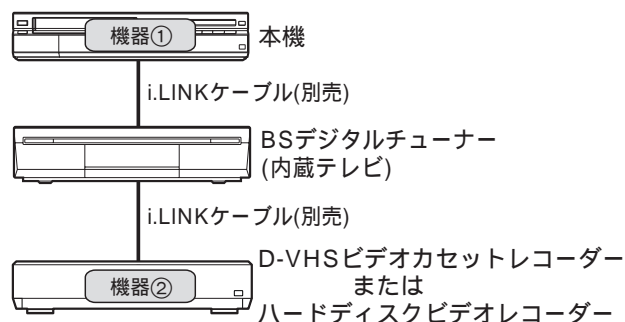
- 地上波(VHF/UHF)･アナログBS番組の直後が、EPG予約したBSデジタル番組の場合は、地上波(VHF/UHF)･アナログBS番組の予約録画を約1分早く終了させます。

- 地上波(VHF/UHF)･アナログBS番組の直後がフリーセット予約したBSデジタル番組の場合は、予約したとおり実行されます。

### ■BSデジタル番組のEPG予約どうしが重なったとき

- 正しく予約録画を実行できません。
  このときは、
  1. 重複しているEPG予約をチューナー(内蔵テレビ)側ですべて取り消す
  2. BSデジタル番組のフリーセット予約(➜78)を使って、時間が重ならないように予約し直す

  または、
  1. 重複している片方のEPG予約をチューナー(内蔵テレビ)側で取り消す
  2. 取り消した方の予約をBSデジタル番組のフリーセット予約(➜78)を使って、時間が重ならないように予約し直す
     - フリーセット予約が先で、EPG予約が後になるときは、フリーセット予約の方をEPG予約が始まる最低1分前までに終わるように予約してください。

### ■IRシステムを使った予約について

- 当社製チューナー(内蔵テレビ)のIrシステムで「連動予約」機能を使う場合は、本機側の準備として、録画したい操作モード(VHS/HDD)と録画モードをあらかじめ選んでおいてください。
  「連動予約」機能を使う場合は、番組の先頭の数十秒が録画されない場合があります。
- 当社製チューナー(内蔵テレビ)のIrシステムで「タイマー予約」機能を使う場合、チューナー(内蔵テレビ)からはVHS側の録画モード(標準･3倍･5倍･標準3倍)で信号が送られてくるため、本機ではVHS側の予約として登録されます。
  HDD側に予約したい場合は、「タイマー予約」操作の終了後、本機側で予約内容を修正(➜60)してください。
- 詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

## 本機以外にD-VHSビデオカセットレコーダーやハードディスクビデオレコーダーを接続したときの予約録画について

1台のチューナー(内蔵テレビ)で機器①と②の両方に予約できます。
ただし、重複しないように予約してください。
また、番組の予約終了時刻と別の番組の予約開始時刻が同一のときは、以下のことにお気を付けください。

- **フリーセット予約が先でEPG予約が後になるとき**
  例：番組Aを機器①で10時00分～12時00分まで
  フリーセット予約し、
  番組Bを機器②で12時00分～13時00分まで
  EPG予約したとき
  →このままでは番組Bは予約録画できません。
  番組Aの予約終了時刻を11時58分か59分に設定してください。(最低1分前までに終わるように設定する)
- **EPG予約が先でフリーセット予約が後になるとき**
  例：番組Aを機器①で10時00分～12時00分まで
  EPG予約し、
  番組Bを機器②で12時00分～13時00分まで
  フリーセット予約したとき
  →両方とも正常に予約録画できます。
- **フリーセット予約どうしのとき**
  例：番組Aを機器①で10時00分～12時00分まで
  フリーセット予約し、
  番組Bを機器②で12時00分～13時00分まで
  フリーセット予約したとき
  →両方とも正常に予約録画できます。
- **EPG予約どうしのとき**
  例：番組Aを機器①で10時00分～12時00分まで
  EPG予約し、
  番組Bを機器②で12時00分～13時00分まで
  EPG予約したとき
  →このままでは番組Bは予約録画できません。
  番組AのEPG予約を取り消し、フリーセット予約で10時00分～11時58分か59分に予約し直してください。(最低1分前までに終わるように設定する)

## データ放送の録画について

- 録画される番組によっては、正しくデータが録画・再生できない場合があります。
  ・放送局から複数チャンネルにわたってデータが送られているとき。(録画時に選んでいたチャンネルのみ録画されますので、再生時は他のチャンネルを見ることができません)
  ・録画時間が短く、必要なデータすべてが録画されていないとき。
  ・双方向(放送またはサービス)の中で、ストーリーの選択肢が用意されている番組のとき。(番組欄に双マークの付いているもの)
- 録画・再生できたデータでも、データ量が多いときは、表示されるまで時間がかかることがあります。
- 番組によっては、早送り/早戻し再生すると映像が出ないことがあります。

## BSラジオ放送について

- 著作権保護のため、デジタル録画禁止番組はデジタル録画できません。(このときは、録画中にHDD表示窓の“ ”は点灯しません)
- 番組によっては、早送り/早戻し再生すると映像が出ないことがあります。

解説

## BSデジタル番組のデジタル高画質(ハイビジョン画質)録画・再生について

| | BSデジタルチューナーを使った場合 | | BSデジタルチューナー内蔵テレビを使った場合 | |
|---|---|---|---|---|
| | 録　画 | 再　生 | 録　画 | 再　生 |
| **フリー録画番組** (アイコン表示なし) | 1125i | 1125i | 1125i | 1125i |
| **1回のみデジタルコピーが可能な番組**＊1(デジタル 1COPY＊2アイコンあり) | 1125i | 1125i | 1125i | 1125i |
| **デジタル録画禁止番組** (デジタル × COPY＊2アイコンあり) | 不　可＊3 | | 不　可＊3 | |

(1125i＝ハイビジョン画質)

＊1 著作権者の要望により、本機などのデジタル録画機器で1回だけデジタル録画できますが、録画したものをデジタル再生して、他の録画機器に高画質で録画(コピー)することを禁止している番組のことです。
このような番組は、コピー制限する信号が同時に送られてきます。

＊2 アイコン表示は、当社製BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)の表示例です。

＊3 当社製BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)をお使いの場合は、BS入力(➜28)を設定をしていると、EPG予約した場合のみ、番組によっては自動的にエンコード録画されます。

- BSデジタルチューナーおよびBSデジタルチューナー内蔵テレビは、ARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっています。将来規格変更があった場合は、商品仕様が変更になることがあります。

## 用語集

### ■BSデジタル放送

デジタル信号の圧縮技術によって、従来のアナログBS放送よりも多くの情報を送ることができるようになりました。次のような特長があります。

- **降雨対応放送**
  衛星放送は、雨の影響で電波が弱くなったときに、急激に画質が劣化することがあります。
  BSデジタル放送では、最低限必要な情報は、電波が弱くなっても受信できるようなデータを送ることがあります。降雨対応放送が行われているときに電波が弱くなると、引き続き受信できるように降雨対応放送へ自動的に切り換わります。
  降雨対応放送に切り換わったときは、当社製チューナー(内蔵テレビ)側から約3秒間「降雨対応放送に切り替わりました」とメッセージが表示されます。降雨対応放送になると、画質・音質が悪くなる、番組情報などのデータが表示されなくなる、映像が縮小したり静止画になる…などの現象が起こることがあります。
- **多チャンネル放送**
  デジタル信号の圧縮技術により、チャンネル数が大幅に増えました。
  BSデジタル放送では、従来のアナログBS放送の1チャンネル分に対し、デジタルハイビジョン放送の場合で2チャンネル分、デジタル標準テレビ放送の場合で6チャンネル分の放送が行えます。
  この他に、ラジオ放送、データ放送もあります。
- **データ放送**
  お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。
  例えば、住んでいる地域の天気予報をいつでも表示させることができます。
  また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送もあります。
  この他に、電話回線を利用した視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどがあります。
- **マルチビュー放送**
  1チャンネルで主番組、副番組の複数映像を放送します。例えば、野球中継の場合、主番組は通常の実況、副番組でそれぞれのチームをメインにした実況が行われる予定です。
- **EPG(Electronic Program Guide)(エレクトロニック プログラム ガイド)：電子番組ガイド**
  約8日分の番組情報が送られてきますので、テレビ画面上に番組表として表示させることができます。
  番組表から見たい番組を直接選ぶ、好きなジャンルの番組を検索する、番組の詳細情報を表示させる、番組の予約(EPG予約)をする、などの操作ができます。

### ■i.LINK(アイリンク)

- デジタル映像やデジタル音声などのデータを複数のi.LINK機器間で双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルインターフェースIEEE1394＊の呼称です。
- 現在、100 Mbps、200 Mbps、400 Mbpsの転送速度があります。
  転送速度はi(i.LINK)端子の周辺に“S100”、“S200”、“S400”というような表示があります。
  本機は最大400 Mbpsの転送が可能なため、“S400”と表示されています。
- 直接接続した機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせずに機器を接続していくことができます。
  ケーブル1本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

＊ IEEE1394は、米国電気電子技術者協会(IEEE)が提唱している高速インターフェースの規格です。

## ■LINCする

- Logical Interface Connectionの略です。
- i.LINK対応機器の中には、デジタル映像やデジタル音声などのデータをやりとりしたり、他機器をコントロールする際に、i.LINKケーブルで接続された機器の中から「相手機器を1台選ぶ」という操作が必要な機器があります。
- 「LINCする」とは、「相手機器を1台選ぶ」ということを意味し、その相手機器とだけデータのやりとりができるようになります。
- 下図の例は、機器Aが本機をLINCしています。
このときは本機と機器BはLINCすることができません。
- 下図は、機器どうしのLINC関係を図式化しています。
i.LINK対応機器どうしの接続図ではありません。

## ■MPEG

- Moving Picture Experts Group(カラー動画像蓄積用符号化方式の標準化をすすめている組織)の略です。
- 動画映像と音声のデジタル圧縮方式の代表的なものです。従来の圧縮方法と違い、高画質を維持したまま高圧縮する技術で、むだなデータを省くために1コマ1コマの画像がそれほど変化しないことを前提に、動きの予測をしながら圧縮していきます。
- MPEG1、MPEG2などの標準規格があります。
- 本機のデジタル録画は、MPEG2に対応しています。

## ■MPEG2-TS(Transport Stream)フォーマット

- MPEG2システムに規定される、主に放送などの伝送に使われるフォーマットのことをいいます。

## ■エンコードする

- 地上波(VHF/UHF)などのアナログ信号をデジタル信号に変換することをいいます。

## ■可変ビットレート

- MPEGのエンコード(符号化)方式の1つで、平均レートを基準に、動きの激しい映像に対してはビットレートを上げることにより画像の劣化をおさえ、動きの少ない映像に対してはビットレートを下げてエンコードすることで、全体のビットレートを平均化するエンコード方式です。

## ■デコードする

- デジタル信号をアナログ信号に戻すことをいいます。

## ■ハードディスク

- 記録媒体の１つです。磁気を帯びた金属またはガラスの円盤が入っており、その円盤の上に情報(映像や音声、番組情報など)を書き込みます。

## ■フォーマット

- 本書では、主にハードディスクの初期化のことを指します。
初期化をすると、ハードディスク上のすべての情報が消えます。

**本書で紹介させていただいている別売品の一例です。**

- ＊印の付いているものは、サービスルート扱いなどでご用意しております。
- 品番、メーカー希望小売価格は、2002年4月現在のものです。また、消費税や工事代などは含まれておりません。

| 品　名 | 品　番 | メーカー希望小売価格 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| **＊ビデオヘッドクリーナー** | VFK0923FM | 3,000円 | 乾式、使用回数180回 |
| | VFK0923FS | 1,800円 | 乾式、使用回数30回 |
| **カセットアダプター** | VW-TCA7 | 3,000円 | |
| **i.LINKケーブル(IEEE1394)** (4ピン⟷4ピン) | RP-CDE4G15 | 3,500円 | 1.5 m |
| | RP-CDE4G30 | 5,000円 | 3.0 m |
| **D端子ケーブル** | RP-CVDG15 | 3,500円 | 1.5 m |
| | RP-CVDG30 | 5,000円 | 3.0 m |
| **映像・音声コード** (ステレオ⟷ステレオ) | RP-CVP3G05 | 1,150円 | 0.5 m |
| | RP-CVP3G10 | 1,300円 | 1.0 m |
| | RP-CVP3G15 | 1,400円 | 1.5 m |
| | RP-CVP3G20 | 1,500円 | 2.0 m |
| | RP-CVP3G30 | 1,700円 | 3.0 m |
| **映像・音声コード** (ステレオ⟷モノラル) | RP-CVP2G10 | 1,200円 | 1.0 m |
| | RP-CVP2G20 | 1,400円 | 2.0 m |
| | RP-CVP2G30 | 1,600円 | 3.0 m |
| **S映像コード** | RP-CVS0G10 | 900円 | 1.0 m |
| | RP-CVS0G20 | 1,200円 | 2.0 m |
| | RP-CVS0G30 | 1,300円 | 3.0 m |
| **音声コード** (ステレオ⟷ステレオ) | RP-CAP3G05 | 550円 | 0.5 m |
| | RP-CAP3G10 | 600円 | 1.0 m |
| | RP-CAP3G15 | 650円 | 1.5 m |
| | RP-CAP3G20 | 750円 | 2.0 m |
| | RP-CAP3G30 | 900円 | 3.0 m |
| **＊ツイン映像コード** | VUA7043 | 600円 | 1.5 m·2本入り |
| **＊75Ω同軸ケーブル** | VUA7051 | 400円 | 1.4 m |
| **＊V・U分波器** | VUA7052F | 800円 | |
| **＊75Ωアンテナプラグ** | VSQ1035 | 300円 | VHF/UHF入力端子専用 |
| **＊アンテナプラグ** | VUA7050 | 300円 | |
| **＊BS同軸ケーブル** | VW-KBS1 | 1500円 | 2.0 m |
| **＊CS/BS/U·V分波器** | TY-6S7BCSW | 2600円 | |

| | |
|---|---|
| **電　源** | AC 100 V ± 10 %, 50/60 Hz ± 0.5 % |
| **消費電力** | 動作時：38 W<br>待機時/時刻表示点灯時：約11 W<br>時刻表示消灯時：約9.7 W |

## HDD部

| | |
|---|---|
| **録画方式** | 映像：MPEG2-TS<br>音声：MPEG1レイヤー2 |
| **記録メディア** | ハードディスク<br>(ハードディスク容量<br>約40 GB) |
| **録画時間** | HD(i.LINK:自動)：<br>約3時間<br>SD(i.LINK:自動)：<br>約6時間<br>XP： 約6時間<br>SP： 約13時間<br>LP： 約20時間<br>EP： 約40時間 |
| **i.LINK入出力** | IEEE1394　4pinタイプ、<br>S400対応、MPEG2-TS信号 |

## VHS部

| | |
|---|---|
| **録画方式** | VHS方式(NTSC準拠) |
| **テープ速度** | 標準：33.35 mm/秒<br>3 倍：11.12 mm/秒 |
| **使用テープ** | VHS規格テープ |
| **録画時間** | 最長9時間<br>(3倍モード、<br>T-180使用の場合) |
| **早送り・巻き戻し時間** | 約54秒(T-120使用の場合)<br>高速リターン時：約36秒<br>(T-120使用の場合) |
| **ハイファイ音声特性** | ダイナミックレンジ：<br>90 dB以上<br>ワウフラッター：<br>0.005 %<br>周波数特性：<br>20 Hz〜20 kHz<br>(−5〜+3 dB) |
| **音声方式** | |
| **● トラック数** | 3トラック<br>(ハイファイ：2トラック、<br>ノーマル：1トラック) |

## HDD/VHS共通部

| | |
|---|---|
| **映像方式** | |
| **● テレビジョン方式** | NTSC方式　525本、60フィールド |
| **● 入力** | ライン(ピンジャック)　1 Vp-p、75 Ω |
| **● 出力** | ライン(ピンジャック)　1 Vp-p、75 Ω |
| **● 検波入出力** | BS(ピンジャック)　0.67 Vp-p、75 Ω |
| **● ビットストリーム入出力** | BS(ピンジャック)　0.50 Vp-p、75 Ω |
| **● アンテナ受信入力** | VHF：　1〜 12チャンネル、75 Ω<br>UHF：　13〜 62チャンネル、75 Ω<br>CATV：　C13〜C63チャンネル、75 Ω<br>アナログBS：　1･3･5･7･9*･11･13･15チャンネル、75 Ω<br>*本機では、従来のハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見ることはできません。 |
| **● BSアンテナ用電源出力** | DC 15 V、最大 4 W |
| **音声方式** | |
| **● 入力** | ライン(ピンジャック)　309 mV、入力インピーダンス47 kΩ |
| **● 出力** | ライン(ピンジャック)　309 mV、出力インピーダンス1 kΩ<br>負荷インピーダンス10 kΩ |
| **許容温度** | 5 ℃〜40 ℃(動作時) |
| **許容湿度** | 35 %〜80 %(動作時) |
| **時計部** | クォーツ制御、24時間デジタル表示 |
| **外形寸法** | 約幅430×高さ89×奥行345 mm |
| **本体質量** | 約5.5 kg |

**修理・お取り扱い・お手入れ**
などのご相談は…
**まず、お買い上げの販売店へ**
お申し付けください

## 転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

## ■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

| 保証期間：お買い上げ日から本体1年間 |
|---|

## ■修理を依頼されるとき

「故障かな?」**(➜101〜109)**に従ってご確認のあと、直らないときは、本体(VHS/HDD)表示窓に「サービス番号」**(➜109)**が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、ハードディスク内蔵 BS Hi-Fiビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
  注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### 修理に関するご相談

**ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口**

**ナビダイヤル (全国共通番号)　0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

### 使いかた・お買い物などのご相談

**ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター**

**電話　フリーダイヤル　0120-878-365**（パナは 365日）
**FAX　フリーダイヤル　0120-878-236**
365日／受付9時〜20時

**Help desk for foreign residents in Japan**
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
**Tokyo** (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック
## 修理ご相談窓口

**ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087**

●お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

### 北海道地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 札幌 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 | (011)894-1251 |
| 旭川 | 旭川市2条通21丁目左1号 | (0166)31-6151 |
| 帯広 | 帯広市西19条南1丁目7-11 | (0155)33-8477 |
| 函館 | 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） | (0138)48-6631 |

### 東北地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 青森 | 青森市第二問屋町3-7-10 | (017)739-9712 |
| 秋田 | 秋田市御所野湯本2丁目1-2 | (018)826-1600 |
| 岩手 | 盛岡市羽場13地割30-3 | (019)639-5120 |
| 宮城 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 | (022)387-1117 |
| 山形 | 山形市流通センター3丁目12-2 | (023)641-8100 |
| 福島 | 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 | (0243)34-1301 |

### 首都圏地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 栃木 | 宇都宮市御幸町194-20 | (028)689-2555 |
| 群馬 | 高崎市大沢町229-1 | (027)352-1109 |
| 水戸 | 水戸市柳河町309-2 | (029)225-0249 |
| つくば | つくば市花畑2丁目8-1 | (0298)64-8756 |
| 埼玉 | 桶川市赤堀2丁目4-2 | (048)728-8960 |
| 千葉 | 千葉市中央区星久喜町172 | (043)208-6034 |
| 東京 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 | (03)5477-9780 |
| 山梨 | 甲府市下飯田2丁目1-27 | (055)222-5171 |
| 神奈川 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 | (045)847-9720 |
| 新潟 | 新潟市東明1丁目8-14 | (025)286-0171 |

### 中部地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 石川 | 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 | (076)294-2683 |
| 富山 | 富山市寺島1298 | (076)432-8705 |
| 福井 | 福井市開発4丁目112 | (0776)54-5606 |
| 長野 | 松本市大字笹賀7600-7 | (0263)58-0073 |
| 静岡 | 静岡市西島765 | (054)287-9000 |
| 名古屋 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 | (052)819-0225 |
| 岡崎 | 岡崎市岡町南久保28 | (0564)55-5719 |
| 岐阜 | 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 | (058)323-6010 |
| 高山 | 高山市花岡町3丁目82 | (0577)33-0613 |
| 三重 | 久居市森町字北谷1920-3 | (059)255-1380 |

### 近畿地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 滋賀 | 守山市勝部6丁目2-1 | (077)582-5021 |
| 京都 | 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 | (075)672-9636 |
| 大阪 | 大阪市北区本庄西1丁目1-7 | (06)6359-6225 |
| 奈良 | 大和郡山市椎木町404-2 | (0743)59-2770 |
| 和歌山 | 和歌山市中島499-1 | (073)475-2984 |
| 兵庫 | 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 | (078)272-6645 |

### 中国地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 鳥取 | 鳥取市安長295-1 | (0857)26-9695 |
| 米子 | 米子市米原4丁目2-33 | (0859)34-2129 |
| 松江 | 松江市平成町182番地14 | (0852)23-1128 |
| 出雲 | 出雲市渡橋町416 | (0853)21-3133 |
| 浜田 | 浜田市下府町327-93 | (0855)22-6629 |
| 岡山 | 岡山県都窪郡早島町矢尾807 | (086)292-1162 |
| 広島 | 広島市西区南観音8丁目13-20 | (082)295-5011 |
| 山口 | 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 | (083)986-4050 |

### 四国地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 香川 | 高松市勅使町152-2 | (087)868-9477 |
| 徳島 | 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 | (088)698-1125 |
| 高知 | 南国市岡豊町中島331-1 | (088)866-3142 |
| 愛媛 | 松山市土居田町750-2 | (089)971-2144 |

### 九州地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 福岡 | 春日市春日公園3丁目48 | (092)593-9036 |
| 佐賀 | 佐賀市本庄町大字本庄896-2 | (0952)26-9151 |
| 長崎 | 長崎市東町1949-1 | (095)830-1658 |
| 大分 | 大分市萩原4丁目8-35 | (097)556-3815 |
| 宮崎 | 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 | (0985)85-6530 |
| 熊本 | 熊本市健軍本町12-3 | (096)367-6067 |
| 天草 | 本渡市港町18-11 | (0969)22-3125 |
| 鹿児島 | 鹿児島市与次郎1丁目5-33 | (099)250-5657 |
| 大島 | 名瀬市矢之脇町10-5 | (0997)53-5101 |

### 沖縄地区

| 窓口 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 沖縄 | 浦添市城間4丁目23-11 | (098)877-1207 |

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0102

# 索引



Panasonic ハードディスク内蔵 BS Hi-Fiビデオ NV-HVH1 取扱説明書

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

**愛情点検** **ハードディスク内蔵 BS Hi-Fiビデオの点検を！**

| こんな症状はありませんか | ● 再生しても映像や音声が出ない<br>● 煙が出たり、異常なにおいや音がする<br>● 水や異物が入った<br>● 時刻表示などに異常がある<br>● テープをいためた<br>● その他の異常や故障がある | ▶ | このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 |
|---|---|---|---|

| **便利メモ** おぼえのため記入されると便利です | お買い上げ日 | 年　　月　　日 | 品　番 | NV-HVH1 |
|---|---|---|---|---|
| | 販売店名 | ☎(　　)　　－ | お客様ご相談窓口<br>☎(　　)　　－ | |


**松下電器産業株式会社**

**AVCネットワーク事業グループ**
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

**システム事業グループ**
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号



VQT9734-1
F0402Sa1042 (6000Ⓑ)